

官報

號外

大正十一年二月十五日

水曜日

印刷局

第四十五回衆議院議事速記録第十二號

大正十一年二月十四日(火曜日)午後一時十八分開議

議事日程 第十一號 大正十一年二月十四日

午後一時開議

第一 少年法案(政府提出)

第二 矯正院法案(政府提出)

第三 右各案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第四 南洋廳特別會計法案(政府提出) 第一讀會

第五 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第六 大正五年法律第四號中改正法律案(政府提出) 第一讀會

第七 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第八 大正十一年度豫算案

第九 (第一號)臨時軍事費豫算追加案

○議長(奥繁三郎君) 諸般ノ報告ヲ致シマス

〔原田書記官朗讀〕

一 政府ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

少年法案

矯正院法案

北海道會法中改正法律案

北海道地方費法中改正法律案

南洋廳特別會計法案

市制中改正法律案

大正五年法律第四號中改正法律案

農會法案

(以上二月十日提出)

朝鮮醫院及濟生院特別會計法中改正法律案

大學特別會計法中改正法律案

大正八年法律第十二號中改正法律案

森林資金特別會計法廢止法律案

大正八年度歲入歳出總決算

大正八年度各特別會計歳入歳出決算

大正八年度歳入歳出決算検査報告

(以上二月十三日提出)

一 議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

一市制中改正法律案

提出者 安達 謙藏君

本田 恆之君

高柳覺太郎君

小山 松壽君

森下龜太郎君

町村制中改正法律案

提出者 安達 謙藏君

本田 恆之君

高柳覺太郎君

小山 松壽君

森下龜太郎君

府縣制中改正法律案

提出者 安達 謙藏君

小泉又次郎君

小山 松壽君

押川 方義君

勞働組合法案

提出者 安達 謙藏君

小泉又次郎君

小山 松壽君

岡本 幹輔君

衆議院議員選舉法中改正法律案

提出者 安達 謙藏君

小泉又次郎君

小山 松壽君

西村丹治郎君

森下龜太郎君

松本 君平君

借家法中改正法律案

提出者 橫山勝太郎君

鈴木富士彌君

武内 作平君

西村丹治郎君

小泉又次郎君

森田 茂君

三木 武吉君

押川 方義君

西村丹治郎君

小泉又次郎君

森田 茂君

三木 武吉君

押川 方義君

高柳覺太郎君

本田 恆之君

森田 茂君

三木 武吉君

森下龜太郎君

(以上二月七日提出)

本田 恆之君

森田 茂君

野田文一郎君

(以上二月八日提出)

本田 恆之君

森田 茂君

關 和知君

高柳覺太郎君

南 鼎三君

(以上二月十一日提出)

作間 排逸君

森田 茂君

(以上二月十四日提出)

作間 排逸君

森田 茂君

義和團事件賠償金還付ニ關スル建議案

提出者 荒川 五郎君

飯塚春太郎君

加藤 定吉君

關 和知君

野村 嘉六君

山道 襄一君

國有林野所在ノ府縣市町村ニ對シ交付金下付ニ關スル建議案

提出者 八田 宗吉君

鈴木 巖君

大船渡氣仙沼間鐵道速成ニ關スル建議案

提出者 志賀和多利君

高橋長七郎君

氣仙沼前谷地間鐵道速成ニ關スル建議案

提出者 高橋長七郎君

志賀和多利君

高田川井間及水澤世田米間鐵道建設ニ關スル建議案

提出者 志賀和多利君

縣社一條神社ヲ別格官幣社ニ昇格ニ關スル建議案

提出者 坂本素魯哉君

國澤新兵衛君

大石 大君

植民省設置ニ關スル建議案

提出者 押川 方義君

墓地及埋葬取締規則中改正ニ關スル建議案

提出者 松下 禎二君

食糧充實ノ獎勵ニ關スル建議案

提出者 多木久米次郎君

鎮南浦築港完成ニ關スル建議案

提出者 牧山 耕藏君

第二期治水計畫確立ニ關スル建議案

提出者 川原 茂輔君

帝國在郷軍人會國庫補助ニ關スル建議案

提出者 岩崎 勳君

菅原 傳君

津野田是重君

漢學振興ニ關スル建議案

提出者 鈴木 鏡藏君

(以上二月八日提出)

一宮房治郎君 成田直一郎君

鈴木 鏡藏君 石川 玄三君

木下 成太郎君 西村丹治郎君

戸水 寛人君 副島 義一君

小橋 藻三衛君 山本 悌二郎君

小久保 喜七君 佐久間 啓莊君

川原 茂輔君 毛里 保太郎君

福井 三郎君 下岡 忠治君

鷗澤 總明君 佐々木 安五郎君

黑島、伊白鐵道敷設ニ關スル建議案

提出者 石川 玄三君

植竹 龍三郎君 友常 毅三郎君

松岡 俊三君

(以上二月十日提出)

官幣小社竈門神社境域擴張ニ關スル建議案

提出者 中村 清造君

崎山 克治君 古林 興六君

朝鮮多獅島築港ニ關スル建議案

提出者 牧山 耕藏君

高見 之通君 一宮房治郎君

阪上 貞信君 山崎 猛君

加藤 久米四郎君 松山 常次郎君

大阪和歌山間鐵道敷設ニ關スル建議案

提出者 山口 義一君

井坂 豐光君 久下 豐忠君

赤田 瑳一君 山口 熊野君

(以上二月十三日提出)

滋川上田市間鐵道速成ニ關スル建議案

提出者 木槍 三四郎君

山邊 常重君

(以上二月十四日提出)

決議案(海軍縮少ニ伴フ餘裕金處分ニ關スル件)

提出者 安達 謙藏君

森田 茂君 本田 恆之君

小山 松壽君 小泉 又次郎君

(以上二月十日提出)

一議員ヨリ提出セラレタル質問主意書左ノ如シ

戰艦陸奥、加賀、土佐及巡洋戰艦天城、赤城ノ建造

遲延ニ關スル質問主意書

提出者 永井柳太郎君

(以上二月十日提出)

刑事訴訟法案

鷗澤 總明君 前田 米藏君 黑住 成章君

宮古 啓三郎君 塚原 嘉藤君 熊谷 直大君

大道寺 慶男君 齋藤 鷗太郎君 井坂 豐光君

北井 波治目君 永屋 茂君 磯田 榮三郎君

禱 苗代君 原 夫次郎君 高見 之通君

永井 作次君 野副 重一君 橫山 金太郎君

作間 耕逸君 森山 儀文治君 野村 嘉六君

山移 定政君 森田 茂君 鈴木 富士彌君

清瀬 一郎君 上島 益三郎君 森下 龜太郎君

朝鮮事業公債法中改正法律案外三件

澤 來太郎君 白井 博之君 齋藤 壽雄君

野呂 駿三君 菅野 傳右衛門君 吉木 陽君

福井 甚三君 門田 新松君 水野 吉太郎君

宜保 成晴君 坂本 素魯哉君 濱口 吉兵衛君

武内 作平君 松井 鉄夫君 古賀 三千人君

正木 照藏君 渡邊 昭君 納富 陳平君

陸軍ノ整理縮少ニ關スル建議案外一件

大岡 育造君 津野 田是重君 岡崎 邦輔君

三善 清之君 川原 茂輔君 鷗澤 總明君

山本 悌二郎君 原田 十衛君 今泉 嘉一郎君

波多野 永五郎君 竹内 明太郎君 武富 時敏君

濱口 雄幸君 安達 謙藏君 下岡 忠治君

大養 教君 大口 喜六君 山邑 太三郎君

一去年八日當任委員補選結果左ノ如シ

第一部選出諸願委員 佐久間 啓莊君(佐竹 庄七君

補選)

第三部選出豫算委員 高島 七郎右衛門君(野村 勘

第七部選出諸願委員 石井 研二君(村山 喜一郎君

一去年八日委員長及理事互選ノ結果左ノ如シ

朝鮮事業公債法中改正法律案外三件委員

委員長 澤 來太郎君 理事 白井 博之君

正木 照藏君

刑事訴訟法案委員

委員長 鷗澤 總明君 理事 熊谷 直大君

磯田 榮三郎君

陸軍ノ整理縮少ニ關スル建議案外一件委員

委員長 大岡 育造君 理事 原田 十衛君

下岡 忠治君

大口 喜六君

一昨十三日國有財産整理資金特別會計法案委員野

呂駿三君辭任ニ付其ノ補選トシテ山口 義一君ヲ、刑

事訴訟法案委員前田 米藏君辭任ニ付其ノ補選トシ

テ牧野 良三君ヲ執レモ議長ニ於テ選定セリ

一今十四日刑事訴訟法案委員 森田 茂君辭任ニ付其

ノ補選トシテ横山 勝太郎君ヲ、朝鮮事業公債法中改

正法律案外三件委員渡邊 昭君辭任ニ付其ノ補選ト

シテ村田 虎之助君ヲ執レモ議長ニ於テ選定セリ

○議長(奧繁三郎君) 會議ヲ開キマス、諮問事項ガアリ

マス、議員佐野 正雄君病氣ニ付本月八日より本月十八日

マデ、吉村 鐵之助君病氣ニ付本月十一日より三月七日マ

デ、若尾 幾造君病氣ニ付本月十二日より本月二十一日マ

デ、松島 肇君事故ニ付本月十三日より三月五日マデ、何

レモ請假ノ申出ガアリマシタ、之ヲ許可スルニ御異議アリマ

セヌカ

○議長(奧繁三郎君) 御異議無シト呼フ者アリ

○議長(奧繁三郎君) 御異議無シト認メマス、仍テ

許可致シマス、日程第一、第二ノ議案ハ同種關聯セル議案

デアリマスカラ、一括シテ議題トナスニ御異議アリマセヌカ

○議長(奧繁三郎君) 御異議無シト認メマス、仍テ一括

シテ議題ニ供シ、此二案ヲ一括シテ其第一讀會ヲ開キマ

ス

第一 少年法案(政府提出) 第一讀會

少年法案

第一章 通則

第一條 本法ニ於テ少年ト稱スルハ十八歳ニ滿タサル者

ヲ謂フ

第二條 少年ノ刑事處分ニ關スル事項ハ本法ニ定ムル

モノノ外一般ノ例ニ依ル

第三條 本法ハ第七條、第八條、第十條乃至第十四

條ノ規定ヲ除クノ外陸軍刑法第八條、第九條及海

軍刑法第八條、第九條ニ掲ケタル者ニ之ヲ適用セス

第二章 保護處分

第四條 刑罰法令ニ觸ルル行為ヲ爲シ又ハ刑罰法令

ニ觸ルル行為ヲ爲ス虞アル少年ニ對シテハ左ノ處分ヲ

爲スコトヲ得

一 訓誡ヲ加フルコト

二 學校長ノ訓誡ニ委スコト

三 書面ヲ以テ改心ノ誓約ヲ爲サシムルコト

四 條件ヲ附シテ保護者ニ引渡スコト
五 寺院、教會、保護團體又ハ適當ナル者ニ委託スルコト

六 少年保護司ノ觀察ニ付スルコト

七 感化院ニ送致スルコト

八 矯正院ニ送致スルコト

九 病院ニ送致又ハ委託スルコト

前項各號ノ處分ハ適當併セテ之ヲ爲スコトヲ得

第五條 前條第一項第五號乃至第九號ノ處分ハ二十三歳ニ至ル迄其ノ執行ヲ繼續シ又ハ其ノ執行ノ繼續中何時ニテモ之ヲ取消シ若ハ變更スルコトヲ得

第六條 少年ニシテ刑ノ執行猶豫ノ言渡ヲ受ケ又ハ假出獄ヲ許サレタル者ハ猶豫又ハ假出獄ノ期間内少年保護司ノ觀察ニ付ス

前項ノ場合ニ於テ必要アルトキハ第四條第一項第四號、第五號、第七號乃至第九號ノ處分ヲ爲スコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ第四條第一項第七號又ハ第八號ノ處分ヲ爲シタルトキハ其ノ執行ノ繼續中少年保護司ノ觀察ヲ停止ス

第三章 刑事處分

第七條 罪ヲ犯ス時十六歳ニ滿タサル者ニハ死刑及無期刑ヲ科セス死刑又ハ無期刑ヲ以テ處斷スヘキトキハ十年以上十五年以下ニ於テ懲役又ハ禁錮ヲ科ス

刑法第七十三條、第七十五條又ハ第二百條ノ罪ヲ犯シタル者ニハ前項ノ規定ヲ適用セス

第八條 少年ニ對シ長期三年以上ノ有期ノ懲役又ハ禁錮ヲ以テ處斷スヘキトキハ其ノ刑ノ範圍内ニ於テ短期ト長期トヲ定メ之ヲ言渡ス但シ短期五年ヲ超ユル刑ヲ以テ處斷スヘキトキハ短期ヲ五年ニ短縮ス

前項ノ規定ニ依リ言渡スヘキ刑ノ短期ハ五年長期ハ十年ヲ超ユルコトヲ得ス

刑ノ執行猶豫ノ言渡ヲ爲スヘキ場合ニハ前二項ノ規定ヲ適用セス

第九條 懲役又ハ禁錮ノ言渡ヲ受ケタル少年ニ對シテハ特ニ設ケタル監獄又ハ監獄内ノ特ニ分界ヲ設ケタル場所ニ於テ其ノ刑ヲ執行ス

本人十八歳ニ達シタル後ト雖二十三歳ニ至ル迄ハ前項ノ規定ニ依リ執行ヲ繼續スルコトヲ得

第十條 少年ニシテ懲役又ハ禁錮ノ言渡ヲ受ケタル者ニハ左ノ期間ヲ經過シタル後假出獄ヲ許スコトヲ得

一 無期刑ニ付テハ七年

二 第七條第一項ノ規定ニ依リ言渡シタル刑ニ付テハ三年

三 第八條第一項及第二項ノ規定ニ依リ言渡シタル刑ニ付テハ其ノ刑ノ短期ノ三分ノ一

第十一條 少年ニシテ無期刑ノ言渡ヲ受ケタル者假出獄ヲ許サレタル後其ノ處分ヲ取消サルコトナクシテ十年ヲ經過シタルトキハ刑ノ執行終リタルモノトス

少年ニシテ第七條第一項又ハ第八條第一項及第二項ノ規定ニ依リ刑ノ言渡ヲ受ケタル者假出獄ヲ許サレタル後其ノ處分ヲ取消サルコトナクシテ假出獄前ニ刑ノ執行ヲ爲シタルト同一ノ期間ヲ經過シタルトキ亦前項ニ同シ

第十二條 少年ノ假出獄ニ關スル規程ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第十三條 少年ニ對シテハ勞務場留置ノ言渡ヲ爲サス第十四條 少年ノ時犯シタル罪ニ因リ死刑又ハ無期刑ニ非サル刑ニ處セラレタル者ニシテ其ノ執行ヲ終ヘ又ハ執行免除ヲ受ケタルモノハ人ノ資格ニ關スル法令ノ適用ニ付テハ將來ニ向テ刑ノ言渡ヲ受ケザリシモノト看做ス

少年ノ時犯シタル罪ニ付刑ニ處セラレタル者ニシテ刑ノ執行猶豫ノ言渡ヲ受ケタルモノハ其ノ猶豫期間中刑ノ執行ヲ終ヘタルモノト看做シ前項ノ規定ヲ適用ス

前項ノ場合ニ於テ刑ノ執行猶豫ノ言渡ヲ取消サレタルトキハ人ノ資格ニ關スル法令ノ適用ニ付テハ其ノ取消サレタル時刑ノ言渡アリタルモノト看做ス

第四章 少年審判所ノ組織

第十五條 少年ニ對シ保護處分ヲ爲ス爲少年審判所ヲ置ク

第十六條 少年審判所ノ設立、廢止及管轄ニ關スル規程ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第十七條 少年審判所ハ司法大臣ノ監督ニ屬ス司法大臣ハ控訴院長及地方裁判所長ニ少年審判所ノ監督ヲ命スルコトヲ得

第十八條 少年審判所ニ少年審判官、少年保護司及書記ヲ置ク

第十九條 少年審判官ハ單獨ニテ審判ヲ爲ス

第二十條 少年審判官ハ少年審判所ノ事務ヲ管理シ所部ノ職員ヲ監督ス

二人以上ノ少年審判官ヲ置キタル少年審判所ニ於テハ上席者前項ノ規定ニ依リ職務ヲ行フ

第二十一條 少年審判官ハ判事ヲシテ之ヲ兼ネシムルコトヲ得

判事タル資格ヲ有スル少年審判官ハ判事ヲ兼スルコトヲ得

第二十二條 少年審判官審判ノ公平ニ付嫌疑ヲ生スヘキ事由アリト思料スルトキハ職務ノ執行ヲ避ケヘシ

第二十三條 少年保護司ハ少年審判官ヲ輔佐シテ審判資料ヲ供シ觀察事務ヲ掌ル

少年保護司ハ少年ノ保護又ハ教育ニ經驗ヲ有スル者其ノ他適當ナル者ニ對シ司法大臣之ヲ囑託スルコトヲ得

第二十四條 書記ハ上司ノ指揮ヲ承ケ審判ニ關スル書類ノ調製ヲ掌リ庶務ニ從事ス

第二十五條 少年審判所及少年保護司ハ其ノ職務ヲ行フニ付公務所又ハ公務員ニ對シ囑託ヲ爲シ其ノ他必要ナル補助ヲ求ムルコトヲ得

第五章 少年審判所ノ手續

第二十六條 大審院ノ特別權限ニ屬スル罪ヲ犯シタル者ハ少年審判所ノ審判ニ付セス

第二十七條 左ニ記載シタル者ハ裁判所又ハ檢事ヨリ送致ヲ受ケタル場合ヲ除クノ外少年審判所ノ審判ニ付セス

一 死刑、無期又ハ短期三年以上ノ懲役若ハ禁錮ニ該ルヘキ罪ヲ犯シタル者

二 十六歳以上ニシテ罪ヲ犯シタル者

第二十八條 刑事手續ニ依リ審理中ノ者ハ少年審判所ノ審判ニ付セス

十四歳ニ滿タサル者ハ地方長官ヨリ送致ヲ受ケタル場合ヲ除クノ外少年審判所ノ審判ニ付セス

第二十九條 少年審判所ニ於テ保護處分ヲ爲スヘキ少年アルコトヲ認知シタル者ハ之ヲ少年審判所又ハ其ノ職員ニ通告スヘシ

第三十條 通告ヲ爲スニハ其ノ事由ヲ開示シ成ルヘキ本人及其ノ保護者ノ氏名、住所、年齢、職業、性行等ヲ申立テ且參考ト爲ルヘキ資料ヲ差出スヘシ

通告ハ書面又ハ口頭ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得口頭ノ通告アリタル場合ニ於テハ少年審判所ノ職員其ノ申立ヲ錄取スヘシ

第三十一條 少年審判所審判ニ付スヘキ少年アリト思料シタルトキハ事件ノ關係及本人ノ性行、境遇、經歷、心身ノ狀況、教育ノ程度等ヲ調査スヘシ

心身ノ狀況ニ付テハ成ルヘク醫師ヲシテ診察ヲ爲サシムヘシ

コトヲ得

判事タル資格ヲ有スル少年審判官ハ判事ヲ兼スルコトヲ得

第二十二條 少年審判官審判ノ公平ニ付嫌疑ヲ生スヘキ事由アリト思料スルトキハ職務ノ執行ヲ避ケヘシ

第二十三條 少年保護司ハ少年審判官ヲ輔佐シテ審判資料ヲ供シ觀察事務ヲ掌ル

少年保護司ハ少年ノ保護又ハ教育ニ經驗ヲ有スル者其ノ他適當ナル者ニ對シ司法大臣之ヲ囑託スルコトヲ得

第二十四條 書記ハ上司ノ指揮ヲ承ケ審判ニ關スル書類ノ調製ヲ掌リ庶務ニ從事ス

第二十五條 少年審判所及少年保護司ハ其ノ職務ヲ行フニ付公務所又ハ公務員ニ對シ囑託ヲ爲シ其ノ他必要ナル補助ヲ求ムルコトヲ得

第五章 少年審判所ノ手續

第二十六條 大審院ノ特別權限ニ屬スル罪ヲ犯シタル者ハ少年審判所ノ審判ニ付セス

第二十七條 左ニ記載シタル者ハ裁判所又ハ檢事ヨリ送致ヲ受ケタル場合ヲ除クノ外少年審判所ノ審判ニ付セス

一 死刑、無期又ハ短期三年以上ノ懲役若ハ禁錮ニ該ルヘキ罪ヲ犯シタル者

二 十六歳以上ニシテ罪ヲ犯シタル者

第二十八條 刑事手續ニ依リ審理中ノ者ハ少年審判所ノ審判ニ付セス

十四歳ニ滿タサル者ハ地方長官ヨリ送致ヲ受ケタル場合ヲ除クノ外少年審判所ノ審判ニ付セス

第二十九條 少年審判所ニ於テ保護處分ヲ爲スヘキ少年アルコトヲ認知シタル者ハ之ヲ少年審判所又ハ其ノ職員ニ通告スヘシ

第三十條 通告ヲ爲スニハ其ノ事由ヲ開示シ成ルヘキ本人及其ノ保護者ノ氏名、住所、年齢、職業、性行等ヲ申立テ且參考ト爲ルヘキ資料ヲ差出スヘシ

通告ハ書面又ハ口頭ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得口頭ノ通告アリタル場合ニ於テハ少年審判所ノ職員其ノ申立ヲ錄取スヘシ

第三十一條 少年審判所審判ニ付スヘキ少年アリト思料シタルトキハ事件ノ關係及本人ノ性行、境遇、經歷、心身ノ狀況、教育ノ程度等ヲ調査スヘシ

心身ノ狀況ニ付テハ成ルヘク醫師ヲシテ診察ヲ爲サシムヘシ

官報號外 大正十一年二月十五日 衆議院議事速記録第十二號 少年法案 第一讀會 矯正院法案 第一讀會

二〇五

第三十二條 少年審判所ハ少年保護司ニ命シテ必要ナル調査ヲ爲サシムヘシ

第三十三條 少年審判所ハ事實ノ取調ヲ保護者ニ命シ又ハ之ヲ保護團體ニ委託スルコトヲ得

保護者及保護團體ハ參考ト爲ルヘキ資料ヲ差出スコトヲ得

第三十四條 少年審判所ハ參考人ニ出頭ヲ命シ調査ノ爲必要ナル事實ノ供述又ハ鑑定ヲ爲サシムルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ必要ト認ムルトキハ供述又ハ鑑定ノ要領ヲ錄取スヘシ

第三十五條 參考人ハ命令ノ定ムル所ニ依リ費用ヲ請求スルコトヲ得

第三十六條 少年審判所ハ必要ニ依リ何時ニテモ少年保護司ヲシテ本人ヲ同行セシムルコトヲ得

第三十七條 少年審判所ハ事情ニ從ヒ本人ニ對シ假ニ左ノ處分ヲ爲スコトヲ得

一 條件ヲ附シ又ハ附セスシテ保護者ニ預クルコト
二 寺院、教會、保護團體又ハ適當ナル者ニ委託スルコト

三 病院ニ委託スルコト
四 少年保護司ノ觀察ニ付スルコト

已ムコトヲ得サル場合ニ於テハ本人ヲ假ニ感化院又ハ矯正院ニ委託スルコトヲ得

第一項第一號乃至第三號ノ處分アリタルトキハ本人ヲ少年保護司ノ觀察ニ付ス

第三十八條 前條ノ處分ハ何時ニテモ之ヲ取消シ又ハ變更スルコトヲ得

第三十九條 前三條ノ場合ニ於テハ速ニ其ノ旨ヲ保護者ニ通知スヘシ

第四十條 少年審判所調査ノ結果ニ因リ審判ヲ開始スヘキモノト思料シタルトキハ審判期日ヲ定ムヘシ

第四十一條 審判ヲ開始セサル場合ニ於テハ第三十七條ノ處分ハ之ヲ取消スヘシ

第三十九條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四十二條 少年審判所審判ヲ開始スル場合ニ於テ必要アリタルキハ本人ノ爲附添人ヲ附スルコトヲ得

本人、保護者又ハ保護團體ハ少年審判所ノ許可ヲ受テ附添人ヲ選任スルコトヲ得

附添人ハ辯護士、保護事業ニ従事スル者又ハ少年審判所ノ許可ヲ受ケタル者ヲ以テ之ニ充ツヘシ

第四十三條 審判期日ニハ少年審判官及書記出席スヘシ

少年保護司ハ審判期日ニ出席スルコトヲ得

審判期日ニハ本人、保護者及附添人ヲ呼出スヘシ但シ實益ナシト認ムルトキハ保護者ハ之ヲ呼出ササルコトヲ得

第四十四條 少年保護司、保護者及附添人ハ審判ノ席ニ於テ意見ヲ陳述スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ本人ヲ退席セシムヘシ但シ相當ノ事由アリタルキハ本人ヲ在席セシムルコトヲ得

第四十五條 審判ハ之ヲ公行セス但シ少年審判所ハ本人ノ親族、保護事業ニ従事スル者其ノ他相當ト認ムル者ニ在席ヲ許スコトヲ得

第四十六條 少年審判審理ヲ終ヘタルトキハ第四十七條乃至第五十四條ノ規定ニ依リ終結處分ヲ爲スヘシ

第四十七條 刑事訴訟ノ必要アリト認メタルトキハ事件ヲ管轄裁判所ノ檢察ニ送致スヘシ

裁判所又ハ檢察ヨリ送致ヲ受ケタル事件ニ付新ナル事實ノ發見ニ因リ刑事訴訟ノ必要アリト認メタルトキハ管轄裁判所ノ檢察ノ意見ヲ聽キ前項ノ手續ヲ爲スヘシ

前二項ノ規定ニ依ル處分ヲ爲シタルトキハ其ノ旨ヲ本人及保護者ニ通知スヘシ

檢察ハ第一項又ハ第二項ノ規定ニ依リ送致ヲ受ケタル事件ニ付爲シタル處分ヲ少年審判所ニ通知スヘシ

第四十八條 訓誡ヲ加ヘキモノト認メタルトキハ本人ニ對シ其ノ非行ヲ指摘シ將來遵守スヘキ事項ヲ諭告スヘシ

前項ノ場合ニ於テハ成ルヘク保護者及附添人ヲシテ立會ハシムヘシ

第四十九條 學校長ノ訓誡ニ委スヘキモノト認メタルトキハ學校長ニ對シ必要ナル事項ヲ指示シ本人ニ訓誡ヲ加フヘキ旨ヲ告知スヘシ

第五十條 改心ノ誓約ヲ爲サシムヘキモノト認メタルトキハ本人ヲシテ誓約書ヲ差出サシムヘシ

前項ノ場合ニ於テハ成ルヘク保護者ヲシテ立會ハシメ且誓約書ニ連署セシムヘシ

第五十一條 條件ヲ附シテ保護者ニ引渡スヘキモノト認メタルトキハ保護者ニ對シ本人ノ保護監督ニ付必要ナル條件ヲ指示シ本人ヲ引渡スヘシ

第五十二條 寺院、教會、保護團體又ハ適當ナル者ニ委託スヘキモノト認メタルトキハ委託ヲ受ケヘキ者ニ對シ本人ノ處遇ニ付參考ト爲ルヘキ事項ヲ指示シ保護監督ノ任務ヲ委嘱スヘシ

第五十三條 少年保護司ノ觀察ニ付スヘキモノト認メタルトキハ少年保護司ニ對シ本人ノ保護監督ニ付必要ナル事項ヲ指示シ觀察ニ付スヘシ

第五十四條 感化院、矯正院又ハ病院ニ送致又ハ委託スヘキモノト認メタルトキハ其ノ長ニ對シ本人ノ處遇ニ付參考ト爲ルヘキ事項ヲ指示シ本人ヲ引渡スヘシ

第五十五條 刑罰法令ニ觸ルル行爲ヲ爲ス虞アル少年ニ對シ前三條ノ處分ヲ爲ス場合ニ於テ適當ナル親權者後見人、戶主其ノ他ノ保護者アルトキハ其ノ承諾ヲ經ヘシ

第五十六條 少年審判所ノ審判ニ付テハ始末書ヲ作リ審判ヲ經タル事件及終結處分ヲ明確ニシ其ノ他必要ト認メタル事項ヲ記載スヘシ

第五十七條 少年審判所第四十八條乃至第五十二條及第五十四條ノ規定ニ依ル處分ヲ爲シタルトキハ保護者、學校長、受託者又ハ感化院、矯正院若ハ病院ノ長ニ對シ成績報告ヲ求ムルコトヲ得

第五十八條 少年審判所第五十一條及第五十二條ノ規定ニ依ル處分ヲ爲シタルトキハ少年保護司ヲシテ其ノ成績ヲ觀察シ適當ナル指示ヲ爲サシムルコトヲ得

第五十九條 少年審判所第四十八條乃至第五十四條ノ規定ニ依ル處分ヲ爲シタル後審判ヲ經タル事件

第二十六條又ハ第二十七條第一號ニ記載シタルモノナルコトヲ發見シタルトキハ裁判所又ハ檢察ヨリ送致ヲ受ケタル場合ト雖管轄裁判所ノ檢察ノ意見ヲ聽キ處分ヲ取消シ事件ヲ檢察ニ送致スヘシ

禁錮以上ノ刑ニ該ル罪ヲ犯シタル者ニ付第四條第一項第七號又ハ第八號ノ處分ヲ繼續スルニ適セサル事情アリト認メタルトキ亦前項ニ同シ

第六十條 少年審判所本人ヲ寺院、教會、保護團體若ハ適當ナル者ニ委託シ又ハ病院ニ送致若ハ委託シタルトキハ委託又ハ送致ヲ受ケタル者ニ對シ之ニ因リ生シタル費用ノ全部又ハ一部ヲ給付スルコトヲ得

第六十一條 第三十五條及前條ノ費用並矯正院ニ於テ生シタル費用ハ少年審判所ノ命令ニ依リ本人又ハ本人ヲ扶養スル義務アル者ヨリ全部又ハ一部ヲ徵收スルコトヲ得

前項費用ノ徵收ニ付テハ非訟事件手續法第二百八條ノ規定ヲ準用ス

第六章 裁判所ノ刑事手續

第六十二條 檢察少年ニ對スル刑事事件ニ付第四條ノ處分ヲ爲スヲ相當ト思料シタルトキハ事件ヲ少年

審判所ニ付スルコトヲ得

審判所ニ送致スヘシ

第六十三條 第四條ノ處分ヲ受ケタル少年ニ對シテハ審判ヲ經タル事件又ハ之ヨリ輕キ刑ニ該ルヘキ事件ニシテ處分前ニ犯シタルモノニ付刑事訴訟ヲ爲スコトヲ得ス但シ第五十九條ノ規定ニ依リ處分ヲ取消シタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第六十四條 少年ニ對スル刑事事件ニ付テハ第三十一條ノ調査ヲ爲スヘシ

第六十五條 裁判所ハ公判期日前前條ノ調査ヲ爲シ又ハ受命判事ヲシテ之ヲ爲サシムルコトヲ得

第六十六條 裁判所又ハ豫審判事ハ職權ヲ以テ又ハ檢事ノ申立ニ因リ第三十七條ノ規定ニ依ル處分ヲ爲スコトヲ得

第三十八條及第三十九條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六十七條 勾留狀ハ已ムコトヲ得サル場合ニ非サレハ少年ニ對シテ之ヲ發スルコトヲ得ス

拘留監ニ於テハ特別ノ事由アル場合ヲ除クノ外少年ヲ獨居セシムヘシ

第六十八條 少年ノ被告人ハ他ノ被告人ト分離シ其ノ接觸ヲ避ケシムヘシ

第六十九條 少年ニ對スル被告事件ハ他ノ被告事件ト牽連スル場合ト雖審理ニ妨ナキ限り其ノ手續ヲ分離スヘシ

第七十條 裁判所ハ事情ニ依リ公判中一時少年ノ被告人ヲ退廷セシムルコトヲ得

第七十一條 第一審裁判所又ハ控訴裁判所審理ノ結果ニ因リ被告人ニ對シ第四條ノ處分ヲ爲スヲ相當ト認メタルトキハ少年審判所ニ送致スル旨ノ決定ヲ爲スヘシ

檢事ハ前項ノ決定ニ對シ三日内ニ抗告ヲ爲スコトヲ得

第七十二條 第六十六條ノ處分ハ事件ヲ終局セシムル裁判ノ確定ニ因リ其ノ效力ヲ失フ

第七十三條 第四十二條、第四十三條第二項第三項及第四十四條ノ規定ハ公判ノ手續ニ第六十條及第六十一條ノ規定ハ豫審又ハ公判ノ手續ニ之ヲ準用ス

第七章 罰則

第七十四條 少年審判所ノ審判ニ付セラレタル事項又ハ少年ニ對スル刑事事件ニ付豫審又ハ公判ニ付セ

ラレタル事項ハ之ヲ新聞紙其ノ他ノ出版物ニ掲載スルコトヲ得ス

前項ノ規定ニ違反シタルトキハ新聞紙ニ在リテハ編輯人及發行人、其ノ他ノ出版物ニ在リテハ著作者及發行者ヲ一年以下ノ禁錮又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第二 矯正院法案(政府提出) 第一讀會

矯正院法案

第一條 矯正院ハ少年審判所ヨリ送致シタル者及民法第八百八十二條ノ規定ニ依リ入院ノ許可アリタル者ヲ收容スル所トス

第二條 矯正院ニ收容シタル者ノ在院ハ二十三歳ヲ超ユルコトヲ得ス

第三條 矯正院ニハ特ニ區劃シタル場所ヲ設ケ少年審判所、裁判所又ハ豫審判事ヨリ假ニ委託シタル者ヲ置ク

第四條 矯正院ハ收容スヘキ者ノ男女ノ別ニ從ヒ之ヲ設ク

第五條 十六歳ニ滿タサル者ト十六歳以上ノ者トハ分界ヲ設ケタル場所ニ各別ニ之ヲ收容ス

第六條 矯正院ハ之ヲ國立トス

第七條 矯正院ハ司法大臣ノ管理ニ屬ス

第八條 司法大臣ハ少クモ六月毎ニ一回官吏ヲシテ矯正院ヲ巡察セシムヘシ

少年審判官ハ隨時矯正院ヲ巡視スヘシ

第九條 在院者ニハ其ノ性格ヲ矯正スル爲嚴格ナル紀律ノ下ニ教養ヲ施シ其ノ生活ニ必要ナル實業ヲ練習セシム

第十條 矯正院ノ長ハ命令ノ定ムル所ニ依リ在院者ヲ懲戒スルコトヲ得

第十一條 矯正院ノ長ハ已ムコトヲ得サル事由アル場合ニ於テハ少年審判所ノ許可ヲ受ケ未成年ノ在院者及假退院者ノ爲親權者又ハ後見人ノ職務ニ屬スル行爲ヲ爲スコトヲ得

第十二條 矯正院ノ最少年審判所ヨリ送致シタル在院者ニ對シ執行ノ目的ヲ達シタルト認ムルトキハ少年審判所ノ許可ヲ受ケ之ヲ退院セシムヘシ

第十三條 矯正院ノ長ハ少年審判所ヨリ送致シタル在院者ニシテ收容後六月ヲ經過シタルモノニ對シ少

年審判所ノ許可ヲ受ケ條件ヲ指定シテ假ニ退院ヲ許スコトヲ得

假退院ヲ許サレタル者ハ假退院ノ期間内少年保護司ノ觀察ニ付ス

第十四條 假退院者指定ノ條件ニ違背シタルトキハ矯正院ノ長ハ少年審判所ノ許可ヲ受ケ假退院ヲ取消スコトヲ得

第十五條 在院者又ハ假退院者逃走シタルトキハ少年審判所及矯正院ノ職員ハ之ヲ逮捕スルコトヲ得

少年法第二十五條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第十六條 本法ニ規定スルモノヲ除クノ外在院者ノ處遇ニ關スル規程ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

矯正院ノ長ハ司法大臣ノ認可ヲ受ケ在院者ノ處遇ニ關スル細則ヲ定ムヘシ

第十七條 前二條ノ規定ハ少年審判所、裁判所又ハ豫審判事ヨリ假ニ委託シタル者ニ付之ヲ準用ス

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

〔政府委員(山内確三郎君) 少年法案及矯正院法案、即チ只今議題トナリマシタル一案ニ付キマシテ提案ノ理由ヲ御説明致シマス、此兩案ハ數年來ノ懸案デアリマス、デ之ヲ帝國議會ニ提出致シマシタルコト既ニ三回、御院ニ於キマシテハ常ニ滿場一致ヲ以テ可決セラレタ法案デアリマス、然ルニ之ガ帝國議會ヲ通過スルコトノ出來ナカッタノヲ政府ハ遺憾ト致シテ居ルノデ、茲ニ四度此案ヲ提出致シマシタノハ、御承知ノ通り不良少年ノ保護ト云フ事柄ハ、一日モ之ヲ忽忽ニスルコトノ出來ナイガ爲デアル、本案ノ包容スル所ハ要シマスルニ、少年ノ保護處分、刑事處分、此ニツテ包含シテ居リマシテ、尙ホ少年審判所ノ組織、審判手續及刑事處分ト保護處分トノ關係等ニ及ンデ居ルデアリマス、規定ハ極テ周密ヲ極メテ居リマスガ、要スルニ少年保護ト云フコトヲ眼目ト致シテ居ル法案デアアル、ソレカラ矯正院法案、此分ハ少年法案ノ規定ニ據リマス、少年ヲ保護處分ニ付スル一ツノ方法ト致シマシテ、矯正院ニ送致スルノデアリマス、即チ本案ハ不良少年ヲ收容スル矯正院ノ性質ヨリ組織ヨリ管理監督等ニ至テノ規定ヲ掲ゲタモノデアリマス、度々衆議院ニ於テハ御審議ニナタ事柄デアリマス、詳シイ事ハ申上ゲマセヌガ、要スルニ兩案共慎重審議ノ上ニ速ニ御協賛アラントフ希望スル次第デアリマス(拍手)

○議長(奥繁三郎君) 荒川五郎君

○荒川五郎君 此處デ……

○議長(奥繁三郎君) 登壇ヲ……
(荒川五郎君登壇)

○荒川五郎君 今日ハ豫算ノ大問題ヲ控ヘテ居リマスコトデアルカラ、唯自席カラ簡單ニト思ヒマシタガ、議長ヨリ促サレテ登壇致シマシタ、此兩案ニ付テハ種々重大ナ疑義ガアリマス。只今申スヤウニ豫算ノ問題モアリマスカラ、極テ簡單ニ一二ノ質問ヲ致シマス、凡ソ不良少年ハ多クハ家庭ガ生ムノデアリマス、家庭ノ不和、親ノ大酒、亂酒、又ハ不品行、慈愛ナキ親、ソレ等家庭ノ異常、異和カラ生ミ付テラレテ成サレタ者デアリマス、随テ先ツ不良少年ト云ヘバ、先天的ノ者ガ多イノデアリマス、此先天的ノ不良少年ハ改過遷善ト云フコトハ容易デナイ、殆ド行ハレヌトシテ居ルノデアリマス、亞米利加ノ如キハ巨萬ノ費用ヲ投ジテ、一人ノ不良少年若クハ二人ノ不良少年ニ、一人ノ感化婦ヲ付テ、サウシテ力ヲ盡シテ居リマス。ソレモ、ソレデラヌ不成績ヲ示シテ居ルノデアリマス、先天的ノ不良少年ハ到底之ヲ改過遷善サスコトガ出來ナイト云フコトハ、教育家一般ノ認メテ居ル所デアリマス、然ラバ其餘ノ僅カナ後天的ト云ヒマセウカ、周圍ノ事情、友達ノ關係、ソレ等ニ依テ一時の偶發ノ不良少年、ソレ等ハ感化ガ出來ナイコトモアリマス。レドモ、一旦之ヲ感化院ニ入レ、又ハ矯正院ニ入ラバ、世間デハ少年監獄ト稱ヘテ居ル、此矯正院ニ入レタトキハ、其者ガ他日世ニ出ルトキニ、今迄ハ天下ニ知ラレナカタ不良少年ガ、不良少年、惡少年デアルト云フ銘打タレ付トナリ、即チ極印ヲ打テ之ヲ社會ニ出スコトナラノデアリマス、今日社會ハ中ニ職業ヲ得ラレナイデ生活難ニ苦シテ居ル者ガ多イノデアリマス、職業ヲ得テ居ル者デラヌ、今日ハ職業ヲ失テ就職難ト云フ場合デアリマス、其生活難ノ際ニ於テ、不良少年デアルト云フ極印ヲ打タレル者ハ、世ノ中カラ排斥サレハ當然デ、彼等ハ益々困難ニ陥リマス、斯ク彼等ヲシテ生活ノ途ヲ失ハシメルヤウニナルト云フコトハ、國家ガ巨萬ノ費用ヲ投ジテ却テ不良少年ヲ迫害スルト云フコトニナリハシナイカ、此點ハ最モ本員ノ恐レ、所デアリマス、不良少年ソレ等ノ教育ハ、決シテ月給ヲ貰テ職業ノ看役人、感化婦、嫁、ソレ等ノ力ニ依テ行ケルモノデハナイノデアリマス、或ハ宗教的、或ハ精神的ニ、ソレ等ヲ我ガ天職トシテ感化慈善ニ従事スル者、ソレ等ニ依ルニアラズシテ、之ガ國家ガ機關ヲ設ケテ、サウシテ職業ノ人ヲ雇ウテ、此惡少年ヲ感化シヤウト云フコトハ、最モ見當違ト言ハナケレバナラヌト思フ。今日ハ八百萬ノ全國ノ兒童、其教育ヲ如何ニスルカ、其義務教育費ノ増加ニ向テ天下ニ一齊ニ叫ンデ居ル際ニ、此不良少年デラ教育ノ屈カイ場合ニ、此惡

少年ヲ特ニ巨費ヲ投ジテ教育スルト云フコトハ、本末顛倒ノ大ナルモノデアラウト思フノデアリマス、此點ニ於テ國家ガ普通教育デラ費用ヲ出サナイ今日ニ、此惡少年ヲ却テ巨費ヲ投ジテ極印ヲ打シテ世ノ中ニ出スコト云フコトハ、決シテ當ヲ得タモノデナイ、策ヲ得タモノデナイト云フコトハ、天下ノ感化業者、教育者ハ俱ニ認メテ居ルノデアリマス、此點ハ此際ニ政府ガ明カニシテ置カレルコトハ必要デアルト思ヒマス、他ニ保護處分、刑事處分、並ニ矯正處分ニ付テモ、之ニ伴ウテ重大ナ疑義問題ガアリマス。ソレドモ、今日ハ此大體精神ニ付テ、此際明快ナル御答辯ヲ希望致シマス、併セテ感化院、矯正院ハ全國ニ幾ツ置クカ、其費用ハ幾何ヲ要スルノカ、其大體モ序ニ御説明アラントヲ希望シテ置キマス(拍手)

(政府委員山内確三郎君登壇)

○政府委員山内確三郎君 御質問ニ御答致シマス、少年法案、矯正院法案、共ニ不良少年ニ極印ヲ打ツ法律デナイ、不良少年ヲ保護スル法律デアル、而シテ教育ノ力ノ以テ足ラザル場合ニ於テ、尙ホ不良少年ガ出來ル場合ニ於テ、教育ノ力デハ如何ニモ仕様ガナイト云フ場合ニ、此法案ノ力ガ出ルノデアリマス、固ヨリ極印ヲ打ツ法律案デハナイト云フコトヲ能ク御承知ヲ願ヒマス、豫算ノ額ハ豫算案ニ出シテゴザイマスカラ、私バ細カイコトハ記憶シテ居リマセス、ドウソ豫算案ヲ御覽ヲ願ヒマス

○議長(奥繁三郎君) 次ニ日程第三、右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉ヲ議題ト致シマス

第三 右各案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

○岩崎勳君 日程第一、第二ノ兩案ヲ一括シテ、委員ノ數ハ特ニ十八名トシ、議長ニ於テ指名アラントヲ望ミマス
(賛成「下呼フ者アリ」)

○議長(奥繁三郎君) 岩崎君ノ動議ニ御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ——日程第四、南洋廳特別會計法案ノ第一讀會ヲ開キマス

第四 南洋廳特別會計法案(政府提出) 第一讀會

南洋廳特別會計法案 第一讀會

第一條 南洋廳ノ會計ハ特別トシ其ノ歲入及一般會計ノ補充金ヲ以テ其ノ歲出ニ充ツ
第二條 南洋廳特別會計ノ收入支出ニ關スル規定ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第三條 政府ハ毎年南洋廳特別會計ノ歲入歲出豫算ヲ調製シ歲入歲出ノ總豫算ト俱ニ帝國議會ニ提出スヘシ
附則
本法ハ大正十一年度ヨリ之ヲ施行ス

○議長(奥繁三郎君) 神野大藏次官

(政府委員神野勝之助君登壇)

○政府委員(神野勝之助君) 南洋群島中、我ガ委任統治ニ屬シテ居リマス。ルモ、今日マデ臨時軍事費支辨ノ下ニ、南洋群島防備隊ガ其統治ノ任ニ當テ居ラノデアリマス。此度新ニ南洋廳ヲ設ケテ統治ノ任ニ當ラシメタイト思フノデアリマス、而シテ此特殊區域ニ於ケル所ノ收入支出ハ、一般會計ト區別致シマシテ、特別會計ヲ設置シテ會計ノ整理ヲ致シタイト思フノデアリマス、御審議ノ上御協賛ヲ願ヒマス(拍手)

○議長(奥繁三郎君) 日程第五、右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉ヲ議題ニ供シマス

第五 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

○岩崎勳君 本案ハ政府提出朝鮮事業公債法中改正法律案外三件ノ委員ニ併セテ附託セラレントヲ望ミマス
(賛成「贊成」下呼フ者アリ)

○議長(奥繁三郎君) 岩崎君ノ動議ニ御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ——日程第六、大正五年法律第四號中改正法律案ノ第一讀會ヲ開キマス

第六 大正五年法律第四號中改正法律案 第一讀會

大正五年法律第四號中改正法律案
大正五年法律第四號中左ノ通改正ス
「五億八千萬圓ヲ六億五千萬圓ニ改ム」
○議長(奥繁三郎君) 神野大藏次官

(政府委員神野勝之助君登壇)

○政府委員(神野勝之助君) 大正五年法律第四號ハ臨時事件費支辨ニ關スル法律案デゴザイマシテ、今回本議會ニ提出致シマシタ臨時軍事費支辨ニ關スル追加豫算額ノ中、七千五百萬圓ハ借入金又ハ公債ニ依ルコト、ナッテ居ルノデアリマス、ソレ故同法律中五億八千萬圓ノ額ヲ增加致シマシテ、六億五千萬圓ト致シタイト云フ案デゴザイマス御審議御協賛ヲ願ヒマス

○議長(奥繁三郎君) 日程第七、右議案ノ審査ヲ付託ス
ベキ委員ノ選舉ヲ議題ニ供シマス

第七 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

○岩崎勲君 本案ハ政府提出朝鮮事業公債法中改正
法律案外四件ノ委員ニ併セテ付託セラレコトヲ望ミマス

〔賛成〕贊成ト呼フ者アリ

○議長(奥繁三郎君) 岩崎君ノ動議ニ御異議ナシト認
メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタリ 日程第八、第九ハ豫
算案ナルガ故、一括議題ト致シマスニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(奥繁三郎君) 御異議ナシト認メマス、仍テ一括
シテ議題ニ供シマス、日程第八、大正十一年度豫算案、日
程第九(第一號)臨時軍事費豫算追加案、此兩案ヲ一括
致シマス

第八 大正十一年度豫算案

第九 (第一號)臨時軍事費豫算追加案

報告書

一大正十一年度歳入歳出總豫算案並大正十一年度
各特別會計歳入歳出豫算案
右ハ本院ニ於テ別紙ノ通修正スヘキモノト議決致候此
段及報告候也

大正十一年二月十日

豫算委員長 田邊 熊一

衆議院議長奥繁三郎殿

(小字及ハ委員會修正)

大正十一年度各特別會計歳入歳出豫算案

甲號

大藏省所管

朝鮮總督府

歳入

臨時部

第六款 前年度剩餘金繰入

第一項 前年度剩餘金繰入

臨時部合計

合計

歳出

臨時部

臨時部

臨時部

第十七款 耕地改良及擴張費

三、四九〇、四〇一

三、六九〇、四〇一

三、六九〇、四〇一

第三項 助 成

臨時部合計

合計

報告書

一豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件
右ハ本院ニ於テ別紙ノ通修正スヘキモノト議決致候此
段及報告候也

大正十一年二月十日

豫算委員長 田邊 熊一

衆議院議長奥繁三郎殿

(ハ委員會修正)

特別會計

大藏省所管

朝鮮總督府

朝鮮土地改良事業會社補助

朝鮮ニ於テ土地改良事業ノ促進ヲ計ル爲一會社
ヲ特設シ之ニ對シ左ノ條件ニ依リ利益配當ノ補給
ヲ爲スノ契約ヲ結フコトヲ得

一會社ハ株式組織トシ資本金ハ貳千萬圓以內タ
ルコト

一會社ノ設立登記ノ日ノ屬スル營業年度ヨリ起
算シ十五箇年ヲ限リ每營業年度ニ於テ定款ノ
定ムル所ニ依リ株主ニ配當スヘキ利益金ヲ拂込
資本額ニ對シ年百分ノ八ノ割合ニ達セサルトキ
ハ之ニ達スル迄ノ金額ノ補給スルコト

一前項ノ補給金額ハ如何ナル場合ト雖株式ノ拂
込資本額ニ對シ年百分ノ八ノ割合ヲ超過セサル
コト

報告書

一(第一號)臨時軍事費豫算追加案
右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告
候也

大正十一年二月十日

豫算委員長 田邊 熊一

衆議院議長奥繁三郎殿

○議長(奥繁三郎君) 向ホ念ノ爲メ一言致シマス、早速
君大口喜六君ヨリ豫算返付ノ動議ガ出テ居リマス、委員長
ノ報告ニ次ギ此動議ノ趣旨辯明ヲ許ス考デス、委員長ノ説
明ヲ求メマス、田邊熊一君

〔田邊熊一君登壇〕

○田邊熊一君 諸君、本員ハ茲ニ議題ニ供セラレマシタ大
正十一年度歳入歳出總豫算案外三案ノ豫算委員會ニ於
ケル審査ノ經過ト其成績ヲ簡明ニ御報告致シタイト存ジ
マス、豫算委員會總會ハ一月二十五日ニ始メ、二月二日ニ
互リマシテ慎重ニ審議致シマシタ、同ジク十日午前ニ各分
科會ノ決定ヲ致シマシテ、同日午後豫算委員會總會ヲ開キ
マシテ、全部之ヲ決定シテ議長ニ報告シタル次第アリマ
ス、大正十一年度豫算案編成ノ方針ニ付キマシテハ、一月二
十一日本豫算案ヲ本會ニ紹介セラレマスル際シテ、大藏
大臣ヨリ詳細ニ説明セラレテ居リマスルガ故ニ、私ハ重複ヲ
避ケンガ爲ニ、成ベク之ヲ省略致シマスルケレドモ、唯大要
ヲ申サネバナラヌト思フデアリマス、歳入歳出各、十四億六
千六百餘萬圓ニシテ、歳入ハ經常部十二億四千四百餘
萬圓、臨時部二億二千二百餘萬圓デアリマス、歳出ハ經常
部九億三千九百餘萬圓、臨時部五億二千六百餘萬圓デ
アリマシテ、之ヲ前年度ノ總豫算ニ比較致シマスレバ、歳入
歳出各、一億一千八百餘萬圓ノ減少デアリマス、右ノ如ク
大正十一年度豫算ハ内外ノ情勢上、自然増収ヲ見込ムコ
トガ出来ナクタ爲ニ、政府ノ努テ政費ノ膨脹ヲ抑制致シマ
シテ、財政ノ基礎ヲ鞏固ニスルガ爲ニ緊急措キ難キモノ、
外ハ、原内閣當時ニ確立致シマシタル積極政策ニ出ル所ノ
既定ノ計畫ヲ遂行スルヲ主ト致シマシテ、其他ノ點ニ付テハ
出来得ル限リ緊縮ノ方針ヲ執ツタデアリマス、即チ既定ノ
方針ニ基ク所ノ積極政策ト致シマシテハ、先ヅ治水事業ノ
遂行、新規港灣ノ計畫、高等諸學校ノ計畫、各種產業政
策、交通通信政策、社會政策等ヲ初メト致シマシテ、各種
ノ積極政策ニ關スル經費ヲ計上致シマシマス、又鐵道特
別會計ニ於キマシテモ、既定ノ積極政策ニ依リマシテ、新ニ
線路建設費ヲ計上サレテ居リマス、其次ニ國防計畫ニ付
キマシテハ、海軍省陸軍省所管ニ於キマシテハ相當ノ經費
ノ節約ヲサレテ、事業ノ繰延ヲ行フテ居ル次第デアリマス、向
ホ大正十一年度歳出豫算ノ重要ナル事項ニ關シマシテハ、
數字ハ繁雜ヲ避クルガ爲ニ之ヲ省略致シマスルガ、議長ノ御
許ヲ得マシテ議事録ニ掲載スルコトニ致シタイト存ジマス、
右御諒承ヲ請ウテ置キマス、豫算委員會ニ於キマスル質疑
應答ハ頗ル多岐多樣ニ互テ居リマス、先ヅ外交問題綱紀肅
正ノ問題、財政政策、物價問題、貿易問題、解禁金出問題
公債計畫、稅制問題軍備縮小問題、食糧問題、昇格問
題鐵道問題、數ヘ來レバ頗ル多クデアリマス、其詳細ハ
速記録ニ依リテ御覽ヲ願イタイト思フデアリマス、茲ニ豫算
ニ關係アル比較的重要ナル事項ト認メマスル質疑ヲ總括的

ニ其概要ヲ述ベヤウト思フノデアリマス、財政政策ニ對シマシテ政府ハ從來積極主義ヲ高唱シタル結果、歲計ハ過大ノ膨脹ヲ見テ居ル爲ニ物價ノ騰貴ヲ來シテ、遂ニ財界ノ大變動ニ際シテ斯ノ如キ非常ナ打撃ヲ受ケタ場合デアアル、此豫算編成ノ根本方針モ消極主義ニ變更セネバナラヌ場合ニ陷タデハナイカ、政府ハ財政計畫ヲ行詰リデアアルカ、行政ノ大整理ヲシテ相當ノ方法ヲ立テル方ガ適當デアリナカト云フ質問ガアリマシタ、之ニ對シテ政府ノ答辯ハ、積極政策ト云フモノハ建設ノ意味デアラテ之ヲ唱道シタルデアアル、數年來歲入見込過大ト云フ非難ガアタケレドモ、之ヲ既往ノ七年度、八年度、九年度ニ依テ見レバ、孰レモ自然增收ヲ續テ、十年度ニ於テハ租稅收入ヲ除クノ外孰レモ增收ノ結果ヲ示シテ居ル、政府ノ豫算編成ノ方針ハ入ルヲ量テ出ヅルヲ制シタルデアアルカラシテ、十年度ノ實況ニ鑑ミテ十一年度ニ於テハ既定計畫ヲ遂行スル以外ニ於テハ、努メ緊縮ノ方針ニ依リタルデアアル、而シテ既定計畫ニハ何等ノ變更ヲ加ヘナイノデアアル、海軍計畫ノ如キモ終局ノ完成ニハ變リガナ、此意味ヲ以テ積極政策ヲ拋棄シタルノデナイト云フコトハ明カデアリナカト云フ答辯ガアリマシタ、尙ホ貿易問題ニ對シマシテハ、海外ノ貿易ハ非常ニ不況ニ陥テ居ル、戰時中開拓シタル所ノ市場ハ悉ク歐米ノ爲ニ蠶蝕セラレテ居ル、商品ノ販路ハ甚シク狹メラレタ思フ、貿易振興ノ方策ハ物價ヲ低落スル外ニハ無イノデアアル、吾々ハ最モ此物價ノ低落ヲ急務ト思フノデアアル、又金ノ輸出禁止ハ兌換率ノ縮小ヲ阻止シテ、隨テ物價ノ低落ヲ妨ゲルデアリナカト云フ質問ガアリマシタ、之ニ對シテ政府ノ答辯ハ、貿易ノ不振ト物價ノ下落シナイノヲ以テ政府ノ責任ト論ゼラレルノハ甚ダ迷惑デアアル、錯雜セル所ノ事情ノ伏在シテ居ル國際貿易ノ上ニ於テハ物價ノミヲ以テ輸出貿易盛衰ノ因トセラレルノニハ洵ニ無理ノ事デアアル、是ハ海外ニ於ケル購買力ガ著シク減退シタルノ原因デアラウト思フ、現ニ米國ノ如キハ多額ノ國庫金ヲ支出シテ、低利資金ノ融通ヲシテ、國內ニハ安價ナル農産物ガ充満シテ居ルケレドモ、歐洲方面ニ之ヲ賣テモ代金取立ノ見込ガナ、如何トモスルコトガ出來ナイ狀態デアアルガ故ニ、日本ノ物價ガ下落シテモ對テ購買力ガ減少シタル以上ハ當局ガ如何ニ焦ツテモ意ノ如クナラヌデアアル、貿易不振ハ獨リ我國ノミデナ、列國皆サウデアアル、是レ國際的ニ信用ガ破壞セラレテ、貿易ノ聯絡ガ絶タレタ結果デアアル、單ニ物價引下ノ一事ヲ以テ曩日ノ貿易ノ振興ヲ恢復スルト云フハ、餘リニ單純ナル考デアリナ、殊ニ我が物價ハ現ニ低落シツ、アルコトハ御覽ノ通りデアアル、又金ノ輸出禁止繼續ハ我が國家經濟ノ信用上、正貨ヲ維持スル必要ガアルガ爲ニ、今日ハ尙ホ之ヲ解禁スル時機デアリナ、

斯ウ云フ答辯デアリマシタ、次ニ歳入減ノ爲ニ國防既定計畫ノ事業ノ一部繰延ヲ斷行シタガ、尙ホ既定計畫ノ遂行ニ關シテ相當多額ノ増加ヲ請求シテ居ルデアリナ、然ラバ十二年度以降繼續費年度割ニ根本ノ改訂ヲ加ヘルコトガ當然デアリナカト云フ質問ガ起リマシタ、之ニ對スル政府ノ答辯ハ、現ニ物價騰貴ニ屬スル超過額ハ、能率増進、工場ノ組織改善等、生産費ノ節約ニ依テ成ベク追加豫算ノ必要ナキヤウニ、極力是ガ節約ニ努メテ居ル、十二年度以降ノ物價騰貴ヲ今日ニ於テ豫想スルコトハ困難ナルガ故ニ、今ハ改訂スルコトガ出來ナイト云フ答辯ガアリマシタ、次ニ減稅問題、曩ニ國防計畫ニ要スル所ノ恆久的財源ヲ得ンガ爲ニ、議會ハ増稅ニ協賛ヲ與ヘタルデアアル、今ヤ華府會議ニ於テ軍備縮小ガ實現シタラバ、政府ハ是ヨリ生ズル財政上ノ餘裕ヲ教育費ヲ治水費等ニ振向ケル由デアアル、臨時議會ヲ召集スルノ意ガアルカドウカ、又國防費ニ餘裕ヲ生ジタルトキハ、國民ノ負擔ヲ輕減スルガ當然ノ事デアリナカト云フ質問ガアリマシタ、之ニ對シテ政府ハ軍備縮小ガ案外早く成立シ、財政上ノ餘裕ヲ生ジタルトキハ速ニ豫算ノ組替ヲ行ヒ、臨時議會ヲ召集シテ其協賛ヲ求ムルノ意デアアル、又軍備制限ニ依テ餘裕ヲ生ジタルトキハ、國家ノ發展上之ヲ文化的施設ニ振向ケルケリ、尙ホ餘裕アリトスレバ減稅ヲスルコトハ勿論辭セザル所デアアル、今ハ之ヲ明言スルコトガ出來ナイ、斯ウ云フ答辯ガアリマシタ、次ニ陸軍縮小ニ關スル質問ガアリマシタ、政府ノ方針ハ現在ノ外形ヲ變更セズシテ單ニ人員ノ一部ヲ減ジ、之ニ代フルニ武器ヲ以テセントスルデアアル、武器ヲ以テセントスト聞クガ、是ハ時代ニ適應セザル姑息ノ改革案デアラテ、我國ガ大陸軍ヲ必要トスル時代ハ既ニ去ツタノデアアル、何故ニ大改革ヲ斷行スルノ勇氣ガナ、イカト云フ質問デアリマス、之ニ對スル政府ノ答辯ハ、我が師團ハ六個師團ヨリ現在ノ二十一個師團ニ達シタノデアアル、是レ我が國情ノ變化ニ應ズル爲ノ擴張デアラテ、今直ニ之ヲ縮小スルコトハ、世界ノ情勢上俄ニ許スコトガ出來ヌノデアアル、國際聯盟ニ於テモ一國ノ安全ヲ保持スルニ必要ナル軍備ハ之ヲ認メテ居ル、華府會議ノ結果四國協約成立シタルト雖モ、戰爭ガ全然廢セラレタト即斷スルコトハ出來ナイ、却テ時勢ノ推移ハ兵員ノ移動ヲ容易ナラシメルカラ、萬一ノ場合ニ必要ナル兵員ハ之ヲ豫メ備フルコトヲ要スルノデアアル、サレバ我が財界ノ現狀ハ兵員ノ此儘ニシテ武器ノ充實ヲ圖ルハ困難デアアルガ故ニ、兵員ノ一部ヲ減ジ、武器ノ充實ヲ圖ラントシテ目下研究中デアアル、又航空隊ハ十一年、十二年度ニ互リマシテ、各二中隊半ヅ、増加ノ計畫ヲシテ居ルデアアル、何レ完成ノ結果更ニ必要ナル新規計畫ヲスルカモ知レヌ、兵役年限短縮ノ事ニ付テ

ハ、各方面ニ及ボス影響ガ頗ル大ナルモノガアリマス故ニ、俄ニ之ヲ決定スルコトハ困難デアアル、尙ホ軍備制限ノ具體的の成案ニ付テハ、陸軍當局ハ誠意ヲ以テ諸君ノ前ニ他日案ヲ作テ提出スルコトヲ云フコトヲ言明サレマシタ、次ニ營業稅問題デアリマス、負擔ノ不公平、徵收手續ノ煩雜ナル、其他種々ノ缺點ガアテ、商工業ノ發達ヲ害スルコトハ申ス迄モナイ事デアアル、政府ハ國庫ニ餘裕ガ生ジタル場合ニ於テ、之ヲ全廢スルコトガ出來ナイカドウカ、斯ウ云フ質問デアリマス、政府ノ答ハ營業稅ハ久シキ間施行シタルデアラテ、尙ホ外國ニハ之ヲ採用シテ居ルノデアアル、今直ニ之ヲ全廢スルコトハ云フコトハドモ致シ難イ所デアアル、併シ缺點ガアタナラバ之ヲ改正スルコトハ勿論同意ヲセナイ譯デアリナ、現ニ政府ハ營業稅其他一切ノ稅制整理ニ付テハ、財政經濟調查會ニ諮ラテ調査中デアアルカラ、其結果ヲ俟テ改善ノ實ヲ舉ゲルニハ躊躇セザルモノデアアル、斯ウ云フ答辯デアアル、次ニ正貨問題、輸入超過ガ年々三四億萬ノ巨額ニ上リマシテ、正貨ガ流出シテ居ル、斯ノ如クシバ我が在外正貨ハ遂ニ皆無ニナリハセヌカト云フコトヲ恐ル、モノデアアル、政府ハ之ニ對シテ如何ナル見解ヲ持ツテ居ラル、カ、之ニ對スル政府ノ答辯ハ、我國ガ外債ヲ有スル以上ハ、之ガ利拂ニ要スル爲ニ正貨ヲ所有シナケレバナラヌノデアアル、貿易上ノ輸入超過ガ一昨年來相當ノ額ニ上リマシタガ、貿易以外ノ受取勘定亦尙カラヌノデアアル、故ニ急激ニ正貨ノ減少スルコトハナイト信ズルト云フ答辯デアアル、次ニ公債政策、十年度ニ於ケル募集殘リノ公債ト、十一年度ニ於ケル新規借替ノ額ヲ併算スレバ約十億ニ達スルノデアリマス、政府ハ斯カル多額ノ公債募集ガ財界ノ現狀ヨリ推シテ、金融市場ヲ壓迫セズシテ成功スル見込ガアルカト云フ質問デアリマス、政府ノ答辯ハ公債ニ付テハ常ニ政府ノ考慮スル所デアアル、約十億圓ノ中、約二億ノ軍事費公債ハ必シモ年度内ニ之ヲ募集スル要ハナ、問題ハ約八億圓ノ募集デアアル、是ハ我が財界ノ狀況ヲ委細ニ研究シテ、十一年度内ニ新規募集、又ハ借替ヲ決行シ得ル十分ノ確信アリト云フ答辯デアリマス、質疑應答ノ概要ハ只今申上デマシタ通りデアリマス、之ヲ要シマスルニ、委員會ニ於ケル質疑ハ即チ其議員ノ本分カラ之ヲ鑑ミテ、我が帝國ノ世界ニ於ケル地位ヲ慮テ、國利民福ノ増進ヲ以テ國運進展ニ資セントスル所ノ議員諸君ノ愛國ノ至情ヨリ出タル質問ト私ハ考ヘテ、深ク敬意ヲ表シタルデアリマス、又政府ノ答辯モ頗ル懇切丁寧ニ胸襟ヲ披イテ、或ハ經綸ヲ説キ、或ハ施設ヲ語リ、外列國ト恆久平和ニ貢獻スルコトヲ期シ、内ハ國民ノ爲ニ安寧福祉ノ増進ヲ圖ルト云フ強イ決心ヲ示サレマシテ、如何ニモ國家ノ重キニ任ズル勇氣アルニ付キマシテハ、私ハ實ニ此上ナイ愉快ニ感ジタノデ

アリマス、各分科會ニ於キマシテハ、大正十一年度豫算案中、唯大正十一年度特別會計ニ於テ一部修正ヲ加ヘタルマデ、アテ、其他ハ全部原案ノ通り確定シタルコトハ御承知ノ通りデアリマス、而シテ其修正ハ御手許ニ廻シテゴザイマスル通り、朝鮮總督府特別會計ニ於ケル朝鮮土地改良事業會補助費二十五萬圓ヲ全部削除シタノデアリマス、隨テソレニ關係スル總テノ分ヲ修正スルニ至ラザルデアリマス、修正ノ理由ハ八年八朱ノ利子ノ補給ヲ以テ果シテ其目的ヲ達シ得ルカドウカ、又一億萬圓ノ債券ヲ發行スル計畫ガ十分ナル成案ガアルカドウカ、又斯ノ如キ事業ヲ民間會社ニ經營セシムルコトハ困難ナル事情ガ伴フデ、到底所期ノ目的ヲ達スルコトガ困難デアラウト云フ三箇ノ理由ニ出デタノデアリマス、隨テ右ノ理由ニ依リマシテ、政府ノ提案ニ賛成スルコトガ出來ナイト云フ意見ガ出マシタ、併ナガラ朝鮮ニ於テハ土地改良ノ計畫ヲ立テル必要アルコトハ論ヲ俟タナイ所デアリマスガ故ニ、政府ハ改メテ之ヲ官營トシテ計畫ヲ立テ、今期議會ニ追加豫算ヲ發シテ協賛ヲ求メラレシコトノ望ミノデアリマス、齊藤總督ハ之ニ答ヘマシテ、原案否決ハ海ニ遺憾ナ事デアル、併ナガラ議會ノ希望アラバ計畫ヲ改メテ官營トシテ、何レ豫算ヲ今議會ニ提出スル考デアルト云フコトヲ申サレマシタ、仍テ右三分科ニ於テハ右ノ如ク修正ヲ加ヘマシテ、他ハ總テ原案ノ通り賛成決定シタ譯デアリマス、右終リマシテ、豫算委員總會ヲ開キマシテ討論ニ入りマシタ憲政會ノ早速整頓君ハ大正十一年度豫算案ハ財政計畫ノ根本ニ付テ缺點ガ頗ル多イノデアルカラ、豫算ノ組替ヲ爲サシメル意味ヲ以テ政府ニ返付スル、但シ其理由ハ本會議ニ於テ十分説明スルト云フ御意見デアリマシタ、又憲政會ノ大口喜六君ハ(笑聲起リ)憲政會ニ非ズト呼フ者アリ(國民黨ノ大口喜六君ハ、財政ノ基礎ヲ鞏固ニセンガ爲ニ、修正ヲ加フベキ箇所ガ頗ル多イ、故ニ是ハ政府ニ編成替ヲ求ムル意味ヲ以テ返付シタイト云フ動議ヲ提出サレマシタ、是亦理由ハ本會議ニ御述ニナルコトニナタノデアリマス、政友會ノ武藤金吉君ハ、第三分科會ニ於テノ修正箇條ニ賛成シ、其他ハ總テ原案通り賛成ノ意ヲ表セラレタノデアリマス、最後ニ庚申俱樂部ノ上田彌兵衛君ハ、武藤君同様ノ意思ヲ述ベラレマシテ、更ニ希望ガアリマシタ、其希望ハ政府ノ原案ニ賛成スルト共ニ、行政整理ヲ行フコト、税制ノ整理ヲ行フコト、營業稅ヲ全廢スルト云フコトノ御希望モアタノデアリマス、右討論ガ終結致シマシテ採決ノ結果、早速整頓君並ニ大口喜六君ノ豫算全部返付ノ動議ハ、少數ニ依テ遺憾ナガラ否決セラレマシテ、武藤金吉君ノ意見、即チ朝鮮總督府特別會計ノ一部

ニ修正ヲ加ヘテ、其他ハ全部政府ノ原案通り大多數ヲ以テ可決シタ譯デアリマス、以上ハ大正十一年度歳入歳出總豫算案外三案ヲ審查シタル豫算委員會ノ經過ノ大要ト決定ノ成績デアリマス、願ハクハ諸君ニ於キマシテモ、速ニ御審議ノ上御協賛ヲ與ヘラレンコトヲ希望スル次第デアリマス

〔參照〕

歳出豫算中重要ナル事項

大正十一年度歳出豫算中新規要求ニ係ルモノ及前年度豫算額ニ比シ増加ヲ要スルモノニ就キ其ノ事項金額ノ重ナルモノヲ擧クレハ左ノ如シ

外務省所管

改正會計法施行ニ伴ヒ要スル經費 二〇、〇〇〇圓
高等留學生派遣費ノ増加 二八、四六五
ニューオールレンス領事館新設ニ關スル經費 八九、〇八二
問島總領事館百草溝分館新設ニ關スル經費 五八、三八九
サンパウロ總領事館ニ職員増加ニ關スル經費 三八、八七九
余任領事館ニ官舎ヲ給與スル爲要スル經費 五五、〇〇〇
國際聯盟理事會ニ關スル經費 六二、五〇〇
外務本省文書庫其他増築費 一〇〇、〇〇〇
東亞同文會事業費補助ノ増加 一三二、九六〇
同仁會事業費補助ノ増加 五〇、〇〇〇
日露協會學校費補助ノ増加 五〇、〇〇〇
在外兒童教育費補助ノ増加 二〇、〇〇〇
在問島鮮人取締費ノ増加 九二、四〇〇
講和條約實施ニ關スル經費 一、四七五、四三四
前年度豫算ニ伴フ月割差増 五三〇、六六四
其ノ他 六八、九六七
計 二、八七〇、七七〇

内務省所管

改正會計法施行ニ伴ヒ要スル經費 四五、〇〇〇圓
地方局ニ都市課設置ニ關スル經費 一七、六〇七
刑事警察鑑識資料設備費 一〇、〇八〇
榮養研究ニ關スル經費ノ増加 七三、八三〇
北海道廳職員充實ニ關スル經費 三二五、七六〇
社會事業ニ關スル地方廳事務處並ニ要スル經費 一四四、二五〇
藥品巡視及賣藥検査ニ關スル經費ノ増加 一五、七五〇
家畜傳染病豫防ニ關スル經費 二一、四四〇
工場監督ニ關スル經費ノ増加 一〇七、二五〇
狩獵取締ニ關スル經費ノ増加 九九、九四〇
關門海峡海底警察電話敷設費補助給 三〇、〇〇〇
治水事業費ノ増加 五、四七七、六五八
總額九、五四八、九九一ヲ既定繼續費ニ追加シ大正十一年度以降十二箇年度間ニ支出スルモノナリ

事務費ノ増加

九頭龍川改修費ノ増加 四二五、三三八
信濃川改修費ノ増加 二四六、八二〇
高梁川改修費ノ増加 一、九〇〇、〇〇〇
吉野川改修費ノ増加 四〇〇、〇〇〇
渡良瀬川改修費ノ増加 八〇〇、〇〇〇
北上川改修費ノ増加 一、〇〇〇、〇〇〇
神通川改修費ノ増加 四五〇、〇〇〇
斐伊川改修費 八〇、〇〇〇
斐伊川附屬物維持費ノ増加 一〇〇、〇〇〇
木曾川附屬物及水路維持費ノ増加 三三、五〇〇
境港修築費 四二〇、〇〇〇
總額一、八〇〇、〇〇〇圓ニシテ大正十一年度以降六箇年度間ノ繼續費ナリ(依託工事費) 二〇〇、〇〇〇
高松港修築費 四一五、〇〇〇
總額二、二〇〇、〇〇〇圓ニシテ大正十一年度以降五箇年度間ノ繼續費ナリ(依託工事費) 一〇〇、〇〇〇
敦賀港修築費 一〇〇、〇〇〇
總額三、四〇〇、〇〇〇圓ニシテ大正十一年度以降八箇年度間ノ繼續費ナリ 三七四、〇〇〇
新潟港修築費ノ追加 三、七四〇、〇〇〇
總額一、三二二、一〇七圓ヲ既定繼續費ニ追加シ大正十一年度以降三箇年度間ニ支出スルモノナリ(依託工事費) 三〇〇、〇〇〇
長崎港修築費ノ追加 三〇〇、〇〇〇
總額九〇〇、〇〇〇圓ヲ既定繼續費ニ追加シ大正十一年度以降三箇年度間ニ支出スルモノナリ(依託工事費) 二〇五、〇〇〇
清水港修築費ノ追加 二〇五、〇〇〇
總額六七七、〇〇〇圓ヲ既定繼續費ニ追加シ大正十一年度以降四箇年度間ニ支出スルモノナリ(依託工事費) 六三六、九八六
北海道拓殖費ノ増加 二二七、〇〇〇
大阪府知事以下官舎新營費 七六、一九四
神宮別宮創建費ノ追加 七六、一九四
總額九八、四〇六圓ヲ既定繼續費ニ追加シ大正十一年度以降二箇年度間ニ支出スルモノナリ 三三、一七七
神宮式年御造營事業進行ニ伴フ事務費ノ増加 五〇〇、〇〇〇
吉野神宮修築並境内整理費 三三、一七七
總額五〇〇、〇〇〇圓ニシテ大正十一年度以降四箇年度間ノ繼續費ナリ 六三、〇〇〇
三島神社修築費 三、八二九、〇四〇
既定年割額ノ増加 二八、二四三
前年度豫算ニ伴フ月割差増 三、三一八、五五
其ノ他 一六、三六六、〇六〇
計 八二〇、〇〇〇圓
改正會計法施行ニ伴ヒ要スル經費 二、五二八、八三六
國勢院國際統計課新設ニ關スル經費 一一、〇〇〇

税關配當金ノ増加
一七、〇九〇
織物組合交付金ノ増加
一六、〇〇〇
市町村交付金ノ増加
六五、〇七八五
國債整理基金繰入ノ増加
一〇、六三五、二八五
議院建築費ノ追加
一、三〇〇、〇〇〇
既定繼續費ニ追加シ大正十一年度ニ於テ支出スルモノナリ
一、二九、九五〇
横濱税關棧橋改築費
二、九〇、〇〇〇
總額二五九、九〇〇圓ニシテ大正十一年度以降二箇年度間
ノ繼續費ナリ

大藏本省廳舍其他増築費
一、二五、〇〇〇
總額二五〇、〇〇〇圓ニシテ大正十一年度以降二箇年度間
ノ繼續費ナリ
鹽專賣倉庫新營費
一五〇、〇〇〇
貴族院及衆議院廳舍其他修築費
一〇〇、八五〇
稅務署廳舍其他新營費
三〇〇、〇〇〇
專賣局工場擴張費
一〇〇、〇〇〇
專賣局機械製造工場新營費
四九八、二〇七
朝鮮總督府經費補充金ノ増加
九一七、八二五
關東廳經費補充金ノ増加
三〇〇、〇〇〇
樺太廳經費補充金ノ増加
三三〇、〇〇〇
南洋廳經費補充金ノ増加
三、〇〇〇、〇〇〇
國有財産整理費ノ増加
四七五、三〇〇
會計検査院敷地整理費
八二、〇〇〇
既定年割額ノ増加
七〇二、一〇三
前年度豫算ニ伴フ月割差増
一、二六四、二五三
其ノ他
二五、一八九、一四五

計 陸軍省所管

下士候補者ノ教育制度廢止ノ爲要スル經費
九三、七二四圓
自動車修業員増加ノ爲要スル經費
五五、二七六
軍醫學校ニ於テ職員増加ノ爲要スル經費
五九、〇六〇
各隊無線電信通信ノ教育ニ要スル基幹員養生
等ニ要スル經費
一〇二、五三五
野戰砲兵、重砲兵兩射擊學校ニ於テ無線電信
通信ノ教育ヲ行フ爲要スル經費
七四、八二〇
朝鮮國境守備隊配置變更ニ伴ヒ要スル經費、一三八三、八八三
朝鮮國境守備憲兵隊ノ減員ニ伴ヒ要スル經費ナリ
一年志願兵及幼年學校自費生諸費ノ増加
六〇五、七六〇
改正會計法施行ニ伴ヒ要スル經費
二五、〇〇〇
物價騰貴ニヨル衣糧費、兵器及馬匹費等ノ増加
六、一八九七、〇五五
豫定計畫ニ依ル年割額ノ増加
一五、六〇二、〇七四
土地建造物整理費
二、九四〇、〇〇〇
總額五、三二〇、〇〇〇圓ニシテ大正十一年度以降三箇年度
間ノ繼續費ナリ
青山小銃射擊場移轉改築費
一、二〇〇、〇〇〇

糧秣廠本所秣倉庫移轉改築費
七〇〇、〇〇〇
東京第一衛戍病院及戶山學校移轉改築費
一〇四、〇〇〇
舊營舍倉庫蟻害其他修築費
一〇〇、〇〇〇
朝鮮國境守備隊營舍其他新増築費
七〇〇、〇〇〇
種馬所及種馬牧場其他建物新増築及改修費
一〇〇、〇〇〇
青島守備軍民政部費
二〇、七二五、一七八
其ノ他
一、二〇五、三二九
計
四九、三三九、六九四

計 海軍省所管

改正會計法施行ニ伴ヒ要スル經費
二〇、五八一圓
既定經畫ニ基ク新艦船ノ維持費
一〇、〇〇〇、〇〇〇
既定經畫ニ基ク航空隊豫定年割額ノ増加
一、三〇〇、四七〇
既定經畫ニ基ク艦載飛行機整備ニ要スル經費
四五〇、〇〇〇
物價騰貴ニヨル軍艦製造費ノ追加
八六、〇〇四、四三〇
一箇年度限り追加スルモノナリ
艦船特定修理費
一、五〇〇、〇〇〇
艦船臨時製造費ノ追加
五〇〇、〇〇〇
艦船無線電信機改裝費
九〇〇、〇〇〇
準備軍需品臨時充實費ノ追加
五、〇〇〇、〇〇〇
二年度限り追加スルモノナリ
陸軍省委託兵器製造費
一、一七、五四〇
大演習費
五〇七八、二一四
臨時兵器補充費
一、三〇四、〇〇〇
平壤鎮業所移管費
八〇〇、〇〇〇
其ノ他
二、六一七、五一三
計
一一六、五九二、七四八

計 司法省所管

少年法及矯正院法施行ニ關スル經費
五六六、九二八圓
臨時部建築費總額四六、八〇〇圓ニシテ大正十一年度ニ
於テ支出スルモノナリ
借地借家調停法制定施行ニ關スル經費
九二、四八八
改正會計法施行ニ伴ヒ要スル經費
二〇、〇〇〇
改正供託法施行ニ伴ヒ要スル經費
五五四、一四二
區裁判所出張所設置ニ關スル經費
一二五、六〇〇
監獄職員俸給豫算増額ノ爲要スル經費
四八、四八〇
監獄作業ノ授業手及機關手優遇ニ關スル經費
一七、三四〇
刑事訴訟費用法ノ制定ニ伴フ裁判及登記諸費
一三八、二八四
増加
一五、〇〇〇
岐阜監獄建築費
一五〇、〇〇〇
總額五五〇、〇〇〇圓ニシテ大正十一年度以降五箇年度間
ノ繼續費ナリ
函館監獄建築費
二四〇、〇〇〇
總額七〇〇、〇〇〇圓ニシテ大正十一年度以降五箇年度間
ノ繼續費ナリ

宇都宮監獄建築費
一〇四、〇〇〇
總額四〇〇、〇〇〇圓ニシテ大正十一年度以降三箇年度間
ノ繼續費ナリ
京都監獄物置監獄建築費
六〇〇、〇〇〇
總額八〇〇、〇〇〇圓ニシテ大正十一年度以降二箇年度間ノ
繼續費ナリ
佐賀監獄建築費
一三四、〇〇〇
總額三五〇、〇〇〇圓ニシテ大正十一年度以降三箇年度間
ノ繼續費ナリ
宮城控訴院仙臺地方裁判所區裁判所建築費追
加
一六〇、〇〇〇
總額一六〇、〇〇〇圓ヲ 既定繼續費ニ追加シ大正十一年度
ニ於テ支出スルモノナリ
松山監獄建築費追加
六〇〇、〇〇〇
總額五〇〇、〇〇〇圓ヲ 既定繼續費ニ追加シ大正十一年度ニ
於テ支出スルモノナリ
宮城監獄長期監獄建築費追加
六〇〇、〇〇〇
總額六〇〇、〇〇〇圓ヲ 既定繼續費ニ追加シ大正十一年度ニ
於テ支出スルモノナリ
其ノ他
二、三三、九三六
計
二、七五五、一九八

計 文部省所管

改正會計法施行ニ伴ヒ要スル經費
二〇、〇〇〇圓
學術紀要編輯配付ニ要スル經費
三五、〇〇〇
一年現役服役教員俸給國庫負擔額ノ増加
一七四、三〇〇
中等教員ノ養成並檢定ニ要スル經費
一八三、三〇〇
氣象技術員養成及海洋氣象臺事業進捗ニ伴フ
經費
三九、〇〇〇
齒科醫師及藥劑師受験者増加ニ伴フ經費
一二五、一四二
學制頒布五十年紀念事業ニ要スル經費
五〇、〇〇〇
神戸高等商船學校護岸工事費
一二七、一五五
神戸高等商船學校寄宿舎新營費
一三五、〇〇〇
直轄學校々々改築費
一〇〇、〇〇〇
既定計畫ニヨル學校創立及學科増設等ニ要ス
ル經費
一四九八、四六五
高等諸學校創設及擴張ニ伴フ學年進行及開校
準備ニ要スル經費
一六六四、三一五
大學及學校圖書館書記其他俸給平均額増加ニ
要スル經費
一四六、〇八〇
豫定計畫ニ依ル航空研究所擴張ニ伴フ經費
一二〇、〇〇〇
豫定計畫ニ依ル東京天文臺擴張ニ要スル經費
一五、〇五五
京都帝國大學理學部附屬植物園經營ニ要スル
經費
八〇、一一〇
東北帝國大學鐵鋼研究所擴張ニ關スル經費
一二〇、〇〇〇
臨時部總額二四〇、〇〇〇圓ニシテ大正十一年度以降三箇
年度間ニ支出スルモノナリ

物價騰貴ニ依ル學校創立費ノ追加
物價騰貴ニ依ル各帝國大學既定繼續費ノ追加
二件ノ臨時政府支出金ノ増加
東京帝國大學工學部擴張費
京都帝國大學工學部擴張費
東北帝國大學工學部創立費
東北帝國大學理學部地質學科教室新營費
九州帝國大學農學部創立費
九州帝國大學工學部造船學科新設費
北海道帝國大學醫學部創立費
既定年割額ノ増加
其ノ他

鹿兒島縣各離島航海補助ノ増
宜昌重慶線航行補助
大正十一年度一〇〇、〇〇〇圓大正十二年度以降四箇年間
毎年度二〇〇、〇〇〇圓ヲ補助スルモノナリ
長崎縣五島航海補助
長崎縣五島航海補助
兵庫縣淡路國航海補助
白銅貨改鑄ニ伴フ自働電話機改造費
電氣試驗所大阪出張所設備擴張ニ要スル經費
既定年割額ノ増加
前年度豫算ニ伴フ月割差増
其ノ他

狩獵取締及鳥獸調査ニ關スル經費
家畜傳染病豫防ニ關スル經費
改正會計法施行ニ伴ヒ要スル經費
新伐作業ニ關スル經費ノ増加
間伐木調査ニ關スル經費
造林事業ニ關スル經費ノ増加
獸疫血清類ノ製造増加等ニ關スル經費
大阪工業試驗所事業擴張ニ關スル經費
穀類検査事業ノ改善ニ關スル經費
綿羊飼育獎勵ニ關スル經費ノ増加
開墾獎勵費ノ増加
工業獎勵費ノ増加
製鐵業獎勵費ノ増加
臨時室業研究所設備擴張ニ關スル經費
治水事業費ノ増加
公有林野官行造林費ノ増加
伯刺西爾國獨立百年紀念內國博覽會參同費
既定年割額ノ増加
前年度豫算ニ伴フ月割差増
其ノ他

○議長(與繁三郎君) 早速整爾君
○早速整爾君登壇
(早速整爾君登壇)
○早速整爾君 諸君、私ハ豫算返付ノ動議ヲ提出致シマ
シタ、茲ニ其理由ヲ說明致シタト思フノデアリマス長イ間
現政府ハ放漫ナル政策ヲ續ケテ、所謂成金振ヲ發揮シ來
リマシタル結果、我が財政ハ著シク紊亂ヲシ、其基礎ハ益
薄弱トナリ、眞ニ行詰リノ窮境ニ陥リ居ルノデアリマス、斯
カル窮境ニ陥ラザラシメシガ爲ニ、吾々ハ從來屢、口ヲ極メ
テ政府ノ反省ヲ促シタノデアアル、第四十一議會以來毎回
毎ニ引續イテ吾々ハ政府ニ向テ、此財政上ノ根本整理ヲ
責メテ參ツタ、當初ハ内閣ノ成立日尙ホ淺カリシガ爲ニ、藉
スニ時日ヲ以テシ、政府ノ豫算ノ原案ヲ通過セシメタノデ
ゴザイマスルガ、同時ニ吾々ハ政府ニ向テ根本ノ整理ヲ行
フベシトノ一大警告ヲ與ヘタノデアリマス、尋デ第四十二
議會ニ於テモ、第四十三議會ニ於テモ、吾々ハ豫算ニ向テ
ハ多少ノ修正ヲ加ヘタノデアリマス、其ノ整理ハ之
ヲ政府ノ責任ニ懸ヘテ、善意ノ忠告ヲ致シタノデアリマス、然
ルニ政府ハ全ク吾々ノ言ニ耳ヲ藉サズ、少シモ反省
スル所ナクシテ、依然放漫ノ政策ヲ續ケテ來タノデアアル、是
ニ於テ、昨年第四十四議會ニ於キマシテハ、吾々ハ豫算返
付ノ動議ヲ提出致シテ、政府ニ向テ根本ヨリ豫算ノ編成
替ヲ求メタノデアアル、然ルニ政府ハ相變ラズ吾人ノ言フ所ニ
耳ヲ傾ケズ、少シモ財政上ノ整理ヲ行フト云フ誠意ヲ示サ
ズシテ、今日ニ至ルマデ唯姑息彌縫ノ小刀細工ヲ施シテ居
ルニ止マテ居ルノデアアル、今ヤ時代ノ要求モ亦急轉シ來、タ
モノガアリマスニ於テ、今日ニ於テハ最早姑息ノ計畫ヲ計ス
ノ餘地ハゴザイマセヌ、斷然財政上ノ大改革ヲ行ハナレバ
ナラヌ時期ニ迫リ居ルノデアリマス、是ハ豫算ニ對ス
ル區々タル修正ヲ以テシテハ、其目的ヲ達スルコトハ出來ナ
イ、私ガ言フマデモゴザイマセヌ、行政財政ノ根本整理ヲ行

ハンガ爲ニハ、諸般ノ制度ノ上ニモ改革ヲ加ヘナレバナラ
ヌ、法律命令ノ改廢ヲ要スルモノモ多クアル、特ニ憲法第
六十七條ノ規定モアリマシテ、既定ノ歳出ニ屬スル經費ハ
自由ニ動かスコトが出来ナイ爲ニ、其根本整理ノ目的ヲ達
スル爲ニハ、唯豫算ノ修正ヲ以テ之ヲ果スコトが出来ナイノ
デアリマス、而モ其目的ヲ果サナレバナラヌ必要ハ、洵ニ急
ニ迫リ居ルノデアリマス、吾々ハ更ニ茲ニ此豫算ヲ返
付シテ根本ヨリ、其編成替ヲ爲スベシト云フ要求ヲ致スノ
デアアル、豫算返付ト云ヘルコトハ、蓋シ已ムヲ得ザルニ出タル
モノノデアルト云フコトヲ御諒承ヲ願ヒタイノデアリマス、大正
十一年度ノ豫算ノ總額ハ歳出歳入共二十四億六千六百
萬餘圓デアリマス、之ヲ前年度ノ豫算ニ比較致シマセバ、一
億一千八百萬圓ノ減少ト相成リ居リマス、前年度即チ大
正十年度ノ豫算ハ、日本開國以來ノ大豫算ト稱セラル、
未ダ會テ見ザル巨額ノ數字ヲ示シタル大豫算デアアル、十五
億八千萬圓ト云フ洵ニ一億八千萬圓ノ減少トナリ居ルノデア
リマス、其所ガ即チ政府ノ方針ガ一變シタルデアルト稱セラ
ル、トコロデアアル、政府モ亦自ラ此事ヲ言明致シテ居ルノデ
アル、總理大臣ノ施政方針ノ御演說中ニ「大正十一年度
ノ財政計畫ニ付テハ、經濟界ノ實狀ニ顧ミマシテ緊急差措
キ難キモノ、外ハ節約緊縮ヲ旨トシ、以テ財政ノ基礎ヲ鞏
固ニスル方針ヲ執リマシタクレドモ」云々、是ハ總理大臣ト
シテノ緊縮方針ヲ執ルニ至ツタト云フ御言明デアアル、又大藏
大臣トシテモ一月二十一日當院ニ於テ「御演說中ニ「政
府ハ努テ政策ノ膨脹ヲ抑制シ財政ノ基礎ヲ鞏固ニスル方
趣旨トシテ」云々、斯ウ云フ御演說ニナリテ居ル、即チ方針ヲ
一變ヲシタト云フコトハ政府自ラモ茲ニ立派ニ言明ニナリ
居ルノデアリマス、成程從來久シク放漫政治ヲ執リテ豫算ノ
膨脹ヲ顧ミナカッタ所ノ政府ガ、今日ニ至リテハ一變シタモノ
ハ相違ナイノデアリマス、併シ抑、是ハ何事ヲ語リテ居ルノデ
アリマセウカ、從來政府ノ執來タル所謂積極方針ナルモノ
ハ、唯徒ニ經費ヲ膨脹セシムルコトデアッタ、勢ニ乘ジテ無謀
ニ行政上ノ組織機關ヲ擴張シ、無算當ニ經費ヲ増加セシ
ムルコトデアッタ、大正七年度ノ豫算ノ總額ハ八億二千萬
圓ニ過ギナカッタノデアリマス、之ガ大正八年度ニ至リテハ十
億六千四百萬圓ト膨脹シテ參ツタ、更ニ大正九年度ニ至リ
テハ十三億三千萬圓ト云フ巨額ノ數字ヲ示スニ至ツタ、續
イテ大正十年度ニ至リマシテハ、十五億八千萬圓ト云フ驚
クヘキ巨額ノ數字ヲ計上セラル、コトニ相成リ居ルノデアリマ
ス、内閣ノ方々ハ能ク世界ノ大勢ト云フコトヲ口ニセラル、
ノデアリマス、世界ノ各國ハ何レモ戰時中ニ膨脹シタル財

前年度施設長距離無線電信受信局維持費
電話事業擴張ニ伴フ維持費
電信擴張及改良ニ伴フ維持費
現業局浴場設備ニ關スル經費ノ増
船舶用品試驗裝置ノ整備ニ伴フ經費
船舶職員試驗事務増加ニ伴フ増員費
電氣計器檢定事務増加ニ伴フ經費
會計事務實地檢査ニ要スル經費
改正會計法施行ニ伴ヒ要スル經費
恩給ノ増加

○議長(與繁三郎君) 早速整爾君
○早速整爾君登壇
(早速整爾君登壇)
○早速整爾君 諸君、私ハ豫算返付ノ動議ヲ提出致シマ
シタ、茲ニ其理由ヲ說明致シタト思フノデアリマス長イ間
現政府ハ放漫ナル政策ヲ續ケテ、所謂成金振ヲ發揮シ來
リマシタル結果、我が財政ハ著シク紊亂ヲシ、其基礎ハ益
薄弱トナリ、眞ニ行詰リノ窮境ニ陥リ居ルノデアリマス、斯
カル窮境ニ陥ラザラシメシガ爲ニ、吾々ハ從來屢、口ヲ極メ
テ政府ノ反省ヲ促シタノデアアル、第四十一議會以來毎回
毎ニ引續イテ吾々ハ政府ニ向テ、此財政上ノ根本整理ヲ
責メテ參ツタ、當初ハ内閣ノ成立日尙ホ淺カリシガ爲ニ、藉
スニ時日ヲ以テシ、政府ノ豫算ノ原案ヲ通過セシメタノデ
ゴザイマスルガ、同時ニ吾々ハ政府ニ向テ根本ノ整理ヲ行
フベシトノ一大警告ヲ與ヘタノデアリマス、尋デ第四十二
議會ニ於テモ、第四十三議會ニ於テモ、吾々ハ豫算ニ向テ
ハ多少ノ修正ヲ加ヘタノデアリマス、其ノ整理ハ之
ヲ政府ノ責任ニ懸ヘテ、善意ノ忠告ヲ致シタノデアリマス、然
ルニ政府ハ全ク吾々ノ言ニ耳ヲ藉サズ、少シモ反省
スル所ナクシテ、依然放漫ノ政策ヲ續ケテ來タノデアアル、是
ニ於テ、昨年第四十四議會ニ於キマシテハ、吾々ハ豫算返
付ノ動議ヲ提出致シテ、政府ニ向テ根本ヨリ豫算ノ編成
替ヲ求メタノデアアル、然ルニ政府ハ相變ラズ吾人ノ言フ所ニ
耳ヲ傾ケズ、少シモ財政上ノ整理ヲ行フト云フ誠意ヲ示サ
ズシテ、今日ニ至ルマデ唯姑息彌縫ノ小刀細工ヲ施シテ居
ルニ止マテ居ルノデアアル、今ヤ時代ノ要求モ亦急轉シ來、タ
モノガアリマスニ於テ、今日ニ於テハ最早姑息ノ計畫ヲ計ス
ノ餘地ハゴザイマセヌ、斷然財政上ノ大改革ヲ行ハナレバ
ナラヌ時期ニ迫リ居ルノデアリマス、是ハ豫算ニ對ス
ル區々タル修正ヲ以テシテハ、其目的ヲ達スルコトハ出來ナ
イ、私ガ言フマデモゴザイマセヌ、行政財政ノ根本整理ヲ行

ハンガ爲ニハ、諸般ノ制度ノ上ニモ改革ヲ加ヘナレバナラ
ヌ、法律命令ノ改廢ヲ要スルモノモ多クアル、特ニ憲法第
六十七條ノ規定モアリマシテ、既定ノ歳出ニ屬スル經費ハ
自由ニ動かスコトが出来ナイ爲ニ、其根本整理ノ目的ヲ達
スル爲ニハ、唯豫算ノ修正ヲ以テ之ヲ果スコトが出来ナイノ
デアリマス、而モ其目的ヲ果サナレバナラヌ必要ハ、洵ニ急
ニ迫リ居ルノデアリマス、吾々ハ更ニ茲ニ此豫算ヲ返
付シテ根本ヨリ、其編成替ヲ爲スベシト云フ要求ヲ致スノ
デアアル、豫算返付ト云ヘルコトハ、蓋シ已ムヲ得ザルニ出タル
モノノデアルト云フコトヲ御諒承ヲ願ヒタイノデアリマス、大正
十一年度ノ豫算ノ總額ハ歳出歳入共二十四億六千六百
萬餘圓デアリマス、之ヲ前年度ノ豫算ニ比較致シマセバ、一
億一千八百萬圓ノ減少ト相成リ居リマス、前年度即チ大
正十年度ノ豫算ハ、日本開國以來ノ大豫算ト稱セラル、
未ダ會テ見ザル巨額ノ數字ヲ示シタル大豫算デアアル、十五
億八千萬圓ト云フ洵ニ一億八千萬圓ノ減少トナリ居ルノデア
リマス、其所ガ即チ政府ノ方針ガ一變シタルデアルト稱セラ
ル、トコロデアアル、政府モ亦自ラ此事ヲ言明致シテ居ルノデ
アル、總理大臣ノ施政方針ノ御演說中ニ「大正十一年度
ノ財政計畫ニ付テハ、經濟界ノ實狀ニ顧ミマシテ緊急差措
キ難キモノ、外ハ節約緊縮ヲ旨トシ、以テ財政ノ基礎ヲ鞏
固ニスル方針ヲ執リマシタクレドモ」云々、是ハ總理大臣ト
シテノ緊縮方針ヲ執ルニ至ツタト云フ御言明デアアル、又大藏
大臣トシテモ一月二十一日當院ニ於テ「御演說中ニ「政
府ハ努テ政策ノ膨脹ヲ抑制シ財政ノ基礎ヲ鞏固ニスル方
趣旨トシテ」云々、斯ウ云フ御演說ニナリテ居ル、即チ方針ヲ
一變ヲシタト云フコトハ政府自ラモ茲ニ立派ニ言明ニナリ
居ルノデアリマス、成程從來久シク放漫政治ヲ執リテ豫算ノ
膨脹ヲ顧ミナカッタ所ノ政府ガ、今日ニ至リテハ一變シタモノ
ハ相違ナイノデアリマス、併シ抑、是ハ何事ヲ語リテ居ルノデ
アリマセウカ、從來政府ノ執來タル所謂積極方針ナルモノ
ハ、唯徒ニ經費ヲ膨脹セシムルコトデアッタ、勢ニ乘ジテ無謀
ニ行政上ノ組織機關ヲ擴張シ、無算當ニ經費ヲ増加セシ
ムルコトデアッタ、大正七年度ノ豫算ノ總額ハ八億二千萬
圓ニ過ギナカッタノデアリマス、之ガ大正八年度ニ至リテハ十
億六千四百萬圓ト膨脹シテ參ツタ、更ニ大正九年度ニ至リ
テハ十三億三千萬圓ト云フ巨額ノ數字ヲ示スニ至ツタ、續
イテ大正十年度ニ至リマシテハ、十五億八千萬圓ト云フ驚
クヘキ巨額ノ數字ヲ計上セラル、コトニ相成リ居ルノデアリマ
ス、内閣ノ方々ハ能ク世界ノ大勢ト云フコトヲ口ニセラル、
ノデアリマス、世界ノ各國ハ何レモ戰時中ニ膨脹シタル財

政ヲ戰後ニ至テハ著シク緊縮セシメテ居ル、然ルニ我日
本ノ政府ハ戰後ニ至テハ、財政ヲ膨脹セシメルト云フヤリ
口ヲ執テ來タノデアリマス、世界ノ列強ノ爲ス所トハ全ク
反對ノ方向ニ進シテ參タクデアル、總理大臣ハ一月二十
二日ニ當院ニ於テ述ベテ言ハル、ノニ、財政ハ執レモ國民
ノ租稅ヲ取テ使フノデアルカラ、必ズ剩ス必要ハナシ、之ガ
總理大臣ガ豫算ノ膨脹ヲ辯明セラル、所ノ御言葉デアル
宵越ノ金ハ使ハナシト云フヤリ、一寸勇肌ノ氣概モ見エ
ノデアリマス、所謂成金根性ト云フモノガ躍如シテ此言
葉ノ裡ニ現レテ居ル、剩ス必要ガナシカラ何デモ使テシマ
ト解釋ヲシナケレバナラヌ、一國ノ財政ガ斯様ナ目先キノ計
畫デ安排セラル、ト云フコトニナリマシテハ、之ガ即チ多大
ノ害毒ヲ將來ニ貽スコト、ナルノデアル(拍手)政府ノ說明
ハ何レモ此精神カラ發揮セラレタ、景氣ノ好イ時ハ景氣ガ
好イカラ財政ガ膨脹シテモ宜シ、幾ラ財政ガ膨脹シテモ
少シモ差支ハ無イト言ハル、大藏大臣ノ御言葉ヲ屢、承
テ居ル、歲出ガ殖エレバ歲入モ殖エ、是ハ屢、大藏大臣ガ
說明セラレタ言葉デアリマス、景氣ガ好イ時ニハ或ハ左様ナ
事實ヲ實際ニ見ルコトガ出來タデアリマセウ、景氣ガ好
テモ惡クモ、向ホ大藏大臣ハ其言葉ヲ重ネテ居ラル、
デアリマス、何レノ時モ經濟社會ノ上景氣ト云フコトニ醉
テ居ル、何時マデ經テモ此醉ガ醒メナシト云フコト此内
閣ノ大藏大臣ノ頭デアルト私ハ思フ、歲入ガ増加ス
ルカラ歲出ハ膨脹シテモ差支ガナシ、之ガ全ク所謂成金
生活ノヤリ方デアルト謂ハナケレバナラヌデアリマス、
(拍手)斯ウ云フ放漫ナル精神カラ割出サレタ放漫ナル
政策ノ下ニ立テ居ル財政デアリマス、之ガ我ガ經濟社
會ニ向テ非常ナル惡影響ヲ與ヘテ居ル——憂フベキ惡
影響ヲ與ヘテ居ル、經濟社會ハ端ナク此所謂政府ノ積極
方針ナル放漫政策ノ下ニ上ツ調子ニ導カレテ、所謂事業ノ
激進トナリ、虛業ノ獎勵トナリ、一方物價ノ騰貴ヲ促ス事
トモナリ、投機思惑ノ煽揚トナリ、經濟社會ノ景氣ヲ唯、一
時ノ空景氣ニ導クト云フヤリナ傾キガ滿チテ參ッテ、一般
ニ輕佻浮華ノ氣風ヲ充實セシムルニ至ッ、ハ即チ之ガ爲
デアル(拍手)全ク現内閣ハ此一時ノ空景氣ヲ迎ヘテ將來
ニ害毒ヲ貽スト云フコトヲ顧ミズ、唯意氣揚々トシテ所謂
積極方針ヲ振廻ハシテオ井デニナクノデアリマス、一昨年ノ
三月俄然我が經濟界ニ一大變動ヲ起シテ非常ナ打撃ヲ
與ヘルコトニナタ、ソレデモ政府ハ向ホ澄シ込シテ放漫政
策ヲ改メントハシナイ、口ヲ開ケバ即チ曰ク、經濟社會ノ不
況ハ是ハ一時ノ現象デアアル、回復ノ期近キニ在リ、實際ハ
政府ノ此言葉ヲ裏切テ居ルニモ拘ラズ、ソレデモ政府ハ自
ラ此放漫政策ヲ改メルコトニハ御氣ガ付カナカッタデアアル、

吾ニカ履、政府ニ反省ヲ促シタニ拘ラズ、一向反省スル所
ガ無カラト云フコトハ、事實ニ於テ明ニ分シテ居ルデアリ
マセウ、丁度一年前當議會ニ於テ豫算ヲ審議スルニ當リ
マシテ、政府ノ當局者ハ果シテ如何ナル態度ヲ執ッ、吾
吾ガ此財政計畫ノ無謀ナルコトヲ指摘シテ政府ノ反省ヲ
促ス毎、其歲入豫算ハ頗ル杜撰デアルト云フコトヲ詳ニ
說イタ場合ニ當リ、大藏大臣ハ果シテ如何ナル言ヲ爲シタ
カ、私ハ繰返シテ此大藏大臣ノ言葉ヲ茲ニ申述ベルコトヲ
禁ズルコトガ出來ナイノデアリマス、大藏大臣ハ昨年ノ豫算
會議ノ當時長イ事ヲ辯ジテ居ラレマス、其一箇ヲ拔
クト「遠キ將來ノ事マデハ豫言シ難イケレドモ、少クモ十
年豫算ノ編成ニ際シテ、所謂行詰リノ窮境ニ陥ルガ如キコ
トハ斷ジテ無イト確信スル」斯ウ言ッテ居ラル、ソレカラ其
ニハ「何ニ對シテ政府ガ此見込ヲ立テ、居ルカト言ヘバ、自
然增收ト云フモノガアルノデス、十一年度ノ豫算ヲ立テ
付テハ決シテ、政府ハ決シテ狼狽スルガ如キコトハナシ、諸君
ハサウ歲入ハナカラウナカラウト言、タモノガ、中々增收ガ若
ルノダ」洵ニ樂觀ヲ極メタ御言葉デアアル、ソレカラ此自然増
收ト云フコトニ付テ、特ニ大藏大臣ガ言ハレタ言葉ヲ茲ニ御
披露シナケレバナラヌ、斯ウ御述ニナシテ居ル、政府ニ於キマシ
テハ如何ニシテ此歲入ヲ見積ルノコト云フ、諸君ノ如ク達
觀的ニ之ヲ見積ルノデアハナシ、全國ニ在ル所ノ稅務署ニ就
テ時々ノ狀況、財界ノ狀況ニ依テ其徵收ノ成績等ニ鑑ミ
テ報告書ヲ徵シテ居ルノデアラシテ、一々其積目ニ付テ
徵收スル高ヲ豫算スル基礎ガチヤラシテ、居ル、徵頭徹尾
政府ノ財政計畫ト云フモノガ、何處マデモ確實デアルガ如
ク辯ジテ居ラルノデアリマス、是ガ一年前ノ大藏大臣ノ御
言葉デアアル、然ルニ實際ニ於テハ果シテ如何デアリマスカ事
實ハ全ク此大藏大臣ノ御言葉ヲ裏切テ居ルデアリマス、本
年ニ至テハ一月二十二日ノ本會議ニ於キマシテモ、大藏
大臣ハ豫算ヲ紹介スル演說中ニ述ベテ居ラル、是ハ大藏
大臣自ラノ御言葉デアアル、大正十年度ニ於ケル歲計ノ概計
ニ付テ云々、歲入ノ狀況ハ遺憾ナガラ良好トハ申サレマセ
ヌ、大正十年度ノ歲入ノ狀況ハ良好デアリト云フコトハ同
ジ様ニ大藏大臣ノ口カラ出タ御言葉デアリマス、尤モ是ハ豫
算委員會ニ於テ、唯大正九年度ノ歲入ニ比較シタマデノコ
トヲ辯解シテ居ラル、デゴザイマス、一班ヲ推シテ全豹
ヲ知ルコトガ出來ル、政府ノ收入見込額ト云フモノニ依ッ
見マスレバ、大正十年度ノ收入見込額ハ豫算ニ比シテ所得稅
ガ六千八百六十萬圓ノ減少トナリ、居ルデアリマス、租稅ノ
大宗タル所得稅ガ六千八百六十萬圓ノ減少トナリ、居ル
デアリマス、又兌換銀行券發行稅ガ百四十餘萬圓ノ減少
印紙收入ガ八百二十餘萬圓ノ減少ニナリテ居ル、ソレカラ

官業並ニ官有財產ノ收入ノ中デハ、郵便電信及電話收入
是ハ二千九百九十餘萬圓ノ減少トナリ、テ現レテ來テ居ル、又
製鐵：(高橋ドウダ)「顔色ナシ」ト呼フ者アリ」ソレカ
ラ……
○議長(奥繁三郎君) 三木君注意シマス、凡ソ議會ニ於
テ人ヲ呼スルコトハ無禮デアリマス、注意シマス
○早速整爾君(續) ソレカラ製鐵所ノ益金ガ三百五十
萬圓ノ減少トナリテ居ルノデアリマス、斯ウ云フ方ノ歲入豫
算ニ於テ、政府ノ見積ガ違ッテ來テ居ルト云フコトハ明カナル
事實デアリマス、勿論其外ニ收入ノ増加スベキ見込ナル
モノモゴザイマス、只今讀上ゲタダケノ項目ニ付テ
見テモ、是ハ經濟上ノ不況ノ結果、國庫ノ歲入ガ非常ニ減
少シテ來タト云フコトダケハ、之ヲ斷言スルコトガ出來ルノデ
アル(拍手)ソコデアリ、樂觀好キノ追ガノ政府モ、十一年度ノ
豫算ノ編成ニ當リマシテハ、從來ノ強辯ヲ押通スコトハ出來
ナイデ、茲ニ豫算ノ緊縮ヲ圖ラナケレバナラヌト云フコトニ
ナリ、來タ、十一年度ノ豫算ニ依リマシテハ、所得稅ニ於テ
六千四百五十餘萬圓ノ減少ヲ見積ルテ居ル、取引所稅ニ
於テ七百五十餘萬圓ノ減少ヲ見積ルテ居ル、印紙收入ニ於
テ六百七十餘萬圓ノ減少ヲ見積ルテ居ル、雜收入ニ於テ四
百餘萬圓ノ減少ヲ見積ルテ居ル、之ヲ見込マナケレバナラ
ナク、ナタト云フコトハ、洵ニ樂觀ノ政府ノ御見込ガ非常ナ
見込違デアッタト云フコトヲ明ニ證據立テラルノデアル(拍
手)從來政府ノ財政計畫ハ、洵ニ危險千萬ニモ、自然增收、
剩餘金、公債募集、斯ウ云フモノニ依賴シテ歲計ノ辻褄ヲ
合スコトニナリテ居タルノデアルガ、實際今日ノ如クナルニ及
マシテハ、自然增收モ當ニナラヌ、無論剩餘金モ當ニナラヌ、
公債募集モ當ニナラヌ、公債募集モ正ニ行詰リテ居ル、財政
ハ茲ニ全ク行詰リノ極ニ達シテ居ル、歲出ガ増セバ是ト同
時ニ歲入ガ増スト仰シヤタ、或ハ財政ノ前途ハ洋々春ノ如
ク御自覺ニナラナケレバナラヌノデアル(拍手)畢竟斯ノ如ク
歲入ノ狀況ガ洵ニ良好デアリト云フコトハ、是ハ主トシテ我ガ
經濟社會ノ不況ニ基クコトデアル、經濟社會ノ不景氣ト云
フコトガ、即チ此歲入ノ不足ヲ告ゲルト云フ事實ヲ現ハスニ
至ッ、ハ相違ナイノデアリマス、併シ我ガ經濟社會ノ不景
氣ト云フコトハ、實ハ一昨年三月來ノ繼續狀態デアアル、二
年間ノ繼續狀態デアアル、一年前ニ於テ是ガ分ナリ、苦ハ
リマセヌ、然ルニ政府ガ一年前ニ於テモ向ホ之ヲ覺ラズ、全
ク彌縫的ノ姑息手段ニ満足シテ、大改革ヲ施サナカッタ
云フ一事ハ、是ハ我ガ財政上ノ大失態デアルト同時ニ(拍
手)内閣ノ之ニ對スル責任ハ決シテ之ヲ免カル、コトハ出
來ナイト思フノデアル(拍手)ソコデアリ、近頃ニナリマシテハ、追ガ

ノ大藏大臣モ掌ヲ返ス如ク變説ヲシテ、今日以後ハ增收ヤ
剩餘金ニ依頼セズシテ豫算ヲ編成シナケレバナラヌト公言
セラル、ニ至テノデアル、一年前ニハ自然增收ハ幾ラデモア
リマス、豫算ノ基礎ハ確實デアリマスト言ハレタ、其一年前
ノ御言葉ト一年後ノ今日ノ御言葉ト對照シテ、果シテ如何
ノ感アル、或ル意味ニ於キマシテハ、政府自ラ懺悔シテ吾
吾ノ意見ニ降服シタモトモ見ラレ、吾ノ意見ニ降服シ
タモト致シマスレバ、殊勝ト言ヘバ殊勝ニ相違ナイケレド
モ、茲ニ到レル責任ト云フモノハ洵ニ重大デアル(拍手)殊
長年執リ來シテ居ル此放漫政策ノ餘毒ト云フモノハ容易
ニ之ヲ抜クコトガ出來ナイノデアリマス、財政行詰リ
責任ニ對シテ政府ハ飽マデモ之ヲ避クルコトハ出來ナイト
私ハ信ジテ居ルノデアアル(拍手)然ルニ諸君、政府ハ斯様ナ
ル財政上ノ方針ヲ改メテ、變説改論ヲスルニ至ラデゴザ
イマスガ、今此豫算ノ内容ヲ吟味致シマスレバ、節約緊縮ト
言ヘルコトハ唯名ノミ止テ、實際ハ財政上ノ根本整理ニ
ハ一向手ヲ觸レテ居ナイノデアリマス、世間ニモ緊縮々々ト
屢、傳ヘラレタノデアアルケレドモ、是ハ一向見掛倒シニ過ギ
ス、財政計畫ノ上ニ於テ根本ニ抱負ヲ見ルベキモノモナイ、
政府自ラ進シテ大整理ヲ行フ所ノ精神ガ無イノデアリマス
カラ、唯世ニ所謂無イ袖ハ振レヌト云フ姑息ノ成行ニ從
ニ過ギナイノデアアル(拍手)全ク緊縮ハ聲ノミデアテ、實際
上、根本整理ノ跡ヲ認ムルコトハ此豫算ノ上ニ於テハ出來
ナイノデアアル、隨テ財政ノ基礎ヲ鞏固ニスル所以デハナイ、
總理大臣モ大藏大臣モ屢、財政ノ基礎ヲ鞏固ニスルコト云
フコトヲ口ニシテ居ラレルノデアリマスケレドモ、是デハ一向
財政ノ基礎ヲ鞏固ニスル所以トハナラナイ、全ク姑息彌縫
ノ財政計畫デアルト謂ハナケレバナラヌノデアアル(拍手)歳入
ニ關シテ經常部ノ減額ハ九百七十四万六千八百十三圓
トナテ居ル、是ガ經常部ノ減額ノ數字デアル、併シテ是ガ
減收デ果シテ十一年度ノ財政ガ満足ニ行ハレコトガ出
來ルデアルト御考ニナテ居ルノデアアルカ、先ヅ租稅ノ收入ニ
於テ千八百萬圓ノ減少ヲ見積テ居ラレル、ソレカラ印紙
收入ニ於テ六百七十四萬圓ノ減少ヲ見積テ居ラレルガ
租稅ニ付テ申セバ、營業稅ニ於テ千八百萬圓ノ增收ヲ見
積テ居ル、又酒稅ニ於テ千七百萬圓ノ增收ヲ見積テ居
ル、砂糖消費稅ニ於テ百二十萬圓增收ヲ見積テ居ル、織
物消費稅ニ於テ九百三十萬圓ノ增收ヲ見積テ居ルノデア
リマス、一方ニ於テハ緊縮シテ節約シタト稱スルケレドモ、
此歳入豫算ガ果シテ實行出來ルモノデアリマス、今日ノ
如キ經濟狀態ニ於テ——今日ノ如キ經濟狀態ガ續クニ於
テハ、政府ガ計上シタル如キ此營業稅以下織物消費稅ニ
至ルマデノ增收ト云フモノハ、私ハ全ク空中ノ樓閣ニ屬シハ

シナイカト思フノデアリマス(拍手)又官業收入ニ於テハ驚
クニ堪ヘタリ、郵便電信及電話收入ハ、大正十年度ニ於テ
二千幾百萬圓ヲ減額シテ居ルニ拘ラズ、大正十一年度ニ
百八十萬圓ノ增收ヲ見積額ヨリモ二千二百六十一万三千九
百八十萬圓ノ増加ヲ示シテ居ル、私ハマサカ郵便電信電話ノ
料金ヲ上ゲラレル譯デアアルマイト思フ、經濟上ノ不況ニ伴
ウテ、十年度ニハ非常ナ減收ニナテ居ルモノヲ、十一年度
ニ至テ是ダケノ增收ヲ御見込ニナテ居ル、如何ナル理由デ
アルカ、又森林收入ニ於テモ十年度實收見込額ヨリモ三
百十五萬四千四百三十四圓ノ増加ヲ見積テアル、是ガ果シ
テ實行ノ豫算デアリマセウカ、所謂苛斂誅求ヲ行ヘバ別
問題デアル、政府ガ敢テ苛斂誅求ヲ行フト云フ御考ナラバ
是ハ別問題デアル、斯ノ如ク今日ノ如キ經濟上ノ狀況ニ
於テ斯様ナ歳入豫算ガ實行セラレベシトハ、私共ハドウ
シテモ考ヘルコトガ出來ナイノデアリマス(拍手)又歳入
臨時部ニ於テハ一億八百萬圓ト云フ減少ニナテ居ル
ノデアリマス、是ハ言フ迄モナイ、主トシテ剩餘金ノ繰入
額ノ減少——唯剩餘金ガ減タカラ、剩餘金ガ減タト
云フ事實ヲ計算ノ上ニ現ハシタニ過ギナイノデアアル
カラシテ、殆ド財政計畫トシテハ何等ノ價值モナイノデアアル、
更ニ歳入ノ豫算ニ關シテ之ヲ見マスレバ、經常部ニ於テハ
前年度ニ比較シテ二千八百餘萬圓ヲ増加シテ居ルノデア
リマス、而シテ臨時部ニ於テ一億四千六百萬圓ヲ減少シテ
居ルノデアリマス、此歳出ニ於テ經常部ニ於ケル節約
金額ハ、僅ニ二千三百萬圓——節約金額ハ僅ニ二千三百
萬圓、ソレカラ臨時部ニ於テ後年度ニ繰延タル金額ハ九
千六百萬圓ニナテ居ル、此繰延トカ、此節約トカ云フコト
ハ、主トシテ陸海軍ノ經費ニ屬シテ居ルノデアリマス、節約
金額僅ニ二千三百萬圓、繰延金額九千六百萬圓、之ニ過
ギナイノデアリマス、勿論有ルノハ無キニ優ルノデアアルケレド
モ、政府ガ大英斷ヲ施ス勇氣ガアレバ、何故ニ今一歩ヲ進
メテ大改革ヲ施サナイノデアアルカ(拍手)唯是ダケノ節約繰
延ニ付テ、我ガ財政ノ基礎ガ鞏固ニナラウトハ私共ハ認メ
ルコトハ出來ナイノデアリマス、早イ話ガ海軍ノ經費ニ付テ
ハ比較的多クノ削減ガ行ハレテ居ルノデアリマス、何故ニ陸
軍ノ經費ニ付テ大ナル削減ヲ行フコトガ出來ナイノデアリ
マス、カ(拍手)海軍ハ經常部ニ於テ二千二百餘萬圓ノ節約
ヲ示シテ居ル、臨時部ニ於テ千八百餘萬圓ノ繰延ト云
フ事ニナテ居ルノデアリマス、經常部ニ於テ二千二百餘萬圓、臨
時部ニ於テ千八百餘萬圓、一方陸軍ハ如何デアアルカト云ヘバ、經
常部ニ於テ僅ニ二百二十餘萬圓、臨時部ニ於テ僅ニ九百萬
圓ノ節約ニ過ギナイノデアリマス、陸軍ノ豫算ハ臨時經常
兩部ヲ合シテ二億五千三百萬圓、海軍ノ豫算ハ經常臨時

ヲ合シテ三億九千三百萬圓デアリマス、無論海軍ノ費
用ノ方ガ多ク、此海軍費ニ於テモ、更ニヨリ以上ノ減額ヲ
加ヘナケレバナラヌ事ハ勿論デアリマスケレドモ、陸軍ノ經費
ニ於テ見ルベキ削減ヲ施サナイト云フ事ハ、吾等ノ如何ニモ解
スルコトノ出來ナイ點デアリマス、日本今日ノ國情ヨリ申シ
テモ、又國際上ノ關係カラ申シテモ、陸軍ノ軍備ヲ緊縮シナ
ケレバナラヌト云フ事情ハ誠ニ明瞭デアアル、此重大問題ニ
關シテ現内閣ハ攻究ヲ怠テ居ルト云フ事ハ、果シテ何ガ故
デアアルカ、最モ此問題ハ別ニ本院ニ於テモ攻究セラレツ、ア
ルノデアリマス、豫算委員會等ニ於テ總理大臣ニ此事ヲ問
ヘバ、總理大臣ハ曰ク、陸軍ノ軍備縮小ト云フコトモ大ニ
攻究シナケレバナラヌト云フ言葉ヲ以テ、吾等ニ答ヘラレテ居
ル、併シ陸軍大臣ニ之ヲ問ヘバ全ク反對ノ語氣ヲ以テ之ニ
答ヘテ居ラレルノデアリマス、私ハ此重大ナル問題ニ關シテ、
内閣ノ不統一ヲ暴露スルニ至ランコトヲ甚ダ憂慮ニ堪ヘナ
イノデアリマス(拍手)更ニ各省ヲ通ジテ行政上ノ大整理
ヲ行フ必要ガアル、政府モ之ヲ拒ムコトハ出來ナイノデアアル、
併シ總理大臣ハ曰ク、行政整理ト云ヘルコトハ一朝一夕ニ
ハ行ハレナイ、一朝一夕ニ行ハレナイト言テ、果シテ何時
之ヲ行フ積リデアアルカ、誠ニ困難ダト御辯解ニナテ居ル、無
論行政上ノ大整理ヲ行フコトハ困難ニハ相違ナイ、
相違ナイケレドモ今日ノ如キ場合ニ當リテハ、時代ノ要求
ニ依リテ是非共此大整理ヲ行フ必要ガアルデハナイカ、或
モノハ其組織ヲ改メ、冗員ヲ淘汰シ、冗員ヲ削減スルコト云フ
トノ必要ガアル、然ルニ今ノ内閣ハ一向此大整理ヲ行フコ
トガ出來ナイト云フ私ハ今日ノ時代ノ要求ニ背クトコロノ現
内閣ノ無責任ヲ彈劾セザルヲ得ナイノデアリマス(拍手)斯
ウ云フヤリ口デアアルカラ、幾ラ口ニハ節約緊縮ヲ唱ヘテモ、其
節約緊縮ト云フコトハ全ク不徹底デアル、不徹底ナルヤリ
方ヲ以テ我ガ財政ノ基礎ノ鞏固ニナルベキ筈ハナイノデア
リマス、所謂行詰リハ依然タルモノデアルト申サナケレバナ
ラヌ(拍手)現ニ政府ノ爲シタル所ハ唯十一年度豫算ニ向
テホノ彌縫ノ小刀細工ヲ施シタニ過ギナイノデアアル、是
ハ暫ク過去ノ放漫ナル政府ノ財政ノ尻拭ニ過ギナイト思フ、
全ク政府自ラ豫算ノ行詰リヲ表白シタルニ過ギナイノデ
アル、繰返シテ申シマスガ、財政上ノ基礎ハ相變ラズ薄弱ヲ
極メテ、全然政府ノ無策ヲ暴露スルニ外ナラナイノデアアル(拍
手)此事ニ付キマシテハ豫算委員會等ニ於テモ吾等ハ十分
ニ之ヲ質問シタノデアアル、政府ノ答フルトコロハ全ク要領ヲ得
ヌ、唯行詰リデハナイ、財政ノ基礎ハ鞏固デアルト豪語スル
ニ止テ居ルノデアアル、併ナガラ、現ニ此財政ノ行詰リト云ヘ
ル事ハ、實際上事實ニ於テ明カデアリマセウカ、隨テ財政

基礎が固く、今日云フコトも、誠に明かなる事實、大正十一年度、第一政府、全ク新規ノ事業ノ計畫ヲ爲スコトが出来ナ
イ事ニ際シ、テアリマス、繰延テ行ハント云フ、節約ヲ行ハ
ト云フ、レドモ、唯是ハ已レガ金、事業ヲ已レガ繰延ベタ
ト云フ位、姑息ニ姑息ヲ加ヘテ、過ギナイデア、テ、眞ニ
新規ノ事業ト云フモノハ、全ク之ヲ計畫スルコトが出来ナイ
デハナカ、一年前迄ハ、随分勢ノ好イ樂觀ヲ唱ヘテ、積極
方針ヲ振廻シタモノ、其威勢ノ好キ、説ハ今日デハ、減
減茶ニナリシマタ、積極主義モ亦影ヲ止メザルニ至ラ
デアリマス、是ハ謂ハ、全ク手モ足モ出ナク、ナク、状況ニ際
タノデアリカ(拍手)私ハ豫算委員會ニ於テモ、例ヲ擧ゲテ此
事ハ質問ヲ致シタデアリマス、社會政策ニ要スル各般ノ
社會事業費、此社會事業費ヲ支出スルコトハ、誠に
今日ノ場合必要デアリニ拘ラズ、全然之ヲ支出スルノ途ハ
無いデアリカ、又小學使教育費ノ國庫負擔額ヲ増加スル
問題ノ如キモ、正シク焦眉ノ急ニ迫ル居ルニ拘ラズ、全ク
之ヲ實行スルコトが出来ヌデアリカ、總理大臣ハ華府會
議ノ結果、海軍ノ軍備縮小ヨリ得タル財源ヲ以テ、此教育
費負擔ノ増額ニ充テルト云フヤウナコトヲ述ベテ居ラレ
デアリマス、ガ、華府會議ノ結果ニ依テ得タル財源ノ活用
法ハ、別ニ自ラ其問題ガアルデアリマセウ、唯、口ヲ華府會議
ノ結果ニ藉リテ、此重要ナル問題ヲ棚ニ上ゲテ置カウト云
フニ至ラ、如何ニモ政府ノ無責任ヲ認メザルヲ得ナイ
デアリカ(拍手)更ニ又國民生活ヲ安全ナシムルガ爲ニ、其
生活ニ直接セル負擔ヲ軽減スルコト云フ問題ノ如キモ、實ハ
今日デハ、海軍ニ重要ナル問題ニ相違ナイデアリカ、政府ハ全
ク是等ノ問題ヲ度外ニ置イテ居ルデアリカ、姑息極マル
財政計畫ノ下デハ、勿論是等ノ實行ヲスルコトハ出来ナイ
デアリマス、果シテ何タル無策無能デアリカ(拍手)斯様ニシ
テ何等ノ經緯ヲモ行フ能ハズ、尤モ政府ニハ何等ノ經緯モ
ナイデアリマセウ、又何等ノ抱負ヲモ示ス能ハズシテ、此行
リノ儘ヲ行詰リノ數字ニ依テ現シタル財政計畫、果シテ其
基礎鞏固ナリト云フコトが出来ルデアリマス、豫算ハ唯
無意義ナル數字ノ行列ニ止マルト云フノハ、即チ此事實アリ
マス(拍手)而シテ諸君、此無意義ナル數字ノ行列、此無意
義ナル豫算ト云フモノハ、是ガ次年度以降ニ於テ完ニ大ナ
ル禍ヲ貼スモノデアリト云フコトヲ忘レテハナラズ(拍手)財
政計畫ノ概計表ニ依リマスレバ、大正十一年度ハ歳入歳出
トモ過不及ナキコトニテ、居ルデアリマス、是ハ歳入ノ狀況
ヲ今日ト同様ニ見テ居テ、而シテ歳出増加ト云フコトハ、全
ク見込シテ居ラヌデアリカ、經濟社會ノ實狀ヲ顧ミマスレバ、
貿易ハ愈々不況ニ陥リ、産業ハ益々不振ニシテ不景氣ハ容易
ニ恢復スルコトが出来ナイ今日ノ狀況デアリマスカ、將來

ニ於テハ歳入ガ今日ヨリモ減少シ行クベキコトハ、明白
デアリカ、是ハ前ニモ申シマシタガ、大藏大臣自ラモ言ハレ
ル如ク、歳入ノ增收ヤ剩餘金ナドヲ目的トシテハ、豫算ヲ編
成スルコトハ出来ナイデアリカ、今日ノ儘ト同様ニ大正十
二年度ニ於テ歳入ノ狀況ヲ見込ムト云フコトハ、是ハ全ク
御見込ガ如何デアリカ、是ハ否デモ應デモ増加スル傾キヲ持
テ居ル、否デモ應デモ増加スル傾キヲ持テ居ル、假ニ新
規ノ事業ハ全ク之ヲ止メルト致シマシテモ、物價騰貴ニ基
ク經費ノ増加ハ之ヲ如何ニスルデアリカ、物價騰貴ニ基
ク經費ノ増加ハ、大正十一年度ニ於テ、是ハ矢張り遙スル
ハ出来ナイデアリマス、大藏大臣ハ豫算委員會ニ於テ辯
解シテ言ハレ、華府會議ノ結果、海軍ノ造船計畫ガ
改テ來レバ、物價騰貴ニ基テ經費ノ増加モ是ハ減ジテ來
ルニ相違ナイト云フ御説デアリカ、吾々ハ此豫算ヲ議スル
當テハ、華府會議ノ結果ヲ眼中ニ置キ、此豫算ハナイデア
ル此豫算ハ華府會議ノ結果ヲ眼中ニ置キ、勿論華府會議ノ結果
將來ノ計畫モ同ジク左様デアリマス、勿論華府會議ノ結果
トシテ軍艦製造ノ計畫ガ變テ參リマスレバ、物價騰貴ニ基
ク經費ノ増加モ幾ラカ減ジテ來ルニ相違ナイ、減ジテ來ル
相違ナイケレドモ、是ハ唯若ク減ズルト云フニ止マシテ、物價
騰貴ニ基テ經費ノ増加ガ全ク無クナリシマフト云フ譯デア
リカ(拍手)又海軍ヲ外ニシテモ、各省ヲ通ジテ此
物價騰貴ニ基テ經費ノ増加ト云フコトハ、無論是ハ認メナ
ケレバナラヌデアリマス、幾ラ低ク見積ルデモ、大正十二年
度ニ於テハ此物價騰貴ニ基テ經費ノ増加ハ、相變ラズ七
八千万圓以上ニ及ブニ相違ナイト私ハ思フ居ル(拍手)サ
ウナレバ、來レバ財政計畫ノ概計表ニ依テハ、歳入出過不及
無しト云フテ居ルケレドモ、實際ニ於テハ不足ヲ告ゲルト云
フコトハ明カデアリマセウカ(拍手)政府ガ組立テテ財政
計畫ノ概計表ハ、大正十一年度ニ至ラハ全ク破壊サレ
デアリマス、更ニ大正十三年度ニ及ビマスレバ、概計表ニ
依テモ歳入ハ四千万圓以上ノ不足ヲ告ゲルトナル、大
正十四年ニ及ベバ五千八百萬圓ノ歳入不足ヲ告ゲルト
ニナルデアリマス、是ハ歳入ノ増加ト云フコトモ見積ラズ、
歳入ノ減少ト云フコトヲ計算シ入レズトモ、既ニ此點ニ於
テ歳入ノ不均衡ヲ訴ヘナケレバナラヌト云フ窮境ニ迫
テ居ルデアリカ、而シテ時代ノ要求ニ應ズル新規ノ事業ハ全
然之ヲ度外ニ置イテ、歳入ノ不均衡ヲ見ルト云フコトニ
相成テ來ルデアリマス、勿論多少ノ變化ハ生ジ來ルニ相
違ナイデアリマセウカ、是デハ行詰リノ狀態ハ全ク改
ラザルノミナラズ、愈々以テ我が財政ノ基礎ガ破壊サル、ニ
至ルデアリマセウカ(拍手)之ニ對シテ政府ハ全ク要領ヲ

得タル答辯ヲ爲スコトが出来ナイ、唯、日ク、ソレハ唯其時ノ
按排取捨ニ依ルデアリカ、斯様ニ御辯解ニナリテ、應、即チ相
モ變ラズ後ハ野トナレトナレノヤリ口ニ外ナラヌト私ハ思
テ居ル、全ク其日暮シノ財政デアリマス、全ク遺リ放シノ財
政デアリマス、我が國家トシテ其日暮シノ財政計畫ニ満足
スルコトが出来ルデアリマセウカ、國民トシテ此遺リ放シノ
財政計畫ニ満足スルコトが出来ルデアリマセウカ、私共ハ
此危險千萬ナル政府ノヤリ方ニ對シテハ斷ジテ反對シナケ
レバナラヌデアリカ(拍手)又政府ノ公債政策ノ如キモ、今
日デハ全ク目前ノ計畫ノミニ止メテ居ル、整理ノ大計ト云
モノハ少シモ御考ニナリテ居ラヌデアリマス、公債ノ金
額ト云フモノハ唯増加スルバカリデアリカ、現内閣トナシ
今日ニ至ルマデ、僅カ數年ノ間ニ公債ノ増額ハ十億圓以
上ニ及シテ居ルデアリマセウカ、一向之ニ對シテ整理ヲス
ルト云フ御考ガ無い、唯、目前ノ計畫ノミデ金融市場ヲ壓迫
スルコトモ願フシテ、此公債ノ募集ト云ヘルコトガ財政並ニ經
濟上ニ非常ナ累ヲ貽シテ居ルト云フコトハ言フ迄モナイ
デアリカ(拍手)大正十一年度ニハ、一般會計並ニ特別會計
ヲ合セ、一億八千八百萬圓ノ公債募集金額ニナリテ居ル
デアリマス、併シ其外ニ臨時軍事費ニ屬スルモノガ七千五
百萬圓ノ十年度ノ未募集ノモノガマダ一億二千五百萬圓
許リ殘テ居ルデアリマス、之ヲ相合スレバ三億七千萬圓
ト云フ金額ニナルデアリマス、而シテ此十一年度ノ内ニ滿
期トナシテ償還ヲシナケレバナラヌ借換ヲ要スルモノ、金額
ハ約四億五千萬圓アル、之ヲ相合シマスレバ大正十一年
度ニ於テ公債ノ處理ヲシナケレバナラヌ金額ハ約八億萬圓
以上ニ及シテ居ルデアリカ、是ガ果シテ今日ノ經濟事情
ニ照シテ、我が金融市場ヲ壓迫セズト云フコトが出来ルデア
リマセウカ(拍手)大藏大臣ハ何時デモ公債ノ募集ハ容易
ニ出来ルト云フヤウナ御言葉ヲ御發シニナリテ居ルデアリ
マス、今日ノ狀況カラ見レバ日本銀行ヲ始メ、或ハ預金部
ノ如キモ、亦各種ノ銀行ニ於テモ、殆ド公債デハ食傷ヲシ
テ居ルト云フ狀況ニ陥リテ居ルデアリマス(拍手)無暗ニ公
債ヲ出シ公債ガ殖エテシマフ、段々是ハ行詰リニナリテ來
居ルカラ、現ニ昨今ノ狀況ヲ御覽ニナレバ、私ハ此二月
十五日ニ償還セラレル臨時國庫債券、昨年募集ニナリテ
時國庫債券、昨今發表セラレタル條件ニ依レバ、期限ハ昨
年ト同ジク一箇年デアリケレドモ、割引ノ日歩ノ割合ハ昨
年ハ一錢七厘デアリタモノ、今年ハ一錢九厘ニ上ラナレ
バナラヌト云フ狀況ニナリテ居ルデアリカ、斯ウ云フ風ニ
期限ハ短クスルヨリ外ニハ仕方ガナイ、利息ハ高クスルヨリ
仕方ガナイト云フ狀況ニ陥リテ居ル、唯此一ツノ狀況ニ照シ

テモ、公債募集ト云フモノハ如何ニモ行詰デ居ルト云フコトハ、是ハ明ニ認メルコトガ出來ルノデアリマス(拍手) 全ク整理ノ大計ハナシ、此勢デ行ケバ二三年經テハ十億位ノ公債ハ増加スルノデアル、政府ハ一向之ヲ整理スル大計ガナイ、全ハ拂ハズ、不利益ナル條件デ公債ヲ殖ヤシテ行クト云フコトハ、果シテ是ハ財政上竝ニ經濟ノ基礎ヲ固クスル所以デアリマセウカ、全ク此公債政策モ極端ニ行詰デ居ルト斷言ヲシナケレバナラヌノデアリマス、ソコデ吾々ノ有スル意見ノ概要ヲ申上ゲマスレバ、差當リ行政財政ノ整理ニ依テ、此歲計十四億六千六百萬圓ノ中カミ、更ニ一億萬圓内外ノ經費ヲ削減スベシト要求スルノデアリマス、而シテ實際是ハ削減シ得ラレルコトヲ私ハ確信スル、主要ナル點ハ勿論陸海軍經費ノ削減ニ在ルニデアリマス、陸軍軍備ノ減縮ト云ヘルコトニ關シテハ、政府ハ内閣部内ノ不統一ヲ去メテ、輿論ノ聲ニ耳ヲ傾ケ、時代ノ要求ヲ容レテ、之ヲ斷行セラルルノ必要ガアル、所謂編制ノ改訂モ宜シウゴザイマセウ、各兵種ヲ通ジテノ在營年限ノ短縮ヲ行フコトモ宜シウゴザイマセウ、兵員ノ減少ト相俟テ師團、旅團ヲ減少セラレルコトモ宜シウゴザイマセウ、之ニ依ッテ陸軍ノ軍備ノ減縮ヲシ、經費ノ節減ヲスルト云フコトハ決シテ難事ニアラズト私ハ信ズルノデアル(拍手) 國防充實費ナドノ如キ、私ハ陸軍當局者ノ決心ニ依ッテ、大ニ之ヲ繰延ベ得ベキコトヲ信ジテ疑ハヌノデアリマス、其他ノ各項ニ通ズル整理ト相俟ッテ、陸軍經費ノ節減ヲ計リ得ルコトハ、私ハ決シテ難事ニアラズト繰返シテ申スノデアリマス、海軍ニ至リマシテハ此豫算ニ於テ既ニ節減ヲ加ヘタルモノガアリマスケレドモ、尙ホ四億ト云フ經費ガ計上ニ相成ッテ居ルノデアリマス、是モ更ニ一步ヲ進メテ節約減額ヲ行フベキ餘地ハアル、勿論華府會議ノ結果ニ依ル海軍減縮ノ事ハ別問題デアアル、軍艦製造費ニ於テモ、水陸設備費ニ於テモ、今一段ノ繰延ヲ斷行ハスルコトハ出來ルノデアリマス、年限ヲ繰延ヘルト云フコトハナンデモナイ話デアルト私ハ思ッテ居ル、隨テ海軍ノ經常部ニ於ケル軍事實費ノ中ニ、自ラ節約ヲ加フベキ餘地ハ澤山ニ在ルノデアリマスカラ、此海軍ノ經費ニ於テモ私ハ相當ノ削減ヲ見ルコトガ出來ルト信ジテ居ルノデアリマス、而シテ別ニ各省ヲ通ジテノ整理ヲ行フト云フコトノ必要ハ私ガ前ニ申シタ通りデアル、彼此相合シテ茲ニ一億圓内外ノ經費ノ削減ヲ得ルコトハ決シテ困難ニアラズト信ズル、一億圓ノ金額ハ十四億六千萬圓ノ豫算ニ對シテハ一割ニモ當ラナイ(僅ニ七分位ニ過ギナイノデアリマスカラ、是位ノ要求ヲスルノハ政府ニ對シテハマダ寧ろ寛大ナリト謂ハナケレバナラヌノデアル(拍手) 吾々ハ此整理ニ依ッテ得タル財源ヲ以テ、私ハ小學校教員俸給國庫負擔額ノ

居ル、又其決算ノ審査ト云フモノモ、普通ノ經費ト同様ニ扱フ事ハ出来ナイノデアリマス、臨時軍事費ノ使方ノ當否ト云フコトヲ吾等ガ審議スル所ト云フコトモ、洵ニ之ヲ後年度ニ殘リナクシテバナラズト云フ不便ナルノデアリ、而モ實際ニ於テ臨時軍事費ニ屬セザルモノヲ、普通ノ經費ニ屬サセテ宜イモノヲ、此臨時軍事費ノ形式ニ依テ要求セラレテ居ルト云フコトニナルト、議會ノ財政ノ監督權ヲ狹メルト云フ結果ニ陷ルノデアリ、ソレモ實際ニ必要ナル費用ガアレバ、必要ナル費用ガアレバ一般會計ニ繰入レテ御要求ニナルコトハ少シモ差支ナイノデアリ、何時迄モ臨時軍事費ノ性質ニアラザルモノヲ、臨時軍事費ノ形式ニ依テ御要求ニナルコト云フコトハ、是ハ憲法ノ精神ニ照シテモ一ノ疑問ノ存スル所デアルト、私ハ思ヘテ居ルノデアリ(拍手起ル)然ルニ政府ハ此臨時軍事費ノ特別會計ヲ廢スル稱シナガラ、今日ニ至ル迄尙ホ之ヲ廢止セズデ、本年モ亦七千五百萬圓ノ經費ノ要求ヲ、此臨時軍事費特別會計ノ形式ニ依テ御提出ニナタト云フコトハ、如何ニモ吾等ノ解スル能ハザル所デアリマス、願クバ是等ノ問題ノ如キハ、政府ハ忠實ナル考ヲ以テ御研究ニナデ、一日モ速ニ此臨時軍事費ヲ廢止セラレンコトヲ切望致ス外ハナイ(拍手起ル)

○議長(與繁三郎君) 大口喜六君

(大口喜六君登壇)

○大口喜六君 提出致シテアリマス動議モ、矢張歸著致シマス所ハ此豫算ノ編成替ヲ爲サシムルガ爲ニ、本豫算ヲ政府ニ返付スル所ト云フコトニ相成ルノデアリマス、勿論此事ニ付キマシテハ豫算審議權ニ對シテ種々ナル論議ヲナサル方モアルヤウデアリマス、吾等ハ此豫算ノ審議權ヲ極メテ尊重シトスル結果、此返付論ヲ致ス譯デアルノデアリ、多少此内容理由等ニ付キマシテハ、只今早速君ノ述ベラレタ所トハ、自ラ其間ニ相違ノ點モアリマス、此際出來得ル限リ詳細ニ私共ノ所信ヲ申述ベテ御賛成ヲ仰ギタイト思フノデアリ、熟シ今回政府ガ提出サレタ所ノ大正十一年度ノ豫算ヲ拜見致シマス、一、一般會計ニ於キマシテハ御承知ノ如ク歳入歳出共ニ各、十四億五千六百餘萬圓ニ相成テ居ルノデアリマス、是ハ成程大正十年度ノ豫算ニ比較シマスル所ト云フト、一億一千八百餘萬圓ト云フ減額ニ相成テ居ルノデアリマス、表面カラ見マス、如何ニモ緊縮ノ方針ヲ執ラレタヤウデアリマス、能ク一之ヲ研究シテ見マス、決シテ左様デハナイノデアリマス、即チ歳入ノ方ハドウナテ居ルカト申シマス、細カキコトニ付キマシテハ例ヘバ所得稅ニ於テ六千四百五十餘萬圓減收ノ見込デアリ、取引所稅ニ於テ百五十四萬圓ノ減收ノ見込シデアルトカ云フコトモアリマス、又一方ニ於キマシテハ、營

業稅ニ於テ一千八百萬圓ヲ多ク見込シデアリ、酒造稅ニ於テ一千七百萬圓ノ增收ノ見込シデアルト云フヤウナ譯デ是等ヲ差引キマスル所ト幾分ノ違ヒハアリマス、大體ニ於テ大概差引ガ付イテシマフ、歸スル所ガ此歳入ノ臨時部ニ於テ剩餘金ト云フモノ、大正十年度ニ比シマシテ一億三百八十餘萬圓ヲ減少ヲ致シテ居ルノデアリマス、即チ此歳入ニ於テ剩餘金ハ、一億三千八百八十餘萬圓減少シタト云フノ歳入ノ減少シタル大ナル原因デアリマシテ、此結果總理大臣ノ言ハレマス所ノ所謂無イ袖ハ振レナイト云フコトニ相成テ、歳出ノ方ヲ削減シナクシテバナラズト云フ結果ニナテ居ルモノト、私共ハ信ズルノデアリマス、然ラバ歳出ノ方デハドウ云フモノニ於テ減ゼラレテ居ルカト申シマス、只今早速君カラモ御述ニナリマシタ通り、經常部ニ於キマシテハ寧ろ大正十年度ニ比シテ、十一年度ハ二千八百二十餘萬圓殖エテ居ルノデアリマス、即チ臨時部ニ於テ一億四千六百萬圓ト云フモノガ減ラサレテ、是デ歳入ト歳出ノ辻褄ガ合セラレテ居ルノデアリ、此歳出ノ方ノ臨時部ニ於テ減ゼラレタル一億四千六百萬圓ノ中、最も大ナルモノハ何デアリカト言ヘバ、陸海軍ノ國防計畫ニ屬スル費用ニ對シテ、九千三百餘萬圓ト云フモノヲ繰延ベラレタト云フコトガ、是ガ最も大ナルモノニ相成テ居ル、ソレデアリマス、大正十一年度ノ豫算ト云フモノヲ概括シテ批評シテ見マス、緊縮デモ何デモナイノデ、歳入ノ方ニ於テ剩餘金ノ繰入ト云フモノガ減ゼラレタモノノデアリカシテ、據ナク歳出ノ方デ洵ニ痛クハアルガ、陸軍ト海軍ノ國防計畫費ヲ繰延ベテソレレ僅カニ辻褄ガ合セラレタト云フノガ、本年ノ豫算デアルト言ハナクチヤナラヌノデアリ(拍手起ル)ソコデ此極メテ大部分ノ繰延ベラレタ所ノ國防計畫ト云フモノハ、然ラバ如何様ナルモノデアリカ、此繰延ベラレタル結果如何様ニ成行クモデアリカト言フコトヲ研究致シテ見マス、是ハ私ガ申ス迄モナク既ニ諸君御承知ノコトデゴザイマス、海軍ニ於テ國防計畫ト云フモノハ、大正十六年度迄繼續スベキモノデアデ、陸軍ノ方ノ大正二十年迄繼續スル所ノモノデアリマス、其中デドウ云フ風ニ之ヲ繰延ベラレタト云フト、陸軍ノ方ニ置キマシテハ、國防充實費ノ大正十一年度ノ年度割額ノ中カラ九百萬圓ト云フモノヲ繰延ベラレテ、之ヲ大正十七年度以後ノ分ニ廻サレタト云フコトニナテ居ルノデアリマス、海軍ノ方ハドウデアリカト申シマス、軍費補充費ノ六千六百餘萬圓、水陸整備費ニ於テ二千二百餘萬圓、合計致シマシテ八千四百餘萬圓ト云フモノヲ、大正十三年度以降ニ繰延ベラレタト云フコトニ相成テ居ルノデアリ、此所ニ極メテ不思議ナコトハデス、一方

ニ於テハ左様ニ繰延ベラレテ置カレテ、一方ニ於テハ又物價騰貴ノ結果、多大ナル追加ヲ要求セラレテ居ルコトデアリ、デアリマス、即チ陸軍ノ方デハ只今申ス通り大正十一年度ニ於キマシテ、繰延ヲ行テ居ルノガ九百萬圓、一面ニ八百四十萬圓ノ物價騰貴ノ結果追加要求セラレテ居ル海軍ニ於テハ軍備補充費ニ於テ六千六百萬圓ノ繰延ヲ行テ居ルニモ拘ラズ、一方ニ於テハ實ニ八千六百萬圓ト云フ多大ナル物價騰貴ノ結果、追加要求セラレテ居ルノデアリマス、然ラバ此追加要求ト云フモノハ大正十一年度デ終テ其後ハ完全ニ此計畫ガ行ケルト云フモノデアラナラバ、吾等モ本年度ハ忍ビテ此繰延ニ満足ヲシナクシテバナラズ事情ニテルカモ知レナイノデアリマス、決シテサウデハナイ即チ物價騰貴ノ結果ト云フモノハ、表ニ依テ御覽ニナレバ分リマス、通り唯大正十一年度ニ於テノミ、是ガ計算ヲセラレテ居ルノデアリマス、即チ大正十二年度以後ニ對シテハ物價騰貴ノ結果ハ一錢一厘モ計畫ノ中ニ入レナイノデアリ、是ガ其年度割ニ對シテレダケカト言ヘバ、實ニ六割強ト云フ大ナルモノデアリ、デアリマス、故ニ、此金ハ物價ガ若シ六割強下ラナイ場合ハ、大正十二年度ニ於テモ矢張今年ト同ジヤウニ要求セラレナクテハナラナイノデアリ、是ハ數字ノ上ニ於テモ極テ明カナコトデアリ、デアリマス、而シテ政府ノ手許ニ在ル所ノ剩餘金ハ幾ラカト言ヘバ、政府ノ吾等ニ示ス所ニ依レバ最早一億一千九百萬圓シカナイ、其中ニ於テ相當ニ追加豫算ノ財源ニ入用デアリカ、決シテ之ヲ大正十二年度ニ全部ヲ繰入レルコトハ出来ナイコトハ言フマデモナイコトデアリマス、而シテ大正十一年度ノ豫算ノ辻褄ガ合テ居ルソレニ對スル剩餘金ハレダケカト言ヘバ、一億一千萬圓デアリマス、故ニ、ソレダケノモノガ假ニ十二年度ニ於テ繰入レラレト致シマシテモ、矢張我國ノ經濟狀態ニ於テ物價ガ下落スルカ、然ラザレバ増稅ヲスルカ、然ラザレバ他ニ何カ特殊ノ變動ガアデ、一部分ニ於テ財政ノ緊縮デモスルカト云フコトニナラナク、矢張本年ト同ジ經濟狀態ナラバ、其結果ハ必ズヤ又國防計畫費ニ於キマシテ九千萬圓ハドウシテモハ物價騰貴ノ結果要求セラレネバナラナイ計算ニナルノデアリマス、然ルニ茲ニ少シク異様ニ感ジマス、ハ、此事ニ對シテ豫算總會ニ於テ、高橋總理大臣ニ伺ヒマシタ所ガ、高橋總理大臣ハ斯ウ云フ御答ニナテ居ルノデアリマス、大正十二年以降ハ物價騰貴ハ二割バカリ積テアルデセウ、今年ハ確カ五割——四億使フト見テ二千萬圓乃至二千五百萬圓ヲ出セバ宜シヤウナ勘定ニナルヤウデアリマス、斯ウ云フ事ヲ言テ居ル、私ハソナナ馬鹿ナ事ハナイニ千萬圓ヤ二千五百萬圓デハナイ、失禮ナガラ御計算違デアリマセウト云フコトヲ申シテ置イタノデアリマス、是ハ高橋

首相ハ格ヲ一ツ御間違ニナタモノデ、四億圓ノ五割ハ二億圓デアリマスガ、咄嗟ノ場合ニ胸算デ御勘定違ニナタモノト思フ、私ハ此演壇デ之ヲ提ヘテ高橋首相ヲ攻撃シヤウト云フノデアリナカ、併ナガラ御計算ガ非常ニ違テ居ルト云フコトヲ御自覺ナサヌト大ナル間違デアリマス、是ハサウ云フ勘定行クモノデアリナカ、隨テ私共ノ計算スル所ニ依レバ、本年度通りニ參レバ、大正十二年度ニ於テ一面ニ於テ九千萬圓ト云フモノガ、更ニ國防計畫費ニ向テ物價騰貴ノ結果要求セラル、モノデアルト、私共ハ確信スルノデアリマス、是ハ數字ノ上カラ來ルモノデアリマスガ、故ニ、何ト爭テ見タ所ガ、議論ヲシテ見タ所ガ、算盤、算盤、一圓ハ一圓デアラガ故ニ、何カ他ニ特殊ノ事情ガ出デザル限リハ此計算ト云フモノハ誤ラナイモノデアルト、此儘デ進ンデ參タナラバ、如何ニ陸軍海軍ガ之ヲ固執シテ見テモ、政府ガ何ト之ヲ固執ナサレタ所ガ、結局我國ニ於ケル陸軍海軍ノ國防計畫ト云フモノハ、財政カラシテ履行不能ニ終ルト云フコトハ明カデアルト思フ、是ハドウシテモ算盤上カラ動カスベカラザル所ノモノデアルト私ハ信ジテ居リマス、或ハ之ニ對シテ政府當局ノ方ナドハ、ソレハ杞憂デアルト決シテサウ云フ事ニナルモノデアリナカ、御論ジニナルカモ知レナイノデアルト、是ガ今年初テ始メタコトデアレバ、其御論モ或ハ一面ニ於テ賛成者ガアルカモ知レヌ、所ガ是ハ一昨年カラノ懸案デ、吾々ハ一昨午増稅案ガ此所ニ出タ時ニ此問題ヲ出シテ、昨午暮ノ議會マデ待テ、僅カナコトデアラカラ延期ヲシテ能ク研究シタイト云フコトヲ申シタデアラガ、其心配ニハ及バナイ、此陸軍海軍ノ計畫ハ一日モ一刻モ延バスコトハ出來ナイト云フ政府ノ言明ニ依テ、遂ニ此議場ヲ通過シテ居ルノデアリマスガ、昨午ノ議會即チ此大正十年ノ豫算ヲ議セラレタ時ニ當テモ、吾々ハ矢張此算盤ニ對シテ數字ヲ擧ゲテ此事ハ痛論シテアルノデアリマスガ、其當時大藏大臣ヲ初メ一向之ニ耳ヲ藉サレナイ、然ルニ本年ハ如何デアリマスガ、失禮ナガラ此演壇デ昨午言タコト、數字ガドレダケ違ヒマスガ、吾々ハ必ズヤ此通りニ行ケバ一億二千萬圓ト云フモノハ物價騰貴ノ結果要求セラルベキモノデアルト云フコトヲ、此演壇デ明言シテ居ルノデアリマス、海軍ノ軍艦製造費ダケ六千何百万圓モ繰延ラレテ、而シテ八千万圓モ越ニ追加要求ヲシテ居ラレノハ、吾々ノ言タコト、失禮ナガラ少シモ違ハヌノデアルト、此位數字上明白デアテ、證據歴々タルモノニ至テモ、尙且ツ之ニ對シテ此數字ヲソウデナイト稱シテ、此儘進行ノ出來ルモノナドト若シ言ハレノデアラナラバ、蓋シ御氣ノ毒ナ事デアラガ、矢張又桁違ノ勘定デアラウト吾々ハ思フノデアリマス、ソレ故ニ是ハ大體ノ上カラ見マシテモ、此本年度ノ豫算計畫ハ極テ不確

實デアルト云フコトヲ論ゼザルヲ得ナイノデアルト、斯ウ申シマス、何カ日本ノ經濟ガ不確實デアルト云フヤウデ、外國ニ向テモ宜シクナイデアリナカト云フコトヲ首相モ言ハレタヤウデアリマスガ、吾々ハ決シテ日本ノ經濟ヲ惡イト言フノデアリマセヌ、勿論日本ノ經濟ニ對シテ樂觀シテ居ル者デハナイガ、又悲觀シテ居ル者デモナイ、併ナガラ我國ノ政府ノ豫算、政府ノ豫算、此組立ハ實ニ不確實ナモノト謂ハザルヲ得ナイノデアルト、又大藏大臣ハ斯ウ云フ事モ言ハレタヤウデアルト、日本ノ財政ハ臨時部ト經常部ト云フモノガアッテ、經常部ノ歳入ニ於テ經常部ノ歳出ヲ支拂テ餘リガアル、ソレヲ臨時部ヘ持テ行テ居ルノダカラ、是位確實ナモノハナイト云フ事ヲ言ハレタヤウデアリマスガ、果シテサウ云フコトニ依テ財政ノ基礎ガ鞏固デアラナイト言ハレラバ、私ハ一言首相ニ問ウテ見ナケレバナラヌ、ソレナラバ陸軍、海軍ノ國防計畫ト云フモノハ多大ノ金ガ掛ルモノデアッテ、我國ノ豫算ノ殆ド四分ノ一ヲ取テ居ルモノデアラガ、是ハ言フマデモナク臨時部ニ組込マレテアル、其臨時部ノ財源ヲ何所ニ求メテ居ラレルカト言ヘバ、即チ全部ヲ經常部ニ求メテ居ラレルデアリマセヌカ、即チ軍事ノ關係ノ財源ト云フモノハ、ドウシテモ是ハ一時的ノモノ、臨時ノモノデアリカヌ、恆久的ノ財源ニ依ラザルヲ得ズト云フノデ、一昨午ハ國民ニ對シテ一億三千万圓ノ増稅ヲ要求サレテ是ガ歳入ノ經常部ニ這入デ居ル、其經常部ノ金ヲ以テ臨時部ノ金ヲ支拂フト云フト、體裁ハ宜イガ臨時部ノ金ガ非常ニ要ル爲ニ、寧ろ經常部ニ於テ財源ヲ求メラレタデアルト、是ガ我國ノ狀態デ、經常部ノ臨時部ノ關係ニ依テ、我國ノ財政ガ鞏固デアルト、鞏固デアリナカト云フ論ハ、服スルコトハ出來ナイノデアリマス、ソレ故ニ先刻モ申上ゲマス通り、大正十一年度ノ豫算ハ根本ノ數字ガ甚ダ確實デナイ、此儘行タナラバ實ニ憂フベキモノト存ジタデアリマスガ、幸ニモ、或ハ幸カ不幸カ其處ハ分ラナイガ、財政上カラ言ヘバ極テ幸福デアリマス、幸ニモ此處ニ華盛頓會議ノ結果、我國ニ於テハ茲ニ海軍ノ事業ヲ縮小スルコトニ相成ッタデアリマスガ故ニ、之ニ依テ吾々ハ一刻モ早く此海軍ノ豫算ト云フモノヲ更訂ヲ致シマシテ減ズベキハ減ジテ、一日モ早く我國ノ財政ノ基礎ガ鞏固ニナリ、文化事業デアリ、或ハ減稅デアリ、是等ノ事ガ遂行ガ出來ルコトヲ極テ望ムノデアルトガ、高橋首相ハ私ノ質問ニ對シテ、臨時議會ヲ開イテ一日モ早く此事ハ致シタイト云フ考デアルト云フコトハ言デ居ラレルノデアラガ、既ニ其考ガアルナラバ、華府會議モ殆ド確定ノモノノ相成テ居ル、批准ハ濟マナイ事ガアルノデアラガ、殆ド事實ニ於テハ確定ノモノデアリマスガ故ニ、速ニ海軍ノ此計畫費ト云フモノヲ繰延ベラレテ、是ガ決マラナイ

前デアラカラシテ、到底之ヲ減ズルトカ、改訂ト云フコトハ出來ナイト云フナラバ、少クとも之ヲ繰延ベラレテ、歳出ノ方ニ於テ適當ナル施設ヲセラレンコトヲ吾々ハ望ムノデアリマス(拍手)ソレデ是ダケノ御自信、御自覺ガナケレバ、全體華府會議ニ私ハ臨マレル筈ハナイト思フ、一國ヲ代表シテ華府會議ニ臨ムニ當テハ、海軍ヲ如何ニスルカ、陸軍ヲ如何ニスルカ、是ガドウ決マレバ、國ノ財政ノ上ニ於テ如何ニスルカト云フ御決心ガアッテ御臨ミニナタモノデアルト思フ、況ヤ一日モ早く臨時議會ヲ開カウト云フ御考ガアルナラバ、陸軍ノ此繼續費ト云フモノニ對シテ、改訂ハ出來ナイマデモ、繰延ベルコトハ差支ナクナッテ居ル、之ヲ繰延ベテ以テ一方ニ然ルベキ事業ヲスベキ、此十一年度ノ豫算ヲ改訂サレルコトガ、私ハ政府當然ノ責任デアルト信ジテ疑ハヌノデアリマス、是ガ此豫算ヲ大體カラ觀マシテ、政府ニ本豫算ヲ返付シテ、改訂ヲ求メントスル所ノ第一ノ理由ニナルノデアリマス、是ハ豫算ヲ大體カラ觀タ上ノコトデアリマス、更ニ進ンデ此豫算ノ内容ニ付テ、私ハ少シク説明ヲシテ見タイト思フノデアリマス、吾々ハ多年此行政整理ノ必要ヲ認メテ居ル所ノ者デアリマス、如何ニシテモ我が日本ノ國ノ今日ノ狀態デ此儘ニ行タナラバ、頗ル悲境ニ陥ラナクテハナラナイ、行政ノ一大整理ヲスルコトヲ必要トシテ居ル者デアリマスガ、今日ノ時代ニ於キマシテハ、世界各國ノ事情ガ非常ニ異テ參テ居ル、吾々ノ承ル所ニ依リマスレバ、英國ニ於テモ、米國ニ於テモ、相當ニ此行政整理ノ實行ヲ舉ゲテ居ルト云フヤウニ承テ居ル場合デアリマス、到底我國ノ行政整理ニシタ所ガ、昔言タヤウニ或局ヲ廢セトカ、或ハ人間ヲ何割減ラセトカ、所謂天引ノ小整理ナド私ハ行ケルモノデアリナカト斯様ニ信ジテ居ルノデアリマス、即チ吾々ハ根本ノ二行政ノ大整理ヲスル、即チ此仕事ト云フモノノ、組立、組織ト云フモノヲ横斷的ニ或モノハ致シテ、一大改革ヲスルコトヲ要求スルモノデアラガ、其要求スル事柄ハドウ云フ事柄デアラカ、勿論是ハ非常ニ多岐ニ互テ居ルモノデアリマスガ故ニ、已ムヲ得ズ吾々ハ一部ノ例ヲ擧ゲテ諸君ノ御判斷ヲ煩シタイト思フノデアリマスガ、免ニ角先ヅ此陸軍ノ縮小ト云フコトハ、吾々ガ第一ニ著眼ヲシナクテハナラナイ事柄デアルト、即チ大正十年度豫算ニ於テモ、豫算ノ總體ノ四割八分ト云フモノハ、陸軍ノ費用ニ相成テ居ル、本年ハ大分陸軍ハ繰延ベラレタヤウデアリマス、尙ホ六億四千六百六十餘萬圓ト云フ大ナル金高デアリマシテ、總計金額ノ四割四分強ニ當テ居ルノデアリマスルカラシテ、一太整理ヲ財政ノ上ニ加ヘントシマスレバ、如何ニシテモ此陸軍費ニ手ヲ著ケナクテハナラナイト云フコトハ、是ハ誰モ思ハナクテハナラナイ所ノ事柄デアルト、併シ此陸軍縮小ニ付

キマシテハ、既ニ建議案、決議案ニ對シマシテ、我黨ノ總理
大養氏ヨリ詳シク此演壇ニ於テ述ベラレテアリマス、隨テ是カラハ
私ハ今日ハ此理由ハ此處ニ省クノデアリマス、隨テ是カラハ
陸海軍ト云フモノ、大體ヲ外シテ、其他ノモノニ付テ稍、説
明ヲ加ヘルコトニ致シタリト思フノデアリマス、大體ヨリ
此我國ノ行政組織、政治ノ組織ト云フモノ、機關ノ組織、
之ヲ通觀致シマス、總テテ割據主義ニナリテ居ルと思フ、
割據主義ト申シタラバ、或ハ語弊ガアリマセウガ、分リ良
ク申シタラバ、割據主義ニシテ、非ハ病ノ源ヲ爲シテ
居ルモノト信ジテ居ルノデアリマス、(拍手)ソレハドウ云フ所
カラ來テ居ルカト云フト、一ハ歴史カラ、所謂沿革カラ參、テ
來テ居ル所デアリマセウ、政府委員ニ色々問ヒマス、如
何ニモ左様デアラガ、沿革ガ斯ウダカラ仕方ナイト云フコトハ
宜イコトデアリマス、歴史ヲ尊ブト云フコト、總テノ組
織ヲ改革スルト云フコト、ハ、言フマデモナク別ノ事デアッテ、
所謂惡因襲ハ之ヲ打破シテ、而シテ新シキ事ニ付テ時勢ニ
順應スルダケノ覺悟ガナクテハナラヌト、吾ハ思フノデアリ
マス、即チ我國ノ今日ニ於ケル内務省、外務省、大藏省、
アルトカト云フ總テノヤリ方ト云フモノハ、明治維新ノ當時
ニ幕府ノ倒シテ、或ル一部ノ割據所ノ勢力ガ各々、自分
ノ根據ト云フモノヲ造リテ、出來上リテ來タ、所ノ因襲
ト云フモノガ、尙且ツ今日ニ殘リテ居ルコト云フコト、私ハ因
常ナル禍ヲ爲シテ居ルコト、思フノデアリマス、(拍手)例ヘバ
陸海軍デ申シマス、陸軍ニモ矢張工廠ガアリマス、
海軍ニモ工廠ガアル、是ハ陸軍ト海軍トハ各々、格ヘル物ガ
違フト云ヘバ違フノデアリマセウガ、共通ノ物ハ頗ル澤山
アルコトヲ認メナクテハナラヌ、所ガ陸軍ハ陸軍、海軍ハ海
軍デ各々、銘々ニ技師ヲ置キ、技術本部ヲ置イテ、研究ヲ
致シテ居ル、殊ニ大砲ナドト云フモノニナレバ、海軍ハ非常
ニ大キイモノヲ研究シテ、既ニ相當ニ成功シテ居ルモノモ
アルノデアリガ、然ルニ一ノ方ノ陸軍ノ方ノ技術本部ハ
ドウデアアルカト云ヘバ、海軍ノ半分カ、四分ノ一ノヤウナモノ
ヲ頗ル陸軍ハ陸軍デ一方ニ研究ヲ致シテ居ル、此間ニハ餘
程其進歩ナクテハナラヌガ、其各々、自分ノ割據所ニ依
依テ獨立シテ研究ヲ致シテ居ル、其間ニ頗ル此共通ト云
フモノノ欠缺イテ居ル疑ガアリハシナキ、疑アルドコロデハナ
イ、吾ハハアルト云フコトヲ屢、認メザルヲ得ヌノデアリマス、
例ヘバ火藥廠ニシマシテモ、其通りデアリマス、ソレカラ又甚
シイノハ此學校デアリマス、陸軍ニモ軍醫學校アリ、海軍ニ
モ軍醫學校アリ、陸軍ニモ經理學校アリ、海軍ニモ經理學
校ガアル、陸軍ノ經理ノ仕方ト、海軍ノ經理ノ仕方ト、ドレ
ダケ差ガアルデアリマセウカ、吾ハ凡人ニハ殆ド之ヲ區分ス

ルコトガ出來ナイノデアリマス、即チ斯ノ如キモノハ同ジモノ
ニシテ、海軍ノ艦ニ行ク者ハ艦、陸ニ居ル者ハ陸、僅カナ教
育ヲ異ニスレバ、一ツモノデ行ケナクテハナラナイ筈デアアルガ、
銘々軍醫學校、經理學校ヲ置イテ、相當ノ人ガ校長ニナッテ、
機關ヲ備ヘテ割據シテ居ルノハ一體ドウ云フ譯デアリマセ
ウカ、尙且、吾ハ茲ニ進ンデ考ヘテ見タイノハ、一般國民ト
例ヘバ陸軍トノ關係、陸軍ハ獸醫學校ヲ持テ居ル、吾ハ
軍人ニアラサル者モ相當ノ學校ニ依テ獸醫ニナルコトガ出
來ル、陸軍ノ人達ハ特別ニ獸醫學校ガアッテ之ヲ出ナケレバ
獸醫ニナレナイト云フコトハ、是ハ餘程怪シカラヌコトデア
ルト、吾ハ思フ、ソレカラ幼年學校ノヤウナモノ、是モ餘程不
思議ナモノデ、吾ハ考ヘレバ中學校ト同ジヤウナモノノ
アル、陸軍ニ限シテ特殊ノ幼年學校ヲ置イタノハドウ云フ譯
デアアルカ、是ハ實ニ同ジヤウナモノデアアルガ、精神ハ違フ、陸軍
ノ方ハ軍人精神ヲ入レナケレバナラヌノデアアルガ、故ニ、一般
ノ中學校トハ教育ガ違フ、斯ウ云フコトヲ專門家ハ言ッテ居
ルヤウデアアルガ、吾ハ日本國民カラ見レバ一朝事ガ有タ時ニ
ハ、我が國民ハ全國皆兵ト云フコトニナラナクテハナラナイ
ノデアアル、即チ軍人ニ軍人精神ガ必要ナラ、吾ハ如キ非軍
人ニモ、日本國民悉ク軍人精神ヲ涵養サレナケレバナラヌ
筈デアアルト、吾ハ思フノデアリマス、ソレカラ又海軍ニ兵學校
ト云フモノガアリ、遞信省ニ商船學校アリ、是ハ大分遠イヤ
ウナ所モアルガ、又ヤリ方ニ依テハ、商船學校ノ卒業生ヲ
直ニ海軍ノ士官ニ備ヘラゲルケ、教育ガ平生無イコトニナリ
マシテハ、一朝事ガ有タ時ニハ吾ハ却テ憂フベキモノデア
ルト信ジテ居ル、ソレカラ尙ホ餘程不思議ナ事ガ此處ニアル、
陸軍省ニハ陸軍省其モノ、外ニ教育總監部ト云フモノガ獨
立シテ居ルコトハ、諸君御承知ノ通りデアアル、所ガ陸軍省ト
云フ方ニ屬シテ砲兵工科學校ト云フモノガアル、同ジ陸軍
省ハアルガ教育總監部ノ方ニ屬シテ砲工學校ト云フモノガ
アル、マアドレダケノ相違ガアルノデアアルカ、寄ニ學校ノ規則
ヲ開イテ見ルト、洵ニ僅カナ相違デアアル、陸軍省ノ方ニ屬シ
テ居ル所ノ砲兵工科學校ハ先ヅ主ニ低イ階級ノ者ヲ養フ
ノデアアル、教育總監部ノ方ニ屬スル砲工學校ノ方ハ、士官
以上ノ者ヲ養フ所ノモノデアアルガ、之ヲ同ジ陸軍省少數ノ
者ヲ養フノニ、別々ニ學校ヲ置イテ、而モ一部ハ陸軍省ニ屬
セシメ、一部ハ總監部ニ屬セシムル必要ハ全體何處ニ在ル
ノデアリマス、殊ニ砲兵工科學校ハ校長ハ中佐デアアル、砲
工學校ノ校長ハ中將デアアル、而シテ砲兵工科學校ニ至ッテ
ハ、一箇年ノ經費二十六萬餘圓ヲ要求シテ居ル砲工學校
ハドウカト云フト、是亦一箇年ノ經費三十七萬三千餘圓
ヲ要求シテ居リマス、一般吾ハ國民ガ就學シテ居ル所ノ中
學校、工業學校、斯ウ云フモノカラ見タラバ、實ニ吾ハ御

五ハ思ヒ半バニ過ギルノデアリマス、ソレカラ又總監部ノ下
ニ步兵學校ト、戸山學校ト云フモノガアル、是ガドレダケ違
フカト云フコトヲ考ヘテ見ルト、步兵學校ノ方ハ步兵ノ射
撃、戰術、通信術ナドト云フモノヲ習得スル所デアアル、所ガ戸
山學校ノ方ハ同ジ步兵ノヤル事デアアルガ、體操ニ、劍術ニ、
喇叭ノ譜ヲ研究スル所デアアル、是ダケノ爲ニ昔カラ在ル所ノ
戸山學校ハ相變ラズ存在セシメテ、步兵學校ガ新ニ出來タ
ニ拘ラズ、一ツノ學校ガ相對立シテ相當ノ校長ガ之ニ居ッテ威
嚴ヲ保ッテ居ルト云フコトハ、全體國家經濟カラ言ッテドウ
云フ必要ガアルカ、吾ハ素人ニハ分ラナイノデアアル、ソレカラ
更ニ進ンデ近頃極テ必要ニナッテ居リマスル航空事業ノコ
トデアリマス、航空事業ト云フモノハ陸軍ニハ航空局ガア
ッテ、其一年ノ經費ハ二十三萬二千餘圓デアリマス、
此處デハ矢張一般國民ニ對シテモ航空ノ仕事ヲ取扱フ筈
ニナッテ居ッテ、航空者モ養成シテ居ル、其事業ニ九萬七千
餘圓ノ金ヲ要求シテ居ル、今ノハ航空局ノ話デアアルガ、
然ラバ陸軍ノ軍隊ハドウナッテ居ルカト申シマス、軍隊ノ
方ニ於キマシテハ大分多クノ金ヲ掛ケテ居ル、航空隊ノ費
用ト云フモノハ一箇年ノ經費六百七十八萬餘圓デアリマ
スガ、是ハ極テ必要ナモノデアアルカラ、吾ハ之ニ對シテ非難
ヲ加ヘタクナイ、所ガ其他ニ陸軍ニ於テハ航空部ト云フモノ
ガアル、是モ三十三萬餘圓ヲ使ッテ居ル、其他ニ臨時航空
委員會ナルモノガアルカト思ヘバ、更ニ其他ニ陸軍ニ於テハ
航空學校ト云フモノノ一ツ持ッテ居ル、其長ハ陸軍少將デ
アッテ、一箇年ノ經費費ニ五百九十四萬三千七百餘圓ヲ
使ッテ居リマス、サウシテ外國人ヲ傭購スル費用ニ二十萬二
千餘圓ヲ使ッテ居ル、是ガ陸軍省ノ航空事業ノ計算デアリ
マス、然ラバ陸軍ガ是ダケノ事ヲヤッテ呉レテ、我が日本國民
全體ノ航空ノコトガ宜イカト云フト、サウデナイ、海軍ノ方ハ
又別ニヤッテ居ル、航空試驗費ト云フモノガアッテ、ソレニ經
費八萬二千七百餘圓ヲ使ッテ居ル、此航空研究費ノ外ニ
外國人ヲ傭購スル爲ニ多クノ費用ヲ要スル點カラ、三十四
萬九千五百餘圓ト云フ金ヲ一箇年ニ要求シテ居ルノデア
ル、是ガ陸軍ニハ航空局アリ、航空學校アリドレダケノ違
ヒガアッテ、是ダケノ金ヲ掛ケテ外國人ノ教師ヲ傭購シテ研究シ
ナケレバナラヌノデアアルカ、實ニ吾ハ素人カラ考ヘマス、
是亦甚ダ不審ニ思フノデアリマス、所ガ文部省ハ又ドウ云フ事
ヲシテ居ルカ、勿論文部省モ航空ノ事ヲ棄テ置クコトハ相
成ラヌト考ヘタモノト見エテ、東京ノ帝國大學ニ委託シテ
航空研究費ト云フモノヲ四十四萬千餘圓ヲ與ヘ、更ニ此
研究所ノ擴張費トシテ、大正十一年度ノ豫算ニ於テ五十
萬圓ヲ計上シテ居リマス、帝國大學ニ依頼シタ文部省ハ百
萬圓ノ金ヲ投ゼントシテ居ル、サウシテ其間ニ航空調査會――

航空研究會ト云フヤウナモノヲ置イテ、色々ノ連絡ヲ取ッテヤテ居ルト云フノガ文部省ノ現在ノ狀態デアル、是亦實ニ吾々ハ割據主義カラ來リタルモノ、ヤウニ思フ、吾々ハ陸軍海軍ニ對シテ勿論飛行機ノ發達ヲ望ムモノデアルマシガ、レ許リデハイケン、民間ノ飛行機ト云フモノノ發達シナケレバナラヌ、吾々ハ未ダ行ッテ見タコトハナイガ、話ニ聞イテ居ル、例ヘバ巴里カラ倫敦ニ通フ飛行船デモ、吾々普通ノ人間ヲ載セテ飛ブモノガアル、是ガ我國ニ發達シテ郵便デモ何デモ持運ブヤウニナラナラヌト思フノデアリマスガ、陸軍海軍ニ於テハ個々ニ斯様ニ金ヲ使ッテ、割據的ニ研究シテ居ル、一向一般國民ニ對スル方ニ此金ヲ使ッテ居リマセヌ、是ハ餘程吾々ハ考ヘテ見ナケレバナラヌ事デアリト思フ、更ニ無線電信ハドウナテ居ルデアリマス、陸軍デハ無線電信ヲ研究スル爲メ二十五萬八千餘圓ノ金ヲ投ジテ居ルノデアリマスガ、逡信省ニ於テ電氣試驗所ト云フモノヲ置イテ、是ニハ島鴻博士ガ所長ニナリテ而モ勅任ノ技師デアル此人ガ居ッテ、一箇年ニ經費四十八萬餘圓ヲ使ッテ居ル、此處デモ御承知ノ通り盛ニ無線電信ノ研究ヲ致シテ、是ガ實行ヲ致スヤウナコトニナリテ居リマス、陸軍ニ使フ無線電信ト、逡信省ニ使フ無線電信トドレダケ學術的ニ違ヒガアルモノデアリマスガ、頗ル吾々ハ此點ニ關シテ疑ヒ無キコト能ハズデアリマス、更ニ私ハ此日本ニ於ケル化學工業ニ關スル設備ハドウナテ居ルカ、一言シタイト思フ、全體理化學研究所ト云フモノノ極ク必要デアリト云フノデ、盛ニ議會ニ於テモ唱ヘラレ、政府ニ於テモ之ニ補助ヲ與ヘルコトニ相成タノデアリマス、新ニ成立タス所ノ理化學研究所ニ、政府ハ全體幾ラノ補助ヲ與ヘラレテ居ルノデアリカ、一箇年僅ニ二十萬圓シカ理化學研究所ニ與ヘテ居ナイノデアリカ、所ガ是等ノ仕事ト云フモノハ吾々ハ全體帝國大學ナドト密接ノ關係ヲ持ツベキモノデアリト思ヒマスガ、ソレ等ノ聯絡モ未ダ十分ニ取レテ居ナイ、ソレノミナラズ、農商務省ニ於テハ別ニ自ラ工業試驗所ヲ持ッテ居ル、是ハ越中島ニ御承知ノ通り在ルノデアリマスガ、此一箇年ノ經費六十五萬三千餘圓ヲ之ニ投ジテ居ル、一體越中島ノ工業試驗所ト云フモノハドウ云フ試驗ヲシテドレダケノ事ヲシテ居ルノデアリマセウカ、吾々ハ此處ニ細カク論ズルヲ避ケタイト思フノデアリマスガ、其甚ダ不備デアリ、不完全デアリト云フコトヲ證明スルニハ、洵ニ好イ材料ガアル、ドウ云フモノデアリカト云フト、農商務省ハ一方ニ於テ自ラ工業試驗所ヲ有シ、一方ニ於テ理化學研究所ニ僅カナガラ二十萬圓ノ補助ヲ與ヘテ居ルニモ拘ラズ、自ラ進ンデ一箇年ノ經費二十六萬餘圓ヲ投ジテ、窒素研究所ト云フモノヲ新ニ目黒ニ置イタノハ、ドウ云フ譯デアリマセウ、同ジ理化學研究所デアリガ故ニ、是ダケノ事ヲスルナ

ラバ、工業試驗所ヲ擴張スルナリ、工業試驗所ヲ其儘利用スルナリ、成ハ相當ノ補助ヲ與ヘテ理化學研究所ヲ發達セシメテ宜イ筈デアリ、獨リ窒素ノ研究許リニ一十六萬圓ヲ投ジテ、一方ニ工業試驗所ガアルニ拘ラズ、之ヲ新設シテ居ルト云フコトハ、工業試驗所ノ極テ不完全ナルコトヲ證明シ、一面又理化學研究所ニ對シテ餘リ重キヲ置カナイ、唯總花的ニ一ツノ補助ヲ與ヘルニ過ギナイト云フ事實ヲ現スニ止マルノデアリマス、サウ云フ事ヲ致シテ居ルカト思フト、又稅ヲ取ル所ノ大藏省ハ化學ニハ關係ガ無イ筈デアリト思ヒマス、自ラ釀造試驗場ヲ持ッテ居ル、之ニ二十三萬餘圓ノ金ヲ掛ケテ態々大藏省ガ化學ニ關係アル、農事ニ關係アル技師ヲ入レテ、酒ヤ醬油ヲ造ル試驗ヲ致シテ居ル、是モ何カ大學ナリ何ナリニヤラシテ、然ルベキ方法ヲ以テヤッテ、今日ニ於テハ然ルベキモノト思フガ、大藏省自ラヤッテ居ルソレノミナラズ、近來大藏省ニ於テハ鹽ノ人造製造ト云フ事ニ對シテ所謂池田博士ノ方法ヲ試驗シヤウト云フノデ、磯濱ニ於テ試驗場ヲ設ケテヤッテ居ルガ、此成績ハ不明デアリ、然ルニ大藏省ハ其前カラ三田尻ニ立派ナ人造食鹽ノ研究所ヲ持ッテ居ルコトハ諸君ガ御承知デアリ、然ラバ、三田尻ノ研究所ガドウシテモイカナイト云フコトニナラバ、三田尻ノ研究ヲ撤廢シテ、更ニ磯濱ニ置イテモ然ルベキモノデアラウト思フガ、三田尻研究所ニ付テハ私ハ多少ノ内容ヲ知ッテ居ルガ、此處デソレマデ詳シク論ジテ居ル時間ガナイ、三田尻ノ研究所ハ決シテ望ミニアラズ、是ハ大藏省ハ化學ノ研究ヲヤラシテ置イテ、一面ニ於テ又池田君ガ斯ウ云フ事ヲシテ見ヤウト言ヘバ、磯濱ニ於テ研究所ヲヤラシテ居ル、彼所デモ此所デモ色々ナ事ガ十萬圓二十萬圓ノ費用デ日本中の方々ニ始マテ居ルガ、決シテ統一セラレタ所ガナイ、洵ニ私ハ遺憾ナル事デ、何處モ不成績ニ終リテ、長イ年限許リ掛ッテ居ル、容易ニ實ヲ舉ゲルコトガ出來ナイ實情ヲ呈シテ居ルノハ、非常ニ遺憾デアリト思フノミナラズ、御承知ノ通り、內務省ニハ衛生試驗所アリ、之ニ對シテハ醫藥品ノ製造試驗ヲ致シテ、之ガ爲メ二十一萬餘圓ノ經費ヲ使ッテ居ル、勿論是ハ役人ノ費用ヲ差引イテ二十一萬餘圓ノ經費ヲ使ッテ居ル、是等モ化學工業カラ云ヘバ總テノ物ニ關係ヲ持ッテ居ル、日本ニ於テハ農商務省ナリ、內務省ナリ、大藏省ナリ、到ル所デ同ジヤウナ或ル程度マデハ研究ヲ繰返シテ居ル、其終局ト云フ所ハ、ソレハ成程達ッテ居ル點ガアルデアリマセウ、達ッテ居ル點ガアルデアリマセウガ、或ル程度マデハ道行ト云フモノハ各、同ジヤウナ事ヲ繰返シテ試驗ヲシテ居ルト云フコトハ、極テ遺憾ナ事デアリト信ジテ居ルノデアリマス殊ニ茲ニ異様ニ感ジマス、之ニ依ッテ染料會社ト藥品會社ヲ保護スルコトニ

ナッテ居ルノデアリマスガ、是ガ染料ノ方ハ農商務省ニ屬シテ居リ、藥品ノ方ハ內務省ニ屬シテ居ルノデアリマス、內務省ニ於テ今保護シテ居ル會社ハ、僅ニ一會社デアリマス、一ツシカ會社ガナイ、此會社ニ昨年六萬圓ノ補助ヲシテ居ッテ、本年ハ大分大ナル損ガ立ツト見エテ、大正十一年度ニ於テハ十一萬八千餘圓ノ損害補償ヲ豫算ニ於テ要求シテ居ルガ、此一會社ニ是ダケノ補助ヲスルガ爲メ、內務省ガドレダケノ經費ヲ使ッテ居ルカト云フト、特別ニ官制ヲ出シテ臨時ノ役人ヲ置イテ、其經費實ニ八千圓ト云フモノヲ使ッテ居ルノデアリマス、是ハ衛生試驗所ナリ、何ナリ、同ジ內務省ガ金ヲ投ジテ、內務省ノ管轄ノ下ニ在ル所ノ藥品製造ノモノト聯絡ヲ取ッテラドウデアラウカ、特別ニ官制ヲ出シテ臨時職員ノ設置ヲ致シテ、相當ナ人間ヲ置イテ、之ニ給料ヲ與ヘテ、此一會社ヲ監督保護スルガ爲メ、內務省ニ一ツノ役ヲ置クト云フ事ハ、如何ニモ私ハ吾々ノ如キ貧乏經濟許リヤル者カラ考ヘテ見ルト、驚クベキ事デアリト考ヘルノデアリマス、農商務省ノ染料ノ保護ニシテモ、サウデアリマス、染料會社ト火藥製造會社ト對シテ、各ハ一會社締メテ一會社デアリト思フガ、之ニ對シテ實ニ一箇年百九十三萬圓、二百萬圓ニ近キ多大ノ損害ノ補償ヲシテ居ルガ、之ヲ保護獎勵スル爲メニ三萬圓ノ經費ヲ使ッテ居ルデアリマス、是モ矢張特別ニ官制ヲ布イテ之ニ依ッテ臨時職員ヲ設置シテ、農商務省ニ於テ役人ヲ置イテ斯ウ云フ事ヲシテ居ル、是モ工業試驗所ナリ、然ルベキ農商務省ノ試驗場ヲシテ此事ヲ取扱ハシメテ、自ラモ研究セシム、誘掖指導シタラ如何デアラウ、是等モ吾々カラ考ヘルト頗ル異様ニ考ヘルノデアリマス、總テ是等ノ事ハ殊ニ我國ニ於テハ學校ト云フモノト殆ド沒交渉ニナリテ居ルト云フコトヲ遺憾トスル者デアリマス、誠ニ我國ニ於ケル專門學校以上ノ學校ガ理化學ノ實驗ノ爲メドレダケノ實驗費ヲ使ッテ居ルカト云フニ、文部省ノ豫算ニ依ッテ統計ヲシテ見ルト、東京ノ帝國大學ニ於ケルマシハ、理化學實驗費ノミニ五十八萬八千餘圓ヲ使ッテ居ル、京都大學ニ於テハ三十七萬二千餘圓、東北大學ニ於テハ十五萬二千餘圓、九州大學ニ於テハ二十萬四千餘圓、各高等學校專門部ニ於ケルマシハ、之ヲ總計スルト七十一萬八千餘圓ノ理化學研究費ヲ使ッテ居リマス、勿論之ニハ職員ノ給料ガ這入ッテ居ラス、全ク藥品其他ノ材料ニ要スル費用デアリガ、此研究ヲ積マナケレバ大學ナドデ學生ノ教授ヲスル事ガ出來ナイ、是ハ一體ドウ云フ事ヲシテ居ルノデアリマセウカ、之ヲ我國ノ生産の方面ニ應用スル事ガ何故出來ナイデアリマセウカ、此大學ヲ出ル者、高等學校ヲ出ル者、殊ニ實業教育ヲ受ケタ者ガ、世ノ中ニ出テ來タ所ガ一向實用ニ供サレナイ、會社ナドガ實際製造業ニ從

事セシメテ見テモ、存外役ニ立タナイ、斯ウ云フ誇ヲ屢、吾
吾ハ耳ニスルノデアリマス、役ニ立ツ者モソレハ随分有ルデ
アリマセウガ、サウ云フ事ヲ耳ニスルノデアリマス、是ハドウ云
フ事デアリマセウカ、學校ニ居ル間ニ實驗ト云フ事ヲ十分ニ
致サセナイ結果デハナカラウカト、吾、ハ常ニ思フ居ル、即
チ諸官衙工廠等ニ於テヤテ居ル所ノ總テノ試驗場、斯ノ如
キモノヲ大學ノヤウナモノニ附屬セシメ、或ハ委託シテ之ヲ
密接ナ關係ヲ持タシムルト云フ事ヲ信ジテ疑ハナイ者
吾ハ多大ナル經濟ニモ相成ルト云フ事ヲ信ジテ疑ハナイ者
デアリマス(拍手)今内務省ニ於テ榮養研究所ト云フモ
ノガ出來テ、大分澤山ナ費用ガ掛テ研究所ガ出來タノデ
アリマス、アノ一箇年ノ經常費ガ十五萬圓要求サレテ居ル、
アレモ若シ帝國大學ノ醫科大學ト密接ナル關係ヲ持テ居
タナラバ、榮養試驗所モ便利ヲスルデアリマセウガ、又帝國
大學ノ醫科ニ於テ榮養上ノ實驗ヲスル上ニ於テモ、極テ便
利デアルト云フハ、信ジテ居ル、若シ政府ニ於テ斯ウ云フヤウ
ナ事ヲ學校ニ委託スル事ガ宜シクナイト云フナラバ、何故ニ
文部省並ニ内務省ニ於テハ傳染病研究所ト云フモノヲ帝國
大學ニ附屬シテ居ルデアリマセウカ(拍手)内務省並ニ
文部省ニ於テハ傳染病研究所ト云フモノヲ帝國大學ニ附
屬シテ居ル、是非常ニ便利デアル、又成績ヲ學デテ居ルト
云フコトハ、吾、ノ認メル所デアル、先刻申シタ所ノ航空機
ノ試驗ニ於テモ其通り、只今帝國大學ニ委託シテ百萬圓
ノ金ヲ投ジテ大學ニ爲サシメテ居ルト云フ事實ガアル、斯
ノ如キ譯デアリマスガ故ニ、總テ在ル所ノ化學工業ノ試驗場
シメテ、是ト共ニ國家ガ統一シテ經營シ、而シテ學校ト云フ
モノニハ相當ナ自由ヲ與ヘテ、此學校ニ或ル程度ノ自由
ヲ認メテ此研究ヲヤラシムル事ニナラナラバ、吾、ハ天下國
家ノ爲ニ一層多大ナル利益ヲ爲スモノデアルト信ジテ疑ハ
ザル所ノ者デアリマス(拍手)向ホ私ハ、是ヨリ産業ニ關スル
事ガドウナテ居ルカト云フ事ヲ申述ベテ見タイト思フ、産
業ニ關シテハ農商務省ニ農事試驗場ガアリマス、二十八
萬六千餘圓ノ經常費ヲ使ヒ、園藝試驗場ガアツテ五萬九
千餘圓ノ經常費ヲ使ヒ、畜産試驗場ト云フモノノガア
ルノニ、一面ニハ飼育場、羊ノ種、羊ヲ養フ所ノ場所ヲ別
ニ設ケテ居テ、此改良費ニ實ニ四十八萬餘圓ヲ使ヒ、蠶
業ノ試驗スル爲ニ蠶業試驗場ト云フモノノガアツテ、六十二
萬一千圓ノ經費ヲ使ヒ、水産試驗場ガアツテ、是ニハ水産
講習所モ附イテ居リマス、四十七萬五千圓ノ經費、蠶ノ病
氣ノ調査所ガアツテ、十九萬四千圓ト云フヤウナモノヲ投ジ
タルガ、是ハ全體農科大學ト今少シ密接ナル關係ヲ取タ

ラ如何デアルカ、又高等農林學校、高等蠶業學校ト云フモ
ノ、如キモノト、密接ナル關係ヲ取タラドウデアルカ、現ニ蠶
業試驗場ノ如キモノハ、文部省デアラ居ル所ノ高等蠶業
學校ト極テ近キ處ニアルノデアアルガ、一面ハ文部省ノ管轄
ル學校デアリ、一面ハ農商務省ノ管轄デアラ、試驗場デア
ルト云フガ如キ、有様デアラ、學校ハ學校、試驗場ハ試驗場、
各、多大ナル費用ヲ掛ケテ是ガ研究ヲ爲シテ居ルト云フコト
ハ、國民全體カラ見レバ極テ異様ナル觀ガシナレバナラヌ
ノデアリマス(拍手)更ニ此林業ニナルト、餘程吾、ハ不思
議ニ考ヘルノデアリマス、農商務省ニ林業試驗場ト云フモノ
ガアツテ、二十二萬餘圓ノ經常費ヲ投ジテ居ルノニ、農科大
學ニ於テハ林業ノ實地演習ヲスル爲ニ、北海道ニ御承知ノ
有名ナ大ナル林野ヲ持テ居リマス、殊ニ大正十一年度ニ於
テハ此擴張費トシテ十三萬二千圓ト云フ臨時費ヲ要求致
シテ居ルノデアアル、是ハ一體農商務省ノ林業試驗場ト關
係ガ何故付カナイノデアアルカ、農商務省ノ林業試驗場ト農
科大學ト別々ニ致スト云フコトハ、果シテ如何様ナル理由
デアルカト云フコトヲ、吾、ハ知ルニ苦シムノデアアルノデアリ
マス、而シテ文部省デハドウ云フ事ヲヤテ居ルカト云
フト、一面ニ實業教育ノ事ガマダ能ク分ラナイト見エテ、
實業教育調査會ト云フモノヲ設ケテ、此費用ガ實ニ三
萬二千九百圓ヲ投ジテ、實業教育ヲ今調査シテオキデ
ニナル、此事ハ農商務省ノ方ニ御打合ニナレハ、農商務省ハ
只今ノ通り澤山ノ試驗場ヲ置イテ、試驗研究ヲ致シテ居ル
ノデアアルカ、是ダケニナサズトモ、文部省ハ今少シ御分
ニナリサウナモノデアラウト云フ、ハ思フノデアリマス(拍手)
更ニ是ハ簡單ナ事デアアルガ、所謂文化設備ト云フヤウナ事
ノ一端ニナルノデアリマスガ故ニ一ツノ例ヲ茲ニ更ニ
舉ゲテ見タイト思フノデアリマスガ、内務省ニ史蹟名勝天
然物調査會ト云フモノノガアツテ、十七萬七千餘圓ノ經常費
ヲ使ウテ居ル、文部省ニハ古社寺保存會ト云フモノノガアツ
テ二十萬圓ノ經常費ヲ使ウテ居ルノデアリマスガ、是ハ申ス
迄モナク極テ能ク似タモノデアラ、同じ系統カラ出ル所ノモ
ノデアル、是ハ全く沿革カラ來タモノデアラ、全體古社寺保
存會モ内務省中ニアツタノデアリマス、宗教局ニ屬シテ居
タルガ、宗教局ガ管テ文部省ニ移タガ爲ニ、此古社寺保
存會モソレニ附イテ文部省ニ行タノデアアルガ、史蹟名勝天
然物調査會ノ方ハ、是ハ新タニ出來タノデアアルカ、内務省
ニ設ケラレタノデアアルガ、銘々ニ同ジヤウナ人は是ニ入レテ同
ジヤウナ研究ヲ致シテ居ル、勿論名勝デアルトカ、天然物デ
アルトカ云フヤウナモノハ、多少ノ相違ガアルノデアリマス
ガ、史蹟ト云フ事ト、古社寺ノ保存ト云フ事トハ、殆ど同ジ
學問ニ屬シ、同じ所ノ人ノガ之ヲ擔任シテ居ルノデアアル、之

ヲ別々ニヤテ、別々ニ之ニ關スル所ノ役人ヲ使フ、其結果
雙方ニ於テ十七萬七千圓ト、二十萬圓ノ金ヲ投ジテ居ル
ノデアアルガ、之ヲ一緒ニシテ同じ働キヲサシタナラバ、吾、ハ
只今ヨリモ餘程大ナル働キガ出來ルト云フコトヲ信ズルノデ
アリマス(拍手)殊ニ此二ツノモノト云フモノハ、孰レモ之ヲ
保存シタガデハ値打ガナイ、唯之ヲ保存シテ置クト云フダ
ケデアラナラバ、所謂是ハ骨董ノモノニ相成ルデアラウト
吾、ハ思フ、幸ニ是ガ能ク働イタ所ガ、少數ノ考古學者ノ
參考ニナルトカ、一部ノ專門學者ノ參考ニナルニ過ギナイノ
デアリマスガ、吾、ハ斯ノ如キモノハサウ云フ事ニノミ使ヒタ
クハナイト思フ、是非共ニハ我國ニ於ケル國民教育、即チ
精神教育ノ根本ニ之ヲ使ヒタイノデアリマスガ故ニ、殊ニ
我國體カラ言ヘバ極メテ大切ナ事柄デアラ、之ヲ此國民
教育ノ一ツノ中心ノ働キヲ助ケベキモノニ吾、ハ致シタイト
云フ考カラ、常ニ之ヲ主張スル者デアリマスガ故ニ、之ヲ
保存スルバカリデアリハカナイ、此思想ト云フモノガ、國民ノ總
テニ泌渡ルヤウニ設備ヲ致サナクハナラヌト思フ、然ルニ事
茲ニ出デズシテ、唯一種ノ保存ノミニ止マデテ居ルト云フコ
トハ、是ハ金ノ要ル方ノ話デアアルカ、今マダ私ノ言タコト
ハ經濟ノ點ニ於テ逆ニナルノデアアルガ、斯ノ如キモノハ何故
ニ速ニ之ヲ一致シテ、今少シ進シタル方策ヲ立テ、國家ノ
爲ニ貢獻シナイノデアアルカ、之ニ對シテモ極テ私ハ遺憾ニ感
ズル所ノ者デアアル、殊ニ海ニ僅カナコトデ、僅カニ一萬四千圓
許リノ事デアアルガ、實ハ無益ナ事デアルト私ガ感ズルノハ、大
藏省ガ保管シテ居ル所ノ内閣文庫ノ書物ノ事デアアル、内閣
文庫ノ書物ハ諸君ノ御承知ノ通り、徳川幕府カラ傳テ所
ノモノデアアル、當テ楓山文庫カラ此處ニ來タモノデアリマス
ルガ故ニ、我國ニ於ケル貴重ナル書物バカリデアルト云フコ
トハ言フマデモナイコトデアリマスカラ、之ヲ大切ニ保存スル
ト云フコトハ極テ必要ナ事デアアルガ、唯倉ニシマテアツタバ
カリデハ何ノ役ニモ立タナイ、是ハ出來得ル限リ相當ノ方法
取締ノ下ニ、一般國民ノ特志者又ハ專門學者ニ之ヲ廣ク
見セテ、國家ノ爲ニ有益ナル研究材料ニシナクテハナラヌト
思フノデアアル、然ルニ之ヲ大藏省ノ倉ニシマヒ込ンデ置イテ、
蟲干ヲシテ保存スル爲ニ、幾ラノ費用ヲ一箇年ニ掛ケテ居
ルカト云フト、一萬四千圓ト云フ金ヲ投ジテ居ルノデアアル、
斯ノ如キモノハ宜シク帝國圖書館ナリ、帝國大學ナリニ委
托シテ、適當ノ方法ヲ立テベキモノデアラウト云フモノハ考ヘテ
居ルノデアアル(拍手)更ニ簡單ニ申述ベマス、港灣ノ事ニ付
テ言フ、見ヤウト思ヒマス、港灣ノ事ニ付テ言フ、見レバ、内
務省ニ港務局アリ、海港檢疫所アリ、港灣改良費アリ、通
信省ニハ航海標識費ヲ始メ、海ニ關シ港灣ニ關スル所ノ諸
費ガアル、大藏省ニハ稅關アリ、各、各省ガ港ガアレバ、役

所ヲ設ケテ之ニ對シテ相當ノ設備ヲ致シテ居ル、斯ノ如キモノハ一ツノ橫斷的ノ事務ノ整理ヲ致シテ、港灣ナラ港灣ト云フモノデ一ツノ仕事ヲ致スコトガ、何故出來ナイノデアラウガ、是亦一ツノ割據的政策ヨリ斯ノ如キ錯誤ヲ來シテ居ルモノデアル、斯様ニ私ハ信ジテ疑ハヌノデアリマス(拍手)更ニ内務省ニハ同ジ土木局ノ中ニ治水事業費アリ、河川改良費アリ、治水事業ト河川改良ト、ドレタケ違フカト云フコトヲ質問シテ見タ所ガ、ソレハ沿革ガ違フコト云フデ、餘リ大シテ理由ハナイ、寧ロ政府委員ハ一本ニ是ガナルコトガ出來ラレバ、其方ガ内務省ハ都合ガ好イ、斯ウモノヲ答辯ヲ致シテ居ラレバ、其方ガ内務省ハ都合ガ好イ、好イモノデアレバ、大藏省ニ於テモ豫算編成ニ當テ、相當ニ注意ヲサレテ速ニ之ヲ一本ニサレタナラバ、會計ノ切符ヲ振出スデケノ手數デモ餘程便利ナ事デアラウト云フモノハ、内務省デケデヤ、居ルコトデアアルカト思フテ居タ所ガ、熟、豫算ヲ見ルト、農商務省ニ於テモ治水事業費ト云フモノガ百五十一萬六千圓アル、之ヲ調ベテ見ルト、明治四十四年ヨリ大正十八年マデノ繼續事業費デアアル、何ノ爲ニ農商務省ガ治水事業ヲヤテ居ルカ、是ハ必ズ林業ノ關係カラ來テ居ルモノデアラウト云フモノハ、ソレデアアルカト昔ハ斯ウ云フコトモ便利デアタカモ知レナイノデアアル、今日内務省ニ於テ相當ノ技師ガ——勅任技師ノ二人モ三人モ居ルヤウナ内務省ヲ一方ニ控ヘテ居テ、農商務省自ラガ林業ニ關係アリト雖モ、何時マデモ此繼續ノ治水事業ヲ自ラヤテ居ルト云フコトモ、是亦因襲的——衰メテ言フタラ沿革のカモ知レナイガ、因襲的ノ此弊害割據主義ガ、此ニ現レテ居ルモノデアルト云フモノハ、信ジテ疑ハナイノデアリマス、斯ノ如キ事ヲ舉ゲレバ、私ハ此處ニ書イタモノヲ持テ居ルガ、マダ二十ヤ三十デハナイノデアアル(拍手)併シ同僚ノ前川君ガ贊成演說ヲサレサウデアリマシテ、私ノ足ラザル事ハ補ハレコトデアルト思ヒマス故ニ此例ハ此處ニ止メテ置クデアリマスガ、更ニ一ツ見逃スベカラザル事デ、吾々ノ意見ヲ茲ニ發表シテ、諸君ノ御同意ヲ得タイト思フ、ソレハ何デアアルカト申シマスレバ、樺太廳ト云フモノヲ、吾々ハ北海道ニ合併スベシト云フノ意見ヲ有シテ居ル所ノモノデアアル(拍手)樺太廳ト云フモノハ、御承知ノ通り日露戰役ノ結果、我國ノ領土トナッタモノデアリマスガ故ニ、最初ハ大分エライ勢デアリ、一ノ植民地デアアル、新領土デアルト云フノデ、一ノ行政ヲ施イテ獨立ノモノト做シ、只今モ樺太廳ヲ置イテ、特別ノ豫算ヲ組ンデ居ルノデアアルガ、御承知ノ通り樺太ノ人口ト云フモノ、極メテ少イモノデアアル、吾々ガ樺太ヘ參タ時ハ僅カ五六萬デアリマシタガ、只今——今日モ樺太廳ノ政府委員ヲ探シタノデアアルガ、御登院ガナイ爲ニ、

人口ヲ詳シク調べルコトガ出來ナカ、タノデアリマスガ、吾々ノ信ズル所デハ、幾ラ多クテモ七、八萬ヲ超エナイ、十萬足ラズ位ノモノデアラウカト云フモノハ、思フノデアアルガ、此爲ニ一ノ廳ヲ設ケテ居ル、ソレナラバ樺太ガ、將來ドレタケニ開發シ得ルデケノ力ヲ持テ居ルカ、農業ニ對シマシテハ絶望ノモノデアアラマセヌガ、言フマデモナク北海道ヨリハ極メテ寒イ處デア、不利益ナ所ノ位地ニ在ル所ノモノデアアル、而シテ北海道ニ於テハ、マダ開拓ノ餘裕ト云フモノガ十分アル、政府委員ノ言明スル所ニ依テモ、内務大臣ノ言明サル、所ニ依テモ樺太廳ノ拓殖部ト云フモノハ、特ニ之ヲ置クベキモノデア、未ダ廢止スルコト能ハズト云フ御答辯デアアル、ソレタケ北海道ハマダ開拓ノ餘地ガアル、ソレタケ開拓スベキ必要ノアルト云フコトヲ吾々ハ認メル以上ハ、樺太ノ農業ト云フモノニ對シマシテハ、北海道自ラガ之ヲ管轄シテ、決シテ出來ナイモノデアナイ、十分ニ餘裕ガアルモノデアアル、其他樺太ニハ天然ニ生ヘテ居ル樺太松デアアルカ、ア、云フ木ガ大分アル、此ノ承知ノ通りデアアル、アノ事業ガドレタケノ事業ガアリマスカ、石油モ今ノ日本ノ領土内ニハ思フヤウニ出ナイ、石炭モヤ、石炭モ今ノ日本ノ領土内ニハ思フヤウニ出ナイ、石炭モヤ、テ見タガ、野田ノ石炭坑ノ如キモ、大分金ヲ掛ケテ之ヲ研究シタノデアアルガ、速モイケナイト決定ヲシテ居ル、是モ私ハ實際ヲ見テ參テ居ルノデアアル、殆ド樺太ノ事業ト云フモノハ無イ、唯ダ樺太ニ最モアル所ノモノハ、言フ迄モナク水産事業デアアルガ、此水産事業モ、矢張北海道ト同シ性質ヲ持テ居ル所ノモノデアアル、又北海道得ル所ノ魚族ハ、樺太デモ之ヲ得ラレバ、樺太ト北海道ハ、極メテ近キ海ニ在ル所ノ我國ノ領土デア、水産業ト云フモノガ、樺太ト北海道トドレタケ違フカ、今日デハドウナテ居ルカト云フコトヲ樺太ト北海道長官ニ伺フノデアアルガ、ハッキリシタコトハ分リマセヌデアリマシタガ、五、六年前吾々ガ取調ベマシタ時代ニハ、此鮮ノ漁業ニ對シテハ、樺太ト北海道トハ、全ク違フ所ノ政策ヲ執テ居タノデアアル、即チ樺太ニ於テハ、鮮漁業ニ對シテハ低地漁業以上ハ許シテ居ラス、即チ建網以外ノ網ヲ用キルコトハ許サナカ、タノデアリマスガ、北海道ニ於テハ刺網ノ如キ動ク所ノ、自由ニ持テ行ケル所ノ漁具ヲ許シテ居ル、ドウ云フ譯デアアルカト云ヘバ、是ハ北海道ニ於テハ歴史ノ關係モアルノデアアルガ、又決シテ事實ニ於テ、支障ナキモノト云フ答辯デア、タノデアリマス、是ハ丁度當時朝鮮ノ政府委員ヲシテ居ラレテ、此處ニ出席シテ居ラル、方ガ其當時北海道ニ居ラレテ、直接私ニ説明セラレテ、刷物マダ下サタ所ノ事柄デアアル、既ニ是ハ宜シクナイ事ト思フ、同ジ海ノ上、極メテ近キ海ノ上ニ在ル所ノ樺太ト北海道ト同ジ漁族ヲ扱フノ漁具ガ違フ、此取締方針ガ違フト云フコトハ

極メテ面白カラズ感ジタノデアリマスガ、此漁業ノ取締ト云フコトデアアルナラバ、北海道ニ於テ樺太ヲ取締テ差支ナイ、極メテ簡易ナ事デアルト云フモノハ、思フノデアリマス、殊ニ吾々ノ見ル所デハ、此樺太ト云フモノハ我國ニ於ケル一大漁場トシテ、漁業ト云フコトニ對シテ之ヲ發展セシメ、發達セシムルト云フ事ニ付テハ、極メテ有望ニシテ、大切ナ所ノ土地デアアルガ、農業トシテハ、發展セシメヤウト云フニハ極メテ困難デア、北海道既ニ今ノ狀況デアアル以上ハ、樺太ト云フモノハ急ニ行カレバ、遺憾ナガラ之ヲ認メザルヲ得ナイ、殊ニ北海道ノ鐵道ト云フモノハ、今ニ宗谷ノ方マデ行クデアリマセウ、斯ウナレバ僅ニ一衣帶水ヲ隔テ、丁度青森カラ函館ニ行クヤウナ有様デ、樺太ノ大泊ニ行カレバデアアル、樺太ノ大泊築港モ將ニ竣工シヤウトシテ居ルノデアリマスガ、北海道ニ於ケルコトナラ岸ノ築港ト云フモノモ、只今既ニ工事ト云フモノハ相當ニ進シテ居ル、是ガ何方モ出來、北海道ノ鐵道ガ此處迄貫通シタル以上ハ、樺太ノ大泊ラカ築港マデハ、既ニ鐵道ガアルノデアリマスガ故ニ、此聯絡ト云フモノハ實ニ容易ナモトデアアルノデアリマス、僅カ此樺太ノ爲ニ一ノ廳ヲ設ケテ、特別ノ會計ヲ置イテ、茲ニ之ヲ統一スル所ノ必要ハ、吾々ハ殆ド認メナイノデアアル、是ハ是非トモ北海道ニ合併シテ、寧ロ之ニ依テ一ノ統一シタル行政ヲ致シタ方ガ、樺太ノ爲又我國ノ爲ニ、宜シイト云フコトヲ信ジテ疑ハナイ所ノモノデアリマス(拍手)要スルニ此我國ノ官廳ノ組織ト云フモノハ、只今申シマシタ通り、明治ノ初年以來ノ此因襲的ノ氣分ガ、今日ニ傳統的ニ參タ所ノ狀態デア、露骨ニ申セバ割據的ニ相成テ居ルノデアアルガ、是ハ次第々々ニ時勢ノ進運ニ伴ヒ、必要ニ應ジ、已ムヲ得ズ先ヅ港灣ニ喰付カウ、先ヅ一ツ持テ置カウト云フノデ丁度セメント」デクツ付ケタヤウニナッテ膨脹シテ來タノガ、今日ノ狀態デアリマスガ故ニ、ドウシテモ、今日ニ當テハ、此根本的ノ一大改革ヲ爲シ、或場合ハ之ヲ橫斷シテ、此組織ト云フモノハ一變ヲスルデケル大英斷ヲ行ハナレバ、世界ノ大勢ニ順應シテ、我國ノ實業ナリ、化學工業ナリ、或ハ文化ノ施設ナリヲ發表セシムルコトハ出來ナイ、之ヲ爲スニハ此組織ノ大改革ト云フモノガ先デアルト云フコトヲ、吾々ハ適切ニ感ズル所ノモノデアアルノデアリマス(拍手)試ニ今我國ニ於キマシテ、殊ニ今ノ政府ニ於テ段々ニ積上テ、必要ニ應ジテ此設備ト云フモノヲ殖シテ行タノ結果ハ、今官制ガドウナッテ居ルカト云ヘバ、我國ノ現在ノ官制ト云フモノハ、實ニ入組ンダモノニ相成テ居ルノデアリマス、即チ臨時増員——臨時ニ役人ヲ増スト云フ爲ニ態々官制ヲ發布シテ、之ニ依テ色々種類ニ對シテ臨時ニ増員ヲシテ居ルモノ、數ガ、大正九年マデノ調査ニ於テハ十二種類アリマス、八十二種類

試ニ一種類二種類ヲ茲ニ申述ベテ見レバ頗ル異様ノモノ
デアル、農商務省ニ於テ……

○議長(奥繁三郎君) 一寸注意シマスガ、成ベク豫算返
上論ニ副フヤウニ……

○大口喜六君(續) 之ガ返上論ノ根據ニナルノデアリマ
ス

「議長干涉ヲスルナ」ソレガ根本デヤナイカ「ソレ
ガ返上論ニナルノダ、干涉ヲスルナ」ト呼フ者アリ」

○議長(奥繁三郎君) 御默リナサイ

○大口喜六君(續) 之ガ返上論ノ基礎、根據ニナルノデ
アリマス——農商務省ニ於テ臨時ニ置カレテ居ル所ノ職員
ノ中ニ、鳥獸調查ノ事務、此臨時事務ノ爲ニ技師一人、技
手二人ヲ置イテ居ル、又綿羊、羊ノ事ノミニ關スル事務ノ
爲ニ、大正七年四月勅令第八十號ト云フモノデ官制ヲ出
シテ、事務官一人、技師四人、屬五人、技手五人ト云フテ
置イテ居ル、斯ウ云フモノ、數ガ八十二種類アル、其人員ノ
多キコト三千六百七十七人、斯ウ云フコトニ相成テ居ルノデ
アリマス(拍手)ドウシテモ是ニハ一大改革ヲシナケレバ吾
ハナラナイと思フ、勿論私ノヤウナ柄ニナイ者ハ、サウ云フ細
カイ事ハ申シマセスガ、是ハ政府ノ當事者ハ能ク御承知ニ
ナテ居ル筈デアル、獨逸ハ今ドウナテ居ルカ、英吉利ハ今
之ニ對シテ何ト考ヘテ居ルカ、米國ハドウシテ居ルカ、是等
ハ横田君ナドモ此頃御歸リニナテ、能ク御感ジニナテ居ル
筈と思フ、是ハドウシテ居ル、日本ガ斯ウ云フ遣方ヲ何時迄
モ續ケテ、今年モ去年ノ通り已ムヲ得ナイ、是デ遣方ガナ
スウ云フ遣方ドウシテ此日本ガ行キマスカ(拍手)是ハ吾
吾ハ極メテ當局者ノ反省ヲ促シ、之ヲ直スノハ豫算ノ本カ
ラ直シテ來ナケレバナラナイデアリマス、即チ豫算ヲ根本カ
ラ改メナケレバ、是ハドウシテモイカナイデアリマス、ソコデ
一般會計ハ此所デ終リニシテ、特別會計ニ對シテ一二言
申シテ見タイと思フデアリマスガ、特別會計ニ對シテ言ヒ
タイ事ハ實ニ澤山アリマス、併ナガラ大分長クナリマシタ故
ニ、唯ダ一二ノ例ヲ擧ゲテ置キタイと思ヒマスガ、朝鮮總督
府ニ於テ助成費ト稱スル金ノ中ニ、土地改良事業會社ニ
對スル補助ガアリマシテ、是ハ二千萬圓ノ會社ヲ起サシメテ
一億圓迄ノ社債ヲ許シ、而シテ之ニ對シテ總計七百九十
萬圓ノ補助ヲ與ヘヤウト云フデアリマスガ、之ニ對シテハ
委員長ガ御報告ノ如ク、大多數ヲ以テ此費用ハ割ルコトニ
相成タノデアリマスガ、吾々ノ見ル所モ亦斯ノ如キモノハ、
東洋拓殖會社ノ事業、朝鮮殖産銀行ノ事業等ニ對シテ、
頗ル宜シカラザル影響ヲ與ヘルモノデアルト信ズルノデアリ
マスルガ故ニ之ニ對シテハ吾々モ反對デアルトハ勿論デアリ
マス、ソレカラモウ一ツ此朝鮮ノ會計ニ付テ一言致シタイノ

ハ、歳入ニ於ケル關稅ノ中ニ、移入稅ガ入テ居ルノデアリマ
スガ、此關稅中ニ内地カラ行ク所ノ移入稅ヲ取ルト云フコ
トハ、宜シカラザルモノデアルト云フノダ、既ニ四十三議會ニ於
テ、朝鮮ノ當事者ハ委員會ニ於テ是ハ言明致サレテ、一年
間位ノ間ニハ之ヲ廢止スルノデアルカラ、差當リ經濟ノ困
間ハ、是ハ同意シテ貴ヒタイト云フノダ、是ハ廢止スルコトヲ
明言サレテ、而シテ此關稅定率法ノ改正ガ通過致シタノデ
時ノ委員長指田義雄君ガ、此演壇ニ於テ其當時御報告ニ
相成テ、速記錄ニ明記シテアル通りデアリマス、即チ此朝
鮮總督府ニ於ケル此關稅ノ制令ハ、大正十年三月ニ於テ
期限ガ終ルコトニ相成テ居リマシタニモ拘ラズ、朝鮮總督
府ニ於テハ更ニ之ヲ延期シテ——己レ自ラ之ヲ延期シテ
本年モ默テ之ヲ歳入ノ中ニ書入レテ來ラレタト云フコトハ
議會ニ對シテ誓ハレタル所ノ政府ノ信用、之ニ對シテ極メ
テ吾々ハ遺憾ニ感ズル所ノ者デアリマス(拍手)ソレカラ進
デ鐵道省ニ付テ一言致シテ見タイと思フデアリマスガ、鐵
道省ニ於ケル鐵道事業費ト云フモノハ、吾々ノ見ル所ニ於
テハ、頗ル不確實ナルモノデアルト思フ、ソレハ何故デアルカ
ト云ヘバ、現在鐵道敷設法ニ依テ定テ居ル所ノ各種ノ鐵
道、此鐵道ト云フモノハ、大正十八年度迄ニ竣成スベキ計
畫ニ相成テ居ルノデアルガ、此年度割ノ中ニ於テ、大正十
一年度分ニ對シテ、實ニ物價騰貴ノ結果、四千一百萬圓ト
云フ物價騰貴ノ爲ノ追加要求ヲ致シテ居レラレノデアリマ
ス、然ルニ大正十二年度以後ニ對シテハ、矢張是ガ計算ヲ
シテナイ、而シテ一方ニ於テハ八千萬圓ト云フ多大ナル公
債ヲ起シテ、始メテ是ガ辻褄ガ合テ居リマスガ故ニ、來年
度ヨリハ此割合ヲ進シテ、物價ガ下落シナイ限りハ、
毎年々々追加豫算ヲ提出シナケレバナラナイ、同時ニ公債
ト云フモノハ、本年ノ如ク——少クモ本年以上ニ之ヲ募
集シナケレバ、辻褄ガ合ハヌコトニ相成ルニ拘ラズ、一方ニ
於テ更ニ此敷設法ヲ改正サレテ、六千餘哩ノ鐵道ヲ追加シ
ヤウト言ハレノデアルガ故ニ、斯ノ如キ事ヲセラレル以上ハ、
宜シク國民ノ信ヲ保ツ爲メ、一層是マデアル所ノ經續事業費
ノ根本ヲ確立サレレ爲ニ、此計畫ト云フモノヲ完全ニ立テラ
レテ吾々ニ示サレレノガ、鐵道省トシテ相當ナル責任デアルト
吾々ハ考ヘテ疑ハザル所ノ者デアリマス(拍手)斯ノ如ク數
ヘ來リマスレバ、隨分澤山アルノデアリマスガ、即チ吾々ガ大
正十一年ノ此豫算ノ内容ニ立入テ研究致シマシタル結
果、只今長々申シタ通り、行政ノ整理改革ヲ要スル所ノ事ガ
多大デアル、是ガ政府ヲシテ相當ニ編成替ヲ爲サシムルコト
ヲ適當ナリト認メマシタノガ、是ガ豫算返付ニ關スル第二ノ
理由ニ相成ルノデアリマス(拍手)更ニ歳入ニ對シテ一言
述ベテ、第三ノ理由ヲ述ベタイと思フデアリマス、歳入ガ

過大ニ積テアルト云フコトハ、先刻來早速君ガ御述
ニナリマシタ、是ト吾々ハ殆下同ジ意見ヲ持テ居ル者
アリマスガ故ニ、重ネテ茲ニ述ベマセス、過大デアルト云フ
點ニ付テハ早速君ノ御説ニ同意ヲ致シテ、是デ足レリト
致シテ置クノデアリマスガ、茲ニ吾々ノ一言述ベナクテハ
ナラナイノハ、先刻矢張早速君ノ御演說中ニモアツカノヤ
ウニモ思ヒマスガ、歳入ニ於テ所得稅ト云フモノガ減テ、營
業稅ガ殖エタト云フコトハ、是ハ極メテ深キ注意ヲ以テ之ヲ
見ネバナラスコトデアルト、吾々ハ信ズル者デアアルノデアリマ
ス(拍手)政府ノ説明スル所ニ依ルト、所得稅ノ減タノハ會
社ノ或ル部分ガ減タノデアルカラト云フ説明デアアルガ、是ハ
決シテサウバカリデナイ、之ヲ仔細ニ考ヘテ見ルトサウデナ
會社モ矢張又營業稅ヲ出シテ居ル所ノモノデアアル、普通
人バカリガ營業稅ヲ出シテ居ルノデハナイ、然ルニ營業稅ハ
一千八百萬圓殖サレテ、所得稅ハ六千四百萬圓減サレ
テ居ル、此現象ハドウシテモ是ハ營業稅ト云フモノ、法律ガ
對シテ課スル所ノ税金デナイ、商賣ヲ休ンデ居テモ、貨
價格ニ依テ取ラレ、從業ニ依テ取ラレ、賣上金ハ海ノ一
不景氣ノ時代ニ遊ンデ居テモ、矢張同ジ家ニ住ンデ、同ジ
資本ヲ以テ同ジ人ヲ使ンデ居レバ、景氣ノ好イ時ト同ジヤウ
ニ多大ナル稅ヲ取ラレ、所謂一大惡稅デアルト云フ結果
ガ、茲ニ現レタモノデアルト、吾々ハ思フデアルト(拍手)即チ
吾々ノ同僚デアアル湯淺君ガ頻ニ言ハレタル事デ、吾々ハ敬服
シテ居ルノデアリマスガ、湯淺君ハ能ク之ヲ譬ヘテ言ハレ、
ニ、丁度此所得稅ト營業稅トノ關係ハ、病人ガ熱ガアツ
ガアルヤウナモノデ、脈ト熱ガ揃テ居ル中ハ病人ガ死ナ、
ノデアルガ、脈ト熱ガアベコベニナテ、脈ノ數ガ減テ熱ノ度
ガ高マレバ病人ハ死ヌノデアル、我國ノ歳入モ營業稅ガ殖
エテ所得稅ガ減レバ、脈ト熱トガ交又スルヤウナモノデア
カラ(拍手)極メテ是ハ危イモノデアルト云フコトヲ言ハル
デアアルガ、甚ダ私ハ卑近ナ喻デアアルガ、蓋シ當テ居ルコト
デアルト思フデ居ルノデアリマス、ソコデ吾々ハ此營業稅ガ非
常ニ惡稅デアルト云フコトヲ認メテ居ルノデアアルガ、其他ニ
地租ニ對シテモ、通行稅ニ對シテモ、織物稅ニ對シテモ、色
色此稅ニ對シテハ宜シカラザルコトヲ認メテ居ルノデアアルガ、
是ハ稅制ノ整理ヲシナクテハイカナイ、或稅ノミヲ此所デウ
ント減ラシタ所ガ、國ノ經濟ハ持テルモノデナイノデアアルガ故
ニ、一般の稅制整理ト云フモノヲ致シテ、此我國ノ稅ノ均
衡ヲ圖リ、而シテ國民ノ負擔ヲ減ジナクテハナラナイト云フ
趣意ニ於テ、嘗テ稅制整理ノ事ヲ建議シ、政府モ亦之ヲ容
レテ、唯今ハ財政經濟調查會ト云フモノガ出來テ居ルノデ
アルガ、此財政經濟調查會ガ出來テカラ、全體何年ニナル

デアリマセウカ、總理大臣、大藏大臣ハ只今御缺席ニ相成ッ
テ居ルガ、前ノ原總理大臣ニシテモ、又此大藏大臣ニシテモ
屢、委員會ニ於テ言明サレテ、餘程速ニ此稅制整理ヲ實行
サレバ、今日ノ狀態デハ、此稅制整理ト云フモノハ殆ド
雲ニナルカ、今日ノ狀態デハ、此稅制整理ト云フモノハ殆ド
成テ居ルノデアル(拍手)是ハ決シテ財政經濟調查會ニ其
責ヲ負ハセル譯ニハ行カナイ、眞ニ是ハ内閣ヲヤテ居ル所
ノ所謂内閣諸公、此當事者ノ責任デアルト思フノデアリマ
ス、是等ハ全體今ノ内閣ハ何トシテ此稅制整理ヲヤラレル
積リデアルカ、速ニ其一端ナリトモ豫算ノ上ニ現ハサレルコ
トガ、國民ニ對シテ信ヲ負フベキ所以デアル(拍手)斯様ニ
吾ハ信ズル所ノ者デアルノデアリマス、斯ノ如ク吾ハハ
歳入歳出ニ對シテ、一大改革並ニ大改正ヲ行ハネバナラヌ
ノデアルガ故ニ、之ヲ豫算ニ於テ修正スルコト云フコトニナ
レバ、言フマデモナク多ク大ナモノデアリマス、修正セヨト云
フコトデアラナラバ、相當ニ假スニ時日ヲ以テシテ戴ケレ
バ、假ニ間違テ居ルト諸君ニ言ハズル點ガアルカモ知レ
ナイガ、吾ハ信ズル所ノ者デアルノデアリマス、斯ノ如ク吾ハハ
ニ憲法上ノ大權ニモ關係ヲ及ボス事デアリマスガ故ニ、吾ハ
ハ是ハ政府ニ返付シテ、此趣意ニ於テ政府ヲシテ豫算ノ
改訂ヲセシムルコトガ適當ナリト信ジタノデアリマス(拍手)
是ガ第三ノ理由ニナルノデアリマス、斯ク申シマシナラバ、
政府當局ハ斯ウ言ハレルカモ知レヌ、ソレハ無理ナ註文デア
ル、サウ云フ事ヲ前等ガ言フテモ、此豫算大改訂ト云フコ
トガ、十日十五日ニ出來ルモノデハナイ、斯ウ云フコトヲ言
ハレルカモ知レナイト思フ、或ハソレハ一ツノ理由デアラウト
思フノデアリマス、併ナガラ先刻モ私ハ申シマスル如ク、今ノ
内閣ガ華府會議ニ向フニ付テハ、陸軍ト海軍ノ減縮ト云フ
コトニ付テハ、相當ノ決心ガナクテハナラヌ譯デアル、殊ニ陸
軍大臣ハ吾ハノ質問ニ對シテ、軍備ハ縮小スルコト云フコト
ヲ既ニ明言サレテ居ル場合デアリマス、總理大臣ハ、成ベク
早く臨時議會ヲ開キタイト明言サレテ居ル場合デアアルノ
デアリマス、相當ノ用意ト云フモノガ無イト云フコトハナイト
吾ハ思フ、然ラバ吾ハガ是デケノ希望ヲ述ベ註文スルニ
對シテ、此中ニ於テ政府ノ採ルベシト爲スモノアル以上ハ直
ニ之ヲ採ラテ豫算ノ編成替ガ出來ル位ノ用意ハ、平生政府ニ
於テ無クシテバナラヌ道理デアルト吾ハ信ジテ居ルノデアリ
マス(拍手)併ナガラ政府ハソレノ用意モ無イ、ソレモ出來ナ
イト云フナラバ少クモ先刻吾ハガ申シタ如ク、臨時部ニ於
テ繼續事業ニ相成ッテ居ル國防費ノ中デ、海軍ノ年度制ダ
ケハ、此中ノ大部分ハ御繰延ニナシテ居ルベキモノデアルト吾

吾ハ思フノデアル、之ニ依ッテ治水費デアリナリ、教育費ノ補
助デアリナリ、政府ノ自ラ信ズル事ヲ、歳出トシテ豫算ヲ訂
正シテ御出シニナルガ宜シイ、ソレモ確定的デアリデ出來ナ
イト云フナラバ、尙ホ吾ハハ數歩ヲ譲テ、歳出ハ御出シニナ
ラナクテモ宜イ、詰リ一億一千幾ラト云フ剩餘金ノ繰入ガ
アルノデアリマスカラ、是デケデモ御止メニナッテ、政府トシテ
ハ此海軍ノ今年ノ年度割ノ大部分ヲ繰延ベルコトデケハ、
爲サルガ適當デアルト思フ、況ヤ華府會議ノ結果未ダ御批
准ニハナラヌトシテモ、既ニ是ハ殆ド確定ニ近キコトハ世界
各國ノ認ムル所デアリ、我が政府モ既ニ其用意ハアラレル筈
デアル、是ハ其前ニ出來タ所ノ豫算デアルニ、只今事此ニ至
タ以上、殊ニ吾ハガ此希望ヲ述ベル以上ハ、政府ハ之ヲ快ク
引受ケマシテ、少クとも吾ハノ意見ヲ容レテ、豫算ヲ改訂ス
ルダケノ事實力ナシトスレバ、少クとも此海軍ニ關スル費用
ダケハ繰延ベラレテ本年度ノ繼續費ト云フモノヲ繰延ベラ
レテ、使フコトノ出來ナイヤウニサレテ、而シテ其歳出ノ方ガ
定メルコトガ出來ナイト云フナラバ、剩餘金ノ繰入ト云フモ
ノヲ減縮サレテ置イデモ、即チ臨時議會ヲ開ク上ニ於テ、又
ハ追加豫算ヲ要求サレル上ニ於テ、吾ハハ非常ニ好イ事デ
アルト思フテ居ルノデアリマス(拍手)吾ハハ茲ニ出ル所ノ
餘格ト云フモノハ、言フ迄モナク、一面ニ於テハ國民ノ負擔
ヲ減ズル爲メ、稅制ノ根本ノ整理ヲ行フベク要求スルモノデ
アル、一面ニ於テハ産業立國ノ主義ニ依リ、又此文化的施
設ト云フモノヲ向上セシメンコトヲ希望スルモノデアリ、此
主義ニ於テ此豫算ニ對シテ吾ハノ信ズル點ヲ述ベ、其中ノ
一例タルニ過ギナイノデアリマスルガ、只今迄ノ事ヲ申述ベ
テ茲ニ政府ノ御同意ヲ求め、此返上シタル豫算ニ對シ少ク
とも吾ハノ信ズル所ノ一部分デモ成程ト思ハレタナラバ、之
ヲ容レラレ——中ニハ當局大臣ガ御尤デアル、賛成デアル併
シ費用ガ無イカラ困ルト云フコトヲ委員會デ明言サレテ居
ル事モアル、是等ノ事ハ速ニ容レラレテ、海軍ノ經費ヲ繰延
ベラレ、而シテサウ云フ好イ事ハ容レラレテ、出來ルダケナリ
トモ此豫算ノ改訂ヲシテ、此衆議院ニ提出サレ是ガ今議會
ニ於テ實行サレルコトニナタナラバ、我が日本帝國ノ國民
ニ對シテ、如何バカリカ利益デアルト云フコトヲ吾ハハ信ジ
テ疑ハナイ者デアリマス(拍手)此三ツノ大ナル理由ニ依リ
マシテ、吾ハハ遺憾デアリマスケレドモ、此豫算ノ全部ヲ政
府ニ返付致シマシテ、政府ニ熟考ヲ求め而シテ然ルベク豫
算ノ改訂ヲ要求スル所以デアリマス、諸君ノ御賛成ヲ望ミ
マス(拍手)

○議長(與繁三郎君) 討論ニ入りマス、先例ニ依リマシテ
動議ハ本案ノ大體議決併セテ討論ニ付シマス、是ヨリ通告
順ニ依リ發言ヲ許シマス——武藤金吉君
〔武藤金吉君登壇〕
○武藤金吉君 諸君、私ハ只今議題ニ供セラレマシタ豫
算委員長ノ報告ニ賛成シ、是ガ成立ニ努メ、豫算返付ヲ爲
サントセラル、反對論ヲ否認セント欲スル者デアリマス、大
正十一年度豫算豫算ノ編成ニ方リ、政府ハ内外ノ情勢ヲ
考察セラレ、政費ノ膨脹ヲ抑ヘ、財政ノ基礎ヲ鞏固ニスルヲ
主眼トシテ、周到ナル注意ヲ拂ヒ、能ク歳入ノ實況ニ鑑ミ、
新規計畫ヲ見合セ、緊急差措キ難キモノ、外、既定計畫ノ
遂行ヲスル方針ヲ執ラレマシタ、此間ニ整理ヲ行ヒタル事
實モ認メラレ、歳入歳出表ニ於テ歴々トシテ之ヲ知ルコト
ガ出來ルノデアリマス、我が帝國ノ財政ハ反對論者ノ見ル
所ト違ヒマシテ、私ハ頗ル健全ニシテ、世界中其比ヲ見ザル
モノト確信ヲ致シマス、反對論ヲ主張セラル、諸君ハ、金科
玉條トシテ所得稅、印紙收入、郵便、電信、及電話收入等
ニ於テ減收セラル、コトヲ痛撃セラレマスルガ、是ハ其通り
デアリマス、併ナガラ一面營業稅、砂糖酒費稅、關稅、專賣
局益金等ノ增收ノ見込ハ、確然トシテ居ルデアリマセウカ、
世界何レノ國ト雖モ、此大戰後ノ財政經濟ノ狀況ノ大變
化ニ當リマシテ、豫算ノ歲計ノ收入ノ不足ヲ見ナイ國ガ何
處ニ在リマス、又官業收入ノ完全ニ納メテ居ル國ハ、果シテ
何處ニゴザイマス、果シテ北米合衆國ノ如キ、又英國ノ如キ、
其優ラ世界ニ誇テ居ル二國ニ於テスラ、我が帝國ト較ベマ
シタナラバ、果シテ如何デアリマス、戰後ノ現在ニ於テ、我が
帝國國民程仕合ナルモノハ無イ私ハ感ジマス(拍手)「ノウ
ノウ」ト呼フ者アリ、我が帝國ガ世界ニ於ケル有力ナル地位
ヲ保ツニ至ラタルコトハ、固ヨリ開國進取ノ國ニ則シテ、積
極政策ヲ遂行シタル結果デアラ、世界ノ變遷ニ處シテ、内
外政策ヲ機宜ヲ誤ラザリシヨリ國富ノ増進ガ出來タノデア
リマス、又平和ヲ保障スルニ足ルベキ國防計畫モ立ッテデ
アリマス、併ナガラ今日迄年々豫算ノ増加モ亦已ムヲ得ナ
イノデアリマス、反對論ヲ主張セラル、諸君ハ、政費ガ膨脹
シテ財政ノ基礎ハ危クナリ、今ニモ國民ガ負擔ニ堪ヘナクナ
ルガ如クニ論セラレテ居ル、行詰リ破壊ヲ見ルガ如クニ力説
セラレマスルガ、私ハ却テ積極政策ヲ難シ、通貨縮小ヲ唯一
ノ方針トシテ、十年一日ノ如ク論ジテ居リ、戰後財政ノ變
化ヲ顧ミズシテ主張シテ居リ、世界ノ實狀ニ暗ク、溢リニ危
險呼ハリト權道呼ハリヲシテ居ル論者ガ、却テ私ハ此實際
ノ狀態ヲ誤ルモノデハナイカト思フノデアリマス、第一ニ自
然增收ガ多額デアル、第二ニハ公債募集ガ澤山過ル、第三
ニハ巨額ナル剩餘金ヲ繰入レタノハ間違デアル、此三ツノ
豫算ノ財源ヲ編入シタノハ、抑、帝國財政ノ基礎ヲ薄弱ナ
ラシメタト信ジテ居ラレマスルガ、此三ツノモノヲ財源ニ編
入シタ數字ハ、大正八年度ニ於テ三億六千七百萬圓、大

正九年度ニ於テ四億千七百萬元、大正十年度ニ於テ三億四千四百萬元、三箇年間二十億四千八百萬元ニテ、大層之ニ驚カレタリヤウデアリマス、私共ハ少シモ驚カナイ、國民ノ中デ之ヲ驚イタノハ極メテ少數ノ、吾ト反對ノ位置ニ立ツ論者デアルト思フデアリマス(ノウ)「拍手」諸君、如何トナレバ公債募集ニ付テ試ミ、大正三年度以降ノ國債新規發行額、代債發行額ヲ除キタル數字ヲ舉ゲマスレバ大正三年度カラ十年マデノガアリマス、全部之ヲ讀ミマスト長クナリマス、大要ヲ讀ミマス、大正六年ニハ二億三千六百四十七萬五千八百十三圓、大正七年ニハ三億七千九百四十四萬五千五百五十圓、大正八年ニハ二億七千三百四十四萬四千三百五十圓、大正九年度ニハ二億七千六百二十一萬四千二百二十五圓、大正十年度ノ一月末ニハ二億七千七百二十二萬九千九百圓デアリマス

〔與議長議長席ヲ退キ粕谷副議長代リ著席〕

合計十四億四千二百三十九萬三千六百三十八圓、更ニ地方債ノ高ニ付テ申シマス、三年度カラ借入額ハ十年度只今申シタ十月末マデノ合計ガ二億八千二百六十五萬九千五百五十八圓ニテ居リマス、又之ガ許可額ヲ申シマス、大正三年度ヨリ大正十年度ノ十月末マデノ額ガ、六億三千八百七十三萬五千五百四圓ニテ居ルデアリマス、事實程有力ナ證據ハ無イデアル、年々歳々公債募集ガ澤山過ギルト云フコトヲ議會デ仰シヤリマス、其哀レナル悲鳴ハ私共ハ聴飽キテ居ル、私共ハ毎回聴飽キテ居ル事實ハ、漸リナク豫定ノ通り運シテ居ルデアリマス、ヒヤヒヤ)公債募集ハ何等今日マデ差支ナイノデアリカ、此十一年度ノ豫算ニ對シテ何ガ行詰ラテ居ルデアル、何方ガ行詰ラテ居ルデアルカ、豫算返付論ノ方ガ行詰ラテ居ルト見ル方ガ相當デアラウト思ヒマス、又後年度ノ行詰ラテ居ル云サレマス、大正十年度ノ豫算ヲ編成スルニ當リマシテ、十年度豫算ノ中カラ、臨時部ニ於テ不用額四千八百萬圓、其外不足ト思ヒシ額ガ千八百萬圓、計五千八百萬圓、剩餘金トシテ見積ルコトガ出來テ居ル、更ニ二十年度以降ハ、一億一千萬圓ノ剩餘金ヲ確ニ見積リ得ルデアル、尙ホ大正十三年度ヨリノ公債ノ返還期ニナリマス、三千万圓ヲ充當シテ置イタ、是ハ優ニ四千万圓ヲ返還ニ充ツルコトガ出來ルデアリマス、此上ニ短期公債ノ借換等ヲ行ヒマス、公債政策ニ何等支障ノナイコトハ明カデアリマス、何モ反對論者ノ言フガ如ク、漫然漠然今日主義ヲ以テ、財政變理ノ任ニ當テ居ルモノデハゴザイマセヌ、既往現在將來共ニ、一貫セル確實ナル方針ニ依テ國運ノ發展ニ資シ、明ニ公私財界ノ進路ヲ指サシ居ルデアリマセヌカ、何ヲカ放漫デアリマス、孰レガ無責任デアリマス、私ハ放漫無責任

ナル用語ハ、謹シテ豫算返付論者ニ先ヅ返付ヲシタイノデアリマス、大正十一年度豫算編成ニ當リ、九千六百萬圓ノ既定事業ノ繰延ヲ爲シタノハ、何モ金ガ無イカラ繰延ヲ爲シタノデアリ、是ハ海軍ノ八八艦隊其他ニ就キ、材料及製艦能力ガ之ニ伴ハナイカラ繰延ヲシタノデアリ、反對黨ノ一人ガ鬼ノ首デモ取テヤウニ、此壇上ニ力味マレマシタ、全ク事實ガ違テ居リマス、又二千三百万圓ノ普通經費ノ節約ニ對シテモ故意ニ解釋シテ居ル、金ガ無ク行詰ラタラ、已ムヲ得ズ數字上ダケニ止テ收入ノ權衡ヲ取テ、諸君、全ク事實ヲ誣エルヲ甚シキモノデアリマス、我ガ政友會ハ既ニ四十四議會ニ於キマシテモ此點ニ注意ヲシテ、國防費ノ節約ニ付テハ、吾ハ大ニ調査ヲシテ居タ、開會後ニ於テ臨時政務調査會ヲ開イテ、嚴密周到ナル調査ヲ進メタル結果ガ節約トナレテ此豫算ニ現ハレタ、何モ偶然デハナイノデアリマス、ソレヲ指シテ窮餘ノ窮策トハ何事デアリマス、又數字ヲ配列シテ豫算類似ノ提案トハ何事デアリマス、眞面目ナ顔ヲシテ、眞面目ナ九ラシキ顔ヲシテ、餘リ無責任ノ暴言ハ御免ヲ蒙リタイ、之ヲ聽ク吾ハ、不誠意ノ深切ノモノナリトノ感ガ起ラザルヲ得ヌノデアル、政友會ノ積極的政策ハ、少シモ行詰ラテ居ナイバカリナク、此既定計畫ノ大部分ニハ、政友會ノ積極政策ハ、國防計畫ニ於テモ、社會政策ノ上ニ於テモ總テ含マレテ居ルデアリ、又新規計畫ノ中ニハ緊急差措キ難キモノヲバ之ヲ計上シ、國防制限ニ關シテハ、國際協定ノ確立スル後ヲ待テ方針ヲ定メテ、サウシテ其剩餘金ノ始末ハ今ヨリ斷言スルコトハ出來マセヌ、國民教育ノ義務教育ノ國庫支辨、又ハ第二期治水計畫費ノ實行ノ如キハ、吾ハ會テ大隈内閣ガ澤山ノ政綱ヲ掲ゲテ、何モシカッタヤウナコトハ、違フノデ、畫ニ描イタ餅、唯ダ見セルバカリトハ違フ、必ズ近キ機會ニ於テ、實現ヲスルコトヲ此處ニ斷言ヲシテ置ク、又我ガ政友會ノ政策ハ、時ニ緩急ヲ圖リ、時ニ整理緊縮ヲ行フト雖モ、内外ノ趨勢ニ順應シテ機宜ヲ誤ラズ、國民共同ノ生活ノ安定ニ資シ、國家發展ノ方針ニ付テハ、既往モ將來モ敢テ異ナルコトハナイノデアリマス、反對論者ノ中、通貨ノ膨脹ヲ頻ニ痛撃シテ、每議會ニ於テ之ヲ唱ヘザルハナク、今議會ニ於テモ、物價騰貴ハ是ガ結果デアルト叫ビ、政府ノ責任ナリト論ジ、幾ニ通貨ヲ縮小セバ、今日ノ(武藤金)無禮言フナト呼フ者アリ

○副議長(粕谷義三君) 靜肅ニ——注意シマス

○武藤金吉君(續) 今日ノ物價騰貴ハ見ザルベシト、通貨ノ縮小ハ殆ド萬能膏ノ如ク心得テ居ルガ、試ニ戰後各國ノ通貨ノ流通高ヲ御覽ナサイ、英吉利ニ於テハ、英吉利ノミデハナイデハナイカ「ゼノア」ニ於テモ「ト呼フ者アリ」

○副議長(粕谷義三君) 靜ニ——注意致シマス

○武藤金吉君(續) 英蘭銀行券、其他銀行券、及政府紙幣、是ガ千九百十九年ノ十二月ノ末ニハ、五億六千七百十五萬磅、是ガ翌年ノ千九百二十年ニハ、五億五千三百六十五萬七千磅ニ進シテ居ル、又昨年ノ千九百二十一年ニハ、五億八千七百一十一萬磅ニテ居ルデアリカ、又佛蘭西ノ銀行券流通高ハ——政府ノ其流通高ハ、千九百十八年ニハ三百二十二億四千九百六十一萬二千法、千九百十九年ニハ三百七十二億七千四百五十四萬法、其翌年ノ千九百二十年ニハ三百七十九億九千九百九十九萬法、昨年ハ即チ三百七十四億二千二百八十七萬七千法ニテ居ルデアリカ、亞米利加ハ金貨、國庫金、地金、金券、銀券、補助銀券、合衆國ノ紙幣、聯邦準備紙幣、聯邦ノ準備銀行券、國立銀行券、是等ヲ合シタモノデ、千九百十九年ニハ七十七億八千七百九十九萬三千六百六十六弗、又其翌年(ソレヲ日本ノ金ニ直セバ幾ラニナルノ)ト呼フ者アリ)倍ニナリマス

○副議長(粕谷義三君) 靜ニ——注意致シマス

○武藤金吉君(續) 千九百二十年ニハ七十九億六千三百三十二萬九千九百九十九弗、千九百二十一年ニハ八十三億七千二百九十七萬九千九百九十九弗、斯ノ如ク年々何處ノ國ニ於キマシテモ、通貨ハ膨脹——自然ニ膨脹シテ居ル、尙ホ伊太利ノ如キ、獨逸ノ如キモ非常ノ膨脹ヲ致シテ居ル、獨逸ノ如キハ千九百十九年ニ、四百九十六億一千八百萬庫克デアリマシタモノ、千九百二十年ニハ八百一十一億五千四百萬庫克ニテ居ル、昨年ノ十一月三十日ニハ千三百十五億一千庫克ニテ居ルデアリ、何モ日本ダケガ通貨ガ膨脹シテ、世界一般ト背馳シテ居ル譯デアリマセヌ、試ニ日本ノ此通貨ガ地位ニテ居ルカト云フコトヲ申上ダマス、日本銀行ノ兌換券、小額紙幣、朝鮮銀行券、臺灣銀行券、各種硬貨鑄造、又ハ鑄造、差引殘額等皆ナ含シタモノ、大正八年ノ末ニハ三十一億五千二百九十九萬九千六百四十三圓デアタ、大正九年ノ末ニハ三十九億四千九百九十四萬三千三百三十六圓トナレタ、大正十年ノ末ノ今三十二億二千五百五十五萬六千六百九十圓トナタ、然ラバ大正三年カラ大正十年迄ノ比例ハドウデアルト申シマス、大正三年ニハ諸君、十三億六千三百萬圓ノ通貨ノ流通高ガアテ、正貨ノ保有高ハ三億四千三百萬圓シカ、大正四年ニハ十四億四千七百餘萬圓ノ流通高デアタ、正貨ハ三億七千九百萬圓デアタ、又大正五年ノ末ニハ通貨ガ十六億七千餘萬圓ニナリ、正貨ノ保有高ハ七億四千四百萬圓トナタ、大正六年ノ末ニハ二十億五千餘萬圓ノ通貨ノ高デアタ、正貨ノ保有高ガ十一

億五百万トナリ、七年ガ二十五億五千九百七十九万圓トナリ、正貨ノ保有高ハ十五億八千八百萬圓餘トナリ、大正八年ニハ正貨ノ保有高ガ二十億四千五百萬圓トナリ、又大正九年ニハ二十一億七千八百萬圓トナリ、大正十年ニハ二十億八千四百萬圓トナリ、以上ノ如ク我が帝國ノ通貨ノ流通高ハ、正貨ノ保有高ト均衡ヲ失フハ居リマセズ、強テ論者ノ言フガ如ク失テ居ルト云ヘバ、大正三年カラ四年五年ノ此三箇年ニ失テ居ルノデアル（拍手）正貨ノ保有高ヨリ通貨ノ流通高ガ過大デアルハ、大隈内閣ノ當時デアタノデアル（拍手）何故諸君ハ内閣ヲ組織シテ居テ、其時ニ通貨ノ縮小ヲ實行シナイノデアルカ

〔柏谷副議長議長席ヲ退キ與議長復席〕

又世界各國ニ於テ、現下通貨ノ膨脹ニ對シテ非常ニ苦心ヲ致シテ居テ、是ガ整理ニ當ラレテ居ルコトハ事實デアル、殊ニ不換紙幣ノ回收ニ努メツ、アルコトハ事實デアル、國內ノ産業外國トノ貿易ノ上カラ、容易ニ目的ヲ達スルコトガ出來ナイデアルノデアル、我が帝國ノ今日ノ通貨ノ過大、之ガ爲ニ物價騰貴ニナリテモ、強テ政費膨脹トノミ思フデアル見ルコトハ、間違タ思想ノ消極ニ因ハレタ暴説デアルト思フ、次ニ我が輸出ノ貿易ノ近來輸入超過トナリタコトハ、政府トシテモ、吾ニ國民トシテモ、大ニ考慮シナケレバナラス、之ニ對スル對策ノ策ヲ講ズルコトハ勿論デアリマス、此戰後ニ在リテハ、世界各國共ニ大變態ヲ來シテ居ルノデアル、昨年ニ於ケル所ノ上半年ニ於ケル歐米二三箇國ノ實績ヲ申上ゲマスレバ、昨年上半年英吉利ニ於ケルマシテハ、輸出ガ三億六千八百六十五萬四千磅、輸入ガ五億七千七百七十六萬二千磅、此總計ガ九億四千四百一十一萬六千磅、之ヲ前年ノ同期ニ較ベマスルト輸出ハ四割減デアリマス、輸入ハ四割二分減ニナリテ居リマス、又米國ノ昨年ノ上半年ノ輸出ハ二十五億三千六百十萬八千八百、輸入ハ十四億三千三百一十一萬四千磅、總計三十九億六千七百二十二萬二千磅デアリマス、前年ト同期ニ較ベマスレバ、輸出ハ五割一分減、輸入ハ四割減デアリマス、總計四割五分減トナリテ居ル、又佛蘭西ハ大正十年ノ一月カラ八月ニ至ル迄ノ間ニ於ケル輸出ハ、四百四十億八千八百萬法、又前年ノ同期ハ幾許デアアルカト申シマス、百七十二億三千四百萬法デアリマス、又輸入ハ昨年ノ上半年ハ百三十六億七百萬法、前年同期ハ三百四十三萬四千二百萬法、又輸出ノ超過ハ實ニ四億八千八百萬法、世界ニ於テ佛蘭西國ハ貿易ガ一番順調デアリト喜ンデ居リマス、而シテ前年ノ輸入超過ハ百七十一億八百萬法ヲ數ヘテ居リマス、之ガ爲ニ佛蘭西ガ輸出超過ノ結果貿易ハ成功シタト申シテ居リマス、何ゾ圖ラン原料ノ不足トナリ、供給ノ不

足トナリ、物價ノ高キコトハ世界有數ノ國トナリテ居ルデハナカ、却テ大困難ニ陥リテ居ルデハナカ（此時發言スル者アリ）

○議長（與繁三郎君） 靜ニ...

○武藤金吉君（續） 彼ノ世界ノ最大輸出國デアアル米國デス、昨十年ノ上半年ノ輸出ノ貿易ノ總額ハ四割五分ヲ減ジテ、多大ナル農産物ハ少シモ輸出ガ出來ナイ、小麥ヤ玉蜀黍ハ一昨年ノ半價ニナリテ居ル、更ニ不景氣ガ其絶頂ニ達シテ居ル、ソコ我國ノ貿易モ世界的ニ波動ハ免レヌ、大正八年ニ四十三億餘萬圓、大正九年ニ四十二億八千餘萬圓、大正十年ニ四十三億餘萬圓、大正十一年ニ四十二億六千餘萬圓、輸出ノ貿易額ガ、昨年ハ二十八億六千六百七十三萬餘圓トナリ、約三割六分ノ減退ヲ見タ、而シテ輸入超過ハ大正八年ニ於テ、七千四百五十八萬餘圓、大正九年ニ於テ、三億八千七百七十八萬圓、大正十年ハ三億六千六百圓、合計八億二千三百三十六萬圓トナリ、之ニ付テハ是ハ事實デアル、憲政會ノ濱口君ハ之ヲ憂ヒラレテ、戰時中ノ四箇年ニ取リテ、十四億ノ中カラ、今數字ヲ舉ゲタ、割ノ正貨ヲ失フ、ドウダト云、大藏大臣ニ突込マラセ、諸君、濱口君ハ此點ニ付テ机上ノ議論ニハ通ジテ居ラシヤルガ、實際ノ財政ニハ甚ダ迂闊ダト思フ（拍手）何故ナレバ肝腎ノ出入勘定ヲ忘レテ居ル（ノウウ）何ガノウ（ノウ）デアル、大正八年、九年、十年、此三箇年間ニ輸出超過額ガ、數字ヲ舉ゲテ、貿易以外ノ正貨ノ受取勘定ヲ忘レテ居ルノデアル——貿易以外ノ正貨ノ受取勘定ヲ忘レテ居ル——貿易以外ノ正貨ノ受取勘定ト何ヲ指スノデアルカ、運賃、或ハ備船料、外國人ノ本邦ニ於ケル消費金、本邦人ノ海外事業ノ純益、出稼人ノ送金、本邦人海外放資ノ利子、保險關係ノ收入、貿易表以外ノ船舶ノ賣却代金...

○議長（與繁三郎君） 三善君、其處ハアナタノ席デアリマセヌ

○武藤金吉君（續） 放資ノ回收、是ガ大正八年デケル合計十一億四千四百二十一萬四千圓デアリマス、大正九年ニハ合計十二億八千四百八十七萬四千圓デアリマス、大正十年ニハ合計十六億四千四百四十八萬四千圓デアリマス、是ハ受取勘定ノ部デアテ、此受取勘定タテ讀ンデハ決濟ガ出來マセヌカラ、拂出ノ部分モ私ハ此項目トシテ合計ヲ示シタイト思フ、此拂出ノ方ハ、本邦ノ船舶及船會社ガ外國ノ消費スル金、本邦人ガ海外消費スル金、外人内地事業ノ純益、外人ノ内地放資ノ利息、保險關係ノ支出、海外事業ノ經營費、御料品特別貿易品ノ代金、其他外債償還買戻及新放資、此合計ガ大正八年ニ於テ五億七千七百七十五萬圓ヲ拂出シテ居ル、大正九年ニ於テハ十億三千二十

二萬圓ヲ拂出シテ居ル、大正十年ニ於テハ三億九千九百五十九萬圓ヲ拂出シテ居ル、此三箇年間ニ於ケル差引受取超過額ガ、合計十億七千六十六萬五千圓、之ヲ三箇年間ノ輸入超過ノ八億二千三百三十六萬圓ト差引計算スレバ、尚ホ二億四千六百六十四萬五千圓ノ餘ガ此所ニ出ルノデハナカ、然ルニ濱口君ハ四年間ノ戰時中ニ巔ヲ得タ金ハ其六割、八億以上ヲ出シテシマッタカラ、今ニモ正貨準備ガ無クナルヤウナコトヲ說イテ居ルト云フ、ハ財政ノ實際ノ數字ヲ落シタノデハナカ、我國ノ財政ノ基礎ノ鞏固ナルモ此ニ存スルノデアル、經濟界ノ安定モ此ニ確ニナリテ居ルノデアル、我が國民ガ世界ノ幸福ト云フノモ之ヲ言フノデアル、然ルニ戰時中得タ金ヲ無クナシテシマッタヤウナ口吻ヲ以テ說イテ居ルト云フガ如キハ、自分ノ議論ノ都合デ必要ナル數字ヲ落シテ論ジテ居ルノデアル、之ヲ落シテ居ル、モウ少し雅量ヲ以テ斯ウ云フ大切ノ事ハ冷靜ニ御聽ナサイ、次ニ世界各國ノ納稅比率ニ比シテ稅稅ガ高過ギル、又負擔ガ多イト言ヒマスガ、成程稅稅ハ無稅ナラシ程結構ナ事ハ無イ、又輕キレバ是モ結構デアリマスガ、併ナガラ大正十年度ニ於テ、只今早速氏ハ外ノ國ハ負擔ガ輕クナリタ、戰時中ニ膨脹シタ財政ガ縮マツ、皆ナ負擔ガ輕クナリタト言ハヌバカリニ言フデアル、試ニ其數字ヲ舉ゲテ見マスレバ、十年度ニ於テ我日本ニ於ケルマシテハ、國稅ガ九億二千七百八十四萬七千餘圓ニナリテ居ル、一人當リノ負擔十六圓五十九錢九厘ニナリテ居ル、次ニ英吉利ノ國稅ヲ日本ノ金ニ換算シマスレバ五十九億一千八百六十二萬二千餘圓（違フタ）「モウ一遍言フテ見ロ」ト呼フ者アリ「モウ一遍言ヒマス、英吉利ノ國稅ハ、換算スルト九十四億一千五百五十三萬二千餘圓ニナリマス、サウシテ英吉利ノ一人ノ負擔ハ、百九十九圓二十四錢三厘ニ當リテ居ル、佛蘭西ノ國稅ハ日本ノ金ニ換算ヲ致シマス、五十九億一千八百六十二萬二千餘圓ニ當リテ居ル、佛蘭西ノ一人ノ負擔ハ、百五十七圓八十一錢七厘ニ當リテ居ルノデアル、又亞米利加ハ百十八億五千六百三十五萬圓、一人百十三圓十六錢三厘ニ當リテ居ル、伊太利ハ十八億三百四十萬二千餘圓、一人ノ負擔ハ四十九圓九十二錢一厘、又獨逸ハ二百二十億三千六百三十三萬五千餘圓、一人ノ負擔ハ三百六十一圓八十四錢三厘ニ當リテ居ル、支那人ノ負擔ニ付キマスレバ、統計ヲ持マセヌカラ申上ゲルコトハ出來マセヌ、斯ノ如ク稅制ヲ整理シテ惡稅ヲ改廢スル必要ハ固ヨリ認メルケレドモ、吾ハ先ヅ第一ニ此負擔ノ均衡ヲ得ルト云フコトニ努メナケレハナラス、我黨ハ所得稅ヲ改正スルニ當リ、其方針ヲ示シタル如ク、今後ニ於テモ社會政策ヲ何所迄モ基礎トシテ、稅制整理ヲ行フデアルデアル、諸君ノ如ク理窟モナイメチャ（ニ反

對セラレノトハ違フ然ルニ國防制限ヨリ生ズル確定ノ財源ヲ捕ラヌ理ノ皮算用デ、第一ニ之ヲ減稅資ニ充テントスル聲ヲ早クモ耳ニシテ居ル、減稅、無稅——至極結構ナル、併シ是等ハ我が帝國ノ地位ヲ顯ミテ、世界ニ於ケル新興國ノ國民タルヲ忘レタル議論デハナカ、徒ニ國民ニ媚ントスル陋策ハ、今日戰後ノ經營ニ必要ガナ、世界ニ於テ國力生産力ニ比シ、國稅ノ負擔ノ最モ輕ク、而モ緯々トシテ餘格アルハ、我が日本國民デアルコトヲ私ハ確信シテ疑ハヌデアル、更ニ物價騰貴ノ近因ハ、通貨ノ膨脹ニ在リトシ、又國民ノ無自覺ニ在リトシテ居ルガ、通貨ノ膨脹ハ世界ノ戰後ニ於ケル一般ニ來レル風潮デア、物價ノ騰貴ハ何モ政府ガ放漫政策ヲ執ラタカラデハナ、諸君、戰時好況ノ時代ニ、倅薄輕佻放漫ノ弊風ト相俟テ、國民ノ消費的習慣ヲ作ツトスレバ、論者モ同ジク其責任ヲ負ハナケレバナラヌデハナ、況ヤ大隈内閣ニ於テ戰時中ニハ何ヲシタ、放漫無節制ヲ行タノハ大隈内閣デハナ、吾々ガ苦心シテ行政整理ヲ爲シテ產出シタル剩餘金ヲ、悉ク使ヒ盡シテシマッタ、ハ大隈内閣デハナ、戰爭未ダ終ラザルニ、總花的ノ濫費マデモ奏請シタデハナ、公器ヲ弄シテ私恩ヲ售タノハ何レノ黨派デアル、最モ惡例ヲ貽シ置キナガラ——政治上大惡例ヲ貽シ置キナガラ、今更政府ニ向テ其範圍ヲセト言ウデ迫ル如キハ、其心事ノ程猛々シキ限リデアルと思フ、徒ニ理想口舌ノ上ニ數萬言スルトハ、反對論者自己ノ事デアラウ、吾々ハ戰時中ヨリ今日ニ至ルマデ、更ニ將來ニ對シテモ荷モ實行セラレザル事トハ、ニシタコトハ無、諸君、天氣模様ヲ見テ、主張ヲ始終變更セラル、政黨ノ態度トハ異ルノデアル、其事ハ既ニ國民ノ多數ハ能ク承知シテ居ルノデアリマス、戰後ニ於テ不景氣ヲ恢復シ、國民生活ニ安全ヲ與ヘントスルハ、各國共ニ苦心シテ、其病源ノ在ル所ヲ究メテアルニモ拘ラズ、未ダ施術投藥ノ療法ナク、戰爭ニ勝タル國々モ、敗レタル國々モ、又中立タル國々モ齊シク同嘆デア、現ニ各國ノ貨幣價格ニ非常ナル高低ノアル如キハ何ヨリノ證據デア、世界各國ノ爲替相場ト物價ノ指數ト比率スレバ、一目瞭然ニ物價ガ國內のニモ、國外のニモ比較スルコトガ出來ル、何モ我が日本バカリガ、特ニ物價ガ騰貴シテ居ル譯デハナ、詳細ナル調査モ此處ニ持ッテ居ルガ時間ガ長クナルカラ舉證ハ省略スル、要スルニ世界ニ於テ國際間ノ軍備の、政治的の平和ガ確立セザレバ、國際上ノ信用ノ恢復、爲替ノ安定ヲ期スル譯ニ行カヌデアル、之ガ爲ニ戰後ノ善後策ガ立タナ、各國共ニ財政ノ基礎ガ鞏固ナルニ非ズ、經濟金融ハ未會有ノ大變化トナ、歳出ハ戰爭以前ノ數倍、又八十倍ニモナリ、公債ハ七八倍トナリ、租稅ハ三倍乃至五倍トナ、隨テ各國共ニ換紙幣ノ増發トナ

リ、若クハ產業ノ不振トナリ、失業者ヲ生ジ、公債及私債共權利證書ヲ眺メルニ止マテ居、テ、元金モ利子モ、更ニ回收ヲ見ルコトガ出來ナイ狀態デアリマス、諸君、債權國及債權者モ大ニ困テ居ル、債務國及債務者モ大ニ困テ居ルノデアル、是ガ不景氣ノ病源ナノデアル、即チ物價ハ是ガ反響デア、見レバ宜シ、是ニ於テ獨逸ノ各國ニ仕拂フベキ所ノ債金ガ實行ガ出來ルカ出來ナイカト云フコトガ問題デア、アルノデアル、此第一ノ問題ガ解決ヲシテ、世界ノ爲替相場ガ平準ヲ得ルニ非ザレバ、輸出入貿易ハ殆ド何レノ國ト雖モ見込ガ立タナイト申シテ宜シノデアル、此間ニ立テル我ガ帝國ハ、固ヨリ物價ヲ下落シ、生活ノ安定ヲ期スル方針ニ出デザレバ、對外貿易ニ於テ不利ナル地位ニ立ツコトハ勿論デア、之ヲ急激ニ理想通りニ、反對論者ノ主張セラレルガ如ク、十分ナル調査研究モシナイデ、政府ノ力ニ依テ之ヲ強行スルコトシタナラバ、所謂角ヲ矯メテ牛ヲ殺スモノニ類スルデハナ、(拍手)諸君、物價下落セザル以前ニ製造會社ハ悉ク閉鎖ヲスル悲運ニ至リ、事業ノ解散ヲ見ルニ至ルデハナ、悉ク失業者ヲ放出シ、サウシテ又農業者ノ如キハ生産費ガ債ハナ、已ムヲ得ズ田園ヲ荒廢ニスル虞ガアル、隨テ大恐慌ガ來ルコト、スレバ果シテ如何デア、諸君、惟フニ我が帝國ハ、戰後第一ニ大正九年ノ二月以來不景氣ノ風ガ吹イテ來テ、之ニ對シテ政府ハ如何ナル策ヲ執ッタカ、諸君、ヤウニ放漫ナル政策ヲ執ッタ、今日ハ安定ハシテ居ナ、諸君、應急ノ救濟政策ヲ國民多數ノ要望ヲ容レテ之ヲ斷行シ、(何ヲシタカト呼フ者アリ)何ヲシタカ——是カラ申シマスレバ、各種ノ救濟ハ悉ク成功シテ居ルデハナ、諸君、之ヲ蠶絲救濟ニ見ヨ、又之ヲ米穀法ノ實施ニ見ヨ、昨年ノ今日ハ蠶絲救濟失敗ダト言ッタデハナ、其言葉ハ豫算委員會ニモ、本會議ニモ尙ホ存シテ居リ今ギウノ音モ出ナクナッタノハ、事實ガ論證シテ居ルデハナ、(拍手)又米穀法ノ如キモ、日本ノ今日ノ實際ニ適當シタルコトハ、日本國民ノ多數ハ是認シテ居ルデアル(拍手)是ガ何ガ不都合デア、何ガ放漫政策デア、諸君、昨年ノ當時ト今日トヲ冷靜ニ御考ニナ、タナラバ果シテ如何デアリマセウ、更ニ眼ヲ歐羅巴、亞米利加ニ放ッテ彼トヲ比較シテ御覽ナ、亞米利加合衆國ニ於テハ、農業者ノ救濟ハ昨年カラ掛テマダ出來ズニ居ルデハナ、船舶ノ整理ハマダ出來ズニ居ルデハナ、不景氣ハ其極度ニ達シテ、六百五十万人以上ノ失業者ヲ出シテ居ルデハナ、英國ハ工業會社ノ三割以上ハ閉鎖ヲシテ居ル、失業者百八十八万人ヲ出シタル稱シテ居ル、諸君、斯ノ如ク商工業ハ不振、國民ハ納稅力ニ堪ヘナイヤウニナ、居ル、其他佛國、伊太利ハ申ス迄モナク、戰敗國ハ尙更ノ事、到底不幸ハ我國

ト歐米各國ト比較ニナラナイノデアル、吾々ハ斯ノ如ク仕合デア、決シテ現狀ニ甘シズル者デハナ、進ンデ行政ノ整理ニハ、既ニ大正十一年度ノ豫算ヨリ著手ヲシテ居ルノデハナ、若實穩健ニ此緊縮方針ヲ臨ンデ、次年度ヨリハ大ニ刷新ノ實ヲ舉ゲルデア、此豫算ハ既ニ豫備行爲デア、見テ何モ差支ナイ、何モ積極政策ヲ急ニ抛ッテハナ、(拍手)又此豫算ノ中デ、朝鮮ノ農事改良會社ノ補助豫算ハ兩度議會ニ提出セラレマシタ、本年モ亦提出ニナ、政府ガ參考書トシテ配付セラレタ、此朝鮮產米ノ増殖計畫ニ付テ、要領ヲ見マス、前回ノモノト多少組織ノ變更モサレテ居ル、是ニ於テ吾々ハ政府當局ノ意圖ヲ確メタ上デ、官營可ナリト言フカラ、即チ茲ニ創設ヲスルニ至タノデア、要スルニ之ヲ創設シタノハ、農事改良ノ實ヲ速ニ舉ゲ、朝鮮住民ノ爲ニ農事改良ノ實行ガ出來、當局ガ官營デアルト言フカラ修正ニ同意ヲ致シタ、次第デア、大正十一年度ノ經常豫算ハ、最モ嚴格ニ緊縮方針ヲ執リ、財政ノ基礎ヲ鞏固ニ、既定計畫ノ遂行ニ努メタルニ對シ、憲政會及國民黨ノ諸君ハ、杜撰放漫ナリト稱シテ豫算返付ヲ主張セラレ、只今其御演說ヲ承テ、早速君ノ御演說ノ中ニハ、此世界各國ガ戰時中ノ膨脹セシモノヲ戰後緊縮セシメツ、アルト云フコトハ、私ノ演說デ反駁ヲ加ヘテアリマス、ルカラ更ニ辯明ノ必要ハナ、又此虛業ノ獎勵、投機ノ誘導、物價ノ騰貴ヲ促シタルハ、政府ノ放漫政策ノ結果ダト論ジラレマシタ、此政府ガ何時虛業ノ獎勵シタ事ガアリマス、又投機ノ誘導ヲ何時シタ事ガアルカ、投機ノ誘導思惑等ニ付テ、原内閣創立早々高橋現首相ハ、大藏大臣トシテ内外ニ向テ嚴重ニ訓令ヲ出シ、此議場ニ於テモ投機思惑ニ對シマシテハ、責任ヲ以テ演說シテ居ルノデハナ、諸君、ソレヲ何モ虛業ノ獎勵投機ノ誘導ハ、此政府ノシタ罪ダト言フガ如キハ、其誣妄モ甚シキモノデア、ソレカラ又行政整理ノ見ルベキ事ナシ、諸君、憲政會ノ諸君ハ、口デ行政整理ハ毎年唱ヘルガ、行政整理ヲ何時ヤッタコトガアルカ、當デヤッタコトガ無、(拍手)又ヤレル力モ無、(拍手)ヤレル力モ無、殊ニ此軍備縮小ニ付テ、總理大臣ト陸軍大臣ノ意見ハ一致シナイ、内閣不一致ダト言ハレル、私モ豫算委員會ニ於テ早速君ノ御質問ハ聽イテ居、之ニ對シテ總理大臣ノ答辯ハ明ニ一致ヲ答ヘテ居ルノデア、テ、本議場ガ詭辯ヲ弄スルニ至、タト云フコトハ、早速君ニ取ッテ惜シイ事デア、(拍手)公債募集ハ我黨現内閣ノ執來タル公債政策ガ、ベッ何時金融市場ヲ壓迫シタ事ガアルカ、何時モ滞リナク好イ鹽梅ニ行ッテ居ルデハナ、唯ダサウ感ズルノハ諸君ダケナノデア、洵ニ長イ御演說デアリマシ

タガ甚ダ失禮ナガラ大體ニ於キマシテ、餘リ駭スベキ價值モ無カシヤウニ私ハ受取タ(拍手)更ニ國民黨ノ大口君ニ付キマシテハ、此返付ノ理由ノ中ニ幾十數ヘラレマシタガ、其大部分ニ於キマシテハ、私共ハ敬意ヲ表シテ他山ノ石トシテ之ヲ謹聴致シマシタ、洵ニ行政整理ニ關シテ、各省共通統一セズト云フコトニ付キマシテ、深切ニ之ヲ論ゼラレマシタト云フコトハ、我黨ニ於テモ大部分ニ於テハ之ヲ他山ノ石トシテ、將來行政整理ニ資スルコトガ宜シカラウト思ヒマス、之ニ關シテ此方ノ憲政會ノ諸君ノ返付ノ理由トハ、マルデ赤鬼ト正直ノ地蔵様トノ相違ノ感ガアル(拍手)諸君、併ナガラ私共ハ憲政會及國民黨ノ、杜撰放漫デアル豫算ヲ返付スルト云フ議論ニハ同意ガ出來ナイ、又我ガ衆議院ニハ先議權ヲ與ヘラレテ、國民ノ代表者トシテ可否ヲ決シ、又ハ修正スベキモノナルニ、何等相當ノ理由モナク、昨年ト同ジヤウニ此返付ヲ致スト云フコトハ、自ラ先議權ヲ拋棄スルモノデアルト思フ、又自ラ無經論、無政策ヲ表示スルモノデアルト思フ(拍手)諸君、自ラ行詰リヲ證明スル所ノ無責任ナル主張ニ非ズシテ何ゾヤ、吾ハ斯ル破壞的ナル無責任ノ返付論ニハ、斷々乎トシテ反對スルノデアル、茲ニ委員長ノ報告ニ全然賛成ヲシテ、此壇ヲ降ル者デアリマス(拍手)

○議長(與繁三郎君) 川崎克君

○川崎克君登壇

○川崎克君 昨ハ大正十一年度豫算案ニ對シマシテ、編成替ヲ爲ス意味ニ於テ、返付論ニ贊成ヲ致ス一人デアリマス、先程政友會ノ代表者武藤君ニ依リマシテ數十萬言ヲ費サレテ、此壇上ニ於テ本年度豫算ニ對スル贊成論ヲ承リ又返付ニ對スル反對論ヲ承リタリマス、其論旨ハ少シモ大正十一年度豫算ノ核心ニ觸レザリシコトヲ、甚ダ遺憾トスルノデアリマス(拍手)私共ハ本年度豫算ノ全體ヲ通覽シマシテ、此數字ト此事實ノ基礎ニ立テ、此豫算ニ對スル返付論ヲ致シタイト思フノデアル、本年度豫算ノ歲入ノ中ニ於テ所得稅ノ大減減ヲ致シタト云フコトハ、非常ニ注意スベキ問題デアルト云フコトヲ、屢、此議場ニ於テ述ベラレテ居ルノデアリマス、本員ハ此現象ニ對シテ、今少シク深刻ニ此現象ヲ見タイト思フノデアル、所得稅ノ六千四百五十萬圓ノ減收ニ對シマシテ、又取引所稅ノ百五十四萬圓、印紙收入ノ六百七十三萬圓、此減收ヲ見テ居ル上ニ、更ニ剩餘金繰入額ガ半減ヲ致シテ、一億二千萬圓ノ減收ヲ見テ居ルト云フコトヲ以テ、是ハ明ニ高橋內閣ノ多年ノ樂觀政策ヲ裏切タル、有力ノ事實ト見ナクバナラヌト思フノデアリマス(拍手)而シテ之ニ對シマシテ先程大口君モ述ベラレマシタガ、營業稅ニ於キマシテ千八百萬圓ノ增收ヲ見テ居ル、又酒稅ニ於テ千七百萬圓ノ增收ヲ見テ居ル、砂

糖消費稅ニ於テ百二十萬圓ノ增收ヲ見テ居ル、織物稅ニ於テ九百三十五萬圓ノ增收ヲ見テ居ルト云フコトハ、此三稅ノ基礎ノ甚ダ薄弱デアルト云フコトヲ早速君ガ論ゼラレマシタガ、私ハ此政府提出ノ此增收豫算ヲ、其儘正當ニ斯ノ如キ增收アルモノト理解シテモ、營業稅ノ增收ハ認定稅デアリマシテ、國民所得ノ増減トハ何等關係ヲ持タヌノデアル、寧ろ是ハ苛斂誅求ノ結果ヲ物語テ居ルト謂ハナクバナラヌノデアル(拍手)而シテ酒稅、砂糖稅、織物稅ノ如キハ明ニ國民ノ奢侈ニ流レタル浪費ノ情ヲ語ルモノデアリマシテ、實ニ不健全ナル時代ノ反響ト見ナクバナラヌノデアリマス、斯ノ如キ事情ノ下ニ十一年度豫算ニ對スル收入豫算ハ、明ニ二ツノ傾向ヲ物語テ居ルモノデアリマス、所得稅ノ減收ハ國民所得ノ減少デアテ、不景氣ノ結果ニ基因スル生産能力ノ減退ヲ示スモノデアリマス、而シテ各種消費稅ノ增收ハ、消費能力ノ膨脹、消費經濟力ノ情勢、不健全ナル所ノ社會現象ヲ顯現致シタモノト謂ハナクバナラヌノデアリマス(拍手)私ハ斯様ナ基礎ノ上ニ立テ、本年度ノ豫算ニ付テ此明カナル不健全ナル傾向ヲ見マシテ、財政ノ基礎ニ非常ナル動搖ヲ來シタト云フコトヲ認メナクバナラヌノデアル、大藏大臣モ、所得稅ノ收入減ニ對シテハ明ニ不景氣ノ結果デアアル、外ニ理由モ數ヘラレテ居リマス、不景氣ノ結果デアルト云フコトハ明言セラレタ、即チ所得稅ノ減收ハ國民所得ノ減少ヲ語リ、不景氣ヲ語ルモノデアルト云フコトハ明デアテ、是ハ經濟界ノ不況、企業界ノ大減收物價ノ騰貴、生活難ノ叫ヲ齎シ來テ結果ト謂ハナクバナラヌノデアリマス(拍手)私ハ茲ハ百ノ租稅收入ノ中其増收ヲ他ニ見ルヨリモ、一ツノ所得會ノ減收ヲ見ルコトニ對シテ、憂慮措カザル者ノ一人デアリマス、所得稅ハ申スマデモナク稅ノ心臓デアテ、本稅ニシテ健全デアラバ、國家財政ノ基礎ハ安固タルコトヲ得ルノデアリマス、然ルニ本年度ハ特ニ本稅ニ減收ヲ見ルニ至ツタコトハ、甚ダ遺憾トスル所デアリマス、此事タルヤ數年來持來タル放漫政策ノ結果ガ、茲ニ斯様ナ事實ヲ產ミ、出シタノデアリマシテ、本年度ノ歲計豫算ニ於テ、其收入ニ於テ一租稅收入ニ於テ前年度ニ比較致シマシテ、千八百十四萬圓ノ減收ヲ出シテ居ルノデアリマス、而シテ他ノ官營收入及繰入金ヲ合算シテモ、經常部ニ於キマシテハ九百七十四萬圓、即チ約一千萬圓ノ減收ヲ見タノデアリマス、斯様ナ減收ヲ見テ、而シテ此減收ハ永久的ノ續タベキ惡影響ヲ持テ居ルニ拘ラズ、之ニ對シテ何等ノ準備モ無イ、何等ノ計畫モ立テナイト云フコトハ、本年度ノ豫算ノ大缺點デアテ、即チ國民所得ノ減少ニ著目シテ、國家歲計中ノ經常部ニ屬スル所ノ行政費ニ對シテ、大減縮大削減ヲ加フルハ、是レ眞

ニ國民生活ヲ基本トスル所ノ財政計畫ニ於テ立テラレナクバナラヌ、必然ノ結果ト言ハナクバナラヌ、然ルニ事此ニ出デナイ、如何ニテ居ルカト言ヘバ、此歲入豫算ニ於テハ九百六十五萬圓ノ減少ヲ見テ居ルニ拘ラズ、歲出經常部ニ於テハ二千八百二十一萬圓ノ膨脹増加ヲ致シタル所ノ豫算ヲ編成致シタノデアリマス、是等ノ如キハ全ク本年度ノ豫算ノ大缺點デアリマシテ、此中ノ剩餘金ノ繰入一億三百萬圓ノ減少ヲ見タト云フコトニ對シテハ、是ハ明ニ海陸軍ニ於ケル所ノ經費ヲ繰延ベタノデアアル、殊ニ製艦費八千四百萬圓ノ繰延ヲ致シタルモノトシテ、私共ハ極ク善意ニ此案ニ對シテ理解ヲ持テ居、タニ拘ラズ、先程武藤君ノ說明ニ依レバ、是ハサウデハナイノデアアル、軍艦製造費ノ繰延ハ歲入ノ減收タル結果ニアラズシテ、造船能力ノ足ラザル結果デアアル、斯様ナル明言ヲ得タノデアアル、實ニ驚キ入タ事デアアル、我ガ國防計畫ヲ安全ニシナクバナラヌト云フコトヲ多年說イテ居ル方ガ、今日造船能力ノ缺乏ノ爲ニ八千四百萬圓ノ繰延ヲシタト云フニ至テハ、我國ノ國防實ニ危シト言ハナクバナラヌノデアリマス、是ハ武藤君ノ一家言デアアルカ、或ハ政府當局ヲ代表シテノ言明デアアルカ知ラナイガ、斯ノ如キ言明ヲ爲シタルト云フコトハ、天下ニ向テ如何ニ此言明ヲ辯明セラル、ノデアアルカ、其辯明コソ次ニ登壇セラレル東君ニ依テ承リタイト思フノデアリマス、私ハ本年度ノ豫算ガ歲入ニ於テ九百七十萬圓、歲出ニ於テ二千八百萬圓ノ龐大ヲ來シタ、是レ自身驚イテ居ルニ拘ラズ、其中ニ於テモ特ニ注意スベキ事ハ陸軍ノ豫算ハ千三百六十五萬圓昨年度ノ豫算ヨリモ本年ノ豫算ガ増加致シテ居ルコトハ驚クベキコトデアアル、私ハ數日前政友會ノ代表者ニ依テ此壇上ニ於テ軍備縮小ニ關スル御演說ヲ拜聴致シタノデアリマス、殊ニ大岡君ノ如キハ陸軍ノ軍備縮小ノ外ニ、帷幄上奏權ニ迄喰入テ御論ジニシタノデアアル、斯ノ如ク政友會ガ軍備縮小ニ關シテハ徹底的ノ縮小ヲ爲ス意見ヲ持テ居ルニ拘ラズ、本年度ノ豫算ニ於テハ、昨年度ノ豫算ヨリモヨリ以上二千三百萬圓ノ増加ヲ見ル、收入ハ減ジテ居ルニ拘ラズ、陸軍ノ豫算ハ増加ヲ見ルト云フコトハ、茲ニ明ニ二箇ノ矛盾撞著ヲ示スモノデアリマス、之ヲ如何ニ説明スルノデアアルカ、或ハ此豫算ハ昨年ノ十一月編成ヲ致シタノデアアルカシテ、陸軍ノ縮小ハ即チ最近ノ華府會議ガ齎シ來タモノデアルト云フナラバ、ソコニ於テ明ニ此豫算ノ編成替ヲ爲ス所ノ必要ガ生ジテ來ルノデアテ、私共ハ本年度豫算ノ編成替ヲ爲スベシト云フ論據ノ第一ハ即チ此點ニ在ルノデアリマス(拍手)第二ハ武藤君ニ依テ論ゼラレタル所ノ現內閣ノ公債政策ニ對シテ御辯明モ承タ、公債ハ決シテ行結テ居ラナイ、多々益辨ジテ居ルト、外國ノ例ヲ引イテ

御論ニテ居リマシムルガ、日本ノ實際ハ武藤君ノ言ヲ全ク裏切リテ居ルノデアル、何故カナラバ、現内閣ガ生レテカラ僅カ三年経タヌ間ニ、十億ノ公債ヲ募ラレタ、大正七年、八年迄ハ二十五億ノ公債ヲ有シテ居タ日本帝國ノ財政ハ、今日ニ於テハ三十五億ノ公債ニナリ、十億ノ増加ヲ見タ、其ノ増加ノ見タ中ニハ國家ノ施設經營ノ上ニ於テ、産業ノ開發ノ上ニ於テ、必要ナル事無シトハ言ハナイ、併ナガラ其中ニハ驚クベシ、西伯利ニ出兵致シテ名分、無キ戰ヲシテ、駐兵致シタ所ノ經費ヲ三億餘萬圓モ計上致シタノデア、驚クベキ事デア、而シテ最近ニ於ケル公債ノ實情ハ如何ト云フナラバ、明日即チ二月十五日ニ借換シナケレバナラヌ所ノ一億萬圓ノ公債ハ如何デア、カト云フナラバ、先程早速君ノ言ハレタ通り、前年一錢七厘ノ日歩デア、タモ、今日ハ一錢九厘トナリ、即チ年利ニ致シテ六分九厘四毛ノ高利ヲ拂フニアラザレバ、日本ノ公債ノ借換ガ出來ヌト云フコトハ、明日日本ノ公債政策ニ行詰リテ説明スルモノト言ハナケレバナラヌ(拍手)殊ニ此公債ハ大正十八年迄ノ間ニ償還スベキ所ノ公債十七億六千七百萬圓、更ニ鐵道其他ノ事業ノ爲ニ公債募集ヲ十八年迄續ケラレル所ノ十四億八千萬圓ヲ加フレバ三十二億萬圓ノ多キニ達スルノデア、而シテ是ガ年額償還ハ四億六百萬圓ノ償還ヲシナケレバナラヌコトニナルデア、之ヲ經常部豫算カラス様ナル所ノ償還ヲ生ミ出スト云フコトハ不可能デア、カ、如何ニスルカト言ヘバ、公債借換ヲスルヨリ仕方ガナイ、借換ヲスルハ宜シイガ、今日ノ借換ヲシテ居ル實例ヲ見レバ五年トカ六年トカノ借換ヨリ出來ナイノデ、二十年、三十年ノ長期ニ互ル借換ヲシナケレバナラヌハ勿論ノコト、非常ナル高利ノ利息ヲ拂ハナケレバナラヌ、公債ノ借換償還ハ是レ明ニ公債政策ノ行詰リニ非ズシテ何ゾヤト言ハナケレバナラヌ(拍手)斯ノ如キ事情ニ依テ公債論ニ對スル所ノ論點ハ遺憾ナク武藤君ノ議論ヲ論破シ得タト思フノデア、リマス、更ニ物價論ニ至リテハ、私ハ驚クノデア、物價ニ對シテハ現内閣ハ寺内内閣ノ後ヲ受ケテ、物價政策ニ付テハ徹底シタル方針ヲ御執リニナルヤウニ見エル、世間ノ期待モ亦此ニ付タ、然ルニ何ゾヤ、就任三年有餘ニ及ンデ居ルニ拘ラズ、物價政策ニ對シテハ眞ニ對案ヲ持タヌノデア、其通貨ノ上ニ於テ、或ハ行政整理ノ上ニ於テ、少シモ對案ヲ持タヌ、通貨問題ニ付テ對案ヲ持タヌ證據ハ、過日來ノ委員會ニ於テ、コゴデ初テ成程現内閣ニ於テハ、通貨政策ニ對案ノ無イト云フコトヲ知ルコトヲ得タノデア、ソレハ何デア、カ、農商務大臣ノ唱ヘラレル所ノ通貨政策ハ、農商務大臣ハ本議場ニ於テモ、二月十日ノ豫算總會ニ於テモ、明言セラレタ如ク、物價ノ騰貴ヲ抑制シ、物價ノ低落ヲ

來スト云フ上ニハ、通貨ヲ縮小スルコトガ效力ガアル、蓋シ通貨ノ縮小ヲ急激ニヤルコトハ經濟界ニ惡影響ヲ及ボスカト云フコトヲ附加シテ、明ニ物價ノ騰貴ヲ抑制スルノニハ通貨ノ縮小ニ在ルト云フコトヲ論ジテ、居ル、然ルニ今度ハ大藏大臣ニ尋ネルト、大藏大臣ハ物價ノ騰貴ハ購買力ノ増進デア、通貨ノ膨脹ハ購買力増進ノ結果デア、而シテ通貨ノ膨脹ナルモノハ不換紙幣トナラザル限りハ、兌換シ得ベキマデ通貨ヲ發行致シテ何等差支ナイト論ジテ居ル、茲ニ明ニ矛盾ヲ致シテ居ル、一ハ結果ヲ言ヒ、一ハ原因ヲ論ズル所ノ此矛盾セル所ノ兩關係ガ居テ、物價政策ニ付テノ通貨問題ノ解決ヲ爲サントスルガ如キハ、是レ明ニ本ニ縁デ魚ヲ求ムルノ類デア、カト云フコトヲ發見シタノデア、故ニ私ハ此通貨政策ニ對シテ、現内閣ニ向テ物價ノ騰貴ヲ抑制セヨト云フ註文ハ致サヌ、併シ物價ノ低落ヲ妨害シナイダケノ方針ハ執リテ欲シノデア、カ(ヒヤ)現在今ノ内閣ノヤデ居ル所ハ、物價ノ低落ヲ態々妨ゲル方針ヲ執ッテ居ルノデア、ハナカ、其證據ハ何デア、カト言ヘバ、金ノ輸出ヲ禁ジテ即チ物價ノ國際化ヲ現ハサナイ、物價ノ資本化ヲ起サナイヤウナ方針ヲ執ッテ居ルノデア、カ、此重金主義ノ通貨政策、此重金主義ノ通貨政策ト云フモノハ何處マデ續クモノデア、カ、明ニ之モ行詰リテ居ルノデア、カ、政府ノ在外正貨ハ八億五千萬圓アルト云フコトヲ居リマス、其中デ使ヘル正貨ハ幾ラアルカト云フコトヲ、此間豫算委員會デ調べテ見ルト、一般會計ニ屬スル金ハ僅ニ二億二千萬圓シカナイ、二億二千萬圓シカ使ヘナイノデア、カ、其上一般ニ貿易外カラ來ル所ノ金ヲ一億五千萬圓ト見積リ、現在ノ金産額ヲ三千万圓ト見積リ、四億足ラズノ金シカナイ、其中ニ於テ本年度ノ貿易ハドウデア、カ、マダ二月ノ月初ニシカナラナイ、輸入超過ガ一億以上ヲ越エテ居ル、此調子ヲ以テ進シタナラバ、本年ノ貿易ハ五億、六億ヲ超過スルト云フコトハ明カデア、カ、マシテ、本年ニ於テモ、少クトモ來年ノ上半期マデニハ、此在外正貨ガ無クナルノデア、カ、政府ノ所謂重金主義即チ正貨維持ノ方針ハ是ニ於テ根柢ヨリ覆ヘサレタト言ハナケレバナラヌノデア、カ(拍手)斯ノ如キ理由ニ依テ現内閣ニ向テ、豫算ノ編成替ヲ求メルトデア、カ、終ニ臨シデ一言高橋大藏大臣ニ申上デ置キタイノデア、カ、過日ノ豫算委員會ニ於テ、私ガ高橋大藏大臣ニ對シテ質問ヲ致シマシタ中、歳入豫算ノ一千万圓足ラズ不足ニナッテ居ルコト、歳出豫算ノ二千八百萬圓ノ増加ヲ見タコト、此現象ヲ見テ如何ニ御考ニナルカト云フコトヲ尋ネマシタニ對シテ、高橋大藏大臣ハ十年度ノ歳入ヲ見マス、十一年度ノ歳入ト、十年度ノ歳入ヲ比較シマス、差引三千三百萬圓ノ增收ニナルノデア、カ、斯様ナ答辯ヲ致シテ居ル、アナタ

ハ歳入ハ減ッテ居ルト仰シヤルガ其減ッテ居ルト云フモノハ、剩餘金ノ繰入高ガ減ッテ居ルト云フコトデ、歳入ニ於キマシテハ、決シテ減ッテ居ラヌノデア、カ、斯様ナ答辯ヲ致サレマシタカラ、私ハ重ねテ此豫算ニ於テハ明ニ經常部ニ於テ一千万圓足ラズ減收ヲ致シテ居ルト云フコトヲ重ねテ問ウタニ對シテ、イヤ全ク今忘レテ居リマス、分科會ニ讓ッテ裁キタイ、斯様ニ御答ニナタカラ、更ニ追窮シタニ對シテ、成程分リマシタ、成程分リマシタ、經常部ニ於テ所得稅ハ六千万圓減ジテ居ル、サウシテ他ノ稅ニ於テハ三千三百萬圓殖エテ居ル、差引經常部ニ於テハ三千萬圓ノ收入減デア、カト云フコトヲ最初ニ於テハ三千三百萬圓殖エテ居ルト言ヒ、更ニ追窮シテ尋ネレバ三千萬圓減ッテ居ルト、驚キ入タルコトデア、カ……

○三木武吉君 議長、議事進行ニ對シテ發言ヲ求メマス

○議長(與繁三郎君) 三木君今發言中デアリマス、カ

○三木武吉君 發言中デモ其發言ニ關聯シテ居ルコトデアリマス

○議長(與繁三郎君) ドウ云フコトデスカ

○三木武吉君 此豫算ノ討議ノ眞最中、當面ノ責任者デア、カ、大藏大臣ガ先刻ヨリ長イ時間ノ間席ヲ離レテ居リマス、是非共御出席ヲ願ハナケレバナリマセヌ

○議長(與繁三郎君) 諸君ニ御諮リ致シマス、定刻ニ迫リマシタガ、本日ハ豫算ノ會議デ尙ホ討論モアリマス、カ、時刻ハ延バスコトニ致シマス

○川崎克君(續) 私ハ大藏大臣ノ出席マデ待ッテ居リマス

○「質問デヤナイダラウ」ヤリ給ヘヤリ給ヘト呼フ者アリ

○川崎克君(續) 私ノ討議ハ大藏大臣ニ對スル討論デアリマス、カ、出席マデ待チマス

○「無責任極マル」ヤルベシヤルベシ「惡例ヲ貽ス」ト呼フ者アリ

○議長(與繁三郎君) 大藏大臣今ニ御出席ニナリマセウ、ナリマセウガ(休憩スベシト呼フ者アリ)一寸御聽キナサイ(休憩スベシ)其他發言スル者アリ、靜ニ

議長ガ宣言スル事ニハ靜ニスルコト云フ申合セデア、カ、アリマセヌ、カ、今ニ出席ニナリマセウ、ナリマセウガ國務大臣ノ出席ノコトハ議長ノ責任デア、カ、ソレデ暫ク出席ニナルマデ休憩ト云フ譯ニ行キマセヌ、故ニ演說ヲ繼續ナサルカ、御止メナサルカ、ドウシカニナサイ

○議長(與繁三郎君) 止メロ、又議長ノ責任デア、カ、ナカ

意ハシテ置カナケレバナラヌト呼フ者アリ

○議長(奥繁三郎君) 注意ハシマシタ

〔注意ハシテナカッタノデヤナイカ〕ト呼フ者アリ、發言スル者多シ

○議長(奥繁三郎君) サウ騒イデハイケマセヌ、今出席スルト云フコトデアリマス、此方ハ責任ハ持タヌ(ヤリ給ヘ)ト呼フ者アリ

○川崎克君(續) 高橋總理ニ申上ゲルノデアリマス、委員會ニ於テ私が歳入豫算ノ減額ヲ云フコトヲアナタニ申上ゲタニ對シテアナタハ、三千三百萬圓殖エテ居ルト云フコトヲ御答ニナツタ、其後デ(發言スル者アリ)

○議長(奥繁三郎君) 靜肅ニ……

○川崎克君(續) 今度ハ調ベテ見タラ三千萬圓ノ歳入減アルト云フコトヲ仰シヤッタ、是ハ速記録ニ明カニアリマス、左様ナル數字ハ大正十一年度ノ豫算ノ何處ヲ搜シテモ無イノデアリマス、是ハ何處ノ國ノ豫算、何年度ノ豫算デアルカ、驚キ入タル御答辯ト承ル(拍手)大藏大臣ハ數字ノ上ニ生活ヲセラレ、數字ヲ以テ生命トシ、サウシテ此大切ナル所ノ豫算ヲ編成スルニ當ッテ、本年度ノ歳入ガ前年度ノ歳入ヨリモ減ジテ居ルカ、殖エテ居ルカト云フ位ナ事ハ、少クトモ御承知ニナラナケレバ此豫算編成ハ出來ナイ(拍手)然ルニ斯様ノ誤リ―數字ノ末節ヲ申スノデアリマセヌ、歳入豫算ノ上ニ於テノ大缺陷ガアルニモ拘ラズ、自分デハ缺陷無シト稱シテ、後デ調ベテ見タラ三千三百萬圓殖エテ居タト仰セデアリマス、三千三百萬圓ハ噓デアリマス、殖エテ居リマセヌ、一千萬圓足ラズ減テ居ルノデアリマス、斯様ノ豫算ヲ御提出ニナツテ、之ヲ吾々ニ協賛セラレヨト云フコトハ、是ハ聊カ無理ナ注文デアツテ、吾々ハ此豫算ハ既ニ杜撰孟浪タル上ニ築カレタ、不用意ノ上ニ立セラレタル所ノ豫算デアルカラ、編成替ヲ爲スベシト云フ希望ヲナスノデアリマス(拍手)

○議長(奥繁三郎君) 東武君

(東武君登壇)

○東武君 昨ハ昨年モ諸君ノ豫算返付ニ對シテ討論ヲ致シタ一人デアリマス、昨年ノ討論ノ趣意モ本年ノ趣意モ殆ド易ナリ、私ハ同ジク此豫算返付論ニ對シテモ、其當時詳細ニ論辯致シタケレドモ、ソレヲ今更繰返スト云フコトハ如何ニモ煩ニ堪ヘナイ、唯二三此豫算返付ニ對シテ自分ノ愚見ヲ申シテ見タイト思フ、憲法ノ第六十四條ニ國家ノ歳入出ハ毎年豫算ヲ以テ帝國議會ニ提出スベシト、是ハ憲法ノ明文ニ依ッテ豫算ガ出テ居ル、又憲法第六十五條ニ豫算ハ前ニ衆議院ニ提出スベシト、是モ憲法ノ明示スル所デアリマス、即チ帝國憲法ニ於キマシテ、議院制度ノ上ニ於テ一番重要ナル吾々ノ權利ハ何デアアルカト申シマスルト、取モ直

サズ豫算ニ於テ協賛權ガ最モ重大ナル權ト吾々ハ考ヘテ居ルノデアリマス(ダカラ返付論ヲスルノダ)ソナナ事ハ知ッテ居ルト呼フ者アリ發言スル者多シ

○議長(奥繁三郎君) 靜ニ……

○東武君(續) 事前ニ於テハ是ガ決算ニ於テ吾々ノ財最政監督權ニ現レルノデアアル、事後ニ於テハ豫算ニ於テ吾々ガ精密ニ之ヲ審査ヲシナケレバナラヌノデアアル(事後ニ豫算ヲ出スノカ)ト呼フ者アリ笑聲アリ

○議長(奥繁三郎君) 三木君靜ニ……

〔三木武吉君(間達)テ居ルカラ訂正シテヤルノダ)ト呼フ〕

○議長(奥繁三郎君) 靜肅ニ……

○東武君(續) 此議院制度ノ發達ハ何デアアルカト云ヘバ、議會ガ諸省ニ於ケル所ノ豫算ノ承諾權、此承諾權ヨリ重大ナモノハナイノデス、如何ニ有力權力者ガアリマシテモ、國民ノ承諾ヲ得ザル所ノ費用ハ一厘一毛ノ微ト雖モ誰モ使フコトハ出來ナイ、故ニ此豫算ノ審議ト云フコトハ、此立法院ニ於テハ最モ重大權利デアアル、權利デアアルト同時ニ且ツ義務デアアルノデアリマス、昨年モ諸君ハ豫算返付ト稱シタカ、否決ヲスルカヨリ外ハナイ(ノウウ)ト呼フ者アリ、返付ト云フ理由ハ論理ノ結論ハドウシテモ出ナイ、此合理ノ結論カラ申シマシタナラバ、豫算返付ト云フ事ハ反對、即チ否決ト云フ事ニ諸君モ其點ハ御同意デアラウト思フ(ノウウ)ト呼フ者アリ論理上ノ歸結カラ申セバ必ズサウナケレバナラヌ筈デアアル、所ガ此豫算ノ中ニハ吾々ノ自由ニナラヌモノガアル、諸君ノ謂フ大權歳出ト云フモノモアル、又皇室ノ豫算ト云フモノモ提出ニナツテ居ル、又第三ニハ既ニ議院ノ豫算ノ經テ所ノ繼續費ト云フモノモアル、此三ツノ者ヲ悉ク諸君ハ豫算否決ノ形式、即チ反對ノ形式ニ於ケル所ノ返付論ヲ主張スルト云フコトハ、是ハ十把一東ノ議論デアリマシテ(拍手)極メテ無責任ナル論據ト謂ハナケレバナラヌノデアリマス、諸君ハ此豫算ニ對シテ返付ヲスルト云フコトハ撤回ヲ求メル事デアアル、編成替ヲ要求スルノデアアルト、斯様ニ申ス、政府ハ徒ニ豫算ヲ提出シテ居ルノデアアリマセヌ、勅裁ヲ經テ憲法ノ明文ニ依ッテ豫算ヲ出シテ居ルノデアリマスガ、一步譲デ諸君ノ議論ノ如ク致シタキニドウナリマスカ此豫算ヲ撤回セヨト諸君ガ幾ラ申シタ所ガ、政府ガ撤回スル理由ハナイ、政府ガ撤回ヲシナイトスルナラバ、此豫算ハ憲法第七十一條ニ依ル所ノ不成立ニ陥ルト云フ事ニナルノデアリマス、不成立ニ陥ルト云フ事ニナツ場合ニハ、諸君ノ行動ハ眞ニ國家民人ノ爲ニ利益ナル且ツ責任ノアル行動ト言ハレマスカドウデアリマセウカ(拍手起リノウウ)

ト呼フ者アリ)若シ不成立ニナツタトシタ場合、大正十一年度豫算ト云フモノニ對シテ見マシタナラバ、諸君ガ屢、論斷シタ如ク一億一千萬圓ト云フモノハ、昨年ノ豫算ヨリ本年ノ數字ハ減少シテ居ル、是ハ繰延ガ善イトカ惡イトカ、足リナイト云フ問題ハ暫ク別ト致シマシテ、一億一千萬圓ト云フ金ハ昨年ノ豫算ヨリハ是ダケ減額ニナツテ居ル、此減額ヲスルモノヲシナイデ置イテ前年度ノ豫算ニ依ッテ之ヲ施行スルト云フコトニナツタラ、是ハドウデアリマセウカ分リマシタカ(分ラヌ)ト呼フ者アリ所ガ諸君ハ之ニ對シテ斯様ニ論ズルデアリマセウ、是ハ實行豫算ヲ作ル實行豫算ヲ作ルカラシテ、是ハ一向差支ナイモノデアアルト斯様ニ論ズルニ違ナイ、サウナラナケレバ不成立豫算ハ前年度豫算ヲ踏襲スルヨリ外ナイ、實行豫算ヲ作ルト云フ事ニナツタナラバ、信任ナル所ノ政府、豫算ヲ返付スル所ノ政府ニ向ッテ、誠實ト德義ヲ以テ此豫算ヲ縮小シテ、無用ノ經費ヲ節減セヨト云フ議論ハ、何所カラモ出ナイ筈デアリマセウ(拍手)諸君、私ハ此事ニ付テ議會ノ協賛權ト云フモノガ重大デアアルト云フコトハ、昨年モ此壇上ニ於テ論ジタノデアリマス、恰モ千八百六十一年ニ獨逸ノ「ビスマルク」獨逸ノ「ビスマルク」議會ニ於テ、五箇年間政府ト議會トガ衝突シタ、其時ニ如何ナル態度ヲ此「ビスマルク」ガ執ツタカト言ヘバ、專斷ノ豫算ヲ詰リ千八百六十二年カラ六十六年ノ間ニ實行シタト云フ例ガアル、諸君、諸君ハ自分ノ權利ノ上ニ眠レテ居テ、自己ニ與ヘラレタル所ノ最モ重大ナル權利ヲ忘レテ、サウシテ是ガ專制ノ政治、獨斷ノ政治ヲ行フト云フコトヲ、諸君ガ自ラ求ムルト云フコトハ、是ハ何デアアルカ(拍手)斯様ナ不誠實ナ事ガ何處カラ出ルノデアアルカ、ソレカラシテ此財政計畫ガ不備デアアル、豫算ガ龐大デアアル行政整理ヲ爲サラナケレバナラヌ、是等ノ事ハ毎年々々同ジク論ジテ居リマスガ、殆ド諸君ハ是ハ十年來ノ固執デアアル、此議論ハ少シモ變デ居ラナイ、去年ノ議論モ今日ノ議論モ、武富君ガ會テ四十一議會デ論ジタコトモ、昨年四十四議會デ論ジタコトモ少シモ違テ居ナイ、唯本年違テ居ルノハ濱口君ガ通貨縮小ノ議論ヲ出サナカッタ、是ハ一進歩デアアルト私ハ考ヘテ居ル、是ダケヨリ外違タモノハナイ、通貨縮小ノ議論ハ諸君ノ中ニハ出タケレドモ、濱口君ハ此點ニ付テ高唱シナカッタ、是ハ私ハ諸君ノ豫算ノ上ニ於テノ一進歩ダト斯様ニ考ヘテ居ル、此我が帝國ノ豫算ガ龐大デアアル、龐大デアアルカラ行政整理ヲセヨト諸君ハ言フノデアリマスガ、私共ハ行政整理ヲスルト云フコトハ、極テ諸君ト同感デアリマス、國家ノ上一日モ早ク行政整理ヲヤルト云フコトハ吾々モ希望シマスシ、政府モ其方針ハ言明致シテ居ルノデアリマス、併ナガラ此行政整理ヲセヨト云フコトニ付テ、國民黨ノ大口君ノ議

諸ニハ多少吾ミガ敬意ヲ表シテ耳ヲ傾ケル點ガアリマシ
ク、アリマシタケレドモ憲政會諸公ノ議論ハ殆ド架空的、
捕捉スベカラザル所ノ極テ貧弱ナルモノデアル、唯無誠意
デアル、無責任デアル、誠意ガ無イト云フダケデ、自分等ガ抽
象的、假想的ノ前提ニ依ツテ、之ヲ論斷シテ居ツテ、吾ミハ少シ
モ諸君ノ豫算ニ對スル意見ニ敬意ヲ表シ他山ノ石トナスベ
キ點ガ甚ダ少カク、ナデアリマス（拍手、此時發言スル者アリ）

○東武君(續) 試ニ此點ニ付テ諸君ニ教ヲ包ヒタイト思フガ、諸君ハ本年ノ此十四億六千万圓ノ金ガ非常ニ巨額ナル、巨額デアルカラシテ、此金ノ中カラ行政整理ヲシテ、一億萬圓以上ノ金ハ華盛頓會議ノ軍備縮小費ノ以外ニ之ヲ繰出セヨト斯様ニ論ズル、是ハ私共モ若シ左様ナ行政整理ノ餘地ノアルモノデアルト云フ事ナラバ、私共モ諸君ノ說ニ賛成ヲ致ス一人デアリマス、併ナガラ豫算ハ矢張之ヲ縱横ニ分析玩味ヲシテ、吾モハ密查シナケレバナラスノデアアル、私ハ本年ノ豫算ニ對シテ毎年々々同ジヤウニ歳入ガ不足デアル、公債募集ガ巨額デアル、收入見積ガ過大デアルト云フヤウナ議論ヲ繰返シテ、諸君ト論爭スルコトハ好マナイ、ソコデ豫算密查ノ方法トシテ、自分ハ一ツノ自分ノ意見ヲ定メテ調ベテ見タ、本年ノ豫算ハ總額ニ於テ十四億六千万圓、所ガ此中ニ陸軍省ノ經常臨時ヲ合セルト云フト二億五千三百萬圓、海軍省ノ經費ガ三億九千万圓、約四億萬圓デアリマスカラ、合計六億四千五百萬圓ト云フモノハ、是ハ軍事の所謂陸海軍ノ經費デアル、サウ致シマスルト云フト、此六億四千五百萬圓ト云フモノヲ本年ノ十四億六千万圓ノ中カラ差引イテ見マス、幾ラ金ガ殘ルカト言ヘバ八億二千万圓殘ル、陸海軍ノ經費ハ是ハ世ノ中デ偏武的の財政ト唱ヘテ居リマスガ、成程日本ノ財政ハ偏武的のデアル、四割五分ト云フ所ノ陸海軍費ヲ使テ居ル所ハ、世界各國何處ニモ無イ、是ハ少シク偏武的の財政ニナテ居ルガ、併シ此行政整理ヲ豫算總額十四億六千万圓ノ中カラ六億四千五百萬圓ヲ引イテ見マス、ドウナリマスカト云フト、八億圓殘ルノデアアル、此殘タ八億圓ガ如何ニ國費ニ分配サレテ居ルカト云フト、私共ハ國民ト共ニ是ハ知ラナケレバナラス、憲政會ノ人ニ話スノミナラズ、國民全體ニ向テ我日本ノ豫算ト云フモノハ、當局者ノ放漫政策ノ結果ニ依テ濫費ヲ致シテ居ル、浪費致シテ居ルト云フ其事實ガ、果シテアルヤ否ヤト云フコトハ、是ハ國民ニ徹底的ニ知ラセナケレバナラス、何トナレバ國民ガ出シテ居ル所ノ租稅ガ、其國費ニ如何ニ分配サレテ居ルカト云フコトヲ知ルノガ、是ガ立憲政治ノ民デアアル、之ヲ知ラセル必要ガアルノデアリマスルガ、此行政費ヲ調べル上ニ於テ非常ナル困難ヲスル、餘程我帝國ノ豫

算ハ特別會計ガ澤山アリ、複雜ニナリテ居ルカラシテ、特別會計ヲ入レルト云フト、中ニ容易ニハ計算ガ付カナイ、ソコデ經常費臨時費即チ一般的ノモノノミニ付テ之ヲ調ベテ見ル、私ハ之ヲ調ベルノニ文化的施設、即チ國家當面ノ文化の施設ニ、我帝國ノ豫算全體ノ費用ガ如何ヤウニ使ハレテ居ルカ、此事ヲ調ベテ見タ、之ニ付テハ歐羅巴ノ學者ナドニ於キマシテハ、此政費ノ分配ヲ保護の事業、或ハ商業の事業、或ハ開發の事業ト云フヤウナ事ニ立論シテ居ル者モアルカ、我帝國ノ豫算ハ其ヤウニハ區別ヲスルコト出ラナイ、ソコデ此豫算ノ按排ヲ調ベテ、私ハ文化の施設ト云フモノヲ土臺ニシテ調ベテ見マシタノデアリマスルガ、今八億何千万圓殘タ經費ノ中デ、直接第一ハ教育費、第二ハ農業費、第三道路、治水、港灣、第四通信、電話、電力、詰リ是ダケヲ以テ先ヅ文化事業ノ直接事業デアルト云フ事ニ依リテ調ベテ見タ、サウ致シマスルト、教育費ハ五千六百万圓ニナル、是ハ朝鮮ノ六百五十六万圓ト云フ文化教育費用ガアリ、臺灣ノ四百三十万圓、樺太ノ七十三万圓、斯ウ云フモノガアリマスルガ、之ヲ除イタ教育費ガ五千六百万圓ト云フ事ニナル、ソコデ又農業ノ費用ガドウナッテ居ルカト云フト、是ハ實ニ三千六百万圓シカナイ農業ハ殆ド二十億ノ生産ヲ擧ゲテ、サウシテ七千万圓ノ地租ヲ拂ツテ居ル、此農業經濟ニ使ウテ居ル金ガ三千六百万圓、此三千六百万圓ト云ヘバ巨額デアルヤウデアリマスケレドモ、此農業費用ノ中ニハ、森林費用ト云フモノガ一千九百万圓這入ッテ居ル、ソレカラ貿易ニ關係スル生絲、絹業、蠶業、或ハ砂糖、所謂糖業、茶業、其他貿易上ノ保護獎勵ノ含マレタ金ヲ差引キマス、殘タ農業ニ使ッテ居ル金ハ八百三十万圓シカナイ、又道路交通ニ關係スル文化事業トシテ、治水ニ三千一百万圓、道路ニ一千一百万圓、港灣ニ一千四百万圓、此治水、道路、港灣三ツヲ合セテ五千七百六十五万圓ト云フ分配ニナッテ居ルソレカラ通信及電話、電信、是等ノモノノガドノヤウニナッテ居ルカト云ヘバ、此處ニ野田逸相ガ居ラレルガ、餘程計畫ガ進歩シテ居ル、餘程豫算ノ上ニ於テモ適當ナル按排ヲ受ケテ居ルノデアリマスガ、此通信、電話、電信ノ中デ、事務費ノ俸給等ヲ區別シテ、殘ッテ居ルノガ一億九千万圓、約二億万圓ト云フモノノ通信、電話、電信、其他ノモノニ使ハレテ居ルノデアリマシテ、通信省ハ此點ニ付テハ極メテ積極ノ仕事ヲシテ居ルト云フコトハ、此豫算ノ上デ示サレテ居ルノデアリマス、ソレカラ鐵道ハ一般會計ニ關係ガアリマセヌ、一般會計ニ關係ガナイノデアリマスガ、免ニ角一億九千万圓ト云フ建設改良費ヲ組マレテ居ルノデアリマスガ、之ヲ今私ノ文化事業ノ中ニ入レテシマウト、茲ニ特別會計ト混雜致シマスカラ、是ダケヲ引イテシマッテ、唯ダ參考ノ爲ニ鐵道ハ

文化事業ノ最モ大ナルモノデアルト云フコトヲ舉ゲタノデア
リマスガ、眞ニ文化事業ニ投ジテ居ル所ノ——文化事業ト
言ヒマスルカ、若クハモウ一步進シテ、文化開發事業ト
言フカ適當デアラウト思ヒマスガ、文化開發事業ニ使ハレ
テ居ル金ガ、三億五千万圓ト云フ數字ガ出ル所ガ此三億五
千万圓ト云フ金ト、陸海軍ノ經費ヲ總豫算ノ十四億六千
万圓カラ差引イタ金ガ、ドウナルカト云ヒマスルト、八省ノ
經費——陸海軍ヲ除イタル八省ノ經費ハ四億七千万圓デ
アル、此四億七千万圓ノ中デ、諸君ガ言フ一億万圓ナリ一億
五千万圓ノ行政費ヲ搾リ出シコトニナリ、八省ノ費用ガ四
億何千万圓デアアルカラ、豫算ノ數字ノ上ニ於テハ、行政ノ
整理ヲシテ、縮小ノ餘地ガ綽々トシテアル如ク見エルケレド
モ、茲ニ豫算ヲ眞ニ審查シテ見ルト、面白イ計數ガ出ル、第
一ニ私ハ此豫算ノ上ニ於テノ計數ヲ、不動經費ト斯ウ唱ヘ
テ居ル、自分ガ名前ヲ付ケテ不動經費ト見タ、是ハ動スベ
カラレバ、ラザル金デアアル、之ヲ不動經費トシテ差引カ
ナケレバ、眞ニ金ガ殘ル餘地ガアルト云フコトハ明白ニナ
ラス、不動經費ハ第一ニ、皇室費四百五十万圓、ソレカラ
神社費ト云フノガ百二十万圓、ソレカラ是ハ一寸ドウウ
デアアルカト思ヒマスガ、不動經費トシテ計算スルコトハ
多少餘地ガアルカト思ッテ居リマシタケレドモ、併シハ餘
リ削減スル所ノ餘地ガナイモノデアリマスウラ、入レタノ
デアリマスルガ、在外公館費——大使、公使ノ在外公館ノ
費用ト云フモノガ一千三百万圓アル、ソレカラ徴兵及軍
事救護費ト云フモノノ二百六十万圓、ソレカラ警察費連
帶支辨金、是ハ各府縣ニ分チテ契約ガ成立シテ居ル所ノ
三分ヲ補助シ、四分補助スル所ノ金ガアリマスガ、是ガ
一千七百七十万圓、ソレカラ預金ノ利子ト手數料、是モ
不動經費デアリマスガ、四千六百万圓、ソレカラ貴族院
ト衆議院、是モ不動經費ノ中ニ入レタガ三百万圓、ソ
レカラ内國稅徵收費、所謂所得稅其他總テノ稅ノ徵收費ガ
二千二百万圓、是モ動スベカラレバ、ラザル不動經費
デアアル、ソレカラ最モ巨額ナルモノハ一億二千九百万
圓ト云フ公債ノ利子ノ支拂ヲスル所ノ金、是ハ借金デア
アルカラ、ドウシテモ支拂ハ又譯ニハ行カス、是モ不動
經費ノ中ニ入レタ、ソレカラ年金恩給ト云フモノガアル、
年金恩給ノ不動經費ト云フモノノ七千二百九十万圓、
是等ハドウシテモ不動經費トシテ計算スルヨリ外ハナイ
ガ、之ヲ計算致シマスルルト云フト、是等ノ金ガ三億一
千九十万圓トナル、サウスルト云フト、是等ノ金ガ三
億一千九十万圓トナル、サウスルト云フト、此今ノ不動
の經費ノ三億万圓ト云フモノヲ先ノ經費ヨリ差引クト
云フト、殘リノ行政費ト云フモノハ、一億五千万圓シカ
殘ラナイ、宜シイカ、分ツタカ——分ツタカネ、一億
五千万圓デア八省ノ費用ヲ賄ハナケレバナラス結論
ニナツ

テ來ル、サウスルト諸君ノ謂フ所ノ此整理全額一億圓ヲ此中カラ取ツタナラバ、各省ハ皆門ヲ閉メテシマハナレバナラスト云フ結論ニテ來ルノデアル(拍手起ル)我輩ハ陸海軍ハ別ニ考ヘテ居ル、是ハ別ニテ居ルガ、併シ我國ノ財政經濟ノ按排ト云フモノガ、如何ニモ不公平デアル、且ツ文化的施設ニ極メテ僅少デアルト云フコトハ、諸君ト同論デアリマス、今後益々各方面ニ力ヲ盡サナレバナラスト云フコトハ明デアル、何處ノ國ヲ見マシテモ、教育費ガ國費ノ三分五厘、農業費ガ二分五厘、斯ウ云フ所ノ國ガ何處ニアルカ、各國何處ニモアリマセヌ、極メテ大切ナル文化的施設ト云フモノハ、悉ク陸海軍ノ經費ノ壓迫ヲ受ケテ、何等手モ足モ出ナイト云フ數字ガ茲ニ現レテ居ルノデアリマス(拍手)ソコデ諸君ガ悲鳴ヲ舉ゲテ又騒グ事實ガ一ツアル、ソレハ何デアルカト云フト、諸君ハ大聲疾呼シテ一億萬圓ノ行政費ヲ此處デ繰出サナレバナラスト云フコトヲ唱ヘテ居ル、私モ一億萬圓ナリ、一億五千萬圓ノ金ガ出ルナラバ、洵ニ國家ノ爲ニ祝スベキコトデアルト思フ、居リマスガ、アナタ方ガ丁度四十二議會ト四十三議會ハ、眞面目ニ豫算審查ヲシテ、四十二議會ノ時ニモ眞面目ニ審查シテ、豫算ニ對シテ修正ヲ爲シ、四十三議會ニ於テモ同ジク修正ヲ試ミタ、其時ニドノヤウデアラカト云フト、四十二議會デアナタ方ハ千二百萬圓シカ修正ヲシテ居ラス、宜シイカネ、四十二議會デアナタ方ハ千二百萬圓修正ヲシテ居ル、修正ヲシタ數字ノ上ニ於テハ大キクナテ居ル、是ハ濱口君ハ能ク御存シデアアルガ、ソレハ何デアアルカト云フト、此中デ軍事費ノ豫算ト云フモノニ削減ヲ加ヘタ爲ニ、數字ハ大變大キクナテ居ルガ、眞ノ一般會計ノ中カラハ、其一千二百萬圓ナル其數字ハドノヤウナモノヲ削減シタカト云フト、私ノ記憶ニ最モ明ナルモノハ、私ノ方ノ札幌控訴院ノ二十萬圓ヲアナタ方ハ削減シ、ソレカラ内務省ノ社會事業調査費ト云フモノヲ削減シテ居ル、勞働問題トカ、社會政策ヲ行フツカ、ヤカマシク言フガ、四十二議會ニ於テ社會政策ニ投資スル所ノ金ヲ削減シテ居リマス、ソレカラ衛生局ノ事業是モ削減シテ居リマス、是ハ僅ナ金デアリマス、二十萬圓カ十七萬圓ノ金デアリマス、之ヲ削減シテ居リマス、最モ甚シイノハ、逓信省ノ郵便貯金ノ獎勵ノ金七萬何千圓、是マデモ削減シテ居ル、斯ウ云フモノヲ削減シ、漸ク千二百萬圓ト云フモノヲ編出シテ辻褄ヲ合セタト云フコトハ、諸君ハヨモ御忘レバナカラウト思フ(拍手起ル)ソレカラシテ又四十三議會ニハドウデアラカト云フト、四十三議會デアナタ方ハ千二百萬圓、又千二百萬圓ヨリ餘程下ッテ、七百二十萬圓シカ削減ナカッタ、是モ矢張西伯利軍事費ノ八千萬圓ト云フモノヲ削減シタカラシラ、其内容ハ四十二議會ト同様デアアル、内務省ノ地方制度ノ改善調査費、或ハ醫藥製造試

驗費、朝鮮開墾株式會社ノ費用二千萬圓ノ數項デアッテ、極メテ貧弱ナルモノデアッタ、ソコデ此四十二議會ニ諸君ガ眞面目ニ修正シタ時ニ、千二百萬圓、四十三議會デアナタ方ハ千二百萬圓シカ修正シナカッタ、其口ノ乾カイ中ニ、今一億萬圓ノ行政整理ノ金ヲ生ミ出セト云フヤウナコトハ、是ハ諸君ガ少シ無責任デハナイカト私ハ考ヘテ居ルノデアリマス(拍手)ソレカラシテ物價騰貴ノ議論デアリマスガ、此點ニ付テハ、諸君ト共ニ或ル點ハ同感デアリマス、今日物價ノ際限ナク騰貴スルト云フコトニ付テハ、政府モ國家モ同様ニ自省シテ、以テ大ニ覺悟ヲシナレバナラスト云フコトハ、諸君ト同論デアリマス、併ナガラ私ハ各人ノ物價騰貴ノ議論ガアリマシタガ、私ハ他ノ人ノ議論ニハ餘リ耳ヲ傾ケナイガ、濱口君ハ天下ノ財政ノ「オースリナー」デアアル、濱口君ノ所論ノ物價騰貴ノ議論ハ、一ツヲ算ヘテ居ル、其第一ハ政友會内閣唯一ノ生命タル積極政策、放漫政策ノ結果デアルト云フコトハ、第二ハ國民ノ無自覺デアルト云フコトヲ算ヘテ居ル、濱口君ノ此二ツハ、間違ナイ所デ、度々豫算會デモ論ジテ居ルガ、濱口君ハ鹿ヲ逐フ獵師ハ山ヲ見ズデ、アナタハ政友會ヲ攻撃スルニ急ナル爲メ、政爭ノ具ニ供スルニ急ナル爲ニ、第一非常ナル錯誤ニ陥レテ居ルト思フ、物價騰貴ガ政友會ノ放漫政策ノ結果デアアルカ、或ハ國民ノ無自覺ノ結果デアルト云フコトナラバ、此以上ニ大キナ梁木ノ目ニ入テ居ルコトヲアナタハ忘レテ居ル、何トナレバ歐洲大戰ト云フ千古未會有ノ世界ノ大變局ト云フモノヲ、アナタハ見落シナテ居ルト謂ハナレバナラヌ(拍手)諸君、私ノ言フコトガ間違テ居ルカドウデアアルカ、若シ間違テ居ルナラバ、諸君ニ反問ヲ致ス、過去四箇年間ニ、海外ノ貿易ハ非常ナ伸暢ヲシテ、殆ド四十億、五十億ニ達セントスル我帝國ノ狀況デアアル、戰爭ノ前ト、戰爭ノ後トニ於ケル所ノ我帝國ノ國力ト云フモノハ少クトモ三億、五億ニ増進シタト云フコトヲ諸君ハ御忘レナカラウ、又在外正貨ノ如キ、二十億以上ヲ保有スルト云フコトモ、是モ諸君ハ御忘レナカラウ、又我が帝國ノ兌換準備ハ、日露戰爭前後ニ三千萬圓シカ無カッタモノガ、今日ハ正貨二億以上ヲ有スルト云フヤウナコトニナツタ、斯ノ如ク我が國民ノ經濟力ガ發展シ、經濟生活ガ發展シ、國力ガ發展シテ、貯金ガ一億圓ノモノガ十億ニナツタト云フコトハ、是ハ諸君ハ決シテ事實ニ間違ハナイト稱スルノデアリマセウガ、若シサウデアタナラバ、諸君ガ我が政友會ノ放漫政策ノ結果ガ物價騰貴シタト云フコトヲ論ズルナラバ、此國力ガ増進シ正貨二十億ヲ有シ、我が帝國ノ隆々トシテ進歩シタト云フコトハ、誰ノ賜デアアルカ、政友會ノ賜デアルト謂ハナレバナラヌ(拍手、此時發言スルモノ多シ)

○議長(奥繁三郎君) 靜ニ……
○東武君(續) 通貨ノ事ハ、濱口君ハ餘リ論ジラレナカッタカラシテ、私モ茲ニ論ズル必要ハ無イケドモ、此通貨ニ付テ色々ノ議論ガアリマス、貨物本位ノ議論モアレバ、正貨本位ノ議論モアリマス、學者ノ間ニモ種々ノ議論ガアリマスガ、最近京都帝國大學ニ於テ、通貨ト貨物トノ比率ヲ調べタ詳細ナモノガアル、之ヲ見レバ、物價ト通貨ト云フモノハ、必ズ並行ヲシテ居ラナイ、濱口君ノ議論ナドハ、決シテ學術的實際的ニ應用サレナイト云フ事實ガ分テ居ル、通貨ガ多クナツタト云フ特殊ノ理由ニ依テ上ッテ來テ居ル、物價ガ即チ缺乏ヲシ、或ハ戰爭ニ依テ物價ノ購買力ガ非常ニ強クナツタ、始メテ物價ト云フモノガソレニ付テ一般ニ上ッテ行ク、所謂波高ケレバ船高シデ、其點ニ於テ詰リ通貨ト物價ト云フモノガ相關係シ、交換比ト云フモノガ定テ來テ居ル、其歐洲大戰ト云フ事實ヲ全ク没却シテ、通貨縮小ヲ論ズルト云フコトハ、是ハ大ナル間違デアリハシマイカト吾々考ヘル(拍手)
又現ニ通貨ノ流通ニ於キマシテモ、大正六年ノ七億萬圓、大正八年ノ十五億萬圓、大正八年ガ一番通貨ノ多イ時デアアル、十五億一千万圓ト云フ通貨、大正八年ガ最高デアリマス九年ハ十四億萬圓、ソレカラ十年十二月末ガ十二億四千萬圓ト云フコトニナツテ居リマスガ爲ニ、十年末ハ九年末ニ比シテ一億五千一百萬圓ヲ減少シテ居ルノミナラヌ、最高ノ八年ノ十五億一千万圓ニ比スレバ、約二億七千万圓、三億近クノ通貨ガ現ニ縮小サレテ居ルデアアル、濱口君ノ如キハ、此上尙ホ通貨ヲ縮小スルト云フコトヲ論ズルノデアリマスガ、幾ラ縮小シタラ宜イデアアルカ、不景氣ニナツタナラバ、通貨ハ勿論要ラナクナル、通貨ハ縮小サレテ來ルケレドモ、人爲的ニ干渉的ニ、此通貨ヲ一億デモ二億デモ收縮スルヤウナコトニナツタナラバ、商賣人、起業者、仲買人、問屋卸業者ハ死屍累々トシテ皆破産ノ境遇ニ陥ルト云フコトハ、是ハ明ナル事實デアアル(拍手)諸君ハ昨年ハ米穀法——米ガ下ツタカラ、何故米穀法ヲ早ク制定シナイカ、何故常平倉ヲ定メナイカト云フヤウナ議論ヲアナタハ御忘レナツタデアアルカ、蠶絲救済ノ事モ、アナタハ御忘レナツタデアアルカ、不景氣ニナレバ物價ノ何故上ゲナイカト云フデヤカマシク言フ、ソレバ又上ゲナレバ内閣ニ、上ツタナラバ下ゲナケレバナラヌ、ソレナ無理ナ事ヲ此内閣ニ——政府ニ迫ルナラバ、是ハ實ニ無理デアアル(拍手)私共ハ此意味ニ於テ物價騰貴ト云フコトハ第一ニ浪費ノ結果デアアル、國民ガ戰爭中カラ六箇年ニ非常ナ巨利ヲ獲得シタ爲ニ、流通資本デナクシテ、浪費資本ガ多クナツタト云フコトガ一ツノ原因デアアル、國民ガ放縱奢侈ニ流レタト云フコトモ一ツノ原因デアアル、御互ニ政府モ緊縮方針ヲ執ルノダケハ執ルシ、國

民ト共ニ相俟テ物價問題ヲ解決シナケレバナラスト心得
テ居ル論者モアリマスガ、諸君ハ通貨問題、物價問題ヲ以
テ政争ノ具ニ供スルト云フコトハ、是ハ甚シク國家ヲ誤ルモ
ノデアルト私ハ信ズルノデアリマス(拍手)ソレカラシテ豫算
ノ基礎ガ薄弱デアル、歳入ガ不確實デアルト云フコトハ、是ハ
豫算總會デモ、此議場ノ内デモ、是ガ唯一ノ在野黨ノ論據
デアル、成程本年所得稅ノ減額ト云フモノガアリマシタ、是
ハ決シテ好イ現象デアリマセヌ、私モ左様ニ考ヘテ居ルノ
デアリマスガ、併ナガラ之ニハ原因ガアル、此原因ハ何デア
ルカト云フト、是ハ所得稅改正ト云フ事、新法實施ト云フ事
ガ柱ニツアル、ソレカラ第二ニハ政府ノ見積リガ違ハタ
云フコトハ、兩院デ修正ヲシタト云フコトガ、一ツデア
ル、ソレカラ法人ノ所得ノ減小ガアタト云フノハ、此新法ヲ實施ス
ル時ニハ、去年ノ二月頃カラシテ、此法案ト云フモノガ定マ
リ掛ケタ、其當時カラハ大抵資本家、大キナ、起業家ト云
フモノハ、種々保全會社デアルトカ、法人會社ト云フヤウナ
モノヲ拵ヘテ、盛ニ脱稅ヲ行ハタト云フコトガ、一ノ原因デア
ル、又不景氣ト云フコトモ、一ツノ原因デアル、是等ノモノガ聯
關錯綜シテ所得稅ガ減ジタト云フコトハ、是ハ事實デア
ルノデアリマスガ、併ナガラ諸君ガ言フ如キ、歳入ガ不確實ナ
モノデハナイノデアル、歳入ノ不確實デナイト云フコトハ、營
業稅ハ是ハ昨年ヨリハ一千八百餘萬圓ト云フモノガ増シテ
居ル、是ハ資本ガ先ヅ第一ニ増加シテ居ル、段々私共モ政
府ノ豫算ノ見積リノ基礎ヲ調ベテ見マシタガ、餘程收入ガ
確實ニナシテ居ル、ソレガ善イカ惡イカハ別問題トシテ、收入
ハ確實デア
ル、詰リ國民ノ活動ガ廣クナシテ、資本金額ガ増
加シテ結果デア
ル、大正十年即チ去年ノ決定額ニ比シテ百分
ノ五ト云フモノ、減收ノ見積リヲシテ居ルト云フコトハ、是デ
狂ヒハナイと思フ、酒造稅ノ如キ一千七百萬圓増加シテ居
ル、是ハ奢侈品ガ増加シタト云フモノデアル、是ハ明カ
ナ事實ニナシテ居ル、既往五箇年ノ最高ト最低ト提ヘテ、三
箇年ノ平均石數ヲ割出シテ、サウシテ其石高ト云フモノハ
四百六十萬圓ニナル、所ガ實際ノ當業者ノ届出デタモノヲ
調ベテ見ルト、六百萬石ニモナシテ居ル、百萬石カラ尙ホ内
輪ニ計算ガシテアルト云フコトニナシテ居ル、ソレカラ砂糖消
費稅ノ如キデモ、其通りデア
テ、前年度收入見込高ヨリ一
千萬圓ヲ既ニ超過シテ居ル、昨年ヨリ一千万圓モ内輪ニ見
積デア
ルト云フコトノ事實ガ明カニナシテ居ルノデア
ル、織
物消費稅ノ如キ、九百何十萬圓ノ増加ニナシテ居ルガ、是モ
十年度ノ實收見込額ヨリ二千萬圓モ現ニ殖エテ居ル、是
等ヲ詳ニ精査シテ見ルト、決シテ收入ガ不確實デア
ルト云
フヤウナ議論ハナイノデア
ル、左様ナ旨ヲ減法ナコトハシテナ

イノデア
ルト云フコトハ言ヒ得ルノデア
ル、ソレデ決算ノ歩合
ト云フモノヲ見ルト云フコト、決算歩合額ガ、過去十箇年間
ニ於テ、大抵決算ト豫算ト云フモノハ總テ釣合ガ取レテ居
ル、唯大隈内閣ノ時ノ大正四年ノミガ、決算ト豫算ト釣合
ハナイ、詰リ豫算ニ達シナカッタト云フ顯著ノ事實ガアル、ソ
レヨリ外ニハ他ノ殆ド八箇年間ハ、決算トノ比率ニ於テ相
違ガナイ、大正四年度ニハ三厘ト云フモノガ、豫算ヨリ決算
ガ減ジテ居ルト云フ數字ガ現ハレテ居ル、大正二年度ハ二
分一厘ノ増ニナシテ、三年ニ九厘、四年ガ三厘ト云フモノガ
減、ソレカラ五年度ガ三分五厘ト云フモノガ増、六年度ハ
四分六厘ノ増、七年度ハ六分四厘、八年度ハ七分ノ増デ、
唯大隈内閣ノ時ダケ豫算ト決算トガ釣合ハナカッタト云フ
ダケノ事實ガアルダケデ、他ニハ其證據ハ一ツモナイ(拍手)
ソレカラ諸君ハ積極政策ノ拋棄ト云フコトヲ頻ニ唱ヘル、
我黨ハ自殺的デア
ルト云フコトヲ言フテ居ルガ、何モ積極政
策ヲ拋棄シタ事實ハ、此豫算ノ上ニ現ハレテ居ナイ、唯軍
艦製造費、陸軍省ノ金ヲ百二十萬圓ト、海軍ガ二千二百
萬圓ト云フ金ヲ繰延ヲシタノミデア
ル、其他ニハ神戶ノ稅
關設備費三百萬圓ヲ繰延ベタ、農商務省所管デ製鐵所ノ
擴張費ト云フモノ、繰延ガアルノミデア
ル其他ニハ何モナイ、
此海軍省ノ軍艦ヲ繰延——製造ノ繰延ヲシタ、或ハ陸軍
省ノ要塞ノ繰延ヲ幾ラカシタト云フコトハ、是ハ事實必要
ガナカッタノデア
ル、繼續費ト云フモノハ、繼續費ノ儘デ、三
年經テモ、五年經テモ其儘デ置イデ、之ヲ實行シナケレバ
ナラヌト云フコトハナイ、政治ハ活動デ、活キテ居ル必要ナ
ノナラバ、何年デモ其儘デ繰延ヲスルト云フコトハ、必ガ政
治ノ要諦デア
ル、我が政友會内閣ガ取ツ所ノモノニ、何ガ
積極政策ヲ拋棄シタモノガアルカ、自殺的ニナシタモノガアル
カ、製鐵所ノ擴張費ヲ繰延ベタ所ガ、政友會ノ積極政策ヲ
拋棄シタノデア
ルハ、鐵ノ高イ時ニ必ラズ製造シナケレバナ
ラヌト云フ必要ハナイ、之ニ向テ之ヲ繰延シタカラ、政友會
ノ積極政策ハ打切デア
ルトカ、或ハ自殺的デア
ルト云フコト
ヲ何所ヲ押セバサウ云フ音ガ出ルノデア
ルカ、ソレヲ伺ヒタ
イ、サウシテ本年ノ豫算ノ内容ニ對シマシテハ、諸君ハ一言
モ言ハナイ、唯緊縮方針針デ、何等新計畫モ、豫算ノ經綸モ
抱負モ無イト云フコトヲ言ヒマシタレドモ、本年度ノ豫算ハ
緊縮方針針ニハ相違ナイケレドモ、國家ノ進運上已ムヲ得ザ
ル所ノモノニ向テハ、著々施設經營ヲ行テ居ル、本年度ノ
豫算ノ中ニ於テ、新規計畫ニナシテ居ルモノガ五千五百七
十萬圓ト云フモノガアリマスガ、之ヲ諸君方ニ一々御話ヲ
スルノハ煩雜デア
リマスカラ、是ハ議長ノ計シテ受ケテ國民
ニ知ラシムル爲ニ速記録ニ留メマスガ、唯二三御話ヲシテ
御知ラセシマセウ、外務省ノ經費ノ中デ二百八十萬圓ト云

フモノガアリマスガ、此中ニハ講和條約ノ實施ニ關スル費用
ト云フモノガ百四十七萬圓ト云フ金ガアル、東亞同文會ノ
補助ト云フモノハ、諸君等ハ非常ニ熱望ヲシテ居ラレルガ、
是モ十三萬圓ト云フモノガアル、是ハ八十萬圓以上ノモノヲ
調ベタモノデア
ル、是ハ一々申上ゲルノ煩ニ堪ヘマセヌガ、
内務省ニ於テモ千六百萬圓ト云フ新規要求ノ費用ガアル
ノデア
ル、是ハ治水事業費ノ追加ニ於テ、五百四十七萬圓、
斐伊川改修費十萬圓、境港ノ修築ガ二十萬圓、總額百八
十萬圓ハ六箇年ノ計畫デ、新規事業デア
リマス、高松港ノ
修築、アナタ方モ何カ關係ガアルデセウ、高松港ニ於テモ四
十萬圓ノ新規要求ガアリマスガ、是ハ總額二百二十萬圓
ノ中デ、五箇年ノ繼續デア
ル、是等ハ悉ク新規要求デア
リマ
ス、南洋廳ヲ設置ト云フコトモ、新規ノ事業計畫デア
リマ
ス、南洋廳ノ統治ノ豫算ハ、法律案トシテ特別會計出タト
云フコトハ、諸君モ御忘レハナカラウ、此經費モ三十萬圓ト
云フモノガ新ニ現ハレテ居ルノデア
リマス、陸軍ト海軍、是ハ
申シマセヌ、司法省ニ於テハ、金額ハ少ナイケレドモ、二百七
十五萬圓ト云フ新規要求ガアルガ、此中ニハ重大ナモノガ
アリマス、少年法及矯正法ノ實施ト云フモノガ五十六萬六
千圓ト云フ金ガ豫算ノ中ニアル、前ニ荒川五郎君ガ此壇
上ニ登ッテ、豫算ノ數字ヲ知ラシメテ云フ御話デア
ラタ
ガ即チ此五十六萬六千圓ト云フモノガ、少年法及矯正法ノ
經費デア
ル(拍手)ソレカラ諸君ハマサカ反對モ致シマスマイ
ガ、社會政策トシテ最モ必要ナル所ノ、借地法ノ實施ニ件
フ經費、是モ九萬二千圓、十萬圓近クノ金ヲ計上シテ居
マス、又新ニ設置スベキ所ノ區裁判所ノ出張所ノ經費十
二萬五千圓、是等ハ悉ク新規事業デア
ルノデア
リマス、其
他監獄ニ於テモ、函館ノ監獄、宇都宮監獄、京都監獄、又
教育ノ上ニ於テハ最モ見ルベキモノガアル、教育費ノ中ニ於
テハ最モ見ルベキモノガアルガ、諸君ハ豫算ヲ見ナイカラ、能
ク御聽キナサ(笑聲起ル)神戶ノ高等商船學校ノ寄宿舍
ノ建設ニ付テ十三萬圓、直轄學校々々合築費十萬圓、既
定計畫ニ依ル學校創立及學科増設ト云フモノガアル、新ニ
既設計畫ニ依ツタ所ノ學校ノ學科ノ増設ト云フモノガアル、百四
十九萬圓ト云フモノガアル、高等學校創立擴張ニ件フ學事
進行及開校準備トシテ百六十六萬圓、是ハ皆新規事業
デア
リマス、大學及學校圖書館ノ金十四萬六千圓、航空
研究ニ件フ經費ガ十二萬圓、東北帝國大學鐵鋼研究所
擴張ガ十二萬圓、東京帝國大學工學部擴張ガ三十萬圓、
京都帝國大學工學部擴張ガ二十七萬圓、東京帝國大
學工學部擴張ガ二十四萬圓、九州帝國大學工學部造船
部學科新設ガ十四萬四千圓、北海道帝國大學醫學部創
立費六十萬圓、九州帝國大學農學部創立費四十一萬圓

是等ハ皆國民ノ文化事業トシテ最モ必要ナモノデアリ(拍手)農商務省ニ於テモ同ジ事ガアリマス、農商務省ニ於テノ經費ハ餘リ諱クナリマスカラ申シマセヌ(ソレガ何ガ積極方針ダト呼フ者アリ)是等ガ積極方針デナクテ、何ガ積極方針デアルカ、諸君ハ文化的施設ト云フコトニ金ヲ投ズルト云フコトガ目的デハナイデアルカ、其他農商務省ニ於テ八百六十萬圓、逓信省ニ於テ電話事業擴張九十七萬圓、電信擴張改良費四十一萬圓、現業員浴場設備十四萬圓、電氣計器檢定事務費十二萬圓、恩給ノ増加二百五十八萬圓、逓信省合計千五百萬圓、是等ハ皆新規事業デアルデアアル(モウ分ク)呼フ者アリ(諸君ガ何モ無イト云フカラ、有ルト云フテ之ヲ示シテ置クデアリマス)(笑聲起ル)議長、是ハ速記録ニ掲載スルコト願ヒタイ要スルニ諸君ノ議論ハ、前ニ申シタ如ク、總テ妄斷的デアリ、自分デ假想的ナモノヲ定メテ、薄尾花ノ幽霊ト同ジ假想的ノモノヲ拵ヘテ(笑聲起ル)サウシテ此假想的ノ議論ヲシテ居ル、恰モ屋氣樓ト同様ナンデアル、斯ノ如キモノ向テ、一々論駁—反駁スル暇ガナイガ、唯毎年々々同ジ事ヲ言フカラシテ、私ハ事實ヲ基礎ニシテ、一々行政整理ニ於テハ金ガドレダケノモノデ済ムデアラウト云フ見當ハ、吾ハ付ケナケレバナラス、國民黨ノ諸君ノ御提出ニナツタ編成替ハ、尙ホ意義ガアル、意義ガアルト云フノハ何デアルカト云フト、華盛頓會議モ近ク批准交換ヲサレルコトデアラウ、或ハ行政—官制ノ上ニ於テ、各種編成替ヲシナケレバナラスモノガアルト云フテ、一々數ヘマシタノデアルガ、此諸君ノ豫算編成替ヲシナケレバナラス最モ大ナル理由トシテ數ヘタノハ、吾ハ審査權ハ持テ居ルケレドモ、行政上ノ發案權ヲ持テ居ラス、法律命令ヲ動カスコトガ出來ナイト云フ事ガ、唯一ノ證據ニナツテ居ル、所ガ此證據ガ大變間違テ居ル、何故ナラバ、憲法ノ條文ニ據リマアルト云フト、諸君ガ審查スル場合ニ、既定計畫ノ經費デアラウトモ、或ハ法律命令ニ依テ定マツタ經費デモ、或ハ既定マツタ繼續費デモ、政府ノ同意サヘアルナラバ此豫算ハ幾ラデモ修正スルコトガ出來ルデアアル(拍手)諸君ハ何故ニ修正ノ目ヲ示シテ、斯ク々々、斯ク々々ノモノハ不用デアルガ故ニ是ハ否決シ、或ハ修正スルカ、政府ハ同意スルカ否ヤト云フ事マデ、何故自分ノ權利ヲ行使シナイノデアリマス(拍手)斯ノ如キ無責任ナル者ヲ相手ニシテ議論スル爲ニ、餘リ多クノ暇ヲ費ス必要ハナイト思ヒマスカラ、是デ私ハ壇ヲ退クコトニ致シマス(拍手起ル)

新規事業要求額

尙ホ本年度豫算ニ於テ新規事業トシテ十萬圓以上ノ著名ナルモ

ノヲ舉クレハ左ノ如シ

○外務省

講和條約實施ニ關スル經費 二百八十萬圓
東亞同文會事業補助増加 百四十七萬圓
○内務省 千六百萬圓

北海道廳官制改正職員充實ニ關スル費用 三十二萬圓
社會事業ニ關スル地方廳事務處辨經費 十四萬圓
家畜傳染病預防ニ關スル費用 十二萬圓
工場監督ニ關スル經費 十萬圓
治水費事業ノ追加 五百四十七萬圓
斐伊川改修費 十萬圓
境港修築 二十萬圓
總額百八十萬圓六箇年事業

高松港 四十一萬圓
總額二百二十萬圓五箇年繼續

敦賀港 十萬圓
總額三百四十萬圓八箇年

新瀉港 追加 三十七萬圓
長崎港 追加 三十萬圓
清水港 追加 二十萬圓
北海道拓殖費ノ増加 六十三萬圓
吉野神社修築費ノ増加 五萬圓(五十萬圓四箇年繼續)

三島神社修築 六萬圓
○大藏省 二千五百萬圓

國債整理基金繰入ノ増加 一千萬圓
市町村交付金ノ増加 六十五萬圓
織物組合交付金ノ増加 百三十萬圓
議院建築費ノ増加 十二萬圓
橫濱稅關棧橋改築 九十一萬圓
朝鮮總督府補充増加 三十萬圓
關東州補充増加 三十五萬圓
樺太廳 同 三百三十萬圓
南洋廳開始同 四十九萬圓
陸軍 一億一千六百萬圓
海軍 二百七十五萬圓

○司法省 五十六萬圓 六千圓
少年法及矯正法實施 四十六萬圓 十一年度支出ニ係ル
臨時部建築 九萬二千圓
借地信託法實施 十二萬五千圓
區裁判所出張所經費 十五萬圓
岐阜監獄建築 二十四萬圓
總額五十五萬圓五箇年
函館監獄 二十四萬圓
宇都宮監獄 十萬四千圓
同四十四萬圓三箇年

京都監獄

總額八萬圓二箇年 六萬圓
佐賀監獄 十三萬四千圓
宮城控訴院仙臺地方裁判所區裁判所建築追加 十六萬圓
松山監獄 五萬圓
宮城監獄 六萬圓

○文部省

一年現役教育俸給國庫負擔額ノ増加 十七萬圓
中等教員ノ養生及檢定ニ要スル經費 十八萬圓
齒科醫師藥劑師受験者増加ニ伴フ經費 十二萬五千圓
神戶高等學校護岸費 二十二萬七千圓
學制頒布五十年紀念事業費 五萬圓
神戶高等商船學校寄宿舍建設費 十三萬圓
直轄學校校舍改築費 十萬圓
諸計劃ニ依ル學校創立及學科増設 百四十九萬圓
高等學校創立擴張ニ伴フ學年進行及開校準備 百六十六萬圓
大學及學校圖書館書記其他平均給料増額 十四萬六千圓
豫定計劃ニ依ル航空研究擴張ニ伴フ經費 十二萬圓
東北帝國大學鐵鋼研究所擴張經費 三十萬圓
帝國大學工學部擴張 二十七萬圓
京都帝國大學工學部擴張 二十四萬圓
東北帝國大學工學部造船部學科新設 十四萬四千圓
北海道帝國大學醫學部創立費 六十萬圓
九州帝國大學農學部創立費 四十一萬圓

○農商務省

狩獵取締及鳥獸調查費 十八萬圓
斫伐作業ニ關スル經費増加 二百 九萬圓
造林事業ニ關スル經費 三十四萬圓
大阪工業試驗所事業擴張費 三十九萬圓
綿羊飼育獎勵ニ關スル費用 五十八萬圓
關東獎勵ノ増加 三十一萬圓
製鐵事業獎勵費増加 七十一萬圓
臨時室素研究所設備擴張費 三十九萬圓
治水事業費 三十萬圓
伯刺西獨立百年紀念國內國博覽會參同費 二十三萬圓

○逓信省

電話事業擴張ニ伴フ維持費 九十七萬圓
電信擴張改良費 四十一萬圓
現業局浴場設備 十四萬圓
電氣計器檢定事務費 十二萬圓
恩給ノ増加 二百五十八萬圓
宜呂重農航行補助 十萬圓
電氣試驗所大阪出張所擴張設備 四十五萬圓

○議長(奥繁三郎君) 前川虎造君

〔前川虎造君登壇〕

○前川虎造君 昨ハ大口喜六君ノ豫算ヲ返上シテ政府ニ組替ヲシテ更ニ發案セヨト云フ、此議論ニ賛成スル一人デアリマス、今東君ガ、サウナルト云フト、若シ豫算ノ不成立ノ結果ハ皇室費ニ影響ヲ及ボスト云フコトヲ言ハレタ、如何ニモ東君ノ勤王家トシテハ斯様ニ御考ヘニナルノハ無理ノナイコトデアル、併ナガラ豫算ノ不成立ノ場合ニハ、前年度ノ豫算ヲ襲用スレハ宜イノデアル、皇室費ハ十一年度ニ於テ増額ハサレテ居リマセス、前年ノモノガ載テ居ルダケデアルカラ、皇室ノ御賄ヒニハ何等ノ差支ハナイノデアル、是ハ御心配ニ及バナイ、ソレカラ又豫算ハ、自ラ之ヲ料理按排スル權能ハ議會ニアル、議員ニアル、如何ニモアルノデアル、併ナガラ是ガ一ツヤニツナラ宜イガ、數百或ハ千ニ互ル修正ヲ要スル時分ニハ、是ハ内閣自身ノ責任ガドウナルカ、是レ位ナ澤山ナ場合ニハ、若シ議會ガ之ヲ修正シヤウト云フノニハ、多少ノ時間ヲ要スル、又之ニ伴フ所ノ内閣ノ責任ト云フモノガ一體何處ニアルカ、内閣ガ豫算ヲ編成スル責任ヲ持テ居ル、其豫算ガ百件モ、百五十件モ手ヲ入レナケレバナラヌト云フヤナル豫算デアル場合ニハ、吾々ハ之ヲ返上シテ、内閣ニ編成替ヲ求メルト云フ權利ハ無論アルノデアル、ソレハ何故ト云フノニ、諸君モ御存知ノ通り、大藏大臣トシテ、首相トシテ、高橋子爵ガ豫算ノ總會ニ於テ、斯フ云フ事ヲ言ハレテ居ル、同僚ノ一人ノ質問ニ對シテ、此豫算ハ十二年度ニハ確ニ行詰テ居ルノデハナイカト、斯ウ云フ事ヲ言フ時ニ、大藏大臣ガ何ト答ヘタカ、或ハサウカモ知レヌ、併シ行詰ヲ云フ時ニハ、行政整理モスレバ、又税制ノ整理モスルノデアル、斯ウ云フ事ヲハキリ言ハレテ居ル、スレバ行政整理ノ餘地アリト云フコトハ、首相自ラ認メラレテ居ルノデアル、行政整理ノ餘地アルモノヲ、何ガ故ニ今日之ヲ爲サラヌカ、吾々ハ昨年ニ於テ矢張豫算ヲ返上シタルノデアル、本年ハ尙ホヨリ以上、一層強キ意味ニ於テ此豫算ノ返上ヲ論ズルト云フコトハ、物ニハ機會ト云フコトガ大切デアリマス、本年ハ昨年ト違テ、非常ナ好機會デアル、今日ニ於テ此豫算ト云フモノヲ更正シテ、豫算ニ伴フ所ノ惡キ弊害ノ情カト云フモノヲ打切テシマハサル以上ハ、何時ノ日カ此豫算ヲ更正スル日ガアルカ(拍手)今日ハ丁度此陸軍ノ減縮、海軍ハ對外的ニ縮小シナケレバナラヌト云フヤナル運命ニナレ、一旦定メテ豫算ガ、今日ハ不用ニナルト云フ有様ニナレテ居ル、ソレカラ一面ハ又如何ナル狀態ニナレテ居ルカト云フト、我國ノ生産工業ト云フモノハ、四周ノ關係上、益、不利ナル境遇ニ立テ來テ居ルノデアル、一言ニ言ヘバ、貿易ハ非常ナ不況ニ陥テ居ル、否不況ノミ

ナラズ、殆ド今日ノ生産品ヲ以テ外國ニ賣出スナドト云フコトハ、夢ニモ及バヌヤウナ今日ノ狀態ニナレテ居ルデハナイカ、一體今日ハ最早生産ト云フコトヲ頭ニ置ク時代デハナイ、造テタ品物ヲドノ方面ヘ持テ行テ賣ルカト云フコトヲ考ヘネバナラヌ時代ニナレテ居ルノデアル、其賣ル方面ハ何レデアルカ、唯戰爭中ニ空巢狙ヒヲヤメテ、サウシテ溜メタ所ノ品物ヲ、唯賣テ賣タト云フニ過ギナイノデアル、其結果ガ幾ラカ我國ニ金貨ガ、殖エテ居ルト云フコトデアルガ、戰爭ガ濟シテ、歐羅巴ノ生産ガ復活シテ來タ時分ニ、我が品物ガ何處ヘ賣レルト云フコトノ見込ガアルカ、殆ド無いデハナイカ、無い此ノ場合ニ當テ、一體何ヲ將來政府ガ指導スル考デ居ラレルカ、現在豫算ノ上ニ於テ、經常ト、當リ前ノ一般會計ノ上ニ於テ、特別會計ノ上ニ於テ補助スル所ノ生産業ニ補助スル所ノ補助ノ金額ガ上リ上リテ、今日デハ四千七百萬圓ノ多キニ達シテ居ルト云フコトヲ諸君ハ御存知デアリマス、四千七百萬圓デアル、四千七百萬圓ト云フ金ヲ總テノ業務ニ補助サレテ居ル、産業ニ補助サレテ居ル、此中デハ此産業ノミデハナイ、或ハ學校ノ補助モアル、或ハ既定ノ計畫ナドモ、此中ニ籠テハ居リマスガ、補助若クハ補助ノ名ノ附イタモノガ、兩方デ四千七百萬圓ノ多キニ達シテ居リマスガ、此四千七百萬圓ノ補助其モノガ、如何ナル活動ヲナシテ居リマスルカ、私ハ一例ヲ舉ゲテ申シマス、陸軍ノ軍需品獎勵費ト云フモノガアル、軍需品製造獎勵費ト云フモノガ、昨年カラ御設ケニナレ、國勢院デ御取扱ニナレテ居ル、其金額ハ二十二萬圓デアリマス、此二十二萬圓ヲ如何ニ配當サレテ居ルカ、十二ノ會社ヘ配當シテ居ルノデアル、而モ其十二ノ會社デドウ云フコトヲヤレテ居ルカト云フト、鋼鐵ノ研究ヲヤルカ、或ハ「アラシ」ト云フ金剛砂ヲ原料トシテ製造スル所ノ砥石、或ハ「アルミ」ニウム、此等ノ物、或ハ木材カラ「アルコール」ヲ採ル研究トカ云フコトデ、此ノ十二會社ヘ向ケテ、二十二萬圓ノ金ヲ領付サレテ居ルノデアル、少キハ七千圓、多キモ二萬圓ヲ出デザル所ノ補助ノ金デアル、斯ナ金ヲ受ケタ所ノ會社ガ何ガ出來ルカ、實ニ吾々ハ何ノ事カ分ラヌト思フテ居ルノデアル、ソレデ又農商務省ガデモ、實際ノ補助費ヲ通算スレバ約一千万圓以上ニ達シテ居ルノデアル、一千万圓モ補助ヲ出シテ、其受クル所ノ會社ナリ業務ナリガ、一體ドウ云フ事ヲヤレテ居ルカ、補助アルガ爲ニ、唯業務ヲ繼續シテ居ルニ過ギナイノデアル、其補助ノ效果ガ仕事ノ上ニ現レテ來ルト云フコトハ、恐ラク黃河ノ清ムラ待ツヤウナ狀態ニ今日ハナレテ居ルノデアリマス、斯様ニ政府ガ生産事業ヲ補助シ、或ハ學校ノ文化事業ヲ補助スルト云フ上ニ於テ、豫算ノ上ニ於テ四千七百萬圓ト云フ莫大ナ金ヲ出シテ居ルノデアルガ、此金ガ

效力アレバ洵ニ結構デアル、所ガ效力ノ有ル無イト云フコトハ、一ツノ問題デアルガ、此ニ於テ私ハ此時機ト云フコトヲ考ヘテ貴ヒタイ(拍手)今日ハ産業革命ノ時代デアリマス、國民ガ自覺シテ大ニヤルベキ時代デアル、資本モ相當アリマス、故ニ唯政府カラ獎勵サレ、目腐金ヲ貰ハナケレバ、國家ノ産業ヲヤルコトガ出來ナイト云フヤウナ自覺ノナイ此資本家ニ、僅カ計リノ金ヲ與ヘテ獎勵シテ、サウシテ國家ノ産業ヲ發達スルト云フヤウナ御考ヲ、農商務大臣ガ御持チニナレテ居ルト云フコトハ、私ハ實ニ奇怪ダト思フノデアル(拍手)是カラ先ハ僅カナ金位デハヤレル譯ノモノデハナイ、ソコデ寧ロ斯様ナ金ヲ御使ヒニナルノナラバ、何故ニ此科學ノ力ニモウ少シ依ルコトノ出來ルヤウナ機關ヲ拵ヘテ、以テ産業ニ資スルト云フ御考ニナラナイノデアルカ(拍手)是カラ後此世界ノ戰ハ、科學ノ力デ以テ作リ上ゲル所ノ、此進歩ノ力ヲ應用シタ所ノ生産品デ、成ベク大キナ資本デ大仕掛ニヤルニ非ザルヨリハ、到底世界ノ市場デ我品物ノ競争ヲスルト云フコトハ出來ナイノデアル、斯ウ云フ時機ニ際シテ居テ、豫算ハ極メテ姑息デアル、補助スルノデモ目腐金ヨリ出セナイ、斯様ナコトデ積極政策ナリトハ何事デアルカ、積極政策ナラバ、益、此國家ノ産業ヲ盛ナラシムル所ノ目覺シキ政策ヲ何故ニ御採リニナラナイカ、彼ノ港ヲ開クノモ宜シ、鐵道ヲ御敷キニナルノモ宜シイガ、數カナクテモ日本ノ生産ガ發達シテ荷物ガアリ、人ガ行カケレバナラヌト云フ場合ニナレバ、港モ自カラ出來ル、鐵道モ自カラ敷ケルノデアル、諸君(笑聲)諸君ハ笑フガ彼ノ只今ノ鐵道法案ナドガ通過シテ豫定ノ如ク三十年間ニ鐵道ガ數ケラルトシタナラバ、東海道ノ幹線トカ、東北幹線トカ云フ所カラ得テ居ル利益ヲ、此新タニ出來タ所ノ鐵道ノ損失ニ皆ナ打込シテ、サウシテ公債ノ利子モ拂ヘナイ、元金モ拂ヘナイ、詰リ「レール」ノ野垂死ノ時代ガ確ニ來ルト私ハ思フノデアリマス(拍手)例ガアリマス、埃及ガ好例デアリマス(「分ラナイ」「分ラナイ」ト呼フ者アリ)分デテ居ル(「分ラナイ」「分ラナイ」ト呼フ者アリ發言者多シ)

○議長(奥繁三郎君) 靜ニ...

○前川虎造君(續) ソレデアルカラ、斯ウ云フ仕事ハ財政ノ許ス範圍ニ於テヤル、吾々ハ敢テ鐵道ヲ攻撃スルノデハナイ、積極的政策ト云フ以上ハ、ドウシテモ斯ウシテモ、其ヤタ設備カラ國家ヲ利シ、ソレカラ國家ノ産業ガ盛ニナリ、教育ガ振興ズルト云フ效果ガ現ハレテ來ナケレバ、唯店ヲ澤山ヤリ、看板ヲ澤山掛ケテ、目腐金ヲ振廻スト云フ事ヲ以テ、積極政策ト云フコトハ、吾々ハ言ハサヌノデアル、故ニ之ヲヤルニハ、段々情勢ヲ帶ビテ、素ニ亂レテ來タ今日ノ行政ヲ根本的ニ整理スル事ヨリヤリ方ハナイ、整理ノヤ

リ方ハ既ニ整理セナケレバナラヌト云フ事柄ハ、同僚大口君カラ大分事實ヲ擧ゲテ述ベラレマシタガ、之ニハ政友會ノ諸君モ異論ハナイ、恐ラク異論ハアルマイ、是ハ二重三重ニナタモノヲ、之ヲ改メルト云フ事ニ異論ノアル筈ハナイ、即チ之ヲ稱シテ行政整理ト云フノデアル、所ガ唯先程カラ武藤君始メ東君ノ語ヲ聴ケバ、唯豫算ト云フモノハ間違ナシ、此豫算ハ宜イノデアルト云フデケルノ事ヲ承タガ、行政整理ノ餘地アリヤ否ヤト云フ點ニ至テハ、甚ダ曖昧デアル、即チ武藤君モ國民黨ニハ幾ラカ敬意ヲ表スルト言ハレテ、東君モ何トカ言ハレタヤウデアルガ、果シテソレヲ言レル者ガ、何故ニ諸君ノ支ヘテ居ル所ノ政府ニ迫リテ、行政整理ヲヤラセヌカ、即チ大藏大臣トシテ、首相トシテ高橋ヲ辭ハ臨時議會ヲ開イテモ宜イト云フコトヲ公言サレテ居ル、臨時議會ヲ開クノナラバ、トウセ海軍バカリ、陸軍バカリノ豫算ノ更正デナク、全體ノ豫算ニ涉リテ改メテ更正シテ、此七月ナリ六月ナリニ臨時議會ヲ御開キニナシテ、再び吾々ニ議案ヲ御出シニナシタラ宜カラウト思フノデアル(拍手)ソレガ本當デアル、只一部ノ更正ヲスルニ過ギヌノデハ困ル、ソレデ私ハ序デアリマスカラ、臨時軍事費ノ追加豫算ニ付ハ一言言ハフト思フ、臨時軍事費ノ追加豫算ハ七千五百萬圓要求サレテ居ル、所ガ是ガ餘程面白イノデアル、陸軍ガ此十一年度ノ豫算ノ上ニ軍器製造費ト云フモノヲ一千五百萬圓要求サレテ居ルノデアル、サウシテ又十二年度ノ臨時軍事費ノ内譯ヲシタモノヲ拜見スルト、此中ニ一千二百萬圓ノ兵器費ト云フモノヲ御掲ゲニナシテ居ルノデアル、サウスルト兵器費ト云フモノト、兵器製造費ト云フモノガ、少シ名前ハ違フガ、此臨時軍事費ハ支那ニ居ル——西伯利ニ駐屯シテ居ル所ノ軍事上ノ費用デアル、此處ニ派遣サレテ居ル所ノ軍隊ガ俄カニ武器ヲ造リテ行カケレバイケナイト云フヤウナ事モ、甚ダ不思議デアル、ソレデ臨時軍事費ト云フモノハ、要ルデケ取テ、後デ報告スルニ過ギナイヤウナ形ニナシテ居リマスカラ、軍器製造費ト云フモノヲ一千五百萬圓要求シテ居リナガラ、更ニ臨時軍事費ノ中デ一千二百萬圓ノ軍器費ト云フモノヲ御使ニナルト云フニ至テハ、今度足ラヌト云フ要求ヲサレテ追加豫算ノ七千五百萬圓ニ對シテモ、吾々モ相當ノ疑ヲ持タナケレバナラスノデアル(拍手)ソレデ免ニ角陸軍ナリ、海軍ナリ、軍費ト云フモノ、間ニ、軍事ノ秘密ト云フコトニ隱シテ、軍事ハ國防ナリ、大切ナリト云フ此事ニ隱シテ、サウシテ吾々ノ氣付カザル範圍ニ於テ、免ニ角此豫算ヲ取リタガルト云フ弊ガ、今日ニ限ラズ、昔カカラアルノデアリマスカラ、故ニ吾々ノ氣付カザルモノデ色ニナメノ陸軍デ拵ヘ、海軍ヲ造リテ居ルト云フコトハ、甚ダ帝國議會ノ權能トシテ吾々ハ不滿ニ存ズルノデアル、故ニ此機會ニ一切

合切陸海軍ノ技術ニ涉リテ秘密ヲ要スルモノハ仕方ナシガ、豫算ノ如キハ全部洗テ御公開ニナシテ然ルベキト思ヒマスカラ、國民ノ前ニ開放シテ、ドウシテモ軍事上ニ必要ナルモノナリトスルナラバ、國民ハ決シテ其支出ニ吝ナルモノデアリマセヌ、陸軍ノ要ルデケル金ハ出シマセウ、海軍モ其通りデアリマス、唯ダ之ヲ彼方ニ隱シ、此方ニ隱シテ、全部ノ者ニ知ラサナイヤウニ金ヲ使ハウト云フ、此弊ヲ根本カラ一掃サレシコトヲ、私ハ海軍大臣及陸軍大臣ニ要求スルノデアリマス、ソレデ此度ハ詰リ御ニ申上ゲタ通り非常ナ好機會デ、此更始一新ノ時ノ總テノ政治上ノ情デ、段々面白カラヌ弊害ヲ生ジテ居ル、此情勢ヲ一變シテ根本的ニ行政整理ヲヤルカ、金ガ足ラナケレバ足ラナイデ方法ヲ立テ、餘レバ餘デ如何ナル事ヲヤル、根本的ニ行政ヲ立直シテ、以テ國家ノ向上ニ相伴フ所ノ豫算ヲ作ルト云フコトハ、吾々ハ大ニ努メケレバナラヌ事デアルト同時ニ、内閣大臣ノ——各大臣ノ大ニ責任トシナケレバナラヌ事デアアル、然ルニ唯ダ金ガ有ルカラ使フガ、若シ行詰ラテ無クシタナラバ行政整理モスル、ソレカラ稅制整理モスルト云フ其日暮シナ、斯ウ云フ造方デハ、國家ガ世界ノ大勢ト離レタヤウシテ、我が日本ガ益、總テノ上ニ於テ、唯一等國ト云フ名ニ倒レテ、何事モ出来ナイヤウナ此慘目ナキハ敗殘者ニナラナケレバナラス、デハ内閣大臣ノ大ニ責任ノアルコト、思ヒマス、故ニ吾々ハ内閣大臣ガ何モ何所ガ惡イト云フノデアリナシ、今日唯ダ豫算ノ上ニ於テ斯ウ云フ事實ガアル、斯ウ云フ事情ガアルト事實ヲ擧ゲテ、之ヲ如何ニ處置ササルカ、是ハドウナサル積リデアアルガト云フコトヲ御忠告シテ置クニ過ギナイ吾々ノ手ニ於テヤルナラバ、何デモヤレルガ、今日ハ吾々カ一片ノ議論ヲスルヨリハ、諸君ノ多數ノ諒解ヲ得テ、内閣大臣ノ諒解ヲ得テ、内閣大臣自ラ此豫算ヲ更正シテ御出シニナルト云フコトガ最も、便宜ナ方法デアアル、最も可能性ヲ持テ居ルノデアアル、唯ダ内閣諸公ノ責任ヲ問ウテ、唯ダ諸君ヲ責ムルト云フナラバ、或ハ出来ルカモ知レヌ、併ナガラ責メタ所ガ此豫算ガ更正サレセムノデハナイ、故ニ吾々ハ内閣諸公ニ向テ此諒解ヲ得テ適當ナル豫算ノ更正ヲ爲サシテ御出シナサレト云フ、此可能性ノ事ヲ要求ヲ致シテ居ルノデアアル、之ヲ御諒解ニナシテ、吾々ガ言フ所ヲ御賛成アラシコトヲ希望致シマス、餘リ長ク申ス必要モアリマセヌカラ、聊カ私共ノ此賛成ヲスル所以ヲ述ベテ置キマス

○岩崎勳君 議長

○議長(奥繁三郎君) 岩崎君、何デスカ

○岩崎勳君 討論終結ノ動議ヲ提出致シマス

「議長」議長「異議アリ」異議アリ「通告ガアル」ト呼ビ議場騒然

○三木武吉君 只今岩崎君カラ討論終結ノ動議ガ出マシタガ、此豫算ノ討論ニ付テハ、既ニ我黨ヨリ討論者ノ通告モ致シテ居リマス、重大ナル此豫算ニ對シテ、僅カノ時間ヲ制限セラレテ……(此時發言スルモノ多ク議場騒然)不徹底ナル……(此時發言者多ク聽取シ難シ)吾々ノ職責ヲ完ウスル所以デナイ、私ハ……(此時發言者多ク聽取シ難シ)カラシテ、岩崎君ノ動議ニ反對致シマス

「反對」「反對」「採決」「採決」ト呼フ者アリ議場騒然

○議長(奥繁三郎君) 討論終結ノ動議ガ出マシテ反對モアリマス、此際内閣總理大臣ヨリ發言ノ通告ガアリマシタカラ、之ヲ許シマス

「拍手」「議長」「議長」「議長」「議長」ト呼フ者アリ議場騒然

○國務大臣(子爵高橋是清君) 諸君、豫算ニ付キマシテ幾ニ早速君、大口君、其他ノ諸君カラ、此豫算ノ返付ニ付テノ御説明デアリマシタ——御議論ガアリマシタガ、之ニ付テ一言申シタイト考ヘマス、大口君ノ御議論ハ大體ニ於テ私モ同感デアアルノデ、ソレハ行政機關ノ整理、事務ノ統一、是ハ先年來政府ハ其必要ヲ認メテ居ルノデ、併ナガラ豫算申シマス通り、是ハ一朝一夕ニハ出来ナイノデアアル、諸君モ言ハル、通り、或ハ法規法令等ヲ改廢セネバナラヌ必要モアル、故ニ若シ大口君ノ御議論ガ、此豫算ヲ賛成ナサルニ付テ御希望トアタナラバ、私ハ是ハ完璧デアタラグラウト思フ、結論ニ至テ返付ト云フコトニナシタラハ、是ハ壁ニ取ト私ハ考ヘマス、ソレカラ早速君ノ御議論ハ、是ハ委員會ニ於キマシテモ、分科會ニ於キマシテモ、屢々繰返サレタ御議論デアアル、ソレデ今茲ニ又再び其議論ヲ繰返ス必要ハ無イト思フ、唯ダ最後ニ岩崎君ガ御述ニナシタ事ニ付テ一言私ハ此所デ説明ヲシテ置カウト思フ、川崎君ノ説ハ、十一年度ノ租稅收入ハ、前年度豫算ニ較ベテ見テ千八百萬圓ノ減ジテ居ル、是ハ其通りデアアル、ソレハ私モ承知シテ居ルノデアアル、併シ私ガ其當時答ヘタモノデアラ、經常收入ノ減收ノ形勢ヲ述ベテ、サウシテ答ヘタモノデアラ、所得稅ヲ特別ノ原因ニテハ減收シタルモノトシテ見テ、其他ノ收入ハ大體増加ノ形勢ニ在ルト云フコトヲ述ベタノデアアル、而シテ私ガ三千三百萬圓ノ増加ガアルト申シタラハ、經常歲入全體ニ付テ述ベタ譯デアアル、此經常部ニ於ケル自然増減ノ計算中ニ於テ、所得稅ト云フ特別ノ原因ノアツテ減收シタルモノヲ除イテ、其他ノ租稅並ニ官有財産ノ收入ニ於テ、三千三百萬圓ノ增收ガアルト、斯ウ云フ意味ヲ申シタノデアアル、此通デアアルノデアアル、而シテ諸君ノ此豫算返付ノ議論ト云フモノ

ハ、先刻カラモ度々他ノ諸君カラ言ハレタ通り、今日始、タ
事デハナイ、モウ今度デ或ハ三回目カモ知レナイ、何時デモ
大抵根據ハ同ジアル、私ハ會テ外國ニ在リテ此時(發語ス
ル者多シ)

○議長(奥繁三郎君) 靜ニ

○國務大臣(子爵高橋是清君)(續) 或ル美術家ガ博物
館ヘ行テ友達ニ語タ...

〔中野寅吉君「何ヲ言テルノダ馬鹿ニスルナ」ト呼
フ〕

○議長(奥繁三郎君) 中野君靜ニ...

○國務大臣(子爵高橋是清君)(續) 或美術家ガ田舎カ
ラ出テ來テ、非常ニ性癖ガアテ、人ノ美點ヲ認メルコトガ出
來ナイ(議長注意シロ)ト呼ヒ其他發言スル者多ク議場騷
然)ソコデ其友達ガ有名ナ人ノ彫刻シタ「ヴィーナス」ノ像ヲ
見セタ...

〔議長注意シナイカ「無用々々」ト呼フ者アリ議
場騷然〕

○議長(奥繁三郎君) 靜ニ...

○國務大臣(子爵高橋是清君)(續) 「ヴィーナス」ノ像ヲ
見セタ所ガ、一點ノ非難スル所ガナウタ

〔議長「議長」ト呼フ者アリ議場騷然〕

○議長(奥繁三郎君) 靜ニ...

○國務大臣(子爵高橋是清君)(續) ソレデ最後ニ是ハ
口ヲ利カナイカライケナイト言タ、諸君、我が十一年度ノ豫
算ヲ他ノ外國ノ政府デ造タ豫算ト校ベテ見テ御覽ナサイ
是程健康ナ豫算ハ無イノデアル、此豫算ニ付テ非難スル
點ガナイカラ返付ト云フノハ、即チ彫刻ノ完全ナルモノヲ見
テ、口ヲ利カナイト言テ非難シタト同ジデアル、是ニ於テ政
府ハ此返付論ニハ斷然反對致スノデアル(拍手)

〔議長「議長」採決「採決」悲鳴ヲ聞ク時間ハ
ナイト呼フ者アリ議場騷然〕

○議長(奥繁三郎君) 靜ニ——靜肅ニナサイ——濱口雄
幸君ヨリ——身上ニ關シテ、辯明シタイト云フ通告ガアリマ
ス、是ハ討論デハアリマセヌ、身上ニ關シテ、ドナカノ演説
ニ付テノ説明ニナルコト、思ヒマス故ニ...

〔議長「議長」無用「無用」ト呼フ者アリ議場騷
然〕

○議長(奥繁三郎君) 御待ナナサイ濱口君、未ダ計シテ
居ラス

〔「無用」「無用」ト呼フ者アリ〕

○議長(奥繁三郎君) 靜ニ——靜ニナサイ、ソレデハ一
身上ニ關スル辯明デアルノデ、討論デハアリマセヌ、ソコデ濱
口君ニ...〔議場騷然〕先以テ討論終結ノ動議ガ出テ居リ

マスカラ之ヲ決メテ、採決前ニ濱口君ニ計シマス、岩崎君ノ
動議ニ賛成ノ方ハ起立ヲ願ヒマス

〔賛成者 起立〕

○議長(奥繁三郎君) 多數デアリマス、討論ハ終結シマシ
タ、濱口君

〔濱口雄幸君登壇〕

○濱口雄幸君 諸君(拍手)先刻政友會ノ東君ノ御演説
中ニ、本員ノ身上ニ關スル御發言ガアリマシタ

〔身上デヤナイ「注意ダ」靜ニシロト呼フ者アリ〕

○議長(奥繁三郎君) 靜ニ...

○濱口雄幸君(續) 私ハ大概ノ事デアラナラバ默シテ止
メヤウカト考ヘマシタケレドモ、明ニ本員ノ名ヲ指シテ、濱口
君ハ政治上ノ争ニ利用スル爲ニ、鹿ヲ追フ獵師山ヲ見ズ、
一ツノ重大ナル事柄ヲ閉却セラレタト言ハレタノデアリマ
ス

〔「其通り」「其通り」ト呼フ者アリ〕

○議長(奥繁三郎君) 靜肅ニ...

○濱口雄幸君(續) 本員ハ不肖ナリト雖モ、此重大ナル
財政經濟上ノ問題ヲ、政争ノ具ニ利用スルト云フ如キ卑
劣ナル考ヲ持テ居ル者デアリマセヌ(拍手)近來動モスレ
バ(此時發言スル者多ク議場騷然)

○議長(奥繁三郎君) 諸君、議員諸君ガ自己ノ一身ニ
付テ辯解サレタイト云フ時ニハ、能ク其言ハレル事ヲ徹底
スルヤウニ靜ニナサレタラドウデス

○濱口雄幸君(續) 全體最モ嚴肅ナルベキ此豫算ノ討
議ニ於テ、動モスレバ左様ナル、自ら闘争ヲ挑發スルガ如キ
言論ヲ爲シテ、他人ノ名譽ヲ傷ケルト云フコトハ、洵ニ意外
千萬ナ事デアリマス、殊ニ責任アル總理大臣ニ至ル迄只今
甚ダ吾々ハ聽苦シイ答辯ヲ耳ニ致シテ居ルノデアリマス(何
ガ一身上ダ)ト呼ヒ其他發言スル者多ク議場騷然)東君ノ
本員ノ身上ニ關スル發言ノ要旨ハ斯様デアリマシタ、濱口
君——濱口君ハ物價ノ問題ニ付テ、内閣ノ責任ヲ問ハレテ

居ルケレドモ、是ハ政治上ノ争ニ急ナルガ爲ニ大事ノ問題
ヲ閉却致シテ居ル、其大事ノ問題トハ何デアルカト言ヘバ、
即チ歐羅巴ノ大戦争デアル此歐羅巴ノ大戦争ノ起タツト
云フコトヲ閉却致シテ居ル、是ハ政治上ノ争ニ急ナルガ
爲デアルト云フコトヲ言ハレタ、本員ハ不肖ナリト雖モ、此
財政經濟ノ問題ハ、少ナクモ、政治上ノ争ヲ離レテ、國家
國民ノ利害休戚ノミカラ研究ヲ致シタイト思フノデアリマ
ス(拍手)固ヨリ東君ノ申サル通り、我國ノ近年ノ經濟上ニ
於テ、此物價ノ問題ノ起リマシタコトハ、世界大戦争ノ結
果デアルト云フコトハ、明カナル事デアリマス、此世界大戦
ノ結果トシテ、我國ノ物價ガ非常ニ暴騰ヲ致ス時ニ於テ、

現内閣ノ無能ナルヤ、少シモ之ヲ調節スルト云フ政策ヲ講
ジナカク其政策ヲ講ジナカクガ爲ニ、物價ハ非常ニ暴騰
ヲ致シ、ソレガ爲メ延テ今日國民ノ生活ヲ脅カシテ居ルノ
デアル(拍手)恐クハ此世界ノ大戦争ガナカタナラバ、物價
ノ問題モ起ラナカッタデアリマセウ、此世界ノ大戦争ノ結
果、内外ノ經濟上ニ非常ナル變動ガ起ツタ、此變動ニ對シ
テ、政府ノ諸君ガ調節スルコトガ出來ナカッタガ爲ニ、今日
ノ問題ガ起テ居ルデハナイカ(拍手)議長「議長」ト呼フ
者アリ)是ガ即チ吾々ガ稱シテ、物價ノ問題ハ現内閣ノ責
任デアルト云フコトヲ斷言スル所以デアル

〔此時發言スル者多ク議場騷然〕

○議長(奥繁三郎君) 靜ニ——濱口君ハ一身上ニ付テ
辯明スルト言ハレタカラ許シマシタガ、討論ハ許シマセヌ(議
場騷然)

○濱口雄幸君(續) 固ヨリ本員ハ討論ヲスルモノデアアリ
マセヌ、微頭徹尾自己ノ身上ノ辯明ヲスル爲デアルコトハ
申スマデモナイ、併ナガラ本員ガ此物價問題ヲ論ズルニ當
テ、政治上ノ争ヲ目的トシテ居ナイト云フコトヲ證明スル爲
ニハ、聊カ此問題ニ對シテ自分ガ如何ニ考ヘテ居テ此議
論ヲスルカト云フ、其議論ノ根據ヲ明ニ示サナケレバ辯明ハ
出來ナイノデアリマス、此點カラシテ本員ハ辯明ノ必要上、
自分ノ信ズル所ヲ諸君ニ訴ヘル權利ガアルト思フ(拍手)又
諸君ガ聽クベキ義務ガ有ルノデアル(此時發言スル者多ク
議場騷然)通貨ト物價...

○議長(奥繁三郎君) 濱口君ハ全ク討論デスカラ差止メ
マス

〔此時演壇ニ上ル者アリ喧騒甚シ〕

○議長(奥繁三郎君) 諸君ニ宣告スルコトガアリマス(拍
手)三木武吉君、木村君、中野寅吉君ハ議長ノ制止ニ應ジ
テ著席ナサイ——著席致シマセヌカラ、此三名ニ退場ヲ命ジ
マス(拍手)

〔議場騷然〕

○議長(奥繁三郎君) 議長ノ命令ノ執行ノ都合上、暫
時休憩致シマス

午後七時四十一分休憩

午後九時四十三分開議

○議長(奥繁三郎君) 休憩前ニ引續イテ會議ヲ開キマ
ス

○井上剛一君 議長

○議長(奥繁三郎君) 井上剛一君何デスカ

〔登壇「登壇」ト呼フ者アリ〕

○議長(奥繁三郎君) イヤ登壇デスカ、登壇モ許シマスガ

一寸何事デスカ、議事ノ進行ニ付テ發言ヲ求ムルノデスカ
○井上剛一君 議事ノ進行ニ付テ……
○議長(奥繁三郎君) 許シマス

〔井上剛一君登壇〕

○井上剛一君 本員ハ只今議事進行上ニ付キマシテ發言ヲ許サレマシタガ、此場合緊急動議ヲ提出致シタク存ジマス(ノウ)議事進行ニ對スル發言ハ取消シマス、而シテ緊急動議ヲ提出スルノデアリマス

〔ツレハイカヌト呼フ者アリ〕

○議長(奥繁三郎君) 靜ニナサイ、議事ノ進行ニ付テノ發言トシテ之ヲ許シマシタ、外ニ動議ノ提出ナラバ違ヒマス、井上剛一君ハ議事ノ進行ニ付テノ發言ヲ取消シテ、懲罰事犯ニ付テノ動議ヲ提出シタイト云フコトデ(拍手)懲罰事犯ハ何時デモ提出出來ルノデスカ、此場合許シマス

〔ヒヤ〕〔議長公平ト呼フ者アリ拍手起ル〕

○井上剛一君(續) 公平ナル議長ノ御宣言ニ依リマシテ、茲ニ發言ヲ許サレマシタ、而シテ私ガ此懲罰事犯ニ對スル緊急動議ヲ提出スルガ如キハ、決シテ衷心ヨリ之ヲ望ム者デハナイ、併ナガラ遂ニ此緊急動議ヲ提出シナレバナナイ事案ノ發生ニ對シテハ、如何トモスルコトガ出來ヌノデアリマス、其事案ヲ簡單ニ解説致シマスルガ、本日午後豫算案討議後ニ於キマシテ、議員濱口雄幸君ガ登壇シテ、其發言ニ關シマシテ、紛議中、議長席ノ附近ニ於テ、議員西川嘉門君ハ議員三木武吉君ヲ殴打サレタノデアリマス(拍手)右ハ議院ノ體面ヲ汚スベキ所行ナリト認メマシテ、仍テ議員西川嘉門君ヲ懲罰ニ付ストノ緊急動議デアアルノデアリマス(拍手)動議ヲ提出致シマスル理由ヲ簡單ニ披露致シマスルガ、最ニハ鳩山一郎君對鈴木富士彌君ノ傷害事犯ガアリマシテ、多數黨ノ諸君ハ當時吾々ノ提案ニ對シテ、議事規則二百六條ノ所謂、議院ノ體面ヲ汚スベキトノ法規ニハ、該當セザルモノデアルトノ理由ヲ以テ反對セラレマシテ、遂ニ議場ニ此懲罰事犯ヲ見ルコトガ出來ナカッタノデアリマス、一面ニ於テハ議長ハ又議院ノ秩序ヲ維持スベク、其警察權ノ行使ヲモ爲サレニ依テ、遂ニ我黨ノ院內總務ニ依テ之ヲ司法官憲ニ告發シ、目下此事件ハ司法權ノ問題トシテ審理中デアアルノデアリマス、斯ノ如キ事ハ假令多數黨各位ノ御解釋ノ如ク、此議場内デアルト議場外タルトニ拘ラズ、斯ノ如キ事犯ノ頻發スルト云フコトハ、實ニ吾々ハ立憲政下ノ爲ニ慨嘆ノ至リニ堪ヘヌノデアリマス(拍手)之ヲ默殺シ去ル如キニ於テハ、吾々議員ハ、吾々自己ノ身體、自己ノ名譽ヲ保全スル方法トシテハ、殆ド之ナキヲ私ハ杞憂スル者デアリマス(ヒヤ)〔拍手起ル〕故ニ私ハ西川君ニ對シテハ御氣ノ毒千萬デアアルガ、其行爲ニ對シ

テハ、寸毫モ假借スル所ナシト信ジマシテ、敢テ此動議ヲ提出シタ所以デアリマス(拍手)適當ナル御決議ヲ乞ヒマス
○議長(奥繁三郎君) 井上君ノ懲罰事犯ニ對シテハ、二十名以上ノ賛成ヲ要シマスガ、賛成ガアリマスカ
〔賛成(賛成ト呼フ者アリ)〕

○議長(奥繁三郎君) 賛成ガアルト認メマス、西川君ニ於キマシテハ、井上君ノ動議ニ對シテ辯明ガアリマスナラバ之ヲ許シマス、西川君

〔居リマセヌ〕〔西川君不在〕〔逃亡々々ト呼フ者アリ〕

○議長(奥繁三郎君) 西川嘉門君——然ラバ過日ノ先例モアリマスカラ、此懲罰事犯ノ動議ハ保留シテ置イテ、西川君ノ出席ヲ待テ採決致シマス、ソレカラ一寸一言致シマス、先刻濱口雄幸君ノ身上ニ關スル辯明ガ議長ニ於キマシテ、知ラズ識ラズノ間ニ討論ニ入リタヤウニ思ヒマシタカラ之ヲ注意シ、向ホ引續イテ議論ヲ述ベラレタヤウデスカラ發言ヲ止メマシタ(其通り)ト呼フ者アリ(御聽ナサイ終リマデ——然ル所濱口君ヨリハ何等ノ御話ハ承リマセヌガ(ノウ)〔靜ニ御聽ナサイ〕憲政會ノ院內役員ノ方ヨリ、濱口君ノ議論ハ斯様ナ都合デアラウト云フ御話ヲ承リマシタ、免ニ角其當時議場モ多少騒然トシテ居リマシタカラ、議長ハ東君並ニ濱口君ノ演說速記ヲ明日ニデモ能ク調ベマシテ、果シテ一身ノ辯明ニ必要ナル所論デアラナラバ、重ネテ許シ機會モアラウト思フ、本人ノ御希望ニ依リ其事ダケ申シテ置キマス、ソレカラ先刻休憩致シマシタノハ、三木武吉君、木村三四郎君、中野寅吉君、三君ノ演壇ニ登リマシテ、降壇ヲ命ジマシタレドモ肯キマセヌ、議長ノ命令ヲ拒ミマシタカラ退場ヲ命ジタ、此退場命令執行ノ必要上休憩致シタ、然ルニ依然トシテ三君ハ命令ニ應ゼズシテ出席サレテ居リマス、三君ニ注意シマス、速ニ退場ナサイ
○三木武吉君 議長
〔無用々々ト呼フ者アリ〕
○議長(奥繁三郎君) 靜ニ——三木君
〔三木武吉君登壇〕
〔退場ヲ命セラレタ者ガ登壇ハ怪シカラヌ〕議長
議長ト呼フ者アリ
○三木武吉君 御黙リナサイ、議長ノ許可ヲ得テ登壇シテ居リマス
〔此時發言スル者多シ〕
○議長(奥繁三郎君) 靜ニ……
○三木武吉君 議長ノ許可ヲ得テ登壇シテ居ル、御默ンナサイ
○議長(奥繁三郎君) 重ネテ申シマス、議長ノ命ヲ拒ン

ダ時ニハ發言ヲ禁止シ、又ハ退場ヲ命ズルコトアルベシ、發言禁止ノ方ヲ執ラズシテ退場ヲ命ジタ、ソコデ今三君ニ其命令ノアタコトヲ注意シタ、ソレニ對シテ何カ一言辯ジタイト云フノデアリマスカラ之ヲ許シマシタ
〔ヒヤ〕〔ト呼フ者アリ其他發言スル者多シ〕

○三木武吉君(續) 諸君ガ默ラナレバ何時迄デモ立ツテ居リマス——只今ノ休憩前ニ起リマシタ濱口雄幸君ノ演說ニ對シ、議長ガ何等カノ注意ヲ與ヘラレタカノ如ク、吾々議長ニ若席致シテ居ル者ニハ見エマシタ、而モ其濱口君ニ對スル議長ノ交渉タルヤ、恰モ濱口君ノ言論ニ對スル干涉デアアルカノ如クニ見エマシタカラ、吾々ハ濱口君ヲシテ其意ヲ十分ニ述ベシムベク、議長ニ交渉ヲ爲スベク此壇上ニ登ラノデアリマス、今日迄ノ議院ノ慣例ニ依リマシテ、各黨派ノ院內役員ハ議長ト交渉ヲ爲スベキ事柄ノアル場合ニ、此壇上ニ登ルコトハ差許サレテ居ルノデアリマス(拍手)私共ハ其慣例ニ基キマシテ、議長ノ其濱口君ニ對スル言論ノ干涉ニ付テノ事情ヲ聽クベク此壇上ニ登ラノデアリマス、然ルニ其際ニ於テ政友會員ノ諸君モ、何ノ理由ガアルカ分リマセヌガ、此處ニ登リマシテ私共ノ壇上ニ在ルコトヲ妨ゲントスルコトガ事實トシテ現レタノデ、是ニ於テカ吾々ト政友會員諸君トノ間ニ一ノ騷擾ガ起リタ、其騷擾ノ結果議場ハ一時ニ騷然ト致シマシタ、其騷然トシタトキニ、議長ハ何等カノ宣告ヲセラレタト云フコトハ事實デアアル、併シ其議長ノ宣告ガ議長自身ガ只今濱口君ニ對シテ爲シタル宣告ニ於テ、十分ニ自分自身ノ記憶ガナイガ如ク、又濱口君ノ演說ニ對シテモ、十分ニ議長ガ理解ヲセラレテ居ラナカッタ位議場ガ騷然トシテ居タノデアアルカラ、私共モ又議長ノ宣告ニ對シテ、十分ニ之ヲ聽取スルト云フコトガ出來ナカッタノハ理ノ當然デアリマス(拍手)議長ノ言フコトヲ聽取レナイニ拘ラズ、吾々議長ノ言フコトヲ聽取レナカッタノガ惡イノデアルト云フ理窟ガ何所ニアル、議長ノ耳ト吾々ノ耳トノ間ニハ大ナル差ガナイノデアリマス、其聽取レザル議長ノ宣告ニ對シテ、服從ノ仕樣ガアリハシマセヌデアリマセヌカ、故ニ其知ラザル宣告ニ對シテ更ニ何ヲ議長ハ宣告ヲスルノデアアルカ——何ヲ議長ハ宣告アルノデアアルカト云フコトヲ追窮ヲ致シテ見マシタ所ガ、突然議長ハ宣告ヲシテ曰ク、吾々三名ノ退場命令ヲ執行スルコトハ、會議ガ開カレテ居レバコソ退場命令ノ執行ト云フコトガアル(拍手)會議ヲ閉ジ、會議ヲ休憩シテ此議場ノ活動ト云フモノガ止タノニ、何デ退場命令ノ執行ノ必要ガアルノデス(拍手)會議ヲ中止シ、休憩ヲシテ退場ヲ命ズルト云フノハドウ云フ譯デス、之ヲ第一ニ聽カナレバナラヌ、第二ニハ吾々ノ記憶致

シマスル所ノ從前ノ慣例ニ依リマスルト、縦シヤ退場ノ命令ヲ下シテモ一旦議事ガ休憩ニナリ、或ハ其他ノ理由ニ依テ一時會議ガ中止ヲセラレタ場合ニハ、其中止後、或ハ休憩後ノ議場ニ對シテハ、吾々ハ退場ノ命令ヲ命ゼラレタコトガ、會テ以前ニアラズモ、其瞬間ニ中斷シテ、自由ニ此議席ニ列スルコトガ出來ル慣例ガアルノデス、議長ハソレ等ノ慣例ヲ御調ニナシ、只今ノ御宣告アルカ、御命令アルカ存ジマセヌガ、現在ノ程度ニ於テハ、不當ナル議長ノ更メテノ退場ノ命令ニハ、私共ハ服從致スコトハ出來マセヌ

○議長(奥繁三郎君) 此三君ハ——中野寅吉君、三木武吉君、木槍三四郎君ノ三君ハ議長ノ命令ヲ拒ム人デアラル(ノウ)故ニ議長ハ此三名ヲ懲罰委員ニ付シマス(拍手、ノウ)ト呼フ者アリ

○田淵豐吉君 議長、何ト言フデスカ

〔採決〕採決ニ豫算案ノ採決々々ト呼ヒ其他發言スル者多シ

○議長(奥繁三郎君) 川崎克君

○砂田重政君 議長、議長

○議長(奥繁三郎君) 砂田君

〔砂田重政君登壇〕

○砂田重政君 私ハ只今議事ノ進行ニ關シテ、議長ノ許可ヲ得タモノデアリマス、議長ハ三木君、木槍君及中野君ニ退場ヲ命ゼラレタ、退場ヲ命ゼラレタ人ニ對シテ玆ニ意見ヲ述ブル機會ヲ與ヘラル、ト云フコトハ何事デアリマスカ、吾々ハ眞ニ議長ガ退場ヲ命ゼラル、ナラバ、議長ノ權限トシ退場ノ執行ヲ爲スベキモノデアラト思フ(ヒヤ)此等ヲ指イテ一旦退場ノ宣言ヲシナガラ、其宣言ヲ打捨テ、發言ヲ許サル、ト云フコトハ、議長ハ議事規則ヲ無視サレテ居ルデアリマス(拍手)斯ノ如ク議事規則ヲ無視シ、議院法ヲ無視シタル議長ハ、今後之ヲ先例トシテ貽サレノデアリマス、今後ニ於テモ退場ヲ命ゼラレタル者ガ發言ヲ求メレバ、議長ハ如何ナル場合ニ於テモ御許シニナルノデアリマス、一應此點ニ對シテ明カナル議長ノ釋明ヲ要求スルノデアリマス

○議長(奥繁三郎君) 答ヘマスルガ、此退場命令ヲ受ケタニ付テ、何カ錯誤ガアルト云フヤウナ説明カモ分ラヌカラ聴イテ見タノデアリマス、然ルニ錯誤ハアリマセヌ、之ヲ拒ム意思デアルト云フコトガ明瞭デアリマシタカ、懲罰ニ付シタノデアリマス

○森田茂君 議長、議長

○中西六三郎君 議長、議長

○議長(奥繁三郎君) 中西君、何デスカ

○中西六三郎君 豫算案ノ採決ヲ望ミマス
○議長(奥繁三郎君) 發言ヲ求メテ居ル人ガアリマス——森田茂君

〔森田茂君登壇〕

○森田茂君 本員ハ議事ノ進行ニ付キマシテ、議長ニ聴キタイ事ガアルノデアリマス、只今議長ヨリ致シマシテ、三木君、木槍君、中野君ニ對シマシテ退場ヲ命ジ、且ツ之ヲ注意スルト云フ、斯ウ云フコトヲ言ハレタノデアリマスルガ、此問題ニ付キマシテ、只今砂田君カラ御演説ガアリマシタルガ如ク、大體形式ノ上カラ申シマシテ、既ニ退場ヲ命ジタル者ニ對シテ發言ヲ許シタト云フコトガ、頗ル奇々怪々ナル事實ト謂ハナレバナラヌコトハ、是ハ何人モ觀ル所デアリマス、而シテ三木君自身ガ申シマスル如ク、既ニ休憩ニ依リマシテ、此退場ナル命令ハ是ハ中斷サレ、全ク斷絶サレタ……

○議長(奥繁三郎君) ソレハ議事ノ進行ニ必要ノ無イ發言ト考ヘマス

○森田茂君(續) サウデナイ、必要アル發言デアリマス——

此二ツノ事實ニ付キマシテ、議長ハ如何ニ之ヲ辯明スルノデアラル、且ツ又木槍君ト中野君トニ對シマシテ、何故ニ其發言ヲ許サナイカ、三木君ニ對シテ相當ナル辯明ヲサセ置イテ、兩君ニ對シテ何故ニ發言ヲ許サヌカ、是ハ頗ル吾々ノ奇怪トスル所デアリマス、其點ニ對シマシテ玆ニ議長ハ相當ナル辯明ヲ爲サナレバ、吾々ハ決シテ之ニ満足スルコトハ出來ナイノデアラル、且ツ三木君自身モ申シマシタル如ク、退場ヲ命ゼラレタル三君ハ、我ガ憲政會ノ院內幹事デアリマス、院內幹事ト致シマシテ議長席ニ往キマスルノハ、是ハ珍シクナイ事デアリマス、殊ニ其場合ニ於キマシテ、議長席ニ到リタル者ハドレ程アルカト申シマスレバ、三木君、木槍君、中野君、是ハ院內幹事ノ資格ヲ以テ行テ居ルニ拘ラズ、政友會ノ方カラ致シマシテハ、何等ノ資格ノ無イ者ガ議長席ニ到致シマシタ、然ルニ議長ハ何故ニ此三君ノミニ退場ヲ命ジタモノデアラルカ、三君ノミニ對シテ退場ヲ命ジタト致シマスレバ、三君ニ對シテハ如何ナル理由ヲ以テ退場ヲ命ジタノデアラルカ、三君ニ如何ナル不隱ノ行動ガアリシ爲ニ之ヲ命ジタモノデアラルカ、其事實ニ付キマシテ、議長ハ相當ナル辯明ヲ要スルコトト私ハ考ヘル、殊ニ又政友會側カラ殺到致シマシタル所ノ多數ノ議員ニ對シマシテ、何等ノ處置ヲ執ラナカッタト云フコトハ、是レ議長ガ實ニ政友會ノ議長デアツテ、衆議院ノ議長デナイト云フ非難ヲ受ケマシテモ致方ナイト思ヒマス、此點ニ對シマスル議長ハ、相當ナル辯明ヲ爲スベキ義務ガアルト云フコトヲ確信致シマシテ、私ハ此議場整理ニ關シマスル質疑ヲ爲スノデアリマス

〔採決々々〕辯明シロト呼フ者アリ議場騒然

○議長(奥繁三郎君) 討論ハ終結シタト認メマスカラ採決致シマス

〔分ラヌ分ラヌ〕ト呼フ者アリ發言スル者多ク議場騒然

○議長(奥繁三郎君) 靜ニ靜ニ——早速整爾君、大口喜六君ヨリノ動議ハ……(議場喧囂聽取スル能ハス)記名投票ヲ以テ決シマス、是ヨリ記名投票ヲ行ヒマス(分ラヌ分ラヌ)ト呼フ者アリ、早速君大口君ノ動議ニ賛成ノ諸君ハ白票、反對ノ諸君ハ青票、閉鎖

〔分ラヌ分ラヌ〕ト呼フ者又發言スル者アリ議場騒然

○議長(奥繁三郎君) 諸君——諸君、早速整爾君、大口喜六君ノ動議ニ賛成ノ諸君ハ白票、反對ノ諸君ハ青票、氏名點呼ヲ行ヒマス

〔書記氏名ヲ點呼ス〕

〔分ラヌ分ラヌ〕何ヲスルノダ「早く讀メ早く讀メ」ト呼フ者アリ議場騒然

○議長(奥繁三郎君) 著席ヲ願ヒマス——諸君ニ御諮リヲスル事ガアリマス(議場騒然)

○議長(奥繁三郎君) 記名投票ヲ取消シテ起立ニ依ッテ決スル考デス、如何デス、如何デスソレデ御異議ガナケレバ速ニ一遍著席ヲ願ヒマス

〔議場騒然〕

○議長(奥繁三郎君) 著席ヲ——著席ヲ……

〔議場騒然〕

○議長(奥繁三郎君) 諸君ニ宣告スル事ガアリマス、記名投票ニ依ッテ可否ヲ決スルト宣告シマシタガ、之ヲ取消シテ起立ニ依ッテ贊否ヲ決メル考デアリマス、御異存アリマセヌカ

〔贊成々々〕異議ナシ「異議アリ」ト呼フ者アリ

○議長(奥繁三郎君) 御異存ナイト認メマス 議長ノ宣言ニ御異議ナイト認メマス

〔異議アリ〕ト呼フ者アリ

○議長(奥繁三郎君) 然ラバ宣言通り記名投票ニ依ッテ之ヲ決シマス 贊成ノ諸君ハ白票、反對ノ諸君ハ青票

〔書記氏名ヲ點呼ス〕

〔議長々々〕暫ク休憩ヲ望ミマス「贊成」ト呼フ者アリ

○議長(奥繁三郎君) 議長ノ宣言ガ分ラナカタ人ガアルヤウデス、動議ニ賛成ノ諸君ハ白票、反對ノ諸君ハ青票

○議長(奥繁三郎君) 再三同ジヤウナ事ヲ繰返シマスガ、徹底シナイト云フ聲ヲ聴キマスカラ更ニ宣言シマス、早速整

○議長(奥繁三郎君) 再三同ジヤウナ事ヲ繰返シマスガ、徹底シナイト云フ聲ヲ聴キマスカラ更ニ宣言シマス、早速整

○議長(奥繁三郎君) 投票漏ハアリマセヌカ

○議長(奥繁三郎君) 投票漏ハアリマセヌカ

○議長(奥繁三郎君) 豫算返上ノ動議ニ賛成ノ諸君ハ

○議長(奥繁三郎君) 豫算返上ノ動議ニ賛成ノ諸君ハ

○議長(奥繁三郎君) 再ビ更メテ今ノ宣言ヲ致シタノデ

○議長(奥繁三郎君) ソレニ異議ガアリマシタカラ、元ノ

○議長(奥繁三郎君) 投票漏ノ諸君ハ投票ヲ爲サイ

○議長(奥繁三郎君) 投票漏ノ諸君ハ投票ヲ爲サイ

○議長(奥繁三郎君) 投票漏ノ諸君ハ投票ヲ爲サイ

○議長(奥繁三郎君) 投票漏ノ諸君ハ投票ヲ爲サイ

○議長(奥繁三郎君) 投票漏ノ諸君ハ投票ヲ爲サイ

○議長(奥繁三郎君) 投票漏ノ諸君ハ投票ヲ爲サイ

○議長(奥繁三郎君) 投票漏ノ諸君ハ投票ヲ爲サイ

○議長(奥繁三郎君) 投票漏ノ諸君ハ投票ヲ爲サイ

○議長(奥繁三郎君) 投票漏ノ諸君ハ投票ヲ爲サイ

○議長(奥繁三郎君) 投票漏ノ諸君ハ投票ヲ爲サイ

○議長(奥繁三郎君) 投票漏ノ諸君ハ投票ヲ爲サイ

○議長(奥繁三郎君) 投票漏ノ諸君ハ投票ヲ爲サイ

○議長(奥繁三郎君) 投票漏ノ諸君ハ投票ヲ爲サイ

○議長(奥繁三郎君) 早く投票ヲ爲サイ

○議長(奥繁三郎君) ソレデハ投票ヲシナイ人ハ、投票ヲ

○議長(奥繁三郎君) 投票ノ結果ヲ報告致シマス

○議長(奥繁三郎君) 投票ノ結果ヲ報告致シマス

○議長(奥繁三郎君) 投票ノ結果ヲ報告致シマス

○議長(奥繁三郎君) 投票ノ結果ヲ報告致シマス

○議長(奥繁三郎君) 投票ノ結果ヲ報告致シマス

○議長(奥繁三郎君) 投票ノ結果ヲ報告致シマス

○議長(奥繁三郎君) 投票ノ結果ヲ報告致シマス

○議長(奥繁三郎君) 投票ノ結果ヲ報告致シマス

○議長(奥繁三郎君) 投票ノ結果ヲ報告致シマス

○議長(奥繁三郎君) 投票ノ結果ヲ報告致シマス

○議長(奥繁三郎君) 投票ノ結果ヲ報告致シマス

○議長(奥繁三郎君) 投票ノ結果ヲ報告致シマス

○議長(奥繁三郎君) 投票ノ結果ヲ報告致シマス

○議長(奥繁三郎君) 投票ノ結果ヲ報告致シマス

○議長(奥繁三郎君) 投票ノ結果ヲ報告致シマス

○議長(奥繁三郎君) 投票ノ結果ヲ報告致シマス

○議長(奥繁三郎君) 投票ノ結果ヲ報告致シマス

○議長(奥繁三郎君) 投票ノ結果ヲ報告致シマス

○議長(奥繁三郎君) 投票ノ結果ヲ報告致シマス

○議長(奥繁三郎君) 投票ノ結果ヲ報告致シマス

河相 三郎君 河崎 清君

河上 哲太郎君 川原 茂輔君 川村 數郎君

改野 耕三君 海原 清平君 海江田準一郎君

粕谷 義三君 加藤重三郎君 加藤久米四郎君

加藤紋右衛門君 風間八左衛門君 金光 庸夫君

春日 俊文君 横田千之助君 吉植庄一郎君

吉原祐太郎君 吉原 正隆君 吉野小一郎君

米原於菟男君 高橋長七郎君 高橋善五郎君

高見 之通君 高柳淳之助君 高橋七郎右衛門君

竹澤 良平君 竹上藤次郎君 竹内明太郎君

田邊 熊一君 田村順之助君 龍野周一郎君

津野田是重君 多木久米次郎君 大造寺慶男君

坪田 十郎君 津崎 尚武君 土屋 典君

中西六三郎君 中島 清造君 根本 正君

中倉 萬次郎君 中島 守利君 中橋 喜平君

永屋 茂君 成田 榮信君 永井 作次君

向井 倭雄君 南里 琢一君 長峰 與一君

植竹龍三郎君 武藤 金吉君 梅田 源君

鶴澤 總明君 上塚 司君 宇野 勇作君

内山安兵衛君 野村勘左衛門君 上墊安太郎君

野口忠太郎君 野田卯太郎君 國重 政亮君

國澤新兵衛君 熊谷 直太郎君 久慈 貫一君

山下 豐忠君 久木田 叶君 山口 義一君

山本 泰太郎君 山崎 猛君 谷津新八郎君

柳原九兵衛君 矢野 丑乙君 八木 逸郎君

松浦五兵衛君 松實喜代太君 松岡 俊三君

松本 源治君 松野 鶴平君 松山 常次郎君

松本孫右衛門君 牧野 良三君 舞田 壽三郎君

九山 嵯峨一郎君 前田 米藏君 福井 三郎君

益谷 秀次君 麗 純義君 福井 三郎君

福井 甚三君 深見寛之助君 小林 與六君

古林 新治君 小橋 一太君 江崎 幸太郎君

小久保喜七君 小坂 順造君 淺石 恵八君

穴水 要七君 阿部武智雄君 赤田 瑳一君

有馬 秀雄君 東 武君 青柳郁次郎君

天春 文衛君 青木恆太郎君 佐藤 良平君

佐々木志賀二君 佐藤寅太郎君 阪上 貞信君

齊藤鶴太郎君 齊藤 壽雄君 崎山 克治君

坂本素魯哉君 指田 義雄君

櫻内 幸雄君 澤 來太郎君 榊田清兵衛君
菊池長右衛門君 菊川 惣吉君 清瀬規矩雄君
吉良 元夫君 宜保 成晴君 木村清三郎君
木下謙次郎君 木下成太郎君 木下甚三郎君
北山 一郎君 北井波治目君 三好 徳松君
三土 忠造君 三善 清之君 三浦權兵衛君
水野吉太郎君 宮崎友太郎君 宮古啓三郎君
三輪市太郎君 白井 博之君 志賀和多利君
下山 民義君 島本 信二君 廣岡宇一郎君
廣瀬 爲久君 廣瀬 鎮之君 樋渡次右衛門君
樋口伊之助君 日野 辰次君 平田民之助君
元田 銳吉君 森 保太郎君 門田 新松君
望月 政友君 妹尾 順平君 菅原 圭介君
菅野傳右衛門君 鈴木 隆君 鈴木 兵衛君
鈴木 錠藏君 鈴木 義隆君 若尾 瑋八君
井上 孝哉君 萩田 專平君 山本 藤助君
難波作之進君 矢島 三郎君 越山太刀三郎君
松田 三徳君 小菅劍之助君 佐々木平次郎君

石川 淳君 今井 今助君 今泉嘉一郎君
岩崎宗茂助君 岩崎 勳君 岩崎幸治郎君
岩本 平藏君 市村 貞造君 一宮房治郎君
禰 苗代君 飯島 信明君 伊藤 廣幾君
伊坂秀五郎君 伊澤平左衛門君 井上角五郎君
井坂 豐光君 池田 泰親君 池田信三郎君
原田 十衛君 原田 宗吉君 原田藤次郎君
原 夫次郎君 八田 宗治君 林 毅陸君
蓮井 藤吉君 長谷川 宗治君 濱口吉兵衛君
花城 永渡君 花岡 次郎君 西澤 定吉君
萩 亮君 泰村 正則君 西村 伊亮君
西川 嘉門君 堀切善兵衛君 友常毅三郎君
本多貞次郎君 戸狩權之助君 富安保太郎君
戸水 寛人君 陣 軍吉君 小山田信藏君
床次竹二郎君 岡崎 邦輔君 岡 順次君
小川 平吉君 岡田 伊太郎君 大矢馬太郎君
岡田 伊太郎君 大島實太郎君 大林 森次郎君
大岡 育造君 長田 桃藏君 河相 三郎君
渡邊 修君 河上 哲太郎君 川原 茂輔君
河崎 清君 改野 耕三君 海原 清平君
川村 數郎君 粕谷 義三君 加藤重三郎君
海江田準一郎君 加藤紋右衛門君 風間八左衛門君
加藤久米四郎君 春日 俊文君 橫田千之助君

熊谷 直太君 久慈 貫一君 久下 豐忠君
久木田 叶君 山本梯二郎君 山本条太郎君
山田 永俊君 山口 義一君 山口 熊野君
山崎 猛君 谷津新八郎君 柳原九兵衛君
矢野 丑乙君 八木 逸郎君 松浦五兵衛君
松實喜代太君 松岡 俊三君 松本孫右衛門君
松野 鶴平君 牧山 常次郎君 丸山嵯峨一郎君
前田 米藏君 舞田 壽三郎君 益井 秀次君
麓 純義君 福井 三郎君 福井 甚三君
深見寅之助君 小橋 一太君 古林 新治君
小坂 順造君 阿部武智雄君 小久保喜七君
阿部武智雄君 東 武君 赤田 瑳一君
青木恆太郎君 青柳郁次郎君 佐々木志賀二君
佐藤寅太郎君 齊藤 壽雄君 坂本素魯哉君
指田 義雄君 澤 來太郎君 榊田清兵衛君
菊川 惣吉君 宜保 成晴君 木村清三郎君
宜保 成晴君 木下波治目君 木下甚三郎君
北井波治目君 三善 清之君 三浦權兵衛君
宮崎友太郎君 志賀和多利君 廣岡宇一郎君
白井 博之君 樋渡次右衛門君 樋口伊之助君
島本 信二君 廣瀬 鎮之君 平田民之助君
廣瀬 鎮之君 日野 辰次君 門田 新松君
毛里保太郎君 妹尾 順平君 菅原 圭介君
鈴木 隆君 鈴木 兵衛君 鈴木 錠藏君
鈴木 義隆君 若尾 瑋八君 難波作之進君
萩田 專平君 山本 藤助君 佐々木平次郎君
小菅劍之助君 越山太刀三郎君 守屋松之助君
森下龜太郎君 是ニテ本日ノ日程總テ議了、本

日ハ是ニテ散會(拍手)

○議長(奥繁三郎君) 本日ハ是ニテ大正十一年度歳入歳出總豫算案、並ニ大正十一年度各特別會計歳入歳出豫算案、豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件、第一號臨時軍事費豫算追加案ハ、全部委員長報告通り可決確定致シマシタ

○議長(奥繁三郎君) 投票ノ結果ヲ報告致シマス

○議長(奥繁三郎君) 投票ノ結果ヲ報告致シマス

投票總數 二百五十一
可トスル者 二百五十一
否トスル者 無シ

○議長(奥繁三郎君) 投票ノ結果ヲ報告致シマス

○議長(奥繁三郎君) 投票ノ結果ヲ報告致シマス

〔書記氏名ヲ點呼ス〕

〔書記氏名ヲ點呼ス〕

〔書記氏名ヲ點呼ス〕

〔議長(奥繁三郎君) 發言ヲ求メテ居ル〕ト呼フ者アリ

〔議長(奥繁三郎君) 發言ヲ求メテ居ル〕ト呼フ者アリ

〔議長(奥繁三郎君) 發言ヲ求メテ居ル〕ト呼フ者アリ

〔議長(奥繁三郎君) 發言ヲ求メテ居ル〕ト呼フ者アリ

〔議長(奥繁三郎君) 發言ヲ求メテ居ル〕ト呼フ者アリ

〔議長(奥繁三郎君) 發言ヲ求メテ居ル〕ト呼フ者アリ

〔議長(奥繁三郎君) 發言ヲ求メテ居ル〕ト呼フ者アリ

〔議長(奥繁三郎君) 發言ヲ求メテ居ル〕ト呼フ者アリ

〔議長(奥繁三郎君) 發言ヲ求メテ居ル〕ト呼フ者アリ

〔議長(奥繁三郎君) 發言ヲ求メテ居ル〕ト呼フ者アリ

〔議長(奥繁三郎君) 發言ヲ求メテ居ル〕ト呼フ者アリ

〔議長(奥繁三郎君) 發言ヲ求メテ居ル〕ト呼フ者アリ

〔議長(奥繁三郎君) 發言ヲ求メテ居ル〕ト呼フ者アリ

〔議長(奥繁三郎君) 發言ヲ求メテ居ル〕ト呼フ者アリ

〔議長(奥繁三郎君) 發言ヲ求メテ居ル〕ト呼フ者アリ

〔議長(奥繁三郎君) 發言ヲ求メテ居ル〕ト呼フ者アリ

〔議長(奥繁三郎君) 發言ヲ求メテ居ル〕ト呼フ者アリ

〔議長(奥繁三郎君) 發言ヲ求メテ居ル〕ト呼フ者アリ

〔議長(奥繁三郎君) 發言ヲ求メテ居ル〕ト呼フ者アリ

〔議長(奥繁三郎君) 發言ヲ求メテ居ル〕ト呼フ者アリ

〔議長(奥繁三郎君) 發言ヲ求メテ居ル〕ト呼フ者アリ

〔議長(奥繁三郎君) 發言ヲ求メテ居ル〕ト呼フ者アリ

〔議長(奥繁三郎君) 發言ヲ求メテ居ル〕ト呼フ者アリ

〔議長(奥繁三郎君) 發言ヲ求メテ居ル〕ト呼フ者アリ

〔議長(奥繁三郎君) 發言ヲ求メテ居ル〕ト呼フ者アリ

〔議長(奥繁三郎君) 發言ヲ求メテ居ル〕ト呼フ者アリ

〔議長(奥繁三郎君) 發言ヲ求メテ居ル〕ト呼フ者アリ

〔議長(奥繁三郎君) 發言ヲ求メテ居ル〕ト呼フ者アリ

〔議長(奥繁三郎君) 發言ヲ求メテ居ル〕ト呼フ者アリ

〔議長(奥繁三郎君) 發言ヲ求メテ居ル〕ト呼フ者アリ

〔議長(奥繁三郎君) 發言ヲ求メテ居ル〕ト呼フ者アリ

〔議長(奥繁三郎君) 發言ヲ求メテ居ル〕ト呼フ者アリ

〔議長(奥繁三郎君) 發言ヲ求メテ居ル〕ト呼フ者アリ

〔議長(奥繁三郎君) 發言ヲ求メテ居ル〕ト呼フ者アリ

〔議長(奥繁三郎君) 發言ヲ求メテ居ル〕ト呼フ者アリ

〔議長(奥繁三郎君) 發言ヲ求メテ居ル〕ト呼フ者アリ

〔議長(奥繁三郎君) 發言ヲ求メテ居ル〕ト呼フ者アリ

〔議長(奥繁三郎君) 發言ヲ求メテ居ル〕ト呼フ者アリ

〔議長(奥繁三郎君) 發言ヲ求メテ居ル〕ト呼フ者アリ

〔議長(奥繁三郎君) 發言ヲ求メテ居ル〕ト呼フ者アリ

〔議長(奥繁三郎君) 發言ヲ求メテ居ル〕ト呼フ者アリ

〔議長(奥繁三郎君) 發言ヲ求メテ居ル〕ト呼フ者アリ